号	西暦	和暦	月	日	種別	表題	著者	頁	内容および備考
1	1895	明治28	2	20	-	教祖御肖像(石版)			
1	1895	明治28	2	20		教育勅語			
1	1895	明治28	2	20		教憲			三条教則
1	1895	明治28	2		祝詞	「国の教」の発刊を祝す	正二位伯爵東久世通禧	祝詞1	
1	1895	明治28	2	20	祝詞	「国の教」の発兌を祝す	従二位伯爵大木喬任	祝詞2	
1	1895	明治28	2	20	祝詞	〔祝歌〕	正三位子爵岩下方平	祝詞3	
1	1895	明治28	2	20	祝詞	祝詞	正四位巌谷修	祝詞4	
1	1895	明治28			祝詞	「国廼教」発行の祝詞	正五位早川勇	祝詞4	
1	1895	明治28	2		祝詞	「国の教」の発兌を祝す	藤井九二吉	祝詞5	
1	1895	明治28	2		祝詞	祝詞	正六位山口蕃昌	祝詞7	
1	1895	明治28	2		祝詞	「国の教」の発刊を祝して	正七位村瀬譲	祝詞8	
1	1895	明治28	2		祝詞	祝国廼教発行文	東京 石幡貞	祝詞9	
1	1895	明治28			祝詞	祝詞	備中矢掛 少講義小野温	祝詞10	
1	1895	明治28	2		祝詞	「国の教」発刊を祝して	大講義吉井惟始	祝詞11	
1	1895	明治28	2	20	祝詞	「国之教」ノ発刊ヲ聞キテ	青山逸士	祝詞12	
1	1895	明治28	2		祝詞	謹で祝詞祝歌寄贈の諸賢に謝す	国廼教社編輯部員一同	祝詞14	
1	1895	明治28	2	20	国之教	発行の趣旨を述べて全国の同志に檄す	伊藤旭桜	1	
1	1895	明治28	2	20	国之教	迎歳の辞	旭桜生	8	
1	1895	明治28	2	20	国之教	布教論(第一)	岡山 川上市蔵	10	
1	1895	明治28	2		国之教	神道方針論	大教正正五位森下景端	13	権大教正片岡正占編述
1	1895	明治28	2		道の栞	神道黒住教々旨の一班		16	
1	1895	明治28	2		道の栞	教徒修道行為の順序		18	
1	1895	明治28	2	20	道の栞	教への五事		18	
1	1895	明治28	2		道の栞	神誡七箇条		18	
1	1895	明治28	2		道の栞	春川叢書	旧備前藩士故河上市之丞忠晶	19	
1	1895	明治28	2		道の栞	教祖神戒七箇条俚諺解	故正五位大教正森下景端	21	
1	1895	明治28	2		史伝	〔旭桜曰、士の尤も尊重すへき…〕	伊藤旭桜	25	
1	1895	明治28	2	20	史伝	忠烈亀鑑和氣清麻呂公の伝	子甫学人	26	
1	1895	明治28			文苑	〔漢詩「鎮魂頌」ほか13編〕	故河上忠晶ほか	31	
1	1895	明治28			文苑	寄海祝	馨園主人	33	
1	1895	明治28	2		文苑	祝捷軍歌	本居豊頴	33	
1	1895	明治28	2	20	文苑	〔和歌「早春海」・俳句「勅題」ほか26点〕	正二位伯爵東久世通禧ほか	34	長岡護美、久我建通、高崎正風、加茂水穂、有賀長雄ら
1	1895	明治28			霊験叢話	(其一)神詠の功徳に依り難船を免る	本庁教監権中教正山本貞次郎	37	
1	1895	明治28	2		雑録	島津日新公以呂波御歌解	正三位子爵岩下方平	38	
1	1895	明治28	2	20	雑録	早川勇君の戦地将校へ贈りたる書状	早川勇	40	書状は1894年12月9日付。早川は岩下、大木らと「人 民をして国体を知らしめん」ため由斯会を結成
1	1895	明治28	2	20	旌表美談	(其一)孝子松崎甚太郎	旭桜	42	
1	1895	明治28			旌表美談	(其二)忠僕名村善兵衛	旭桜	42	
1	1895	明治28	2		旌表美談	(其三)孝子喜三郎	旭桜	43	
1	1895	明治28	2	20	旌表美談	吉田松陰氏新年の俗解	吉田松陰	44	安政2年、妹千代宛
1	1895	明治28	2		小説	孝女お香(一)	藤浪華汀	45	
1	1895	明治28	2	20	教報	東京仮大教会所の冬至祭		51	昨年12月22日、麹町区内幸町で
1	1895	明治28	2	20	教報	全所に於ける賢所遥拝式		52	
1	1895	明治28	2	20	教報	中教正三宅康保君の帰幽		52	

1	1895	明治28	2	20	広告	〔教祖神在世中伊勢神宮ニ参拝セラレ…〕	黒住教管長黒住宗敬	広告1	達第一号か、教内一般への管長内諭、第三回臨時万 人参宮につき
1	1895	明治28	2	20	広告	達第二号(第三回臨時万人参宮心得)	黒住教本庁	広告1	参宮人は必ず神楽岡宗忠神社参拝せよ、同社では奠 都祭を祝うべし、御守り・証標(ニッケル製)の雛形デ ザインも
1	1895	明治28	2		広告	達第三号(第三回臨時万人参宮規程)	黒住教本庁	広告2	
1	1895	明治28	2	20	広告	由斯会々会員募集	由斯会本部	広告3	本部は麹町区内幸町にあり
1	1895	明治28	2	20	広告	辱知諸君に謝す	伊藤英夫	広告4	
2	1895	明治28	3	20		黒住教第三代管長故黒住宗篤君肖像(石版)			
2	1895	明治28	3	20		祝辞	黒住教管長黒住宗敬	1	
2	1895	明治28	3	20		「国の教」の発刊を祝して	岡山 黒住宗子ほか	2	和歌、連歌
2	1895	明治28	3	20		祝刊行国教雑誌文	青森 奥義制	4	
2	1895	明治28	3		国之教	教育の本旨及其施設	正三位子爵岩下方平	5	
2	1895	明治28	3	20	国之教	「国の教」に望む所あり	従六位内藤耻叟	8	
2	1895	明治28	3		国之教	布教論(第二)	備前 川上市蔵	11	
2	1895	明治28	3	20	道の栞	黒住教々の一班	故黒住宗篤	15	1886年8月巡教の際に管長記す。緒言(「国教」として 他宗教を妨害しないこと)、沿革、主義など
2	1895	明治28	3		道の栞	春川叢書(教祖御講義筆記)	旧備前藩士故川上市之丞忠晶	18	
2	1895	明治28	3		道の栞	故赤木忠春大人の道歌		19	
2	1895	明治28	3	20	道の栞	故石尾天丁大人の道歌		19	
2	1895	明治28	3		道の栞	故時尾忠道大人の道歌		19	
2	1895	明治28	3	20	講演	教祖神誡七ヶ条俚諺解(承前)	故正五位大教正森下景端	20	
2	1895	明治28	3		史伝	黒住教祖宗忠神御略伝	〔黒住教本庁〕	23	
2	1895	明治28		20	史伝	宝歴年中神祇官八神殿御再興の事	故内藤燦聚	24	
2	1895	明治28		20	文苑	〔和歌「山家梅」ほか14首〕	正二位伯爵東久世通禧ほか	26	品川弥二郎、岩下方平、黒田清綱、乃木希典ら
2	1895	明治28	3		文苑	国語学会月並和歌	粟田広治ほか	26	「若菜」ほか15首
2	1895	明治28	3		文苑	[俳句「「国の教」の発刊をいはひて」13首]	ナガサキ鶯庵半顔ほか	29	
2	1895	明治28	3		文苑	〔漢詩「博多思元寇事」ほか7編〕	従三位細川潤次郎ほか	29	
2	1895	明治28			霊験叢話	信心なければ霊験なし	贈大教正星嶋良平	30	
2	1895	明治28			霊験叢話	悪人罪を悔いて善人となる	権中教正山本貞次郎	31	
2	1895	明治28	3		霊験叢話	盗品故主の手に帰る	全人	32	
2	1895	明治28	3		教報	平安神宮々司		33	
2	1895	明治28	3		教報	神宮祭主の事		33	
2	1895	明治28			教報	雑誌発行の告祭式		34	
2	1895	明治28			教報	黒住教の万人参宮		35	
2	1895	明治28	3		教報	教祖祭		35	
2	1895	明治28	3		教報	京都神楽岡の開講式		35	
2	1895	明治28	3		小説	犬養物語(上)	菊翁	36	
2	1895	明治28	3		雑録	島津日新公以呂波御歌解	正三位子爵岩下方平	42	
2	1895	明治28	3		雑録	日本国名考	藤秀生	44	
2	1895	明治28	3		雑録	見聞叢誌	伊藤桜処	45	旭桜を改名。天皇陛下叡覧の花、侯爵尚泰君の金言、和歌と風教、先天的徳行者、四歳の児童忠孝を説く、孝子父を励ます
2	1895	明治28	3		雑録	本誌に対する諸新聞雑誌の批評		48	朝野新聞、絵入日報、国会新聞、万朝報、東京朝日 新聞
2	1895	明治28	3	20	社告				

2	1895	明治28	3	20	広告	達第四号(教祖祭前の諮詢会開催につき)	黒住教管長黒住宗敬		1895年2月22日
2	1895	明治28	3		広告	達第五号(諮詢会会員選挙手続き)	黒住教本庁		1895年2月22日
2	1895	明治28	3	20	広告	告示第二号(黒住教々職諸子二告グ、黒住教信徒諸			1895年2月12日、由斯会入会を督励
	1000					君二告グ)			
2	1895	明治28	3	20	広告	告示第三号(紀念章及参拝章佩用者取扱順序抜粋)	黒住教本庁教務課		1895年2月15日
2	1895	明治28	3		広告	告示第四号(教導職幷試補へ参宮督促につき)	黒住教本庁		1895年2月15日
2	1895	明治28	3	20	広告	告示第五号	黒住教本庁教務課		1895年2月22日
2	1895	明治28	3	20	広告	由斯会々会員募集	由斯会本部		
3	1895	明治28	4	20		黒住教本庁社殿真図(石版)			
3	1895	明治28	4	20	国之教	教育の本旨及其施設	正三位子爵岩下方平	1	教育勅語の本旨を体せよ
3	1895	明治28	4		国之教	布教論(第二の続)	備前 河上市蔵	4	布教の順序としてまず日本全国に広め、西洋諸国の キリスト教布教方法を中国・朝鮮へ応用し、アジア各 国へ拡大、そして欧米へと進めるべきで、それには 「教典を完備せしむるに初まる」
3	1895	明治28	4	20	道の栞	黒住教々の一班(前号つゞき)	第三世管長故黒住宗篤	11	教の五事、道の綱領、教の大意、修行の心得
3	1895	明治28	4		道の栞	春川叢書(教祖御講義筆記)つゞき	故河上市之丞忠晶	15	
3	1895	明治28	4	20	講演	神言(大祓)略解	尊道居士	17	
3	1895	明治28	4		史伝	故有栖川大将宮殿下	伊藤桜処(解題)	20	墓誌銘の日本語訳
3	1895	明治28	4	20	史伝	宝歴年中神祇官八神殿御再興の事(承前)	故内藤燦聚	23	
3	1895	明治28	4		文苑	〔和歌「春声」ほか27首〕	正二位伯爵東久世通禧ほか	24	岩下方平、黒田清綱、早川勇ほか
3	1895	明治28	4	20	文苑	尾張知多郡亀崎町国語学会月並歌会	酒井俊秀ほか	26	「兼題若菜」11首
3	1895	明治28	4		文苑	[俳句「国の教の発兌を祝ひて」・漢詩「読出師表」ほか25点]	ナガサキ鶯庵半顔ほか	28	東久世通禧ら
3	1895	明治28	4	20	霊験叢話	信心が第一なり	贈大教正星嶋良平	30	
3	1895	明治28	4		小説	犬養物語(下)	菊翁	32	
3	1895	明治28	4		雑録	島津日新公以呂波御歌解(承前)	正三位子爵岩下方平	38	
3	1895	明治28	4		雑録	故三条梨堂公を憶ふ	天尊居士	40	
3	1895	明治28	4		雑録	花時の感慨―吉野の懐旧	伊藤桜処	41	
3	1895	明治28	4		雑録	見聞叢誌		44	神宮教布教使従軍、気比神宮、故社寺保存の調査、 井上子爵逝去、故井上子爵の廉潔、神道大社教の美 挙、讃岐金比羅宮の宝物拝観、神国、斯道熱心の人
3	1895	明治28	4	20	寄書	神代幽契伝	故大国隆正	46	権大教正片岡正占が寄贈
3	1895	明治28	4		寄書	祝詞	黒住教本庁員	48	
3	1895	明治28	4	20	寄書	国の教の発刊を祝す	神道扶桑教権少教正江本秀次 郎	48	
3	1895	明治28	4		寄書	祝詞	黒住教権少講義安田隆慶	49	
3	1895	明治28	4	20	寄書	かぞへ歌	伊予国東多田 松本久	49	
3	1895	明治28	4		批評	本誌に対する諸新聞雑誌の批評		50	朝野新聞、絵入日報、国会新聞、万朝報、東京朝日 新聞、都新聞、読売新聞
3	1895	明治28	4		広告	社告	国の教社編輯部	広告1	
3	1895	明治28	4	20	広告	2件		広告1	
4	1895	明治28	5	20		黒住教現管長黒住宗敬君肖像(石版)			
4	1895	明治28	5	20	国之教	蒭蕘之言	備前 河上市蔵	1	

4	1895	明治28	5	20	国之教	戦後の一箴	桜処山人伊藤英夫	4	戦勝に驕り高ぶるな、教育家および宗教家のような人
	1000	7//120	J	20	12-32			·	心陶冶の職責にある者こそ「自恃」の両義性を認識せよ
4	1895	明治28	5	20	国之教	日新の大教をして社会の進歩に後れしむる勿れ	静岡 檣林堂千舟	9	宗教が学術社会に蔑視されている現状、黒住教勢拡張には主に「社会中等以上の人士及び学術社会に在る」青年を勧誘することが得策であり、彼らに人智の進歩とまことの神理とを理解させることで「該教は実に学術進歩の助けなり」との世評を得るべし
4	1895	明治28	5	20	道の栞	春川叢書(教祖御講義)つざき	備前 河上市之丞忠晶	13	
4	1895	明治28	5		道の栞	星嶋良平翁の黒住教に関する遺書	岡山 大講義鈴木道生	16	1878年5月7日付で黒住教本庁へ堺県庁から禁厭術の件で詳細報告せよとの通達に対して、伝習係長として星嶋が返答したもの
4	1895	明治28	5		講演	神言(大祓)略解	尊道居士	18	
4	1895	明治28	5		史伝	高天原の所在	故内藤燦聚	22	
4	1895	明治28	5		文苑	〔和歌「偶感」ほか35首〕	正二位伯爵東久世通禧ほか	26	
4	1895	明治28	5		文苑	尾張知多郡亀崎町国語学会月次歌会(競点天地人)	久米誠臣松三郎ほか	29	「野遊」4首
4	1895	明治28	5		文苑	[俳句 13首]	播磨井上祇笏ほか	29	
4	1895	明治28	5	20	文苑	俳偕連歌々仙(向島其角堂に開ける観桜会)	永機ほか	29	連歌 13首
4	1895	明治28	5	20	文苑	権大講義小寺好周翁碑文	薇山西毅一選	30	
4	1895	明治28	5		文苑	〔漢詩「詣湊川神社」ほか5編〕	米山宮崎宗春	31	
4	1895	明治28	5	20	霊験叢話	[左の一篇は権大教正星島良平翁の講録より…]	権中教正山本貞次郎	31	
4	1895	明治28	5	20	霊験叢話	神徳霊験	長崎中教会所権少講義片山雄三	33	
4	1895	明治28	5	20	霊験叢話	御神徳	島根県出雲国神門郡神西村 禁厭級外二等信徒立花筆之助	34	
4	1895	明治28	5	20	霊験叢話	霊験投書の諸君へ謹白	編輯部	35	
4	1895	明治28	5	20	雑録	島津日新公伊呂波御歌解(前号つゞき)	正三位子爵岩下方平	36	
4	1895	明治28	5	20	雑録	霜夜学談抜抄	桜処山人	38	
4	1895	明治28	5	20	見聞叢誌	行幸		41	
4	1895	明治28	5		見聞叢誌	行啓		41	
4	1895	明治28	5	20	見聞叢誌	広島御駐輦の日数		41	
4	1895	明治28	5	20	見聞叢誌	第七次の行幸		41	
4	1895	明治28	5	20	見聞叢誌	皇后陛下の御賢徳		41	
4	1895	明治28	5	20	見聞叢誌	延暦帝御分霊		41	
4	1895	明治28	5		見聞叢誌	気比神宮昇格奉告祭		41	
4	1895	明治28	5	20	見聞叢誌	遷都祭執行の期日		42	
4	1895	明治28	5	20	見聞叢誌	伊勢大神宮の賑ひ		42	
4	1895	明治28	5	20	見聞叢誌	古事類苑の編纂		42	
4	1895	明治28	5	20	見聞叢誌	天の岩戸石		42	
4	1895	明治28	5		見聞叢誌	加茂祭の御執行		42	
4	1895	明治28	5		見聞叢誌	靖国神社の祭典		42	
4	1895	明治28	5		見聞叢誌	桓武天皇時代の古建築		42	
4	1895	明治28	5		見聞叢誌	孝女		43	
4	1895	明治28	5		見聞叢誌	小楠公の五百五十年祭		43	
4	1895	明治28			見聞叢誌	国学院の拡張		43	
						provided and the second of the			

4	1895	明治28	5	20	寄書	神代幽契伝(前号のつゞき)	大国隆正翁	43	権大教正片岡正占寄贈
4	1895	明治28	5		寄書	本教諸師の一致を望む	東京、慷慨生	47	惟入狄正月岡正口司組
4	1895	明治28	5		寄書	祝辞	鳥取県 大講義長山六郎	47	
4	1895	明治28	5		寄書	国の教の発刊を祝す	岡山 戸川藤七	48	 戸川は岡山県浅口郡黒崎村黒住教門人
4						国の教の光刊を祝り 社告	国の教社編輯部・庶務部	48 広告1	ア川は岡山宗浅口都黒崎州黒住叙門人
	1895	明治28	5		広告				
4	1895	明治28	5		広告	由斯会々会員募集	由斯会本部	広告2	
5	1895	明治28	6	20		凱旋門真図(石版)			
5	1895	明治28	6		公文官書	内務省訓令第九号		1	神道各教派・仏道各宗派宛。布教師に尋常中学相当の学識を義務付けるよう教規・宗制寺法の改正を規定、教師検定条規標準も掲載
5	1895	明治28	6		国之教	恭シク 大元帥陛下ノ御凱旋ヲ迎へ奉ル	伊藤英夫	3	
5	1895	明治28	6		国之教	天祖立教の徳業	従六位内藤耻叟	6	
5	1895	明治28	6		国之教	蒭蕘之言(承前)	備前 河上市蔵	9	
5	1895	明治28	6	20	国之教	斯道の本体を論ず	亀谷天尊	11	
5	1895	明治28	6		道の栞	教祖教語	大分県 亀井岩吉	13	
5	1895	明治28	6	20	道の栞	教の文		14	
5	1895	明治28	6	20	道の栞	御道の大指(一)	教祖高弟河上忠晶	15	
5	1895	明治28	6		講演	神言(大祓)略解	尊道居士	19	
5	1895	明治28	6		史伝	高天原の所在(承前)	故内藤燦聚	21	
5	1895	明治28	6	20	史伝	源義公伝	秋元龍起	25	
5	1895	明治28	6		文苑	国之教の発刊を祝して	神戸中教会所副長少教正住山	27	
							宗定		
5	1895	明治28	6	20	文苑	〔和歌「聖駕御還幸をほきまつりて」ほか30首〕	橘道守ほか	27	
5	1895	明治28	6		文苑	[俳句 32首]	我流斎ほか	30	
5	1895	明治28	6		文苑	送南門石黒君之江都序	河上市之丞忠晶遺稿	31	遺稿
5	1895	明治28	6		文苑	〔漢詩「鶴水館邂逅松本蘭疇」ほか9編〕	早川勇ほか	32	ACC IPS
5	1895	明治28	6		霊験叢話	[長崎市十善寺町黒住教禁厭信徒…]	長崎中教会所権少講義片山雄	33	
	1000	917020	Ū	20	並与人員又自己	(风气) 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	三	00	
5	1895	明治28	6		霊験叢話	神徳霊験記	一 熊本中教会所々長権少教正佐 久間義雄	34	
5	1895	明治28		20	雑録	島津日新公伊呂波御歌解(前号つゞき)	正三位子爵岩下方平	36	
5	1895	明治28	6		雑録	詩歌と発句	麹亭主人	39	
5	1895	明治28	6		雑録	霜夜学談抜抄(承前)	伊藤桜処	40	
5	1895	明治28	6	20	見聞叢誌	大纛陛下の御凱旋	社員紫明庵主人	42	
5	1895	明治28	6	20	見聞叢誌	皇后陛下の御還啓	社員紫明庵主人	42	
5	1895	明治28	6		見聞叢誌	黒住教の奉迎	社員紫明庵主人	43	
5	1895	明治28	6		見聞叢誌	神仏各教宗派の戒飭	社員紫明庵主人	43	
5	1895	明治28	6		見聞叢誌	奠都紀念祭臨幸請願書	社員紫明庵主人	43	宮相土方久元宛府知事兼市参事会渡辺千秋、明治 28年5月22日
5	1895	明治28	6	20	見聞叢誌	凱旋軍人の謙譲	社員紫明庵主人	44	
5	1895	明治28	6		見聞叢誌	篤信家上田久太郎氏の美挙	社員紫明庵主人	44	明治26年に印刷配布した布教文を掲載。上田は愛媛 県喜多郡粟津村権中教正
5	1895	明治28	6		見聞叢誌	孝女	社員紫明庵主人	45	神奈川県橘樹郡田島村の田辺とよ
5	1895	明治28	6		見聞叢誌	口絵「凱旋門」の説明	社員紫明庵主人	46	
5	1895	明治28	6		寄書	心鏡伝	中講義従七位若井平世	46	途中で欠
5	1895	明治28	6	20	広告	由斯会々会員募集	由斯会本部	広告1	

					1-1-1				
5	1895	明治28	6		広告	社告	国の教社庶務部	広告2	
5	1895	明治28	6	20	広告	旧「聚芳」舘友諸君へ謹告	下山忠行	広告3	『聚芳』館友の俳句・詩文を『国の教』で掲載できる運びになったので愛読願う
6	1896	明治29	7	31		神勅			以降の号でも冒頭に掲載
6	1896	明治29	7	31		教祖神訓誡			以降の号でも冒頭に掲載
6	1896	明治29	7	31	祝詞	国の教再刊に付	正三位子爵岩下方平	祝詞1	休刊は「重に会計上の都合」
6	1896	明治29	7	31	祝詞	祝国の教再刊	備前 河上市蔵	祝詞1	
6	1896	明治29	7	31	祝詞	国の教の発行をいはひて	伊木忠行	祝詞4	
6	1896	明治29	7		国之教	国ノ教再興ノ辞	森旭心	1	明治29年7月31日付
6	1896	明治29	7	31	国之教	天祖立教ノ徳業(前ノ続キ)	従六位内藤耻叟	2	
6	1896	明治29	7	31	国之教	神道方針論(一号続き)	故大教正森下景端	5	故権大教正片岡正占編述。川合清丸『大道叢誌』にも 言及
6	1896	明治29	7	31	国之教	教祖徳容之一斑	備前 河上市蔵	9	
6	1896	明治29	7		国之教	随感随筆	難波葦川	11	以前『山陽新報』に「没道徳」と題した僧侶社会批判に触れて、宗教家全般へ「超然として世俗の外に立つ」べきと説く
6	1896	明治29	7		道の栞	御道の大指(二)	河上忠晶	14	
6	1896	明治29	7		道の栞	春川叢書	備前 河上忠晶	15	
6	1896	明治29	7		道の栞	〔天照大神宗忠先師に神掛りましまし…〕	贈大教正赤木忠春	18	
6	1896	明治29	7		道の栞	〔生るか大神の道面白きか…〕	贈大教正星島良平	19	星島の口述を高真斎部幸忠が筆記
6	1896	明治29	7		講演	開闢新論(神言原解)	故大教正正五位森下景端	20	権少教正河田久徳寄稿
6	1896	明治29	7		史伝	高杉晋作略伝		23	
6	1896	明治29	7	31	文苑	〔和歌「蛙」ほか8首〕	故河上忠晶ほか	24	
6	1896	明治29	7		霊験叢話	〔教祖神御在世中より以降…〕	教監中教正山本貞次郎	25	
6	1896	明治29	7		雑録	島津日新公伊呂波歌解(承前)	正三位子爵岩下方平	27	
6	1896	明治29	7		雑録	〔左の一篇は旧藩政の時に於て…〕	河上市之丞	28	藩より教旨につき訊問をうけた際に河上が提出した文書
6	1896	明治29	7		雑録	国の教奏告祭		29	
6	1896	明治29	7	31	教報	告示第八号(『国の教』再刊につき購読を督励)	黒住教本庁	30	発行者は森督太、杉本善太郎。教祖神以来の篤信者 たる森が再刊を願い出、事務所として本庁内の一室 を貸与(東京の事務所は閉鎖か)
6	1896	明治29	7	31	教報	庁令第二号(本庁令達は基本的に『国の教』掲載に よって頒布)	黒住教本庁	31	
6	1896	明治29	7	31	教報	達第十九号(『国の教』再刊につき購読義務者を定める)	黒住教本庁	31	
6	1896	明治29	7	31	教報	告示第五号(大元献備講につき)	黒住教本庁	31	教祖没後50年紀念祭執行を期する講。緒言・規則
6	1896	明治29	7		教報	〔教導職補任〕		35	6月分
6	1896	明治29	7		社告	社告			国の教社の住所は岡山県御野郡今村大字上中野23 番地
7	1896	明治29	8		神勅				
7	1896	明治29	8		教祖神訓戒				
7	1896	明治29	8		国之教	神道方針論 前号続き	故大教正正五位森下景端	1	故権大教正片岡正占編述。宗教の「宗」の字義、「レリギオン」など
7	1896	明治29	8		国之教	開闢新論(続)		4	
7	1896	明治29	8		国之教	教祖徳容之一斑(続)	備前 河上市蔵	7	
7	1896	明治29	8	31	道の栞	御道の大指(三)	河上忠晶	10	
		_	_	_					

7	1006	明治29	0	21	道の栞	春川叢書	備前 河上忠晶	12	T
/	1896	明治29			道の栞			13	克克文如 土内 <i>珍</i> 英元
7	1896	明治29	8		道の栞	〔教は天より起り…〕	贈大教正星島良平		高真斎部幸忠が筆記 その場にいた門人等が書き取ったもの
7	1896		8			文久二年二月廿五日京都吉田神楽岡に神明宮幷に 教祖宗忠神御遷座の時赤木忠春大人の講義		15	ての場にいた「八寺か書ざ取つたもの
7	1896	明治29	8		講演	神代と今日	権少教正三木惟一	16	
7	1896	明治29	8		史伝	森下景端君伝	河上市蔵	17	
7	1896	明治29	8		怡神詠	〔和歌 7首〕	故石尾夫〔天〕丁ほか	20	故赤木忠春ら
7	1896	明治29	8		怡神詠	宗徳頌	紀蔦乎	21	
7	1896	明治29	8	31	文苑	〔和歌「雨後夏月」ほか12首〕	長崎 足立正枝ほか	22	
7	1896	明治29	8		文苑	宗忠神社奉額句集〔俳句 33首〕	西京 花之本稲雄選	23	俳句 33首
7	1896	明治29	8		霊験叢話	〔安政年中大旱魃の時…〕	教監中教正山本貞治郎	24	
7	1896	明治29	8		霊験叢話	〔左之二篇ハ孰レモ…〕	森旭心	25	
7	1896	明治29	8		霊験叢話	〔右きみ義明治廿二年三月…〕	中西伊作	26	
7	1896	明治29	8		霊験叢話	[私事今より十一年前…]	岡山県 蜂屋つた	27	
7	1896	明治29	8		寄書	国の教の出版所移転を祝す	正五位早川勇	29	
7	1896	明治29	8		寄書	祝国の教発刊	日向国 河野通信	30	
7	1896	明治29	8		寄書	国の教の再刊を祝して	静岡 檣林堂千舟	30	
7	1896	明治29	8		寄書	祝国の教再刊	教導職吉川正道	31	
7	1896	明治29	8	31	寄書	国の教の発刊を祝す	播州高砂 中須溪月	32	
7	1896	明治29	8		寄書	随感随筆	難波葦川	32	台湾布教および「社会の弊毒」匡正に努力せよ
7	1896	明治29	8	31	昆山片玉	〔天行健君子以自彊不息…〕	河上市蔵	35	中国古典の警句につき河上が解釈
7	1896	明治29	8	31	雑録	島津日新公伊呂波歌解(承前)	正三位子爵岩下方平	37	
7	1896	明治29	8	31	雑録	故河上大人開申書(承前)	河上市之丞	38	
7	1896	明治29	8		雑録	一日暮		40	
7	1896	明治29	8	31	雑録	宝の山		41	
7	1896	明治29	8	31	教報	告示第五号(大元献備講につき)	黒住教本庁	42	前号と同じ
7	1896	明治29	8	31	教報	(教導職・国の教社監督等任命)		45	7月分
7	1896	明治29	8	31	広告	黒住教々書類販売広告		48	19冊、その他宗忠神御神像、御神水など
8	1896	明治29	9	30	神勅				
8	1896	明治29	9		教祖神訓誡				
8	1896	明治29	9	30	国之教	神道方針論(前号続)	故大教正正五位森下景端	1	故権大教正片岡正占編述。「神随の大道」は「天造教」、「スタイン」も日本の特色としてその点を是認。神道は世界万国に通じる「宗教の大本教」、明治23年3月12日脱稿
8	1896	明治29	9		国之教	開闢新論(続)	故大教正森下景端	5	
8	1896	明治29	9	30	国之教	摸範教育之議	備前 河上市蔵	7	大元献備講規則第14条の献備金残余をもって教校を設立するとの規定あるが、当てにならぬ4年後ではなく、むしろ進んで速やかに教育の端緒を開き、基礎を固めた完全な学校設立を遂げて「本教教育の模範」とすべき
8	1896	明治29	9	30	道の栞	御道の大指(四)	河上忠晶	12	
8	1896	明治29	9		道の栞	黒住教々師心得 立教大意	故森下景端	13	
8	1896	明治29	9		道の栞	春川叢書	河上忠晶	15	
8	1896	明治29	9		道の栞	心の鏡	中教正河本務	16	
8	1896	明治29	9		講演	天の御擬作	権少教正三木惟一	17	
8	1896	明治29			史伝	森下景端君伝(承前)	河上市蔵	18	
لــــَـــا		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-			Total Control and the state of			I .

8	1896	明治29	9	20	怡神詠	[和歌 17首]	故赤木忠春ほか	21	
8	1896	明治29	9		文苑	社題	河上忠晶母故艶子	22	 和歌「萩花」ほか27首
8	1896	明治29	9		文苑	□	小学 徳風ほか	25	仲句 35首
		明治29			神徳霊験		小骨 1窓風はか	27	11年1月 35日
8	1896		9			〔兵庫県播磨国佐用郡円光寺村…〕	中田八手		
8	1896	明治29	9		神徳霊験	[香川県平民讃岐国三野郡粟島…]	安田八重	28	
8	1896	明治29	9		神徳霊験	〔愛媛県伊予国宇摩郡半田村…〕	林兼次·矢野仲太郎	29	
8	1896	明治29	9		神徳霊験	災難除給ひし事実		29	
8	1896	明治29	9		神徳霊験	廿五年めに屈し指の伸し事実		30	
8	1896	明治29	9		神徳霊験	[宮崎県下日向国北那珂郡城ヶ崎町…]		31	
8	1896	明治29	9		神徳霊験	〔香川県讃岐国小豆郡池田村…〕	池田小教会所長権少講義日比 定太郎	32	
8	1896	明治29	9		寄書	国の教の道の大指を読てむかしことを思ひ出しぬ	備前 赤澤武敬	32	
8	1896	明治29	9		寄書	安斉随筆(三種神器)	神戸中教会所副長少教正住山 宗定	33	
8	1896	明治29	9		昆山片玉	[〇登高而招臂非加長也…]	河上市蔵	34	
8	1896	明治29	9		雑録	いろは歌	備後 紀蔦乎	40	
8	1896	明治29	9	30	雑録	小児の時間し咄しに付て	任天道人	42	
8	1896	明治29	9	30	雑録	(第一)山本与七郎君ヲ悼ム		42	山本は福岡県赤間村教会長、黒住教諮問会議員、由 斯会会員
8	1896	明治29	9	30	雑録	(第二)福陵新報 故山本与七郎氏の葬儀		43	『郷友雑誌』の記事抜粋も
8	1896	明治29	9	30	雑録	(第三)山本与七郎君ノ石碑ヲ拝ス		45	
8	1896	明治29	9		雑録	(第四)[当教会所二於テハ…]		45	
8	1896	明治29	9	30	雑録	(第五)[前教会所長山本与七郎氏…]		45	
8	1896	明治29	9		教報	教師任免		46	8月分
8	1896	明治29	9	30	広告	社告		46	
8	1896	明治29	9		広告	広告(吉備楽始祖招魂祭開催につき)	吉備楽和楽会	46	和楽会規則あり
9	1896	明治29	10		神勅				
9	1896	明治29	10		教祖神訓戒				
9	1896	明治29	10		社説	国之教		1	
9	1896	明治29			論説	神人合一	内藤耻叟	4	
9	1896	明治29			論説	開闢新論(続)	故大教正森下景端	7	
9	1896	明治29			論説	摸範教育之議(承前)	備前 河上市蔵	9	学科・本教ともに修めた精力的な少数の精鋭が教校の教師として適切。まずは各地教導職として、教務の余暇に各地適当の教育をさせて「完全なる人材」養育を期すべし
9	1896	明治29	10	31	道の栞	御道の大指(五)	河上忠晶	12	
9	1896	明治29	10		道の栞	黒住教々師心得 立教大意(前号続キ)	故森下景端	13	
9	1896	明治29	10		道の栞	〔誠を取外すな天に任せよ…〕	贈大教正星島良平	14	高真斎部幸忠が筆記
9	1896	明治29	10		講演	何事も活し上手に成れ	権少教正三木惟一	16	
9	1896	明治29			史伝	森下景端君伝(承前)	河上市蔵	17	
9	1896	明治29			怡神詠	〔和歌「道の栞」19首〕	権少教正清家一ほか	20	故大教正山野定泰ら
9	1896	明治29			怡神詠	いろは歌	備後 紀蔦乎	21	
9	1896	明治29	10	31	怡神詠	〔俳句「教の五事をおもひて」・和歌「国の教を見て」ほか14点〕		23	
9	1896	明治29			文苑	〔和歌「新年梅」ほか24首〕	正三位福羽美静ほか	24	
9	1896	明治29	10	31	文苑	〔漢詩「京寓書感」〕	備前 成田元美(秋風)	25	
_	_	_	_	_					

9	1896	明治29	10	31	文苑	[漢詩「十君詠序」〕	忙仙西毅一	26	明治23年5月閑谷山中にて
9	1896	明治29			霊験叢話	[美作国吉野郡佐甘村大字小原田…]	和氣祥吉	26	列加20年の月末日田中でで
9	1896	明治29			霊験叢話	「教祖日人の心が活て…」	静岡 権中教正小林藕塘	28	
9	1896	明治29			霊験叢話	[右自分之斯道二浴スルハ…]	少講義石川信正	29	
9	1896	明治29			昆山片玉	[上徳不徳。是以有徳…]	河上市蔵	31	
9	1896	明治29			寄書	或人二答フ	因幡 井上白陽	34	
9	1896	明治29			寄書	以へ一合フ 国の教の再刊を祝す	日本国教大道社随喜員 伯耆	36	
9	1090	957029	10	31	句音	国の教の再刊を加り	中川常太郎	30	
9	1896	明治29	10	31	雑録	高弟之書簡(七号之続き)		36	
9	1896	明治29			雑録	出雲問答	従五位千家尊紀	38	佐々木・吉川二氏が筆録、立花筆之助が寄稿
9	1896	明治29			雑録	[平田大人のものせられたる…]	篤胤	40	
9	1896	明治29			雑録	〔文政癸未年四月十九日…〕	多門伝八郎	41	
9	1896	明治29	10		雑録	二世神四十年大祭		41	
9	1896	明治29			雑録	独立祭		42	
9	1896	明治29	10		雑録	赤心教師	羽前長井町信徒中	42	
9	1896	明治29	10		雑録	岸本翁招魂祭		42	
9	1896	明治29			雑録	見聞叢誌(行幸ほか9点)		43	聖恩如天、聖影供奉、御剣製作、京都御所、御救恤 金、不敬雑誌、宗教界の紛擾、社格昇進
9	1896	明治29	10	31	教報	10件(教師出張など)		46	
9	1896	明治29	10		教報	教師任免		46	9月27日分
9	1896	明治29	10	31	雑録	恵贈金品		47	
9	1896	明治29	10	31	広告	社告	国の教社財務部	47	
9	1896	明治29	10	31	広告	2件		48	内1件は斎部幸忠差出の死亡報知
10	1896	明治29	11	30	神勅				
10	1896	明治29	11	30	教祖神訓戒				
10	1896	明治29	11	30	社説	天職		1	
10	1896	明治29	11	30	論説	道之効用	備前 河上市蔵	5	
10	1896	明治29	11	30	論説	開闢新論(続)	故大教正森下景端	8	「第一節 盆人犯罪の区別」
10	1896	明治29	11	30	道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶	10	
10	1896	明治29	11	30	講演	健康ト長寿	権少教正三木惟一	13	所講 「見渡す処今日…」
10	1896	明治29	11	30	史伝	森下景端君伝(承前)	河上市蔵	15	
10	1896	明治29	11	30	怡神詠	〔和歌「御七ヶ条を拝読して」ほか26首〕	故大国隆正ほか	18	
10	1896	明治29	11	30	文苑	〔和歌「山家暮秋」ほか19首〕	従一位近衛忠熙ほか	21	
10	1896	明治29	11	30	文苑	贈大教正平野義兼翁碑	南岳藤沢恒	24	
10	1896	明治29	11	30	霊験叢話	〔曩に大坂市南区に黒住教嶋の内…〕	兼松正太郎謹述	25	
10	1896	明治29	11	30	霊験叢話	〔善き事にも誇らず悪事にも苦しまず…〕	特派巡回教師少教正小野弥太 郎	26	
10	1896	明治29			霊験叢話	権少講義高橋行長氏ノ上天	高知県香美郡北村住 教導職試 補山崎金兵衛	26	
10	1896	明治29			霊験叢話	御霊験を戴きたるに付左に申述候	美作国東北条郡東加茂村 上谷 重郎	28	
10	1896	明治29			霊験叢話	〔去ル八月十九日本職ガ仕へ奉ル…〕	石川県 権中講義安田直経	29	
10	1896	明治29			昆山片玉	〔楊子過於宋…〕	河上市蔵	30	
10	1896	明治29			寄書	痛苦	難波葦川	34	
10	1896	明治29			寄書	尊信ノ目的	伯耆 野島政市	35	
10	1896	明治29	11	30	寄書	安齊随筆	少教正佳山宗定	36	

10	1896	明治29	11	30	寄書	[客アリ問フテ曰く御教会所の祭神…]	備後 橘高栄吉	37	
10	1896	明治29	11		雑報	書簡	黒住教高知中教会所垣内正徳· 永瀬梁作	39	山崎金兵衛「権少講義高橋行長氏ノ上天」について
10	1896	明治29			雑報	再生日記(続)	小野弥太郎	39	
10	1896	明治29	11		雑報	弁惑立志	天外散史	41	
10	1896	明治29			雑報	出雲問答(続)	立花筆之助	42	
10	1896	明治29	11	30	雑報	紀伊中納言治貞卿訓解	安宅泉亭	45	
10	1896	明治29	11		雑報	[毎朝教祖神の訓戒を拝読するを…]	備前 赤澤武	46	「ドクトル フランキリン氏冊の十三徳」
10	1896	明治29	11		雑報	露領の土人、日本を慕う		47	
10	1896	明治29			雑報	臺北の遥拝殿		48	
10	1896	明治29	11		雑報	殉難者の贈位		48	
10	1896	明治29	11		雑報	全国戸口総数		48	
10	1896	明治29	11		雑報	百歳以上の人口		49	
10	1896	明治29			雑報	古今の長寿者		49	
10	1896	明治29	11		雑報	百歳以上のものに常に一四五人あり		49	
10	1896	明治29	11		雑報	真宗大谷派改革に就て		50	
10	1896	明治29	11		雑報	五貫八百匁の大鰻		50	
10	1896	明治29	11	30	教報	教師任命 教師解職		50	10月分
10	1896		11		教報	惠贈金品	備前 斎部芳良	51	
10	1896	明治29	11	30	広告	社告	国の教社財務部	51	
10	1896	明治29	11	30	広告	2件		52	
11	1896	明治29	12	12		神勅			
11	1896	明治29	12	12		教祖神訓戒			
11	1896	明治29	12	12	社説	一陽来復		1	
11	1896	明治29	12	12	論説	歳暮書感	備前 河上市蔵	4	
11	1896	明治29	12	12	道の栞	春川叢書(承前)		6	黒住左京宗忠は安永9年11月26日誕生
11	1896	明治29	12	12	道の栞	道乃本巳理	河上忠晶述	8	
11	1896	明治29	12	12	道の栞	高弟口述	高眞斎部幸忠記	10	
11	1896	明治29	12		講演	諸願成就	故時尾宗道先生	11	
11	1896	明治29	12	12	史伝	森下景端君伝(承前)	河上市蔵	12	
11	1896	明治29			怡神詠	〔和歌「神」ほか11首〕	故森下景端ほか	14	
11	1896	明治29	12	12	文苑	〔漢詩「偶感」ほか5編・和歌「旅中時雨」ほか5首〕	土佐 権少講義野島信光ほか	15	
11	1896	明治29	12		文苑	玉友會月前兼題	備前 三宅知規ほか	16	「月前紅葉」8首
11	1896	明治29	12	12	霊験叢話	[誠から祈れば神はあらたなり…]	播磨美囊郡上淡河村東畑 大講 義井上春太郎	16	
11	1896	明治29	12	12	霊験叢話	[福岡県遠賀郡岡縣村大字吉木…]	筑後 田中新右衛門	18	
11	1896	明治29			昆山片玉	[事強暴之国難…]	河上市蔵解釈	19	
11	1896	明治29			寄書	尊信ノ目的(承前)	伯耆 野島政市	22	
11	1896	明治29			寄書	安齊随筆日本紀ノ訓(承前)	少教正佳山宗定	23	
11	1896	明治29			寄書	(承前)	備後 橘高栄吉	23	
11	1896	明治29			雑録	再生日記(続)	小野弥太郎	25	
11	1896	明治29			雑録	随感録一	白陽井上重延	27	
11	1896	明治29			雑録	出雲問答(承前)	立花筆之助	28	
11	1896	明治29			雑録	皇后陛下の御仁慈		31	
11	1896				雑録	四箇格言訴訟判決		32	

11	1896	明治29			雑録	[少年にして敬神の心あるは最も殊勝の事なり…]	赤坂郡五城村大字矢知 赤澤朝 子誌	32	
11	1896	明治29	12	12	雑録	再生奇談掌中の文字		33	
11	1896	明治29	12		雑録	徒歩の大旅行		33	
11	1896	明治29			教報	第二回黒住教参事会出席参事員		34	
11	1896				教報	広告第十号(本庁改革教監以下解免)	黒住教本庁	34	
11	1896	明治29			教報	(明治29年11月分教師任命)		35	
11	1896				教報	恵贈金品 寄贈金		37	
11	1896	明治29			広告	社告	国の教社財務部	37	
11	1896	明治29	12	12	広告	6件		37	吉備和楽会本部ほか
12	1897	明治30	1	27		神勅			
12	1897	明治30	1	27		教祖神訓誡			
12	1897	明治30	1	27		皇太后崩御			
12	1897	明治30	1	27		皇太后陛下御略伝			
12	1897	明治30	1	27		新年の辞		1	
12	1897	明治30	1		社説	蓬莱瀛洲		1	
12	1897	明治30	1		論説	開闢親論(続)	故大教正森下景端	4	
12	1897	明治30	1		論説	明治三十年歳始之祝詞	内藤耻叟	6	
12	1897	明治30	1		論説	教典編纂論	備前 河上市蔵	9	
12	1897	明治30	1		道の栞	道の本巳理(承前)	河上忠晶述	12	
12	1897	明治30	1		道の栞	黒住教少教正	安藤十朗誌	14	
12	1897	明治30	1		道の栞	時尾先生の詩に	播磨国 大講義河山正行	14	
12	1897	明治30	1		講演	人智を去て天に任せよ	権少教正三木惟一所講	16	
12	1897	明治30	1		史伝	森下景端君伝	河上市蔵	17	
12	1897	明治30	1	27	怡神詠	[和歌「御道信心のこへろを思ひて」ほか11首]	備中賀陽郡日近 権中講義川崎 暉孝ほか	19	
12	1897	明治30	1	27	文苑	[漢詩「松影映水」ほか3編・和歌「旅中時雨」ほか54 首]	河上市蔵ほか	20	
12	1897	明治30	1	27	霊験叢話	[私は今を去る八ヶ年以前より脹満てふ…]	佐賀県小城郡晴田村字西の谷 百七拾参番地 篠原松右衛門妻 すま	26	
12	1897	明治30	1		霊験叢話	〔右ヒデハ佐賀郡久保田村某ノ子ナリ…〕	黒住教小城小教会処副長 北島 富吉	27	
12	1897	明治30	1	27	霊験叢話	[私儀明治十七年三月上旬ヨリ…]	伊予国宇摩郡川之江村七百三 十二番戸寄留 黒住教少講義石 川信正	28	
12	1897	明治30	1	27	霊験叢話	〔岡山市中ノ町武本喜之次…〕	中教正河本務	29	
12	1897	明治30	1	27	霊験叢話	[小生義荒物商にて荷車に筵七十枚計りを…]	福島県岩代国信夫郡福島町一丁目 佐藤茂七	30	
12	1897	明治30	1	27	霊験叢話	[直管美作国英田郡楢原村大字楢原上…]	美作 少教正安藤十郎	30	
12	1897	明治30	1		霊験叢話	[兵庫県丹波郡水[氷]上郡柏原町字石田…]	小松伊助·松下勘兵衛	31	
12	1897	明治30	1		霊験叢話	〔古の語に神道の化は其人にあらさるに…〕	播磨国東畑小教会所大講義井 上春太郎	31	
12	1897	明治30	1	27	霊験叢話	[先年より本教に神文奉呈し家族中信心手厚く…]	伯耆国東伯郡松河原教会所在 勤権中講義岸本繁春	32	

12	1897	明治30	1		霊験叢話	[和気郡香々登説教所へ本年一月六日より…]	和気郡熊山村大字弓削 香香登 説教所副長少講義藤原弥一郎	33	
12	1897	明治30	1		昆山片玉	「老聃曰。汝慎無…」	河上市蔵解釈	34	
12	1897	明治30	1		寄書	或人二答フ	権少講義後藤大吉稿	39	
12	1897	明治30	1		寄書	安斎随筆	権中教正住山宗定	41	
12	1897	明治30	1			禁厭ヲ理学的ニ考フ	島根県 森本六々生	42	
12	1897	明治30	1	27	寄書	誠ハ千古不変形ハ時ニ従フベシ	嶋田 檣林堂千舟	43	
12	1897	明治30	1	27	寄書	(承前)	備後 橘高栄吉	45	
12	1897	明治30	1		雑録	三種の神器に付て	四級信徒黒岩幾太郎	46	
12	1897	明治30	1	27	雑録	三種の神器	北畠源親房	47	
12	1897	明治30	1		雑録	夢中句を得たり	片山藤次	47	
12	1897	明治30	1		雑録	出雲問答(承前)	立花筆之助	49	
12	1897	明治30	1		雑録	再生日記(続)	小野弥大郎寄稿	51	
12	1897	明治30	1		江湖彙報	[旧臘廿日二の冬至祭は寒風の凛々たるにも…]		54	
12	1897	明治30	1		江湖彙報	[鳥取県伯耆国東伯郡南谷村大字松河原村…]		57	権中講義岸本繁春より
12	1897	明治30	1		江湖彙報	[神戸市兵庫永澤町本教永澤少教会所は…]		57	
12	1897	明治30	1		江湖彙報	[伊予国八多喜中教会所長権中教正上田久太郎…]		57	
12	1897	明治30	1		江湖彙報	[権少講義後藤大吉氏は此程北海道より書を…]		59	
12	1897	明治30	1		江湖彙報	[徳島県三好群三縄村大字川崎教会所冬至祭…]		60	
12	1897	明治30	1		江湖彙報	[無病の時家業怠りの事という神誡を能く守り…]		60	
12	1897	明治30	1		広告	7件		62	
12	1897	明治30	1	27	広告	社告2件		64	
13	1897	明治30	2	28		神勅			
13	1897	明治30	2	28		教祖神訓戒			
13	1897	明治30	2	28	社説	謹て新管長を迎へ奉る		1	
13	1897	明治30	2		論説	開闢親論(続)	故大教正森下景端	3	
13	1897	明治30	2		論説	先輩之熱心	備前 河上市蔵	4	
13	1897	明治30	2		道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶	7	
13	1897	明治30	2		道の栞	道乃本巳理(承前)	河上忠晶述	8	
13	1897	明治30	2	28	講演	御分心を傷めな	権少教正三木惟一寄稿	10	
13	1897	明治30	2		史伝	森下景端君伝(承前)	河上市蔵	11	
13	1897	明治30	2		怡神詠	〔和歌 3首〕	故河上忠晶	13	
13	1897	明治30	2		怡神詠	〔漢詩「送花房子虎奉命赴歌陽」ほか3首〕	備前 故成田元美ほか	13	
13	1897	明治30	2		怡神詠	〔和歌「国の教の発行を祝して」ほか23首)	伯耆 岸本繁春ほか	14	
13	1897	明治30	2	28	霊験叢話	奉額面の写	長崎中教所権少教正片山雄三 謹写	16	
13	1897	明治30	2	28	霊験叢話	〔余が家祖父の代より本教に入門し久米郡下…〕	伯耆由良 権訓導山田長太郎	17	
13	1897	明治30	2	28	昆山片玉	劉小官雌雄兄弟	河上市蔵解釈	21	
13	1897	明治30	2		寄書	安斎随筆	権少教正住山宗定	24	
13	1897	明治30	2		寄書	道の衰頽を防かむとす	島田 檣林堂千舟	26	
13	1897	明治30	2		寄書	(承前)	備後 橘高栄吉	28	
13	1897	明治30	2		雑録	出雲問答(承前)	立花筆之助	30	
13	1897	明治30	2		雑録	再生日記(続)	小野弥太郎寄稿	32	
13	1897	明治30	2		江湖彙報	〔前管長黒住宗敬君には本年四十二の御祝歳…〕		34	
13	1897	明治30	2	28	江湖彙報	[在島田三浦直浮氏は其の自著なる哲学講義録…]		34	
13	1897	明治30	2		江湖彙報	[明治三十年一月三十日には孝明天皇の遥拝式…]		35	

13	1897	明治30	2	20	江湖彙報	「明治三十年二月八日英照皇太后陛下御大葬…」		35	1
13	1897	明治30	2		江湖彙報	[英照皇太后御葬儀に付管長は御当日参列…]		36	参列を命じられる
13	1897	明治30			江湖彙報	[右は権中教正上田久太郎氏が児童にも解し…]		36	参列を叩じられる
13	1897	明治30			江湖彙報	[少教正寺川五郎氏より左の書は藤澤先生の…]		37	
		明治30			<u> </u>	「少教正寺川五郎氏より左の書は藤澤元生の…」 広告第一号(管長黒住宗敬辞任につき)	田分数大点		
13	1897						黒住教本庁	40	
13	1897	明治30	2		教報	広告第二号(黒住宗子官長認可につき)	黒住教本庁	40	
13	1897	明治30	2		教報	(教師辞令)	B 12 141 1 1 1 1	40	
13	1897	明治30			教報	告示第一号(教債償還につき29年度後期決算)	黒住教本庁	43	
13	1897	明治30			広告	皇道義会会員募集		43	
13	1897	明治30			広告	卑職義願済ノ上左ノ通改名致シ候ニ付		44	
13	1897	明治30	2		広告	社告2件		45	
14	1897	明治30	3	1		神勅			
14	1897	明治30	3		- 41	教祖神訓誡			
14	1897	明治30	3		国の教	管長殿御親書		1	
14	1897	明治30	3		論説	開闢新論(続)	故大教正森下景端	3	
14	1897	明治30	3		論説	創業守成	備前 河上市蔵	4	
14	1897	明治30	3		道の栞	春川叢書(承前)	故河上忠晶	9	
14	1897	明治30	3		道の栞	道の本巳理(承前)	故河上忠晶	9	
14	1897	明治30	3		講演	足る事を知れ	権少教正三木惟一寄稿	11	贈大教正星島良平の講義
14	1897	明治30	3	1	講演	人知を去て天に任せよ(本誌第拾弐号の続き)	権少教正三木惟一所講	14	
14	1897	明治30	3	1	史伝	森下景端君伝(承前)	河上市蔵	15	
14	1897	明治30	3		怡神詠	〔和歌 13首〕	故河上忠晶ほか	18	
14	1897	明治30	3	1	文苑	〔漢詩「五色詠史一」ほか4編〕	備前 河上市蔵ほか	19	
14	1897	明治30	3	1	文苑	〔和歌「浦鶴」ほか33首〕	讃岐 杉上鎮男ほか	19	
14	1897	明治30	3	1	霊験叢話	〔右橋上益市妻某は明治二十二年十二月…〕	鳥取県浦富小教会所副教幹福 光楽誠	22	
14	1897	明治30	3	1	霊験叢話	〔直管美作国英田郡倉敷小教会所長有勤中…〕	美作 少教正安藤十朗	24	
14	1897	明治30	3	1	霊験叢話	〔右文七儀明治廿七年十二月より…〕	鳥取県東伯郡南谷村大字松河 原村四番屋敷 小倉文七忰小倉 伊蔵 当明治二十九年齢八拾九 歳	25	
14	1897	明治30	3	1	霊験叢話	[古歌に大水の先きに流るるとちからも…]	福井県若狭国遠敷郡今富村大 字湯岡 権中講義上田権平述	27	
14	1897	明治30	3	1	霊験叢話	[昨廿九年十一月廿七日未朋[明]に戸外より…]	尾張国知多郡大谷村丙にて来 田戸 盛田清次郎	31	
14	1897	明治30	3		霊験叢話	[過る明治廿年陰暦九月十二日突然駕籠に…]	権少教正清家一	31	
14	1897	明治30	3	1	霊験叢話	〔伊予国西宇和郡喜須来村…〕	愛媛県西宇和郡喜須来大字喜 木二百九番戸 清家一	33	
14	1897	明治30	3	1	霊験叢話	[予病気の為已に此世を終らんとするを教祖の…]	出雲 長瀬虎三郎	33	
14	1897	明治30	3		昆山片玉	劉小官雌雄兄弟(承前)	河上市蔵解釈	35	
14	1897	明治30	3	1	寄書	〔客日ク御道御信仰ノ御方ハ何レモ質撲ヲ…〕	紀蔦乎	38	黒住教の信仰についての質疑応答
14	1897	明治30	3	1	雑録	再生記(続)	小野弥大郎寄稿	42	
14	1897	明治30	3		雑録	河本先生往事談		42	
14	1897	明治30	3		雑録	〔教祖御在世の時旧藩士にて…〕		44	
14	1897	明治30	3		雑録	〔嘗テ物ノ本ニ見シ心地セラルレド…〕	因幡 白陽子製	44	
14	1897	明治30			江湖彙報	〔管長黒住宗子殿の去月廿三日を以て…〕	1 1	45	管長就任
-							·		

14	1897	明治30	3	1	江湖彙報	「[来四月一日より十日間大坂府河内国飯盛山…]		46	四条畷神社
14	1897	明治30	3		江湖彙報	[一葦帯水を隔てて外教は駸々をして…]		48	口术吸作证
14	1897	明治30	3		江湖彙報	[本月廿三日より同廿八日に至るまで七日間…]		50	 管長就任式・祝祭の挙行
14	1897	明治30	3		江湖彙報	[同廿四日は例年の通り教祖祭執行の日なる…]		50	官長就任式・机宗の宇门
		明治30				[同廿五日は県社今村宮へ神幸の列日なれば…]			
14	1897		3		江湖彙報			51	
14	1897	明治30	3		江湖彙報	〔備後国権訓導下村重慶氏より惟神歌琴譜と…〕		51	
14	1897	明治30	3		江湖彙報	[野崎在善ハ氏近年中風の症にて…]		53	
14	1897	明治30	3		江湖彙報	小学読本二篇上の手毬歌に習ひて	不尽廼舎旭子うたふ	53	
14	1897	明治30	3		江湖彙報	皇陵巡拝道之栞(承前)	FT 12 48 1 4	53	
14	1897	明治30	3		教報	告示第二号(大元献備講則第九条修正につき)	黒住教本庁	56	
14	1897	明治30	3		教報	(明治30年2月分教師辞令)		57	
14	1897	明治30	3	1	社告	(『国の教』の郵送などについての広告)	国の教社	57	
14	1897	明治30	3	1	正誤			57	第13号についての正誤
15	1897	明治30	4	30		神勅			
15	1897	明治30	4	30		教祖神訓誡			
15	1897	明治30	4		国の教	管長殿御新書釈義		1	
15	1897	明治30	4	30	論説	開闢教諭(続)	故森下景端	7	
15	1897	明治30	4	30	道の栞	春川叢書(承前)	故河上忠晶	9	
15	1897	明治30	4		道の栞	道の本巳理(承前)	故河上忠晶	9	
15	1897	明治30	4	30	講演	万国統一論講録	神戸中教会副長宮前小教会所 在勤権中教正住山宗定述	12	
15	1897	明治30	4	30	史伝	森下景端君伝拾遺	河上市蔵	14	
15	1897	明治30	4	30	怡神詠	〔和歌 2首〕	故河上忠晶	19	
15	1897	明治30	4		文苑	〔漢詩「蕃山先生二百年祭献奠」・和歌 10首〕	備前 河上市蔵ほか	19	
15	1897	明治30	4		霊験叢話	〔余は岡山県磐梨郡瀉瀬村に起居し…〕	備前 少講義川崎利三郎	21	
15	1897	明治30	4		霊験叢話	〔教祖神詠に「古へも昔しも今も此頃も…〕	美作 少教正安藤十朗	22	
15	1897	明治30	4		霊験叢話	〔岡山県美作国東南条郡高野村大字本郷…〕		24	
15	1897	明治30	4		霊験叢話	[鳥取県気高郡伏野村田中熊蔵…]		25	
15	1897	明治30	4		霊験叢話	〔私は去る明治十二年春方より…〕	備前赤坂郡西高月村大字馬屋	26	
		///					加藤正貴 未ノ歳三十二才		
15	1897	明治30	4		霊験叢話	〔私儀家内一同過る明治廿三年一月廿三日…〕	北海道石狩国空知郡岩見沢村 東拾一番地 士族田川豊蔵妻タ ミ 当年三十五歳	27	
15	1897	明治30	4		昆山片玉	劉小官雌雄兄弟(承前)	河上市蔵解釈	28	
15	1897	明治30	4		寄書	果報ハ練ッテ待テ	備後 橘高栄吉	31	
15	1897	明治30	4	30	雑録	河本先生往事談(承前)		32	
15	1897	明治30	4	30	江湖彙報	〔英照皇太后御百日祭は去る二十日御執行…〕		33	
15	1897	明治30	4	30	江湖彙報	〔諺にも毒薬変じて良薬となるとあり…〕		35	
15	1897	明治30	4		江湖彙報	[釈の雲照律師は教意孔通の為にとて関西を…]		36	
15	1897	明治30	4		江湖彙報	[氷川老伯が世界に悠々として時に警語を吐き…]		36	
15	1897	明治30	4		江湖彙報	哲学講義(承前)	島田 三浦直浮	38	
15	1897	明治30	4		江湖彙報	[不尽廼舎旭子ぬしは七拾八才の高齢なるも…]		42	
15	1897	明治30	4		江湖彙報	〔備前邑久郡朝日村大字片岡松翠軒河本森吾…〕		45	
15	1897	明治30	4		教報	[本年教祖祭大教会所神前二於テ天心号拝戴…]		45	
15	1897	明治30	4		教報	三月分教師任命		45	
15	1897	明治30	4		社告	3件		49	
10	1007	-77/LI 00		1 00	11-12	11		70	

16	1897	明治30	5	21	神勅	T			
\vdash		明治30	5						
	1897		5		教祖神訓誡				
	1897	明治30	5		国の教	管長殿御新書釈義(承前)		1	
	1897	明治30	5		論説	開闢新論(承前)	故森下景端	5	
	1897	明治30	5		道の栞	道の本巳理(承前)	故河上忠晶	8	
16	1897	明治30	5		講演	万国統一論講録	神戸中教会副長宮前小教会所 在勤権中教正住山宗定述	10	
16	1897	明治30	5		史伝	森下景端君伝拾遺(承前)	備前 河上市蔵	14	
16	1897	明治30	5		怡神詠	自愉永言	故河上忠晶詠・男河上市蔵述儀	17	
16	1897	明治30	5		怡神詠	〔和歌「日拝のときに」ほか5首〕	伊予 少教正三瀬伊豆戈ほか	18	
16	1897	明治30	5		文苑	〔漢詩「浪華懐石」・和歌「寄郭公述懐」ほか22点〕	河上市蔵ほか	19	
16	1897	明治30	5	31	霊験叢話	産土神に祈りて風癲常に復す	鳥取県元八橋郡下郷村大字杉 下村 手島長次郎妻教導職試補 生田いよ	21	
16	1897	明治30	5		霊験叢話	神徳愛児の死を回わす	土佐国幡多郡奥内村大字弘見 五十六番邸黒住教内小教会所 所長 安田隆慶	23	
16	1897	明治30	5	31	霊験叢話	妊婦回生の御蔭を得	右組内信徒総代角田清・丸尾栄	24	
16	1897	明治30	5		霊験叢話	夢中神告を得	岡山県美作国勝南郡南和気村 大字松尾 忰藤田久子·藤田弘	25	
16	1897	明治30	5	31	霊験叢話	盤石に挫かれたる足部	高知県平民吾川郡池川村大字 土居八番屋敷 安部元吉 嘉永 六年十一月五日生	28	
16	1897	明治30	5	31	霊験叢話	万死に一生を得たる御蔭		30	
16	1897	明治30	5	31	昆山片玉	劉小官雌雄兄弟(承前)	河上市蔵解釈	31	
16	1897	明治30	5	31	寄書	皇国々体之説	伊予 少教正三瀬伊豆戈	35	
16	1897	明治30	5	31	寄書	大道論	因幡小畑山 信徒尾崎武二	36	
16	1897	明治30	5	31	寄書	高弟諸君に問ふ	美作 大講義友広忠光	38	
16	1897	明治30	5	31	寄書	新管長閣下の御新書並に川上大人の論説を読て感 銘し愚意を述ふ	遠江引佐郡中川村 権少義片桐 重辰	39	
16	1897	明治30	5		雑録	河本先生往事談		40	
16	1897	明治30	5		雑録	山本中教正の旧話		43	
16	1897	明治30	5		雑録	再生記(続)	小野弥太郎寄稿	44	
16	1897	明治30	5	31	江湖彙報	[鳥取県浦富小教会所にては去る四月十四日…]		45	
16	1897	明治30	5	31	江湖彙報	[各宗教家が台湾の新版図に飛釈して其宗旨を…]		46	
16	1897	明治30	5		江湖彙報	[只私利あるを知って公衆を益するを知らず…]		48	
16	1897	明治30	5		江湖彙報	〔故高見武夫氏は旧岡山藩士にして…〕		50	
16	1897	明治30	5		江湖彙報	〔東京由斯会員米田熊蔵氏は三社の神託を…〕		53	
16	1897	明治30	5		教報	庁令第一号(宗家修繕並に大教会所建築工事方案 規定につき)	黒住教本庁	54	
16	1897	明治30	5		教報	庁令第二号(本庁歳出総予算外特別支出会計方案 規定につき)	黒住教管長黒住宗子	55	
16	1897	明治30	5		教報	庁令第三号(宗忠神社明治三十年度歳入歳出予算 案につき)	黒住教管長黒住宗子	56	
16	1897	明治30	5		教報	四月分教師任命		57	
16	1897	明治30	5	31	広告	社告1件		58	寄付金につき

10	1007	пп://oo	-	0.1	±#	4 14		F0	
16	1897	明治30			広告	1件		58	
17	1897	明治30	6		神勅				
17	1897	明治30	6		教祖神訓誡				
17	1897	明治30	6		国の教	管長殿御新書釈義(承前)		1	
17	1897	明治30	6		論説	黒住教修道ノ要訣	故森下景端	5	
17	1897	明治30	6		道の栞	道の本巳理(承前)	故河上忠晶	7	
17	1897	明治30	6		道の栞	時尾先生手記	権少教正大西定一寄稿	8	
17	1897	明治30	6	30	講演	万国統一論講録	神戸中教会副長宮前小教会所在勤権中教正住山宗定述	9	
17	1897	明治30	6	30	史伝	小原正義の話	備前 河上市蔵	14	
17	1897	明治30	6		怡神詠	自愉永言	故河上忠晶詠・男河上市蔵述義	17	
''	1007			00	III IT DV		以为工心品所 为为工作成定我	.,	
17	1897	明治30	6		怡神詠	〔和歌「行路神拝」ほか5首〕	伊予 少教正三瀬伊豆戈ほか	20	
17	1897	明治30	6		文苑	〔漢詩「解官」・和歌「帰樵渡橋図」ほか40点〕	備前 故成田元美ほか	20	
17	1897	明治30	6	30	霊験叢話	信心血塊を治癒す	鳥取県因幡国岩井郡本庄村ノ内	23	
							坂上村 中山善三郎妻権少講義		
							中山しの 明治三十年五十九歳		
17	1897	明治30	6	30	霊験叢話	身命を神明に一任して御蔭を得たり	兵庫県淡路国津名郡生穂村内 長沢村 高田甚吉	24	
17	1897	明治30	6	30	霊験叢話	霊験を感じて歌を詠ず	高知県長岡郡長岡村 後免小教	25	
							会所部下信徒池上国満		
17	1897	明治30	6	30	霊験叢話	夢想の告に因りて病婦の病を治す	鳥取県伯蓍国東伯郡南谷村大	27	
							字泰久寺 日野徳平母ちやう		
							六十八歳		
17	1897	明治30	6	30	霊験叢話	七条の訓誡を誦して神助を得	伊予国周桑郡田野村大字高松 教導職試補山内伊三郎	29	
17	1897	明治30	6	30	昆山片玉	劉小官雌雄兄弟(承前)	河上市蔵解釈	30	
17	1897	明治30	6	30	寄書	我国ノ大道ヲ論ズ	備中阿賀郡呰部 平喜太三	36	
17	1897	明治30	6	30	寄書	大道論(承前)	因幡小畑山 信徒尾崎武二	37	
17	1897	明治30	6		寄書	感余小言	筑前福岡 海妻甘蔵	40	
17	1897	明治30	6		雑録	河本先生往事談		41	
17	1897	明治30			雑録	山本中教正旧話		44	
17	1897	明治30	6		雑録	再生記(続)	小野弥太郎寄稿	45	
17	1897	明治30	6		江湖彙報	[管長殿の御職に御勉励在らせらるるは…]		47	
17	1897	明治30	6		江湖彙報	[管長御就任の奉祝祭は何れの地にても盛ん…]		47	
17	1897	明治30	6		江湖彙報	[其根を印度の絶域に発して其枝葉は…]		48	
17	1897	明治30	6		江湖彙報	[新条約実施後外人の内地雑居するの期は…]		48	条約改正により内地雑居が決まったので、準備として
									新しく市に編入される土地1500坪を買収し、伊勢神宮 に準ずる神社を作るべき
17	1897	明治30	6	30	江湖彙報	[又京都建仁寺に於ても各宗は其方丈に相会し…]		49	内地雑居によって、今までは各宗総会に参加しなかっ
'	1007	917000	•	00	7_707.X.TK	(人水部是巨寸)C水(6日水164人)人(C旧五6)		10	た真言宗も参加して、今度文部省より発布されると考
									えられる寺院法へ全宗派の願いを反映させるため一
									致団結し建議する必要がある
17	1897	明治30	6		江湖彙報	〔風に靡き雨に悩む柔弱女流にして…〕		49	
17	1897	明治30	6		江湖彙報	〔艱難辛苦は人を黄金に化するの母なり…〕		50	
17	1897	明治30	6	30	江湖彙報	〔天渟中源瀛眞人天皇の御宇壬辰の御戦に…〕		53	
17	1897	明治30	6	30	江湖棠報	L大冷中源瀛眞人天皇の御宇士辰の御戦に…]		53	

17	1897	明治30	6	30	江湖彙報	[故星嶋大人の碩徳博学なりしは…]		54	故星嶋大人の農業談話の紹介
17	1897	明治30	6		江湖彙報	[世に狐憑と号する奇病あるは古来よりの事…]		55	以生鳴八八の辰未改品の相月
17	1897	明治30	6		江湖彙報	[国の教は固より営利的雑誌にあらざるは…]		56	
17	1897	明治30	6		本庁告文		里住粉管長里住字子	56	
17	1897	明治30	6		教報	建築彙報ノ要項	<u> </u>	58	
17	1897	明治30	6		教報	四月分教師授令(承前)		58	
17	1897	明治30	6		広告	社告1件		60	寄付金につき
17	1897	明治30	6		広告	2件		60	問け並につこ
18	1897	明治30	7		神勅				
18	1897	明治30	7		教祖神訓誡				
18	1897	明治30	7		国の教	管長殿御新書釈義(承前)		1	
18	1897	明治30	7		道の栞	道の本巳理(承前)	故河上忠晶	6	
18	1897	明治30	7		道の栞	訓誡七箇条の意訳	故森下景端	7	
18	1897	明治30	7		道の栞	[此の申合なるものは故赤木忠春先生備中の…]	広島県同市幟町 小教会所副長 中講義惣兵衛	8	赤木忠春が備中国に布教した際に門下を誡めるために伝えた「申合」を掲載
18	1897	明治30	7	30	講演	誠の心伝講録抜萃	権少教正三木惟一所講	8	
18	1897	明治30	7	30	史伝	野間守正の話	河上市蔵	11	
18	1897	明治30	7	30	怡神詠	自愉永言	故河上忠晶詠•男河上市蔵述義	14	
18	1897	明治30	7		文苑	〔漢詩「森下竹堂翁芳蹟詩」3編〕	河上市蔵ほか	17	
18	1897	明治30	7		文苑	[和歌「日本魂をおもひて」ほか5首]	神戸 住山宗定ほか	18	
18	1897	明治30	7		霊験叢話	前非を悔て歌を贈る	阿波国那賀郡見能林村 真田為吉	18	
18	1897	明治30	7	30	霊験叢話	説教を聴て信心の志を堅ふす	島根県出雲国能美郡能義村大字吉岡千四拾八番屋敷 持田多助	19	
18	1897	明治30	7		霊験叢話	一心決定の效広大の御蔭顕はる	鳥取県黒住教高艸少教会所名 簿係岡本安太郎	22	
18	1897	明治30	7		昆山片玉	劉小官雌雄兄弟(承前)	河上市蔵解釈	24	
18	1897	明治30	7		寄書	敬神説	六等司業三瀬長世	27	
18	1897	明治30	7		寄書	大道論(承前)	因幡小畑山 信徒尾崎武二	28	
18	1897	明治30	7		寄書	多数の教職及読者諸氏に望む	嶋田 檣林堂千舟	32	
18	1897	明治30	7		雑録	河本中教正往時談		33	
18	1897	明治30	7		江湖彙報	北海道の葡萄に就きて	石狩国 後藤雪竹	35	
18	1897	明治30	7		江湖彙報	[中国有名なる祭典として往古より施行せられし…]		37	
18	1897	明治30	7		江湖彙報	〔敷島の日本心を人間ははと雄々しき心を…〕		38	
18	1897	明治30	7		江湖彙報	[蒙古の堅艦を西洋の波底に覆へし百万の…]		38	
18	1897	明治30	7		江湖彙報	[本願寺派の布教に熱心にして或は其徒を海外…]		39	
18	1897	明治30	7		江湖彙報	[青雲の向伏す限り谷蝦蟆の挟渡る限み…]		40	長崎に来遊していたアメリカ人・ドイツ人合わせて20名 余りが大社教会に加入
18	1897	明治30	7		江湖彙報	[伝道の傍ら慈善を施して人心を収攬するを…]		40	キリスト教宣教師につき
18	1897	明治30	7		江湖彙報	〔近江聖人を以て称せられし中江藤樹先生は…〕		41	
18	1897	明治30	7		本庁告文	告示第五号(教債償還法第二条蓄積金三十年前期決算につき)	黒住教本庁	41	
18	1897	明治30	7		教報	大教会所建築寄附		41	
18	1897	明治30	7		教報	(明治30年6月分教師任命)		42	
18	1897	明治30	7	30	社告	1件		44	寄付金につき

18	1897	明治30	7	30	広告	1件		44	
19	1897	明治30	8		神勅	111			
19	1897	明治30	8		教祖神訓誡				
19	1897	明治30	8		社説	教祖之予言		1	
19	1897	明治30	8		論説	皇道ノ大意	故正五位森下景端	4	
19	1897	明治30	8		道の栞	或人の問に答たる趣	故河上忠晶	7	
19	1897	明治30	8		講演	誠の心伝講録抜萃(承前)	権少教正三木惟一所講	9	
19	1897	明治30	8		史伝		河上市蔵	12	
19	1897	明治30	8		怡神詠	楽しみあり共くらてうき事をうくとのみくる人はつたなく		16	
19	1897	明治30	8		文苑	〔漢詩「森下竹堂翁芳蹟詩」・和歌「晩夏露」ほか24 点〕	河上市蔵ほか	18	
19	1897	明治30	8	30	霊験叢話	不信者改心して御蔭を受く	美作国古町小教会所詰大講義 友広忠光	21	
19	1897	明治30	8	30	霊験叢話	産後の婦御蔭を受く	美作 安藤十朗	23	
19	1897	明治30	8		霊験叢話	禁厭咽喉の腫物を治す		24	
19	1897	明治30	8	30	霊験叢話	至誠夢想を感ず	鳥取県東伯郡南谷村大字松河 原 平民小倉伊蔵父小倉文七 当明治三十年齢九十歳	25	
19	1897	明治30	8	30	昆山片玉	劉小官雌雄兄弟(承前)	河上市蔵解	27	
19	1897	明治30	8	30	寄書	大道論(承前)	因幡小畑山 信徒尾崎武二	29	
19	1897	明治30	8	30	寄書	多数の教職及読者諸氏に望む(承前)	島田 檣林堂千舟	30	
19	1897	明治30	8		寄書	生々トハ何ゾ	紀蔦乎	32	
19	1897	明治30	8	30	寄書	安斎随筆	権中教正住山宗定	32	
19	1897	明治30	8		雑録	河本中教正往時談		33	
19	1897	明治30	8		江湖彙報	筑前赤間小教会所長田中新右衛門氏よりの報知		36	
19	1897	明治30	8	30	江湖彙報	[生き通しは本教の教旨なるが…]		37	
19	1897	明治30	8		江湖彙報	[神風新版土を吹きて草木悉く…]		38	台湾国語学校の修学旅行で日比谷大神宮月次祭へ
19	1897	明治30	8	30	江湖彙報	[人肉を啖ひ其骨を噛むに至つては…]		38	ペトリー氏のエジプト墳墓の調査につき
19	1897	明治30	8		教報	[大教正黒住宗敬君七月五日但馬国水口中教会所 …]		39	管長就任式、教派内有志の相談会における布教拡大 策の管長口演
19	1897	明治30	8		教報	七月分教師辞令(権中教正~試補)		41	
19	1897	明治30	8		社告	社告	国の教社	43	
19	1897	明治30	8	30	広告	2件		44	
20	1897	明治30	9		神勅				
20	1897	明治30	9		教祖神訓誡	日々家内心得之事			
20	1897	明治30	9		本庁告文	告示第六号(黒住教大教会所建築寄附法)	黒住教本庁	1	
20	1897	明治30	9		社説	外観自警		2	
20	1897	明治30	9		論説	道体大意	故河上忠晶	6	
20	1897	明治30	9		道の栞	或人の問に答たる趣(承前)	故河上忠晶	8	
20	1897	明治30	9		講演	誠の心伝講演抜萃	権少教正三木惟一所講	10	
20	1897	明治30	9		史伝	礒丸伝	芳野金陵著	14	因幡 尾崎武二寄贈
20	1897	明治30	9		怡神詠	心たに足らは万の物ともはたらても富いふへかりけり	故河上忠晶 · 男河上市蔵述義	16	
20	1897	明治30	9		文苑	開闢想像小詩節録六首	故森下景端	18	
20	1897	明治30	9	30	文苑	〔和歌「秋旅行」ほか21首〕	近衛忠煕ほか	18	

20	1007	明治30	0	20	霊験叢話	正直の徳大病快復す	宮崎県東臼杵郡北郷村大字宇	19	1
20	1897	明冶30	9	30	盖 映	上旦の個人病状後9		19	
			_		T 50 W 50		-		
20	1897	明治30	9	30	霊験叢話	平生の篤信病魔も動かす事能わず	大阪市西区北堀江通六丁目 手	24	
							塚平右衛門妻歌子		
20	1897	明治30	9		昆山片玉	鎮魂頌	故河上忠晶·男河上市蔵述義	26	
20	1897	明治30	9		寄書	大道論(承前)	因幡小畑山 信徒尾崎武二	30	
20	1897	明治30	9		寄書	生々トハ何ゾ(承前)	備後 紀蔦乎	32	
20	1897	明治30	9		寄書	天地神人万物組織之原理考	権中教正住山宗定講述	33	
20	1897	明治30	9	30	寄書	名ノ貴重ナルコトヲ論究シテ斯道拡張ニ熱心ナル諸	備中国阿賀郡砦部村 平喜太三	36	
						君ノ猛省ヲ望ム			
20	1897	明治30	9		寄書	本教の立脚地	三瀬長世	37	
20	1897	明治30	9	30	雑録	故宮宅重造先生の筆記		39	
20	1897	明治30	9	30	江湖彙報	〔本教管長殿には県下上下道邑久和気三郡の…〕		41	管長の教会所・説教所等巡回
20	1897	明治30	9	30	江湖彙報	〔大教正黒住宗敬君には鳥取県高草小教会所…〕		41	
20	1897	明治30	9	30	江湖彙報	[国の為めとて梓弓引て還らぬ決死の壮丁を…]		41	幸田成延翁、千島択捉渡航
20	1897	明治30	9	30	江湖彙報	〔掛巻も綾に畏こき伊勢大廟は二十年目に…〕		42	伊勢神宮造替に名古屋御料林
20	1897	明治30	9		江湖彙報	〔我国古器物…〕		42	弥彦神社古器物
20	1897	明治30	9		江湖彙報	[往古より風習とて神仏の祭事には種々なる…]		43	日野町上野田の火祭
20	1897	明治30	9		江湖彙報	[疇昔に英照皇太后の御崩御在らせらる、…]		43	釜山新聞の居留地の報道
20	1897	明治30	9		江湖彙報	〔丈夫の志たるや老ては益壮なるべしとは…〕		44	丸山作楽の事績
20	1897	明治30	9		江湖彙報	[神明より賜りたる天賦の御文心は…]		44	
20	1897	明治30	9		江湖彙報	[志気一到金石皆透る男児決心何の業か…]		45	貧困学生の出世譚
20	1897	明治30	9		江湖彙報	[聖名の深仁厚沢は漸次に新版図を風靡…]		46	台湾人民教化
20	1897	明治30	9		江湖彙報	[寿永の昔し西海の浪に十年栄華の夢を…]		46	『日本』新聞の槻廼舎主人「安徳天皇御陵考(一)」転
		77.1							載
20	1897	明治30	9	30	教報	大教会所建築寄附者		48	
20	1897	明治30	9		教報	教会講社説教所異動理由書		50	
20	1897	明治30	9		教報	八月分教師辞令		50	
20	1897	明治30	9		社告	1件		52	
20	1897	明治30	9		広告	2件		52	
21	1897	明治30			神勅	-11			
21	1897	明治30			訓誡	教祖神訓誡			
21	1897	明治30			本庁告文	[教師醵金ハ本教維持費ノ重ナル財源ニシテ…]	黒住教本庁財務課	1	従来免除してきた教師負担金を義務化、教師の職・氏
- '	1007	91700		٥.	777 62	(沃斯岛 亚、州·沃州山) 莫、至)////////////////////////////////////	W [12/1-/1] W 13/10/10	•	名届出の徹底につき
21	1897	明治30	10	31	社説	温故之感		2	1/11/19/19/19/19
21	1897	明治30			論説	道体大意(承前)	故河上忠晶	7	
21	1897	明治30			道の栞	或人の問に答たる趣(承前)	故河上忠晶	8	
21	1897	明治30			講録	獅子の頣	岡山逍遥軒	10	
21	1897	明治30			史伝	一切のでは 菅原道賢先生伝	備前 森督太	13	
21	1897	明治30			光 仏 怡神詠			16	
21	1897	明治30			文苑	[漢詩 6編・和歌 23首]	横中呰部 平仏堂ほか	19	
41	100/					に天可 の帰った日」		יטו	「
21	1897	明治30	10	31	霊験叢話	品行を改て奇瑞を受く	伊予国上浮穴郡明神村大字明	21	
					- ma		神手島丈平		
21	1897	明治30	10	31	霊験叢話	決死の病者再生の御蔭	出雲国八東郡波入村 柏木文七	23	

21	1897	明治30	10	31	霊験叢話	神明に一任して乳下の塊を治す	広島県士族広島市字幟町二百 ニーナ六番邸 野村らく長女野村	24	
							ます		
21	1897	明治30	10	31	昆山片玉	鎮魂頌(承前)	故河上忠晶·男河上市蔵述義	25	
21	1897	明治30			寄書	天地神人万物組織之原理考(承前)	権少教正住山宗定	29	
21	1897	明治30	10		寄書	神言則憲法起原新論	少教正神崎盛則	31	
21	1897	明治30	10	31	寄書	哲学解義	怡神詠檣林堂千舟	33	
21	1897	明治30			雑録	歌道に就て	三瀬長世	35	
21	1897	明治30	10	31	雑録	故宮宅重造先生の筆記(承前)		36	七尾教会所設立経緯
21	1897	明治30			江湖彙報	[石川県能登国鹿島郡徳田村字国分…]		38	
21	1897	明治30			江湖彙報	[姫路小教会所副長心得中島杣三氏…]		39	黒住教本庁総理岩下方平より賞状
21	1897	明治30			江湖彙報	黒住教札幌仮設教所沿革	仲元寺少教正	39	
21	1897	明治30			江湖彙報	仲元寺少教正北海道布教始末	仲元寺治忠	40	
21	1897	明治30			教報	十月分教師辞令		43	
21	1897	明治30			社告	2件		45	
21	1897	明治30			広告	4件		46	帝国地史編制補助賛成員募集、大日本名誉録、黒住教御定宿
22	1897	明治30							
22	1897	明治30	11		教祖神訓誡	日々家内心得之事			
22	1897	明治30			本庁告文	告示第五号(本部各課長任命・会計担当者委嘱)		1	
22	1897	明治30		30	社説	祇順天命		3	
22	1897	明治30			論説	道体大意(承前)	故河上忠晶	6	
22	1897	明治30			道の栞	黒住先生に奉り教をこふ文	故河上忠晶	8	
22	1897	明治30			講演	教祖神詠	権少教正三木惟一	10	
22	1897	明治30			史伝	繕路翁小伝	因幡八頭郡 尾崎古愚	12	
22	1897	明治30			怡神詠	志道三大意を菅原道彦に貽る時巻の奥に書つく	故河上忠晶	14	
22	1897	明治30			文苑	〔漢詩 8編·和歌 17首〕	備中呰部 平仏堂ほか	15	「読三島中洲先生侍陪 皇太子面謁日光廟途中之詩 与 皇太子之御作恭奉歩我 皇之玉韻二首」ほか
22	1897	明治30	11	30	霊験叢話	病は道の入口	愛媛県伊予国温泉郡粟井村 大森又蔵	17	
22	1897	明治30			霊験叢話	至誠の心願神明感応す		19	
22	1897				霊験叢話	慈母の至愛感応を受く		20	
22	1897	明治30			昆山片玉	鎮魂頌(承前)	故河上忠晶•男河上市蔵述義	21	
22	1897	明治30			寄書	天地神人万物組織之原理考	権中教正住山宗定	23	
22	1897	明治30				神言則憲法起原新論(承前)	少教正神崎盛則	26	
22	1897	明治30			寄書	哲学解義録(承前)	島田 檣林堂千舟	27	
22	1897				寄書	秋感小言	三瀬長世	29	
22	1897				雑録	なつせみ ほか8件	作者未詳(小畑山 木犀居主人 識)ほか	32	
22	1897				江湖彙報	〔管長黒住宗子殿には今般出雲国…〕		33	黒住宗子、日御崎神社宮司三女美波子との「本教の神式を以て華燭の典」
22	1897				江湖彙報	仲元寺少教正北海道布教始末(承前)		34	
22	1897	明治30			江湖彙報	船木瓜生西宗萩原四氏の熱心		35	
22	1897	明治30			江湖彙報	[西宗元次郎君は広島県豊田郡忠海村の人…]		36	
22	1897	明治30			江湖彙報	[島根県八頭郡河原村河原小教会所萩原勤務…]		36	本誌購読者勧誘
22	1897	明治30	11	30	教報	大教会所建築寄附		36	

22	1897	明治30	11	30	数据	十月分教師授令		37	補中教正~試補
22	1897				教報	十月分教師異動		39	TH 十字太正 ** 5以下出
22	1897	明治30	11	30	秋 和 計 生	2件		39	 建築寄附金3円以下本誌掲載せぬ旨、ほか
22	1897	明治30	11	30	広告	5件		39	冬至大祭当日の大懇親会など
23	1897				神勅	JT		39	マ主八宗ヨロの八恋杭去なと
23	1897				教祖神訓誡	日々家内心得之事			
23	1897	明治30			本庁告文	日本家内心特と事	黒住教本庁	1	 教師任命など
23	1897				本庁告文	庁令第八号	黒住教本庁	2	宮中喪中につき年賀式を謹慎
23	1897	明治30			社説		<u> </u>	2	古中女中にフピー員式を建模
23	1897				論説	道体大意(承前)	故河上忠晶	5	
23	1897				道の栞	黒住先生に奉り教をこふ文(承前)	故河上忠晶	7	
23	1897	明治30			講演	宝玉の山	岡山逍遥軒	9	
23	1897				史伝	浦島子伝考証	雪恵生	11	
23	1897				怡神詠	[和歌 3首]	黒住教故管長黒住宗篤ほか	13	「道」ほか
23	1897				怡神詠	修行百首(承前)	贈大教正星島良平	14	
23	1897				文苑	[漢詩 3編·和歌 20首]	正三位子爵杉孫七郎ほか	14	
23	1897				霊験叢話	快復を感謝して書冊を頒つ	岡山県備中国賀陽郡生石村大	16	
23	1097						字小山字馬揃二十一番邸 平民 宮宅賛治郎	10	
23	1897	明治30	12	31	霊験叢話	病苦を忘れて後病苦を免る	美作国英田郡楢原村大字楢原 上百番邸 黒田弥平妹 黒田か の	19	
23	1897	明治30	12	31	霊験叢話	既死の病者即坐の神徳を受く	高知県長岡郡西豊永村大字寺 内百七番屋敷 権訓導大利槌太 郎	21	
23	1897				霊験叢話	神徳霊験 神告に依て蘇生の御蔭を受く	鳥取県西伯郡賀野村大字御内 谷村三十三番屋敷 梅原麻四郎 妻四級信徒野阪まさ	22	
23	1897				昆山片玉	鎮魂頌	故河上忠晶·男河上市蔵述義	23	
23	1897	明治30				神言則憲法起原新論(承前)	少教正神崎盛則	27	
23	1897				寄書	神勅ヲ拝誦シテ	紀蔦乎	29	
23	1897	明治30			寄書	本教発光論(其一)	権少講義後藤大吉	31	
23	1897				寄書	教祖宗忠神御講釈の次第故少教正直原伊八郎君筆 記ありし儘爰に掲げて諸君の賢覧に備ふ	美作国 大講義友広忠光	33	
23	1897	明治30				天地神人万物組織之原理考(承前)	権中教正住山宗定	36	
23	1897	明治30			江湖彙報	[本月廿一日は例年の通り冬至祭を挙行せられ…]		37	
23	1897	明治30			江湖彙報	仲元寺少教正北海道布教始末(承前)		39	
23	1897	明治30			江湖彙報	井上頼囶翁の断片(一)		39	
23	1897	明治30			江湖彙報	[因幡国高草小教会所ニテハ過ルニ十一日…]		42	
23	1897				教報	十一月分教師辞令		42	補権少教正~試補
23	1897	明治30			教報	十一月分教師異動		45	
23	1897	明治30			教報	大教会所建築寄附		45	
23	1897				社告	2件		46	
23	1897	明治30			広告	7件		47	吉備楽和楽会規則ほか
24	1898	明治31			神勅				
24	1898	明治31	1	31	教祖神訓誡	日々家内心得之事			

24	1898	明治31	1	21	本庁告文	告示第一号(特派宣教使条例)	黒住教本庁	1	全18条
24	1898	明治31	1		本庁告文	古小第一方(行派直教使未例) 告示第二号	黒住教本庁	3	会計担当者の任免につき
24	1898	明治31	1		聖哲偉言	ロバポータ [教祖曰。夫去疾病。道之緒余。…]	<u> </u>	<u>5</u>	去計型当省の住尤につき
24	1898	明治31	1		社説	「会社」の「大名人」」の「大名人」」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」」の「大名人」」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」」の「大名人」の「大名人」の「大名人」」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名」」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」」の「大名人」の「大名人」の「大名人」の「大名人」」の「大名人」の「大名人」の「大名人」」の「大名人」」の「大名人」の「大名人」の「大名人」」の「大名人」の「人」」の「大名人」」の「人」」の「大名人」」の「人」」の「人」」の「人」」の「人」」の「人」」の「人」」の「人」」の		7	
24	1898	明治31	1		論説	道体大意(承前)	故河上忠晶		
24	1898	明治31	1		道の栞	百二十言	以州工心 相	13	
24	1898	明治31	1		道の栞	ローT 百 春川叢書(承前)	故河上忠晶	14	
	1898	明治31	1		講演	美人と醜婦	岡山逍遥軒	16	
24	1898	明治31	1		史伝	天人と師州	雪恵生	19	
24	1898	明治31	1		怡神詠	相島于伝考証(承前)	故河上忠晶·男河上市蔵述義	20	
24	1898	明治31	1		怡神詠	日間が日 修行百首(承前)	贈大教正星嶋良平	22	
24	1898	明治31	1		文苑	[漢詩 2編·和歌 20首]	周八教正生鳴及十 海舟勝安房ほか	22	 「三十一年一月告于故南洲翁之墓前」ほか
24	1898	明治31	1		霊験叢話	(支討 2 mm・ 和歌 20目) 霊夢の奇瑞	岡山市木庭市長大字中屋敷九	24	「二十一年一月百丁政府が弱之奉前」はか
			'				拾八番邸 小野平治妻栄		
24	1898	明治31	1		霊験叢話	遠征の人黒死病を免る	台湾高等法院在勤佐藤茂七	25	
24	1898	明治31	1	31	霊験叢話	生通しの説教を聞て病魔を払ふ	高知県吾川郡池川村字竹ノ谷九 十一番地 西川伊三郎	27	
24	1898	明治31	1	31	昆山片玉	鎮魂頌(承前)	故河上忠晶•男河上市蔵述義	28	
24	1898	明治31	1		寄書	神勅考証	少教正小野弥太郎	31	
24	1898	明治31	1	31	寄書	本教発光論(承前)	権少講義後藤大吉	33	
24	1898	明治31	1		寄書	明治三十壱年大御代と吾国の教文を祝して	兵庫 権中教正住山宗定	34	
24	1898	明治31	1	31	寄書	無比の名教を外道視せらるる勿れ	檣林堂千舟	35	
24	1898	明治31	1		雑録	河本先生往事談		37	
24	1898	明治31	1	31	雑録	故三宅重造先生筆記		40	
24	1898	明治31	1		雑録	養痾漫録	備中 平仏堂	40	
24	1898	明治31	1		江湖彙報	[一月一日は例年なれば本庁職員を初め…]		40	宮廷葬儀で本庁祝賀式中止
24	1898	明治31	1		江湖彙報	仲元寺少教正北海道布教始末(承前)		40	
24	1898	明治31	1		江湖彙報	〔明治三十一年一月二十八日に当り岡山市中…〕		43	
24	1898	明治31	1		江湖彙報	〔能登国柴田暉煕氏より同国風俗の事に付…〕		44	
24	1898	明治31	1		江湖彙報	井上頼圀翁の断片(承前)		44	
24	1898	明治31	1		江湖彙報	[赫々たる瑞穂の国神徳稜威の及ふ所…]		46	参宮道者の数
24	1898	明治31	1		教報	〔本月九日ヨリ三日間於本庁第一回取締会ヲ…〕		46	取締会規定·会則
24	1898	明治31	1		教報	〔来ル三月教祖祭前後ヲ期シ本庁ハ…〕		48	各所講正副長談話会
24	1898	明治31	1		教報	〔客年末寺川八木ノ両臨時課長ヲシテ長ク…〕		48	
24	1898	明治31	1		教報	十二月教師辞令		48	
24	1898	明治31	1		教報	大教会所建築寄附		49	
24	1898	明治31	1		広告	2件		50	受贈雑誌ほか
25	1898	明治31	2		神勅				
25	1898	明治31	2		教祖神訓誡	日々家内心得之事			
25	1898	明治31	2		本庁告文	達第二号(建築条規)	黒住教本庁	1	
25	1898	明治31			本庁告文	告示第三号	黒住教本庁	3	大元献備講総長ほか任免
25	1898	明治31		28	本庁告文	財第二号	黒住教本庁財務課	3	財務年度の変更
25	1898	明治31	2		聖哲偉言	〔教祖曰離心。而説道。則所存者。…〕		4	
25	1898	明治31	2		社説	弁妄		5	
25	1898	明治31	2		論説	入門大意	故河上忠晶	9	
25	1898	明治31	2	28	道の栞	教語百二十言(承前)		11	

25	1898	明治31	2	28	道の栞	春川叢書(承前)	故河上忠晶	11	
25	1898	明治31	2		講演	万事時を知るにあり	岡山 三木春塘	14	
25	1898	明治31			講演	動物園	岡山 逍遥軒	15	記者白
25	1898	明治31	2		史伝	多田立徳伝	岳陽増田貢	17	
25	1898	明治31	2		怡神詠	自愉永言	故河上忠晶詠•男河上市蔵	19	
25	1898	明治31	2		怡神詠	日間小日 修行百首(承前)	贈大教正星嶋良平	21	和歌5首
25	1898	明治31	2		文苑		短衛忠煕ほか 近衛忠煕ほか	21	和歌3目
					霊験叢話	【和歌 17目】 隣火の際離我で火難を免る			
25	1898	明治31	2				備前国岡山市橋本町 佐藤徳太 郎	23	
25	1898	明治31	2		霊験叢話	九ケ年のいざり御神徳を受け回復す	鳥取県八頭郡登米村大字用呂 村 大平民太郎	23	
25	1898	明治31	2		霊験叢話	神詠に感じて道に入る	岡山県美作国真嶋郡月田村 角田喜代太郎	25	
25	1898	明治31	2		霊験叢話	天に任して御蔭を得	兵庫県播磨国佐用郡三日月村ノ 内下本郷村 船引七郎右衛門	26	
25	1898	明治31	2		昆山片玉	黒住先生肖像賛(録其一)	故河上忠晶詠‧男河上市蔵	28	
25	1898	明治31	2		寄書	神勅考証(承前)	少教正小野謹述	30	
25	1898	明治31			寄書	本教発光論(承前)	権少講義後藤大吉	31	
25	1898	明治31	2	28	寄書	天地神人万物組織之原理考(承前)	権中教正住山宗定講述	34	
25	1898	明治31	2		寄書	哲学解義録(承前)	在島田 檣林堂千舟	36	
25	1898	明治31	2		雑録	蜂谷と宮田の争論		37	
25	1898	明治31	2		雑録	星島先生の謙徳		39	
25	1898	明治31	2		雑録	幽冥の赤縄		39	
25	1898	明治31	2		江湖彙報	〔石川県金沢市東馬場小教会所に於て…〕		44	金沢市東馬場小教会所の紀念祭
25	1898	明治31	2		江湖彙報	〔金光教に於ては昨年来布教の拡張を図り…〕		46	金光教の学校設置計画
25	1898	明治31	2		江湖彙報	井上頼圀翁の断片(承前)		46	
25	1898	明治31	2	28	教報	[本月十七日ヲ以テ左ノ各員へ…]		47	大教会所並本庁建築委員
25	1898	明治31	2		教報	明治三十一年一月中教師辞令		48	
25	1898	明治31	2		教報	明治三十一年一月中教師異動		49	
25	1898	明治31	2		教報	大教会所建築寄附		49	
25	1898	明治31	2	28	社告	1件		50	
25	1898	明治31	2		広告	1件		50	除虫菊
26	1898	明治31	3		神勅				
26	1898	明治31	3		教祖神訓誡	日々家内心得之事			
26	1898	明治31	3		聖哲偉言	〔教祖曰。使其心不老。而人世之事。…〕		1	
26	1898	明治31	3		社説	須遂達教旨		3	
26	1898	明治31	3		論説	入門大意 (承前)		6	
26	1898	明治31	3		道の栞	教語百二十言(承前)		8	
26	1898	明治31	3		道の栞	春川叢書(承前)	故河上忠晶	9	
26	1898	明治31	3		講演	蛙と牛の話	岡山 逍遥軒	10	
26	1898	明治31	3		史伝	藤本鉄石伝		12	
26	1898	明治31	3		教祖神訓誡	自愉永言	故河上忠晶詠 男河上市蔵	15	
26	1898	明治31	3		文苑	〔和歌 15首〕	東久世通禧ほか	16	
26	1898	明治31	3	31	霊験叢話	眼球を失ふて再び眼球を得たり	備前国御野郡古鹿田村大字二 日市 佐藤武一郎	19	

26	1898	明治31	3	31	霊験叢話	焦信の御蔭幼児に及ぶ	美作国英田郡豊田村大字猪臥 廿番邸 浜田源三郎	20	
26	1898	明治31	3	31	昆山片玉	黒住先生肖像賛(承前)	故河上忠晶作•男河上市蔵	22	
26	1898	明治31	3	31	寄書	神勅考証(承前)	小[少]教正小野弥太郎謹述	25	
26	1898	明治31	3	31	寄書	天地神人万物組織之原理考(承前)	権中教正住山宗定謹述	26	
26	1898	明治31	3		寄書	哲学解義録(承前)	在島田 檣林堂千舟	28	「第六章 自然に任せよ」
26	1898	明治31	3		寄書	本教発光論(承前)	権少講義後藤大吉	29	
26	1898	明治31	3			緒言	備中呰部 平仏堂妄識	30	
26	1898	明治31	3		寄書	柿之説	備中 木山富太郎	31	
26	1898	明治31	3		雑録	河本先生の旧話		33	
26	1898	明治31	3		雑録	烈婦の話		35	
26	1898	明治31	3		江湖彙報	[本月二十四二十五日の両日は例年の通り…]		38	
26	1898	明治31	3		江湖彙報	〔少数正安藤十朗氏は七十九の高齢…〕		39	
26	1898	明治31	3		江湖彙報	[頃比の新聞上に快男児の事を載する…]		40	
26	1898	明治31	3	31	江湖彙報	隠士豊城翁の断片(日本所蔵)		42	
26	1898	明治31	3		教報	大教会所建築寄附		43	
26	1898	明治31	3	31	教報	宗忠神社御神幸寄附		44	
26	1898	明治31	3	31	社告	新刊寄贈		45	
26	1898	明治31	3	31	広告	3件		45	
27	1898	明治31	5		教祖神訓誡	日々家内心得之事			
27	1898	明治31	5	31	本庁告文	告示第六号	黒住教本庁	1	本庁改革取締免職および本庁取締・臨時整理委員へ の任用
27	1898	明治31	5	31	聖哲偉言	[教祖曰。万事皆在于心而己[已]矣。…]		2	
27	1898	明治31	5	31	社説	教旨研究之方法		4	
27	1898	明治31	5			入門大意(承前)	故河上忠晶	8	
27	1898	明治31	5		史伝	大森武助氏伝		14	
27	1898	明治31	5	31	怡神詠	自愉永言	故河上忠晶詠·男河上市蔵述義	17	
27	1898	明治31	5	31	文苑	〔和歌 21首〕	備中呰部 平仏堂ほか	19	
27	1898	明治31	5		霊験叢話	出征の軍士霊夢を感ず	権中講義北垣泰	21	
27	1898	明治31	5	31	昆山片玉	黒住先生肖像賛(承前)	故河上忠晶詠·男河上市蔵述義	23	
27	1898	明治31	5	31	寄書	学力補翼の必要	権訓導下村重慶	26	
27	1898	明治31	5		寄書	天地神人万物組織之原理考(承前)	権中教正住山宗定	28	
27	1898	明治31	5		寄書	本教発光論(承前)	権少講義後藤大吉	31	
27	1898	明治31	5		寄書	哲学解義録(承前) 第七章	在島田 檣林堂千舟	32	心は大盤石の如く押し鎮め 気分は朝日の如く勇ましくせよ
27	1898	明治31	5		雑録	山本中教正の旧話		34	
27	1898	明治31	5		雑録	故本多先生の筆記		35	
27	1898	明治31	5		江湖彙報	[岡山市中は教祖の御膝下とも云ふべき…]		37	岡山市中の信仰の様子
27	1898	明治31	5	31	江湖彙報	教語三十七言の内	美作 七十九翁不尽廼舎旭子	38	
27	1898	明治31	5		江湖彙報	[長崎中教会所在勤権中教正片山秀実氏は…]		38	片山秀実の朝鮮布教と片山宛書簡の紹介
27	1898	明治31	5		江湖彙報	隠士豊城翁の談片(承前)		40	竹内経成と徳川斉彬との関係
27	1898	明治31	5		江湖彙報	[岡山市小橋町小野平次氏は平生本教の篤信…]		44	
27	1898	明治31	5	31	教報	[二月分教師依頼解職…]		45	
27	1898	明治31	5	31	教報	明治三十一年三月御神幸寄附(承前)		47	

27	1898	明治31	5	21	社告	1件		50	
27	1898	明治31			広告	4件		51	
28	1898	明治31	6	30	ДП	* T		JI	
28	1898	明治31	6	30		神勅			
28	1898	明治31	6	30		教祖神訓誡			
28	1898	明治31	6		論説	入門大意(承前)	故河上忠晶	1	
28	1898	明治31	6		論説	生通の解	以为工心品	3	
28	1898	明治31	6		道の栞	教語百二十言(承前)		7	
28	1898	明治31	6		講演	[宗忠曰〈余年久敷病気に結ばれ種々医薬相用…]	鈴木道生	8	「教祖神岡山中ノ町草野屋に於御講釈ありしを同家に
	.000	717001	Ĭ		HT775C	である。		Ū	筆記せしを寄稿す」とあり
28	1898	明治31	6	30	講演	無念之文	小畑 通同子	10	
28	1898	明治31	6	30	史伝	大森武助氏伝(承前)		11	
28	1898	明治31	6	30	怡神詠	修行百首(承前)	贈大教正星嶋良平	13	
28	1898	明治31	6	30	文苑	[和歌 10首]	東久世通禧ほか	14	
28	1898	明治31	6		霊験叢話	教祖の御講義聴聞中難病治す	鈴木道生	15	
28	1898	明治31	6	30	霊験叢話	権少教正大西定一氏霊験口話の筆記	黒住教本庁詰訓導藤原槌三稿	15	
28	1898	明治31	6	30	霊験叢話	不治の難症ータに治す	岡山県真島郡川西村 磯田卯蔵 妻つね(四十六歳)	17	
28	1898	明治31	6	30	寄書	神勅考証(承前)	少教正小野弥太郎謹述	17	
28	1898	明治31	6		寄書	天地神人万物組織之原理考(承前)	権少講義住山宗定	18	
28	1898	明治31	6		寄書	本教発光論(承前)	権少講義後藤大吉	21	
28	1898	明治31	6	30	寄書	哲学解義録(承前) 第八章	在島田 檣林堂千舟	22	「無欲に成れ」
28	1898	明治31	6		寄書	檣林堂千舟先生ニ教ヲ乞フ	因幡小畑山通同庵門生 小松保	23	70.00
28	1898	明治31	6	30	寄書	〔われは道といふ事も教と云ふこともしらねども…〕	菅の舎愚人	24	著者は星島大次郎の筆名。「唱歌に似せてこの道のあらましを世の子供たちにしらしめむ」
28	1898	明治31	6	30	寄書	教語三十七言の内(承前)	美作七十九翁不尽廼舎旭子	26	
28	1898	明治31	6		江湖彙報	[客月廿三日伊勢神宮炎上に付管長殿には…]		26	神宮炎上につきお見舞い
28	1898	明治31	6	30	江湖彙報	〔教祖神宗忠神社には構造の広大美麗なるに…〕		26	宗忠神社に静岡市小林満塘、大鳥居寄付
28	1898	明治31	6	30	江湖彙報	[来る七月三十一日は例年の通宗忠神社及…]		26	7月31日、宗忠神社・大教会所で大祓祭
28	1898	明治31	6		江湖彙報	[本月廿日より本庁取締会開会せらるゝ筈なりし…]		27	
28	1898	明治31	6		江湖彙報	[長崎県佐世保に住居せらる」森田福次郎氏…]		27	森田福次郎の小教会所建築への助力
28	1898	明治31	6		江湖彙報	柴田氏復祭式の模様	伯耆国 小川信天生	27	
28	1898	明治31	6		教報	三月分教師授令(承前)		29	補権少講義~権訓導
28	1898	明治31	6		教報	明治三十一年三月仝神幸寄附(承前)		30	
28	1898	明治31	6		社告	2件		31	
28	1898	明治31	6	30	広告	2件		32	
29	1898	明治31	7	26		神勅			
29	1898	明治31	7	26		教祖神訓誡			
29	1898	明治31	7		論説	入門大意(承前)	故河上忠晶	1	
29	1898	明治31	7		道の栞	日之御蔭の自叙 日高見之巻	故河上忠晶	2	
29	1898	明治31	7		道の栞	教語百二十言(承前)		4	
29	1898	明治31	7		講演	何事も話し上手に成れ	贈大教正星島良平	4	
29	1898	明治31	7		怡神詠	修業百首(承前)	贈大教正星島良平	5	
29	1898	明治31	7	26	文苑	[和歌・祝詞など12点]	前田利嗣ほか	6	

29	1898	明治31	7	26	霊験	慈親の決心小児の病を治す	鳥取県東伯郡三橋村大字原村 藤井新吉二女とな 十一年	7	
29	1898	明治31	7		霊験	説教禁厭熱病者即座の御蔭を受く	岡山県上道郡金岡村 桜井吉三 郎養子桜井菊蔵	8	
29	1898	明治31	7		霊験	霊夢難病を回復す	豊後国西国東郡上真玉村 本城 亀松(二十三年)	9	
29	1898	明治31	7	26	寄書	神勅考証(承前)	小教正小野弥太郎謹述	10	
29	1898	明治31	7		寄書	山本中教正の旧話	伯耆国八橋郡逢東村 山本貞次郎	11	赤木忠春説教
29	1898	明治31	7		寄書	天地神人万物組織之原理考(承前)	権中教正住山宗定	13	
29	1898	明治31	7		寄書	本教発光論(承前)	権少講義後藤大吉	16	
29	1898	明治31	7	26	寄書	哲学解義録(承前)	在島田 檣林堂千舟	17	「第九章 無念に成れ」
29	1898	明治31	7	26	寄書	小松保二君の質問に答ふ	檣林堂 千舟	18	
29	1898	明治31	7	26	寄書	御道の歌(承前)	菅舎の愚人	19	
29	1898	明治31	7	26	寄書	同志に檄す	紀蔦乎	20	
29	1898	明治31	7		寄書	教語三十七事の内	七十九翁不尽廼舎旭子	22	
29	1898	明治31	7		江湖彙報	聖恩洪大		22	
29	1898	明治31	7		江湖彙報	大鳥居建築工事詳報		22	
29	1898	明治31	7		教報	四月分教師辞令		24	
29	1898	明治31	7		建築彙報	[大教会所建築工事の模様を聞くに…]		25	大教会所建築工事の進捗と委員一覧、建築の間取 り、寄附等
29	1898	明治31	7	26	神幸寄附	明治三十一年三月御神行[幸]寄附(承前)		28	
29	1898	明治31	7		社告	2件		29	
29	1898	明治31	7		広告	2件		30	
30	1898	明治31	8		神勅				
30	1898	明治31	8		教祖神訓誡				
30	1898	明治31	8		聖哲偉言	[教祖曰。道者。満也。言天照太神之分心…]		1	
30	1898	明治31	8		社説	斎藤実盛と楚の項梁に就ひて		3	本願寺中国布教の意気と方法に倣え
30	1898	明治31	8		論説	入門大意(承前)	故河上忠晶	6	
30	1898	明治31	8		道の栞	教語百二十言(承前)		8	
30	1898	明治31	8	31	道の栞	日之御蔭の自叙(承前)	故河上忠晶	8	
30	1898	明治31	8		講演	教祖神詠	権少教正三木惟一	11	
30	1898	明治31	8		講演	山住人の鍋	岡山 逍遥軒	13	
30	1898	明治31	8		史伝	牧野権六郎略伝(一)		14	
30	1898	明治31	8		怡神詠	修行百首(承前)	贈大教正星島良平	18	
30	1898	明治31	8		文苑	「和歌 2首·漢詩 6編〕	岡山 岡直盧ほか	18	
30	1898	明治31	8		文苑	御道の歌(承前)	菅の舎愚人	19	
30	1898	明治31	8	31	文苑	「和歌 14首]	石井清雄ほか	20	
30	1898	明治31	8		霊験	一心決定肺病忽ち平癒す	岡山県吉野郡大吉村 天心阪東	21	
							正光		
30	1898	明治31			霊験	神徳に依りて蝗除去す	若狭国遠敷郡口名田村大字浜 縄 西本半右衛門	22	
30	1898	明治31	8		寄書	哲学解義録(承前)	在島田 檣林堂千舟	23	
30	1898	明治31	8		寄書	慢心	浪華 真弓栄一	24	
30	1898	明治31	8		寄書	神勅考証(承前)	小教正小野弥太郎述	25	
30	1898	明治31	8	31	寄書	教語三十七言の内	美作 七十九翁不尽廼舎旭子	26	

30	1898	明治31	8	31	雑録	赤木時尾両先生の対話		26	
30	1898	明治31	8		雑録	河本先生往事談		27	文久3年京都東洞院蛸薬師で開講した際の回顧談
30	1898	明治31			江湖彙報	[管長殿には教旨広布の為…]		29	京阪神福巡回の件
30	1898	明治31			江湖彙報	[阿賀郡呰部村大字上呰部南位一小丘の上に…]		30	水灰17個地画の11
30	1898	明治31	8		江湖彙報	欧米紀行八重の海山(日本所載)	日出処士	30	
30	1898	明治31	8		江湖彙報	[備後福山東町住元多度津小教会所付…]	権訓導下村慶次郎	32	
30	1898	明治31	8		江湖彙報	[神詠に誠から祈れは神は新たなり…]	在前等117度久均	35	 美作国東北条郡神庭村の訓導福田千代蔵の御蔭
30	1898	明治31	8		教報	四月分教師辞令		36	大下四米北米が17座17の前寺福田 1 10歳の両院
30	1898	明治31			教報	神幸寄附		37	
30	1898	明治31			建築彙報	[本月一日は大教会所建築手斧始めの式…]		38	大教会所建築寄附人名
30	1898	明治31	8		社告	新刊寄贈		39	八秋云川连末司門八七
30	1898	明治31	8		広告	4件		39	
31	1898	明治31	9		神勅	 		39	
31	1898	明治31	9		教祖神訓戒				
31	1898	明治31	9		聖哲偉言	 [教祖曰。人也者。陽気屈撓。則陰気随而強盛矣…]		1	
31	1898	明治31	9		社説	[[教祖口。入也有。		2	
31	1898	明治31	9		論説	夕版 入門大意(承前)	故河上忠晶	4	
31	1898	明治31	9		道の栞	教語百二十言(承前)	以州工心 朋	6	
31	1898	明治31	9		道の栞	教品日二十日(承前) 神国の人	故河上忠晶	6	
31	1898	明治31	9		講演		権少教正三木惟一	9	
31	1898	明治31	9	30	講演	猫猴の話	岡山 逍遥軒	10	
31	1898	明治31	9	30	史伝	物族の語 牧野権六郎略伝		12	(二)に相当
		明治31		30	史伝	本多応之助先生伝		14	
31	1898	明治31	9	30	上 	本多心之明尤生伝 自愉永言	故河上忠晶・男河上市蔵		
31	1898		_		旧种詠 怡神詠			18 19	
31	1898	明治31 明治31	9			修業百首(承前)	贈大教正星島平良〔良平〕	19	
31	1898		9		文苑	[和歌 14首]	時枝誠道ほか		
31	1898	明治31	9		霊験	孝子賞を受く		20	
31	1898	明治31	9		霊験	一心帰向腹塊を治す		22	
31	1898	明治31	9		霊験	産婦御陽気の御蔭を受く	***	24	
31	1898	明治31	9		昆山片玉	黒住先生肖像賛(承前)	故河上忠晶・男河上市蔵	25	
31	1898	明治31	9		寄書	天地人万物組織之原理考(承前)	権中教正住山宗定	27	
31	1898	明治31	9		寄書	哲学解義録(承前)	在島田 檣林堂千舟	29	「第十一章 天の御擬作を大切に勤めよ」
31	1898	明治31	9		寄書	神勅考証(承前)	小教正小野弥太郎	30	
31	1898	明治31	9	30	寄書	教語三十七言の内	不尽廼舎旭子	31	
31	1898	明治31	9		雑録	河本先生往事談(森兼為蔵氏の入門)		32	
31	1898	明治31	9		雑録	山本中教正の旧話(森氏と森住氏の問答)		33	
31	1898	明治31	9		江湖彙報	[本教管長殿は去月以来各地に布教しつつ…]		34	京都・大阪へ
31	1898	明治31	9		江湖彙報	[右御帰路播州明石の各教会所御巡教…]		35	
31	1898	明治31	9		江湖彙報	[備後国芦田郡府中町住士族蔵石精一氏…]		35	福山中教会所から位階昇進辞令
31	1898	明治31	9		江湖彙報	欧米紀行八重の海山(承前)	日出処士	35	
31	1898	明治31	9		江湖彙報	[氷殿水閣の上軽羅羽裳侍女前に候し…]		37	黒田長成の旅好き
31	1898	明治31	9		江湖彙報	[内務省に於ては現行の神社及び寺院に…]		39	
31	1898	明治31	9		教報	四月分教師辞令(承前)		39	
31	1898	明治31	9		建築彙報	[大教会所建築は追々工事の歩を進め…]		39	
31	1898	明治31	9		社告	新刊寄贈		42	
31	1898	明治31	9	30	広告	1件		42	

32	1898	明治31	11	6	神勅				
32	1898	明治31	11		教祖神訓戒				
32	1898	明治31			聖哲偉言	[教祖曰。行道無他矣。唯知其本分而事々守謙徳 …]		1	
32	1898	明治31	11	6	社説	耳目之責任		3	『国の教』記者は創刊以来特に教育に関わる論説学 げてきたが効果なし、「唯下層無智の者流を対手とす るのみ」の現状を省み、内地雑居を前にもっと関心も て
32	1898	明治31	11	6	論説	入門大意(承前)	故河上忠晶	7	
32	1898	明治31	11	6	道の栞	教語百二十言(承前)		9	
32	1898	明治31	11	6	道の栞	神国の人	故河上忠晶	9	
32	1898	明治31	11	6	講演	大黒天の信者	岡山 逍遥軒	13	
32	1898	明治31	11		史伝	牧野権六郎略伝(三)		15	
32	1898	明治31	11	6	史伝	本多応之助先生伝(承前)		19	
32	1898	明治31	11	6	怡神詠	自愉永言	故河上忠晶·男河上市蔵	22	
32	1898	明治31	11		怡神詠	修業百首(承前)	贈大教正星島良平	24	
32	1898	明治31	11	6	文苑	御道の歌(承前)	菅の舎愚人	24	
32	1898	明治31	11	6	文苑	〔和歌 9首〕	岡山 岡直盧ほか	26	
32	1898	明治31	11		霊験	婦人鎮魂の霊験		26	
32	1898	明治31	11		昆山片玉	黒住先生肖像賛(承前)	故河上忠晶•河上市蔵	27	
32	1898	明治31	11	6	寄書	哲学解義録(承前)	在島田 檣林堂千舟	29	
32	1898	明治31	11	6	寄書	天地人万物組織之原理考(承前)	権中教正住山宗定	30	
32	1898	明治31	11	6	寄書	神勅考証(承前)	小教正小野弥太郎	31	
32	1898	明治31	11		寄書	道連誘状	権少教正岡本圭吉	32	本多勝日子の著書より、入信勧誘の手紙
32	1898	明治31	11		寄書	教語三十七言の内	不尽廼舎旭子	34	
32	1898	明治31	11		雑録	河本先生往事談(森兼為蔵氏の入門)(承前)		34	
32	1898	明治31	11		雑録	通同庵夜話節録	小畑 尾崎武二	37	
32	1898	明治31	11		江湖彙報	[過る廿二日より翌廿三日に至り宗忠神社及ひ…]		39	独立大祭、管長ら参列
32	1898	明治31	11		江湖彙報	[兵庫県丹波泉教会所長樋口茂助氏は…]		39	樋口が「鄙び歌」を寄せる
32	1898	明治31			江湖彙報	[御救恤客月初旬北海道其他各地方暴風雨…]		40	天皇・皇后の救恤金
32	1898	明治31	11		江湖彙報	[百二歳の長寿者長野県伊那郡駒場村昼神の…]	日出処士	41	遠山仁平
32	1898	明治31			江湖彙報	[本教少教正石井忠義氏には夙に子弟の…]		41	石井が紫綬褒章受章
32	1898	明治31	11		教報	五月分教師辞令		41	
32	1898	明治31	11		建築彙報	[本月十二日大教会所柱立に着手…]		42	
32	1898	明治31	11		社告	新刊寄贈		42	
32	1898	明治31	11		広告	1件		42	
33	1898	明治31	12		神勅			1	
33	1898	明治31	12		教祖神訓戒			2	
33	1898	明治31	12		本庁告文	告示第十二~十四号		3	
33	1898	明治31	12		聖哲偉言	〔教祖曰万事出於一心。斯心不乱。則是我道矣…〕		4	
33	1898	明治31	12		社説	講究会開始		5	教祖の言辞を集め高弟らの遺書を編纂し布教の基礎 を固める目的で発起
33	1898	明治31	12		論説	入門大意(承前)	故河上忠晶	9	
33	1898	明治31			道の栞	教語百二十言(承前)		10	
33	1898	明治31	12		道の栞	船木大教正の教書	尾崎武二	10	
33	1898	明治31	12	6	道の栞	先師の手簡	、 庵老人	11	

33	1898	明治31	12	6	講演	漁夫の話	岡山 逍遥軒	15	
33	1898	明治31	12		講演	無病の時稼業怠りの事	権少教正三木惟一	17	
33	1898	明治31			史伝	牧野権六郎略伝(四)	在ク払エニバ旧	19	
33	1898	明治31	12		史伝	本多応之助先生伝(承前)		22	
33	1898		12		怡神詠	自愉永言	故河上忠晶·男河上市蔵	25	
33	1898		12		怡神詠		贈大教正星島良平	26	
33	1898		12		文苑	[漢詩·和歌 12点]	開誠佳処主人養生	26	
33	1898					黒住先生肖像賛(承前)	故河上忠晶•河上市蔵	27	
33	1898	明治31	12	6	霊験	無形気の小児土匪の難を免かる	欧州工心明 州工川成	28	
33	1898	明治31	12		寄書	哲学解義録(承前)	在島田 檣林堂千舟	31	 「第十三章 慢心を去れ」
33	1898	明治31	12		寄書	天地人万物組織之原理考(承前)	権中教正住山宗定	32	
33	1898	明治31	12	6	寄書	道連誘状(承前)	備後国福山 権少教正岡本圭吉	32	 安政6年11月本多勝日子の入信勧誘文
33	1898	明治31	12		寄書	物に呑まれな(獅)	黒住教本庁内真弓栄一	35	女政0年11万本夕所口100八后勤奶久
33	1898	明治31	12	6	寄書	教語三十七言の内	不尽廼舎旭子	36	
33	1898	明治31	12		雑録	数品二 C目の内 通同庵夜話節録(承前)	小畑 尾崎武二	37	
33	1898	明治31	12		雑録	教祖杖を擲つ	星島大次郎	38	
33	1898	明治31	12		江湖彙報	欧州紀行八重の海山(承前)	日出処士	39	
33	1898	明治31			江湖彙報	[兼て本教熱心の人々が申し合せ研究の会を…]	山田処工	42	講究会開催
33	1898		12		江湖彙報	[筑後国三潴郡大川町小教会所在勤…]		43	調える別値
33	1898	明治31	12	6	江湖彙報	[筑前宗像郡赤間小教会所長瓜生卯太郎氏は…]		43	上京して宗教状況を視察し神仏各派要人を訪問、学
33	1090		12					40	校設立を提言
33	1898		12		江湖彙報	〔備前国赤阪郡に花房某なる人あり…〕		43	篤信家、『国の教』32号「論説入門大意」に関心
33	1898				教報	六月分教師辞令		45	
33	1898	明治31			建築彙報	報告人名		45	寄附者名書き上げ
33	1898	明治31	12		社告	新刊寄贈		46	
33	1898		12		広告	吉備和楽会教師姓名広告		46	
34	1899	明治32	1		神勅			1	
34	1899	明治32	1		教祖神訓戒			2	
34	1899	明治32	1		聖哲偉言	〔教祖曰小子無所祷万事悉任於天而已矣…〕		3	
34	1899	明治32	1	2	社説	新年之辞		4	
34	1899	明治32	1		社説	本年之進路		6	
34	1899	明治32	1		論説	入門大意(承前)	故河上忠晶	8	
34	1899	明治32	1		道の栞	七箇条講義	進藤慎一	10	
34	1899	明治32	1		道の栞	教語百二十言(承前)		12	
34	1899	明治32	1		講演	孫行者	岡山 逍遥軒	13	
34	1899	明治32	1		史伝	牧野権六郎略伝(五)		16	
34	1899	明治32	1			本多応之助先生伝拾遺		20	
34	1899	明治32	1		怡神詠	自愉永言	故河上忠晶•男河上市蔵	21	
34	1899	明治32	1		怡神詠	修業百首(承前)	贈大教正星島良平	22	
34	1899	明治32	1		文苑	〔和歌 21首〕	岡山 岡直盧ほか	22	
34	1899	明治32	1		昆山片玉	黒住先生肖像賛(承前)	故河上忠晶·河上市蔵	23	
34	1899	明治32	1	2	霊験	霊験と詠歌	権少講義片桐重辰	25	
34	1899	明治32	1	2	霊験	脳病の患婦速に神徳を受く		28	
34	1899	明治32	1		寄書	天地人万物組織之原理考(承前)	権中教正住山宗定	30	
34	1899	明治32	1	2	寄書	哲学解義録(承前)	在島田 檣林堂千舟	32	「第十四章 人智を去て天に任せよ」

34	1899	明治32	1		寄書	冬至ノ日所感ヲ述ブ	愛媛県小間郡菊間小教会所鎌 田隆一	33	男女とも慢心なく堪忍の勇気を持つべし
34	1899	明治32	1	2	寄書	天人一体ノ理由	因幡小別府信徒一人一ト居士	35	
34	1899	明治32	1	2	寄書	教語三十七言の内	不尽廼舎旭子	35	
34	1899	明治32	1	2	雑録	俗説弁	あうち園	37	
34	1899	明治32	1	2	江湖彙報	〔掛巻も我が皇上の文武の政務に…〕		39	
34	1899	明治32	1	2	江湖彙報	[皇后陛下の夙に女子教育に…]		39	
34	1899	明治32	1	2	江湖彙報	欧米紀行八重の海山(承前)	日出処士	38	
34	1899	明治32	1		江湖彙報	〔前号に於て報道せし本教諸有志の…〕		42	講究会の件
34	1899	明治32	1	2	江湖彙報	[本誌上続々報道せし如く…]		42	講究会の件
34	1899	明治32	1		江湖彙報	[権大教正下野誠之氏は本教基本の事の為…]		43	管長へ布教に関して建議
34	1899	明治32	1	2	江湖彙報	[神武天皇大祭準備其他宮崎県に於ける…]		43	官幣大社宮崎宮での県共進会等
34	1899	明治32	1	2	江湖彙報	[菅公千年祭 来る三十五年は…]		44	
34	1899	明治32	1		教報	[本庁取締役会第二回会議は去る五日より…]		44	負債整理教債条例案および五十年大祭に関する臨 時予算案を討議、新たに大祭準備委員選出、下野誠 之が会長
34	1899	明治32	1		教報	[教祖五十年大祭典は実に千載一遇の祭典…]		45	特別準備委員、鉄道・汽船会社の割引、神社宗家秘 蔵宝物展観のため仮殿建設
34	1899	明治32	1		教報	[曽て本誌に掲載せし静岡市小林…]		45	奉納の石華表落成式
34	1899	明治32		2	教報	[旧冬廿二日の冬至祭は例年の通り…]		46	
34	1899	明治32			教報	[三重県紀伊国尾鷲町尾鷲小教会所長心得…]		46	土井与八郎の大鳥居用檜材献納
34	1899	明治32		2	教報	明治三十一年冬至祭大教会所		46	
34	1899	明治32	1		教報	六月分教師辞令		46	
34	1899	明治32	1		建築彙報	[去月廿三日は予定の如く…]		48	上棟式挙行
34	1899	明治32			建築彙報	[此日式場ゑ登壇せし人々は登壇券を…]		49	群衆は「無慮万以上」
34	1899	明治32			建築彙報	[余興として本庁の前面なる田畝中に於て…]		49	花火打ち上げ
34	1899	明治32	1		建築彙報	[午後五時より新大教会所に於て…]		49	祝賀会
34	1899	明治32	1		建築彙報	[又客殿にては御野郡役所及び御野郡村吏…]		49	祝賀会
34	1899	明治32			建築彙報	[今回大教会所建築に付其用材は総て栂材…]		49	神前用のみ檜材
34	1899	明治32	1		広告	8件		50	
34	1899	明治32	1		社告	5件		52	新刊寄贈ほか
35	1899	明治32			神勅			1	
35	1899	明治32			教祖神訓戒			2	
35	1899	明治32	2		本庁告文	達第一号ほか2件	管長ほか	3	五十年大祭日程、同各国参拝日程割り当て、組合参 拝心得書
35	1899	明治32			伝道新篇	自序	河上市之丞忠晶·男河上市蔵	7	
35	1899	明治32			社説	伝道新篇之来由	河上市蔵	10	
35	1899	明治32			論説	入門大意(承前)	故河上忠晶	12	
35	1899	明治32			道の栞	教語百二十言(承前)		15	
35	1899	明治32			道の栞	七箇条講義	進藤慎一	15	
35	1899	明治32			道の栞	信	故河上忠晶	17	
35	1899	明治32		25	講演	疑と臆病	岡山三木春塘	18	
35	1899	明治32			史伝	野崎在善君伝		20	
35	1899	明治32			怡神詠	〔和歌 3首〕	故河上忠晶	22	
35	1899	明治32			怡神詠	修行百首	贈大教正星島良平	23	
35	1899	明治32	2	25	文苑	〔和歌 17首〕	因幡 橋浦雄次郎ほか	23	

35	1899	明治32	2	25	霊験	神恩に感じて一世の間金円を奉献す		23	-
35	1899	明治32	2		小説	目出鯛お話(上)		25	
35	1899	明治32	_		寄書	道之話	贈中講義石井昌左衛門忠信	30	石井は備後国沼隈郡本郷村、息子は同郡今津村本 教沼隈説教所副所長、寄稿者は権少教正岡本圭吉
35	1899	明治32	2	25	寄書	内地雑居の季迫れるに依り我が黒住教青年信徒に 檄す	広島 高月生	31	キリスト教徒による黒住教批判に対する反論と内部への猛省促す
35	1899	明治32	2	25	寄書	論道本	星島大次郎	33	
35	1899	明治32	2		江湖彙報	〔教旨を研究し斯道を拡張するは洵に急務…〕		34	各地での教旨研究会組織
35	1899	明治32			江湖彙報	[福岡県筑前国宗像郡赤間長赤間小教会所に…]		35	同上(講究会)
35	1899	明治32			江湖彙報	[大坂中教会所長少教正寺川宰五郎の発起…]	日出処士	36	同上(芋洗会)
35	1899	明治32	2		江湖彙報	[神戸小教会所に於ては信徒中島大次氏を…]		36	同上(研究会、婦人の会)
35	1899	明治32	2		江湖彙報	[同地相生小教会所にては権少教正小川源勝氏…]		36	同上(研究会)
35	1899	明治32			江湖彙報	[同上相生小教会所研究会有志の…]		36	同上(研究会)
35	1899	明治32	2		江湖彙報	[客年五月十日河本中教正の首唱にて…]		36	宗忠神社で天下泰平五穀成就の祈祷
35	1899	明治32			江湖彙報	[因幡国気高郡高草教会所に於ては…]		37	信徒増加し3、400名の拝参あり
35	1899	明治32			江湖彙報	[若狭の国小浜教会所長小教正小野弥太郎…]		38	西洋人の神宮参拝につき
35	1899	明治32			江湖彙報	〔今回紀伊国尾鷲町豪家にて篤信者なる…〕		39	土井与八郎
35	1899	明治32			江湖彙報	看よ		39	東本願寺の中国布教状況
35	1899	明治32	2		教報	[来三月執行可相成教祖神五十年大祭準備…]		41	
35	1899	明治32	2		教報	明治卅一年七月分教師辞令		41	
35	1899	明治32			建築彙報	〔大教会所建築工事ハ御神前造作之壱部ヲ除ク…〕		42	
35	1899	明治32			建築彙報	大教会所建築寄附人名		42	
35	1899	明治32	2	25	社告	4件		46	寄贈金、寄附金募集、誌面改良、新刊寄贈
35	1899	明治32	2		正誤			47	
35	1899	明治32	2		広告	2件		48	
36	1899	明治32		19	神勅			1	
36	1899	明治32			教祖神訓戒			2	
36	1899	明治32	3		伝道新篇	自序(承前)	河上市之丞忠晶・男河上市蔵	3	
36	1899	明治32	3	19	社説	五十年大祭		7	
36	1899	明治32	3		社説	国の教北京に入		10	海妻甘蔵が「北京在住なる同好の人士に閲覧せしむる」
36	1899	明治32	3	19	論説	入門大意	故河上忠晶	12	
36	1899	明治32			道の栞	教語百二十言(承前)		14	
36	1899	明治32			道の栞	七箇条講義	進藤慎一	14	
36	1899	明治32	3		講演	教祖神詠	権少教正三木惟一	16	
36	1899	明治32			史伝	鹿田六左衛門君伝	122 27 22	17	
36	1899	明治32			史伝	男鹿田六衛氏の話		20	
36	1899	明治32			史伝	野崎在善君伝(承前)		21	権訓導任命後の詳細な履歴
36	1899	明治32	3		怡神詠	修行百首	贈大教正星島良平	23	DESCRIPTION OF THE OWNERS OF T
36	1899	明治32	3		怡神詠	〔和歌 2首〕	故片岡正占	23	
36	1899	明治32			文苑	[和歌・漢詩など10点]	美作 安藤親孝ほか	23	
36	1899	明治32		19	霊験	至誠悪人を感動せしむ	三木惟一	25	
36	1899	明治32			霊験	譬諭の一言忽ち活気を与ふ		26	
36	1899	明治32	3		小説	目出鯛お話(中)		28	
36	1899	明治32	3		寄書	天地人万物組織之原理考(承前)	権中教正住山宗定	33	
36	1899	明治32			寄書	哲学解義録(承前)	在島田 檣林堂千舟	35	
	. 500	71700	J			日はカルスを入りには	医骨骨 圆形工工力		

36	1899	明治32	3	19	寄書	道之話(承前)	贈中講義石井忠信	36	寄稿は権少教正岡本圭吉
36	1899	明治32	3		寄書	教祖の御教は簡易にして入り易く旨深くして倦む事なし		37	
36	1899	明治32	3	19	寄書	天地の大木	愛媛県伊予西宇和郡伊方 中講 義合田善太郎	39	
36	1899	明治32	3	19	雑録	往年の御蔭話	再生老人	40	筆者は大分で森下景端の食客、中津の役人として西南戦争を迎えるまでの話、幸松栄尺・後藤準平・増田 宋太郎
36	1899	明治32	3	19	江湖彙報	〔教祖神御大祭に付て各地より千人参り…〕		43	山陽鉄道ほか運賃割引
36	1899	明治32	3		江湖彙報	〔岡山大教会所出張所内に於て…〕		44	講究会の件
36	1899	明治32	3		江湖彙報	〔講究会員水野正之氏は…〕		44	水野は特に森下景端と懇意
36	1899	明治32	3		江湖彙報	〔頃日来講究会ゑ入会せし有志者は…〕		44	
36	1899	明治32	3		江湖彙報	[河本中教正の布教に熱心なるは…]		44	
36	1899	明治32	3		江湖彙報	〔因幡国気高勝見教会所は追々信徒の数を…〕		44	
36	1899	明治32	3		江湖彙報	〔此回の教祖五十年大祭は実に空前の盛事…〕		45	
36	1899	明治32	3		江湖彙報	[四国地方は従来本教の旺盛にして…]		45	今治で由斯会なる研究会が組織された由
36	1899	明治32	3		教報	明治卅一年八月分教師辞令		46	
36	1899	明治32	3		教報	寄附金人名簿		47	
36	1899	明治32	3	19	社告	5件		48	
36	1899	明治32	3	19	広告	24件		50	大元せんべい、カステーラ、十六味地黄保銘酒、警醒 雑誌、歌学研究雑誌上代の風、「天皇陛下御肖像」束 帯図など
37	1899	明治32	5		神勅			1	
37	1899	明治32	5		教祖神訓戒			2	
37	1899	明治32	5	12	本庁告文	達第一号	黒住教本庁	3	各所講へ内務省社寺局長通牒をうけ教師志願者履歴 書提出につき
37	1899	明治32	5		伝道新篇	自序(承前)	河上市之丞忠晶·男河上市蔵	3	
37	1899	明治32	5	12	社説	大祭後の経営		8	教祖創業の歴史繙き教を玩味することが次の50年の 大計
37	1899	明治32	5		社説	教職普及の議		11	教職不足ゆえ各地域の実況鑑み急ぎ対処を
37	1899	明治32	5		論説	入門大意	故河上忠晶	13	
37	1899	明治32	5		道の栞	教語百二十言(承前)		14	
37	1899	明治32	5	12	道の栞	訓誡七ヶ条の意訳	正五位紀景端	14	森下景端
37	1899	明治32	5		講演	教祖神詠	権少教正三木惟一	15	
37	1899	明治32	5	12	史伝	岡田包幹君伝		16	
37	1899	明治32	5	12	怡神詠	修行百首	贈大教正星島良平	19	
37	1899	明治32	5	12	文苑	[和歌 18首]	備前 岡直盧ほか	19	
37	1899	明治32	5		霊験	改心して盲目開眼の神庇を受く		20	
37	1899	明治32	5	12	小説	目出鯛お話(下)	与勘兵衛	21	
37	1899	明治32	5		寄書	天地人万物組織之原理考(承前)	権中教正住山宗定	26	
37	1899	明治32	5		寄書	哲学解義録(承前)	在島田 檣林堂千舟	28	
37	1899	明治32	5	12	寄書	道之話(承前)	贈中講義石井忠信	29	権少教正岡本圭吉寄稿
37	1899	明治32	5	12	雑録	往年の御蔭話	再生老人	30	西南戦争において中津で増田宋太郎と後藤準平に率 いられる暴徒たち、筆者の逃避行
37	1899	明治32	5	12	雑録	おかたま木の考	備前 野村熊三郎	33	『国の教』第35号掲載の小野弥太郎寄稿に関連
37	1899				江湖彙報	[先般挙行せられし五十年大祭は実に空前…]		34	以下17件、大祭の詳細な式次第や様子を掲載

37	1899	明治32	5	12	江湖彙報	[静岡県静岡市小教正小林七兵衛氏…]		46	石華表や教会所の建設に尽力
37	1899	明治32	5		江湖彙報	[少教正仲元寺治忠氏が北海道布教始末は…]		47	以前『国の教』に掲載、教会所7つ
37	1899	明治32	5		江湖彙報	[権中教正片山秀実氏は鋭意西陲に布教…]		47	朝鮮布教の概略
37	1899	明治32	5		江湖彙報	[岡山市大教会所出張所内に於て兼て開設…]		47	講究会の発展につき
37	1899	明治32	5		教報	明治卅一年九月分教師辞令		49	調九云の光版に 20
37		明治32	5 5					50	
	1899 1899		5 5			大教会所建築寄附者報告書			 新刊寄贈ほか
37		明治32			社告	6件		52	*****
37	1899	明治32	5	12	広告	24件		53	伊勢神路山小教会所日参大々講規則など
38	1899	明治32	5		神勅			1	
38	1899	明治32	5		教祖神訓戒	# = # m	田分类士亡	2	
38	1899	明治32	5		本庁告文	告示第四~五号	黒住教本庁	3	課長等人事
38	1899	明治32	5		伝道新篇 ************************************	自序(承前)	河上市之丞忠晶•男河上市蔵	4	
38	1899	明治32	5		社説	実		7	外観のみならず内実の修養を進めますます教域を拡 張せよ
38	1899	明治32	5		論説	入門大意(承前)	故河上忠晶	10	
38	1899	明治32	5		道の栞	教語百二十言		11	
38	1899	明治32	5		道の栞	七箇条講義	進藤慎一	11	
38	1899	明治32	5		講演	講究会講義	故河上忠晶·男河上市蔵	13	
38	1899	明治32	5	28	講演	陽気に成れ	権少教正三木惟一	15	
38	1899	明治32	5	28	史伝	岡田包幹君伝(承前)		16	
38	1899	明治32	5		怡神詠	修行百首	贈大教正星島良平	21	
38	1899	明治32	5	28	文苑	〔和歌 6首〕	伯耆 山本貞次郎ほか	21	
38	1899	明治32	5		霊験	鎮魂九死を免かる		21	
38	1899	明治32	5	28	霊験	改心して労咳の病苦全癒の神庇を受く		23	
38	1899	明治32	5	28	小説	名刀助直(一)	深井奇骨	24	
38	1899	明治32	5	28	寄書	哲学解義録(承前)	在島田 檣林堂千舟	28	
38	1899	明治32	5	28	寄書	教祖神五十年大祭ニ感アリ	遠江 細江陳人	30	
38	1899	明治32	5		寄書	道之話(承前)	贈中講義石井忠信	32	権少講義岡本圭吉寄稿
38	1899	明治32	5	28	雑録	往年の御蔭話	再生老人	33	西南戦争時の暴動からの逃避
38	1899	明治32			雑録	おかたま木の考	備前 野村熊三郎	36	
38	1899	明治32	5		江湖彙報	[小教正石井忠義氏は熱心布教に従事せられ…]		37	石井の略伝
38	1899	明治32	5	28	江湖彙報	[小教正仲元寺治忠氏が鋭意北海道に布教…]		41	仲元寺の事績
38	1899	明治32	5	28	江湖彙報	〔今般の教祖五十年大祭は…〕		42	全国各教会所の祭典の概況(京都神楽岡中教会所、 岡山河本教会所・由津里小教会所、備中笠岡小教会 所・宮中小教会所)
38	1899	明治32	5		江湖彙報	〔本教中に其人ありと聞こゑし…〕		43	大教正船木甚市につき
38	1899	明治32	5		江湖彙報	[伊予国喜多郡粟津村八多喜中教会所…]		45	中教正上田久太郎につき
38	1899	明治32	5		教報	三十二[一]年十月分教師辞令		45	
38	1899	明治32	5		教報	国の教第参拾七号正誤		48	
38	1899	明治32	5		建築彙報	大教会所建築寄附者報告書		49	
38	1899	明治32	5		社告	4件		50	
38	1899	明治32	5	28	広告	18件		51	
39	1899	明治32	6	30	神勅			1	
39	1899	明治32	6	30	教祖神訓戒			2	
39	1899	明治32	6		本庁告文	告示第七~十一号	黒住教本庁	3	
39	1899	明治32	6		伝道新篇	自序(承前)	河上市之丞忠晶・男河上市蔵	3	
-									·

39	1899	明治32	6	30	社説	果断		6	
39	1899	明治32	6		論説	入門大意(承前)	故河上忠晶	10	
39	1899	明治32	-		道の栞		以州工心 服	11	
39	1899	明治32	6		道の栞	教品日二 日 贈大教正星島良平大人口述	高真斎部幸忠	11	
39	1899	明治32	-		講演	類人教正生局及十八八口並 神人一体	権少教正三木惟一	12	
39	1899	明治32	6		史伝	大教正船木甚市君伝	推り教工二不正	14	
39	1899	明治32			文苑	[和歌 12首]	日比邦光ほか	15	
39	1899	明治32			神徳霊験	「神歌 「200] 神詠を感じて生気を得	ロルがルはか、	16	
39	1899	明治32	6		小説	名刀助直(二)	深井奇骨	18	
39	1899	明治32	6		寄書	天地人万物組織之原理考(承前)	権中教正住山宗定	22	
39	1899	明治32	6		寄書	道之話(承前)	贈中講義石井忠信	23	権中教正岡本圭吉寄稿
39	1899	明治32	6	30	雑録	往年の御蔭話(承前)	再生老人	25	西南戦争の暴動下で九死に一生を得た話
39	1899	明治32	6		雑録	おかたま木の考	備前 野村熊三郎	27	日田代子の泰男子でルルに 工を付た品
39	1899	明治32	6		江湖彙報	[去月十三日播磨の国宍粟郡山崎小教会所に…]	MH 10 - 21 1 1 22 - 20	28	大祭に関する同教会所の景況
39	1899	明治32	6		江湖彙報	[中教正河本務先生の布教に熱心尽力せらる…]		31	
39	1899	明治32	-		江湖彙報	[画師多田北嶺氏は健腕麗筆…]		34	
39	1899	明治32			江湖彙報	[伊予国喜多郡粟津村八多喜中教会所…]		35	上田久太郎の話は次号以降に
39	1899	明治32			教報	三十二年一月教師辞令		35	
39	1899	明治32			建築彙報	大教会所建築寄附者報告書		37	
39	1899	明治32			講究会記事	形は心の入物	中教正河本務・水野鉅	39	
39	1899	明治32			講究会記事	講義筆記(承前)	故河上忠晶・男河上市蔵	40	
39	1899	明治32			講究会記事	[本会は講師幹事会員の諸氏孰れも…]	337 3 T 10 M	44	
39	1899	明治32			講究会記事	〔静岡県静岡市なる権中教正小林■塘…〕		44	■=くさかんむりに隅
39	1899	明治32			講究会記事	〔本会に於て河上市蔵氏は本教中の諸先輩…〕		44	
39	1899	明治32	6	30	社告	8件		45	
39	1899	明治32	6		広告	16件		46	進徳教校『我行く道雑誌』など
40	1899	明治32	7		神勅			1	The state of the s
40	1899	明治32	7		訓誡			2	
40	1899	明治32	7		本庁告文	告示第十二号		3	
40	1899	明治32	7		伝道新篇	自序(承前)	河上市之丞忠晶著·男河上市蔵	4	
							述義		
40	1899	明治32	7	30	社説	感		7	教師養成機関設立への要望
40	1899	明治32	7	30	論説	入門大意(承前)	故河上忠晶	12	
40	1899	明治32	7	30	道の栞	七箇条講義	進藤慎一	14	無病の時家業怠りのこと
40	1899	明治32	7		講演	心と形	権少教正三木惟一所講	14	
40	1899	明治32	7		史伝	大教正船木甚市君伝(承前)		15	入信から神楽岡設立までのこと、御真筆を買い求め
									た逸話
40	1899	明治32	7		怡神詠	〔和歌 6首〕	黒住宗信ほか	17	
40	1899	明治32	7		文苑	[和歌 44首]	森本与惣ほか	18	「古典歌(承前)」ほか
40	1899	明治32	7		神徳霊験	不治の眼病即座に治す	鳥取県 田中とよ	19	
40	1899	明治32	7		神徳霊験	難病平癒	鳥取県 山名こよ	21	
40	1899	明治32	7		小説	名刀直助(三)	深井奇骨	24	
40	1899	明治32	7		寄書	天地神人万物組織之原理考(承前)	権中教正佐山宗定	28	
40	1899	明治32	7	30	寄書	哲学講義録(前々号の続) 第十八章善人の罪を作るな	在島田 檣林堂千舟	29	
						るな			

40	1899	明治32	7		寄書	道之話(承前) 四〇昼寂ノ夢弁	贈中講義石井忠信述·権少教正 岡本圭吉稿	30	
40	1899	明治32	7		雑録	おかたま木の考(承前)	備前 野村熊三郎寄稿	32	
40	1899	明治32	7	30	江湖彙報	[七月十日は例年通り大教会所岡山出張所に…]		33	大教会所岡山出張所における大祓大祭報告
40	1899	明治32	7		江湖彙報	修身講話(つづき)	中教正河本務所講·取締元岡卯 之助筆記	34	
40	1899	明治32	7		江湖彙報	中教正上田久太郎氏自叙伝		36	
40	1899	明治32	7		教報	明治三十二年三月教師辞令		38	
40	1899	明治32	7		建築彙報	大教会所建築寄附人名		39	
40	1899	明治32	7		講究会記事	誠の心得 第二十三章	中教正河本務先生講義·水野鋸 筆記	44	鹿田六右衛門の六か条の語、逸話
40	1899	明治32	7		講究会記事	講義筆記(承前)	故河上忠晶著·男河上市蔵講義	48	
40	1899	明治32	7		社告	11件		50	
40	1899	明治32	7		広告	18件		53	内1件社告
41	1899	明治32	8		神勅			1	
41	1899	明治32	8		神誡			2	名称変更 (前号まで訓誡)
41	1899	明治32	8		赤木忠春神御 伝記	[謹んで爰に本教の碩徳泰斗たる赤木宗一郎…]		3	経歴、入信、大明神号請願運動等について
41	1899	明治32	8		伝道新篇	自序(承前)	河上市之丞忠晶著·男河上市蔵 述義	5	
41	1899	明治32	8		社説	一視同仁		8	
41	1899	明治32	8		道の栞	七箇条講義	進藤慎一	12	誠の道に入りながら心に誠なき事
41	1899	明治32	8		道の栞	教語百二十言の歌	安藤十郎稿	13	
41	1899	明治32	8		講演	心と気分	権少教正三木惟一所講	13	星島親子について
41	1899	明治32	8		史伝	大教正船木甚市君伝(承前)		15	逝去の様子
41	1899	明治32	8	30	怡神詠	〔和歌 7首〕	黒住宗忠ほか	16	
41	1899	明治32	8		文苑	[和歌 14首]	岡直盧ほか	17	登小豆島神懸山作歌ほか
41	1899	明治32	8		神徳霊験	一心決定病婦を治癒す	兵庫県 権少講義和田牟右衛門 妻ヤス	18	
41	1899	明治32	8		小説	名刀直助(四)	深井奇骨	19	
41	1899	明治32	8	30	寄書	余か宗教観の一端を述べて黒住教の教意に及ぶ	藤岡無底	23	
41	1899	明治32	8		寄書	再生先生の往年の御蔭話を読み似寄りたる御蔭を感じ筆鋒禁ずる能はず概略を記す		25	
41	1899	明治32	8		雑録	桜園叢談	備前 野村熊三郎寄稿	26	(一)惟神の道 鈴の屋大人
41	1899	明治32	8		小言俱楽部	5件		29	
41	1899	明治32	8		江湖彙報	[客月三十日は例年の通り宗忠神社の禊祭の…]		30	宗忠神社の禊祭の景況および新条約実施祝賀会
41	1899	明治32	8		江湖彙報	[神宮教大坂本部に於て去る八月一日…]		32	新条約実施奉告
41	1899	明治32	8		江湖彙報	修身講話(つづき)	中教正河本務所講·取締元岡卯 之助筆記	32	
41	1899	明治32	8		江湖彙報	[筑前の海妻甘蔵氏は活発勇壮…]		35	福岡市布教の様子
41	1899	明治32	8		江湖彙報	地方通信〔播磨国宍粟郡山崎小教会所にては…〕		36	大祭に管長ほか本部より参拝、内海甚吉が渡邊博所 長の代理として活動
41	1899	明治32	8		江湖彙報	中教正上田久太郎氏自叙伝(承前)		36	
41	1899	明治32	8		教報	教師辞令		38	
41	1899	明治32	8	30	建築彙報			39	
41	1899	明治32	8	30	講究会記事	自然に任せよ	河本先生講義 · 岡田照秀筆記	45	

41	1899	明治32	8	30	講究会記事	講義筆記	故河上忠晶著·男河上市蔵講義	47	
41	1899	明治32	8	30	正誤	〔国の教第三十九号…〕		50	39号「江湖彙報」の訂正
41	1899	明治32	8	30	社告	13件		50	
41	1899	明治32	8	30	広告	15件		53	内1件社告
42	1899	明治32	9		神勅			1	
42	1899	明治32	9		訓誡			2	
42	1899	明治32	9		赤木忠春神御 伝記	[先生は巳に諸同志の人々と共に京師に上願…]		3	大明神号請願運動の詳細等
42	1899	明治32	9		伝道新篇	自序(承前)	河上市之丞忠晶著·男河上市蔵 述義	7	
42	1899	明治32			社説	見聞を味へよ		9	
42	1899	明治32	9		社説	贈大教正星島良平先生の二十年祭		12	
42	1899	明治32	9		道の栞	七箇条講義	進藤慎一	15	日々有り難きことを取り外すこと
42	1899	明治32	9		道の栞	教語百二十言の歌	安藤十郎稿	15	
42	1899	明治32		30	講演	本を忘れぬが誠を勤るの本	権少教正三木惟一所講	16	
42	1899	明治32		30	史伝	大教正船木甚市君伝履歴(承前)		17	
42	1899	明治32	9		怡神詠	〔和歌 8首〕	黒住宗篤ほか	17	
42	1899	明治32	9		文苑	〔和歌 10首〕	鍋島直大ほか	18	
42	1899	明治32	9		文苑	黒住教津山小教会所献詠和歌会	安藤安親ほか	18	8月兼題「山家秋来」7首
42	1899	明治32	9		神徳霊験	一席の説諭に迷霧を払う	淡路国 幹田与吉郎	19	
42	1899	明治32	9		神徳霊験	妊婦御蔭を受く	福岡県 神谷孫四朗娘しか	21	
42	1899	明治32	9		小説	名刀直助(五)	奇骨	22	
42	1899	明治32	9		寄書	再生先生の往年の御蔭話を読み似寄りたる御蔭を感 じ筆鋒禁ずる能はず概略を記す		26	
42	1899	明治32	9		寄書	天地神人万物組織之 理考(承前)	権中教正佐山宗定	27	
42	1899	明治32	9		寄書	哲学講義録(承前) 第十九章 何事も活かし上手に成れ		29	
42	1899	明治32	9		雑録	桜園叢談	備前 野村熊三郎寄稿	30	
42	1899	明治32	9		小言俱楽部	5件		31	
42	1899	明治32	9		江湖彙報	修身講話(つづき)	中教正河本務所講·紡績所取締 元岡卯之助筆記	34	
42	1899	明治32	9		江湖彙報	中教正上田久太郎氏自叙伝(承前)		36	
42	1899	明治32	9		江湖彙報	[播磨国宍粟郡山崎小教会所の追日盛運に…]		38	前号に続き山崎教会所の様子
42	1899	明治32	9		江湖彙報	[備中国浅口郡六条院村大字生石の住…]		39	佐方教会所、千日以上の日参した方の話
42	1899	明治32	9		江湖彙報	地方通信〔周防国熊毛郡室積村は郡の首都…〕		39	室積小教会所、衰退からお道連れの発起により隆盛 となる
42	1899	明治32	9		江湖彙報	[客月廿八日は朝来陰雲密閉して…]		41	暴風雨による被害の様子等
42	1899	明治32	9		江湖彙報	神宮奉斎会		43	神宮奉賛会、神宮教院との関係性
42	1899	明治32	9		教報	教師辞令		42	
42	1899	明治32	9		講究会記事	誠の心得(前号の続き) 第二十三章	中教正河本務先生講義·水野鋸 筆記	45	
42	1899	明治32	9		講究会記事	講義筆記(本誌第四十一号所載の承前)	故河上忠晶著·男河上市蔵講義	46	
42	1899	明治32	9		社告	11件		48	
42	1899	明治32	9		広告	19件		52	うち内1件社告
43	1899	,	11		神勅			1	
43	1899	明治32	11	5	神誡			2	

43	1899	明治32	11	5	本庁公文	告示第十八号		3	前号記載の暴風の影響で宗忠神社本殿の屋根の修 繕並びにそれにともなう仮遷宮祭の斎行の通達
43	1899	明治32	11	5	国の教	赤木忠春神御伝記(承前)		3	赤木忠春の霊験談(『赤木忠春』には記載のないも の)
43	1899	明治32			伝道新篇	自序(承前)	河上市之丞忠晶著·男河上市蔵 述義	8	
43	1899	明治32	11		社説	御陽徳		10	
43	1899	明治32	11		道の栞	七箇条講義(承前)	進藤慎一	14	右の条々常に忘るべからず、など
43	1899	明治32	11	5	道の栞	教語百二十言(承前)	安藤十郎稿	16	
43	1899	明治32	11		講演	慢心を去れ	権少教正三木惟一所講	16	
43	1899	明治32	11	5	怡神詠	[和歌 10首]	故河上忠晶ほか	18	河上忠晶、星島宮子、山野定泰
43	1899	明治32	11		文苑	〔和歌 12首〕	川崎田豆雄ほか	18	
43	1899	明治32	11	5	文苑	黒住教津山小教会所月並献詠和歌	直頼高	19	9月兼題「社頭月」10首
43	1899	明治32	11	5	神徳霊験	〔伊予国喜多郡八多喜中教会所詰少講義…〕		19	
43	1899	明治32	11	5	神徳霊験	〔讃岐国三豊郡豊田村大字…〕		20	
43	1899	明治32	11		神徳霊験	〔大和国磯城郡多村大字多…〕		20	
43	1899	明治32	11		小説	名刀直助(六)	奇骨	21	
43	1899	明治32	11		寄書	余が宗教観の一端を述べて黒住教の教意に及ぶ(承前)	藤岡無底	26	
43	1899	明治32	11	5	寄書	鶯の声	岡山 武藤鉄心	27	
43	1899	明治32	11		雑録	桜園叢談(承前)	備前 野村熊三郎寄稿	28	
43	1899	明治32	11		小言俱楽部	10件		29	
43	1899	明治32	11		江湖彙報	中教正上田久太郎氏自叙伝(承前)		31	
43	1899	明治32			江湖彙報	〔権少教正若林桃夭氏は…〕		33	上野中教会所副所長
43	1899	明治32			江湖彙報	条約実施幷内地雑居祝賀祭の続(前々号の続)		35	会の様子、当時の国政・外交の様子
43	1899	明治32	11	5	江湖彙報	〔去本月四日二代宗信神の御祭日に際し…〕		38	邑久の武内善之次宅に野村熊三郎中講義を招待し 大祭を執行、その盛会の様子
43	1899	明治32			江湖彙報	[本教青年の諸氏は寥々として各地とも聞ゆる…]		40	美作垪和教会所に青年会発足、他の青年会の発起を 促す
43	1899	明治32			江湖彙報	〔本月十一日より本庁に於て…〕		40	取締役会延期のお知らせ
43	1899	明治32			教報	三十二年九月分教師辞令		41	
43	1899	明治32			教報	大教会所建築寄附人名		41	
43	1899	明治32			講究会記事	講義筆記(四十一号のつづき)	故河上忠晶著·男河上市蔵講義	43	
43	1899	明治32	11		講究会記事	誠の心得 第十九章	河本先生講義 · 岡田照秀筆記	45	
43	1899	明治32	11		社告	15件		46	雑誌代滞納者へ
43	1899	明治32	11		広告	7件		51	
44	1899	明治32	12		神勅			1	
44	1899	明治32	12		神誡			2	
44	1899	明治32	12		赤木忠春神御 伝記	[斯〈て赤木先生は足守領大庄屋等…]		3	赤木忠春の霊験談(『赤木忠春』には記載のないも の)
44	1899	明治32	12		伝道新篇	自序(承前)	河上市之丞忠晶著·男河上市蔵 述義	5	
44	1899	明治32	12		社説	講究会員の親睦会に就きて		8	
44	1899	明治32	12	5	道の栞	至誠講義		12	教祖神もしくは高弟の講義の記述、この書を知らない 人も増えたため連載
44	1899	明治32	12	5	道の栞	教語百二十言(承前)	安藤十郎稿	13	

44	1899	明治32	12	5	謙富	誠ハ円機	権少教正三木惟一	13	「誠は丸る事」など
44	1899	明治32			史伝	尊王大義ノ首唱	内藤耻叟	14	帝国大学元教授、郵送につき連載
44	1899	明治32	12	5	火山	「日本の我と自由」 「和歌 9首〕	故星嶋宮子	15	星島宮子、山野定泰と時尾宗道の歌
44	1899	明治32			文苑		以生鳴呂丁川崎田豆雄ほか	16	生局占丁、山野足梁と時尾示理の歌
		明治32				[[和歌 13 1] [[日向国東臼杵郡西郷村大字田代…]	川崎田豆雄はか	17	
44	1899				神徳霊験		** 6	17	
44	1899	明治32		5	小説	仇討霊験記	萩舟		
44	1899	明治32			寄書	哲学講義録(四十二号の続) 第二十章 難有り有り 難し	駿河 檣林堂千舟	22	
44	1899	明治32	12		雑録	痴子換心の話		23	
44	1899	明治32			小言俱楽部	4件		28	
44	1899	明治32	12		江湖彙報	中教正上田久太郎氏自叙伝(承前)		31	
44	1899	明治32	12		江湖彙報	[本月十九日本教講究会…]		33	開設一周年記念の親睦会の内容管長の講話など記 述
44	1899	明治32	12		江湖彙報	〔本教青年研究会の嚆矢として…〕		37	垪和教会所の青年研究会について
44	1899	明治32	12		江湖彙報	〔大坂市北区中之島町四丁目四拾三番邸…〕		38	友禅の商人岡崎千代造、スへ夫妻の篤信や善行について
44	1899	明治32			江湖彙報	[十月二十二日は本教独立祭…]		39	別派独立日に祭典
44	1899	明治32	12	5	江湖彙報	[同廿三日は風水災惨死者招魂の為…]		39	管長のもと祭典執行
44	1899	明治32		5	江湖彙報	[出雲国松江市松江中教会所…]		39	松江から大元に唐獅子献納、経費は千円を越すという
44	1899	明治32	12	5	江湖彙報	[伊予国別宮中教会所に於て…]		40	別宮中教会所改築の決議
44	1899	明治32	12	5	江湖彙報	〔教祖御直門の高弟として教職中に其人ありと…〕		41	中教正河本務の逝去について
44	1899	明治32	12	5	教報	三十二年十月分教師辞令		42	
44	1899				教報	大教会所建築寄附人名		43	
44	1899	明治32			講究会記事	講義筆記(四十二号の承前)	故河上忠晶著·男河上市蔵講義	45	
44	1899	明治32	12	5	講究会記事	吉備和楽会告示		47	
44	1899	明治32	12			11件		48	雑誌代滞納者へ
44	1899	明治32	12	5	広告	16件		51	内1件社告
45	1899	明治32	12	30	神勅			1	
45	1899	明治32	12	30	社告			2	
45	1899	明治32	12	30	赤木忠春神御 伝記	〔夫れより一と先づ先生は…〕		3	二度目の開眼の逸話等
45	1899	明治32			伝道新篇	自序(承前)	河上市之丞忠晶著·男河上市蔵 述義	7	教団発展の様子
45	1899	明治32			社説	嗚呼河本務先生		8	河本泰祐の逝去につき
45	1899	明治32			道の栞	至誠講義(承前)		12	有無という山の道を開いて安楽世界にいたる教え
45	1899	明治32				養無一誠に就て	紀蔦乎	13	「姿なき心一つを養うはかしこき人の修行なるらむ」
45	1899	明治32		30	史伝	大教正船木甚市君伝履歴(四拾弐号の続)		14	
45	1899	明治32		30	史伝	故権大教正河本務君略伝		15	
45	1899	明治32		30	史伝	尊王大義ノ首唱(承前)		17	
45	1899	明治32			怡神詠	真木柱	時尾高弟	18	
45	1899	明治32				[和歌 4首]	川崎田豆雄ほか	18	
45	1899	明治32			文苑	津山黒住教小教会所献詠歌会	難波春胤ほか	18	11月兼題「冬眺望」
45	1899	明治32	12		神徳霊験	[肥前国東松浦郡相知村炭鉱…]		19	
45	1899	明治32	12		神徳霊験	[美作郡勝北郡古吉野村大字石生…]		19	
45	1899				神徳霊験	[備後国沼隈郡百島村大字泊…]		19	
	.000	737402			11 10 3112 70/	CMM V H (H (A) M H H H (1) V (1) (H)			

45 1899 明治32 12 30 小弦	
## 5 1899 明治32 12 12 12 12 13 15 1899 19治32 12 12 13 1899 19治32 12 13 14 1899 19治32 12 13 13 18 1899 19h32 12 13 18 18 18 18 18 18 18	
45 1899 明治32 12 30 寄書 然の音楽四音号の統) 玉の活通シン弁 開山 武藤鋏心 26 14 1899 明治32 12 30 高書 道之話(第四音号の統) 玉の活通シン弁 開中連幕子中部 28 28 28 28 28 28 28 2	
45 1899 明治32 12 30 寄書 道之話(策阳拾号の続) 五〇活通シノ弁 開中講義石井忠信述・権少教正 27	
45 1899 明治32 12 30 寄書	
45 1999 明治32 12 30 無縁	
45 1899 明治32 12 30 小言俱楽部 4件 30 32 12 30 江湖楽報 中数正上田人大郎氏自叙伝(承前) 32 14 31 39 明治32 12 30 江湖楽報 2 2 30 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3	
45 1899 明治32 12 30 江瀬彙報 中教正上田久大郎氏自叙伝(承前) 32 無性教変操育年余の発足について 45 1899 明治32 12 30 江湖彙報 (果たして奈り果たして奈り果たして奈り栗を原理し方飲中伊予・・) 33 黒性教変操育年余の発足について 45 1899 明治32 12 30 江湖彙報 (男たして奈り果たして教に予して発い事として教に予して 39 河本茶巾の青年研究会について 45 1899 明治32 12 30 江湖彙報 (五月一十一日は故大教正河本祭・・) 39 河本茶巾の青年研究会について 45 1899 明治32 12 30 江湖彙報 (五月一十一日は故大教正河本祭・・) 39 河本茶巾の青年研究会について 45 1899 明治32 12 30 数報 (五月一十一日は故大教正河本祭・・) 39 河本茶巾の青年でいて 45 1899 明治32 12 30 数報	
45 1899 明治32 12 30 江湖乗報 (異たして然り要焼厚性力統) 33 黒住教受操育年金の発足について 45 1899 明治32 12 30 江湖乗報 (宮崎県宮崎都赤江村少浦義流砂義明) 36 活動に対して管長より感謝状 45 1899 明治32 12 30 江湖乗報 美作国黒住教育年研究会処報(末前) 39 河本泰札の葬儀について 45 1899 明治32 12 30 江湖乗報 (本教廷徳備前・田明教育力治氏は・・・) 39 河本泰札の葬儀について 45 1899 明治32 12 30 江湖乗報 (本教廷徳備前・田明教育力治氏は・・・) 39 河本泰札の葬儀について 45 1899 明治32 12 30 校報 二十二年十一月中教師辞令 39 河本泰札の葬儀について 45 1899 明治32 12 30 校報 大教会所建築寄附人名 46 1899 明治32 12 30 被報 大教会所建築寄附人名 46 1899 明治32 12 30 武彦会記事 諸義筆記(京前) 数河上忠晶著・男河上市蔵講義 42 44 44 44 44 44 45 1899 明治32 12 30 広告 11件 44 46 1900 明治33 1 15 社告 11件 44 46 1900 明治33 1 15 社告 11件 44 46 1900 明治33 1 15 社部 47 47 48 1900 明治33 1 15 社部 47 46 1900 明治33 1 15 社部 47 47 48 1900 明治33 1 15 社部 47 47 48 1900 明治33 1 15 社部 47 48 1900 明治33 1 15 社部 48 48 48 48 48 48 48 4	
45 1899 明治32 12 30 江湖彙報	
45 1899 明治32 12 30 江湖彙報 美作国風住教青年研究会処報(承前) 38 垪和教会所の青年研究会について 45 1899 明治32 12 30 江湖彙報 〔去月二十二日は放大教正河本務…) 39 河本泰林の葬儀について 39 河本泰林の葬儀について 45 1899 明治32 12 30 数報 三十二年十一月中教師辞令 39 河本泰村の葬儀について 45 1899 明治32 12 30 数報 三十二年十一月中教師辞令 40 40 41 42 42 42 43 44 44 44 44	て、付綱領
45	
45	7
45 1899 明治32 12 30 数報 三十二年十一月中教師辞令 39 40 40 40 40 41 42 42 44 42 42 43 44 44	
45	売の予定(虫明焼)
45 1899 明治32 12 30 講究会記事 講義筆記(承前)	
45 1899 明治32 12 30 諸宗全記事 講義筆記(承前) 故河上忠晶著・男河上市蔵講義 42 雑誌代滞納者へ 44 雑誌代滞納者へ 45 1899 明治32 12 30 社告 11件 47 47 46 1900 明治33 1 15 村市 47 47 48 1900 明治33 1 15 社告 47 48 1900 明治33 1 15 社告 2 2 30 3 4 47 48 48 47 47 48 48	
45 1899 明治32 12 30 広告 11件 47 46 1900 明治33 1 15 神勅 1 46 1900 明治33 1 15 本庁告文 3 教祖神50年大祭にむけて 46 1900 明治33 1 15 国の教 赤木忠春神御伝記(承前) 3 神楽岡鎮座の様子 46 1900 明治33 1 15 社説 新年の辞 7 46 1900 明治33 1 15 社説 新国所有福海寿山 8 46 1900 明治33 1 15 道の菜 変融請義(承前) 46 1900 明治33 1 15 道の菜 変配所有福海寿山 8 46 1900 明治33 1 15 道の菜 教語百二十言道しるべの歌(承前) 安藤十郎稿 13 46 1900 明治33 1 15 護演 養無一誠に就て 紀高平 14 46 1900 明治33 1 15 使法 教祖神永 14 46 1900 明治33 1 15 仲神永 教祖神永 黒住宗忠 14 46 1900 明治33 1 15 仲神永 教祖神永 黒住宗忠 16 46 1900 明治33 1 15 仲神永 教祖神永 黒住宗忠 16 46 <	
46 1900 明治33 1 15 神勅 1 2	
46 1900 明治33 1 15 社告 2 教祖神50年大祭にむけて 46 1900 明治33 1 15 本庁告文 3 教祖神50年大祭にむけて 46 1900 明治33 1 15 伝道新篇 自序(承前) 河上市之丞忠晶著・男河上市蔵 立業 5 46 1900 明治33 1 15 社説 新年の辞 7 46 1900 明治33 1 15 社説 我園所有福海寿山 8 46 1900 明治33 1 15 道の栞 教語百二十言道しるべの歌(承前) 女藤十郎稿 13 46 1900 明治33 1 15 道の栞 教語百二十言道しるべの歌(承前) 女藤十郎稿 13 46 1900 明治33 1 15 道の栞 教語百二十言道しるべの歌(承前) 安藤十郎稿 13 46 1900 明治33 1 15 遊び 養無一誠に就て 紀二て」 46 1900 明治33 1 15 佐本大教正可本務君略伝 14 46 1900 明治33 1 15 恰神詠 教祖神詠 (本計、公司、公司、公司、公司、公司、公司、公司、公司、公司、公司、公司、公司、公司、	
46 1900 明治33 1 15 本庁告文 3 教祖神50年大祭にむけて 46 1900 明治33 1 15 国の教 赤木忠春神御伝記(承前) 河上市之丞忠晶著・男河上市蔵 5 近義 15 伝道新篇 自序(承前) 河上市之丞忠晶著・男河上市蔵 5 近義 15 社説 新年の辞 7 16 1900 明治33 1 15 社説 我國所有福海寿山 8 11 16 1900 明治33 1 15 道の栞 至誠講義(承前) 11 16 1900 明治33 1 15 講演 養無一誠に就て 紀高平 13 「ありなしの中に住むべきなき物をないまき物をないまきをいまきをいまきをいまきをいまきをいまます。	
46 1900 明治33 1 15 国の教 赤木忠春神御伝記(承前) 河上市之丞忠晶著・男河上市蔵 5 一	
46 1900 明治33 1 15 伝道新篇 自序(承前) 河上市之丞忠晶著・男河上市蔵 立義 万 日本の辞 日本の報 日本の報	
通信 1900 明治33 1 15 社説 新年の辞 7 11 15 社説 我園所有福海寿山 8 8 11 15 社説 我園所有福海寿山 8 11 15 道の栞 至誠講義(承前) 11 11 11 11 11 11 11	
## 46	
46 1900 明治33 1 15 社説 我園所有福海寿山 8 46 1900 明治33 1 15 道の栞 教語百二十言道しるべの歌(承前) 安藤十郎稿 13 46 1900 明治33 1 15 講演 養無一誠に就て 紀蔦乎 13 「ありなしの中に住むべきなき物をなして」」」」」」」」」 46 1900 明治33 1 15 史伝 故権大教正河本務君略伝 14 46 1900 明治33 1 15 史伝 尊王大義ノ首唱(承前) 17 46 1900 明治33 1 15 性神詠 教祖神詠 黒住宗忠 18 時尾宗道「眞木柱」も 46 1900 明治33 1 15 神徳霊験 「広島県備後国沼隈郡金江村…」 19 19 46 1900 明治33 1 15 神徳霊験 「広島県市後国沼隈郡金江村…」 19 19 46 1900 明治33 1 15 神徳霊験 「佐島県下那賀郡坂野村大字和田村…」 20 46 1900 明治33 1 15 小徳霊験 「徳島県下那賀郡坂野村大字和田村…」 安藤十朗 26 道の理解説	
46 1900 明治33 1 15 道の栞 至誠講義(承前) 11 46 1900 明治33 1 15 道の栞 教語百二十言道しるべの歌(承前) 安藤十郎稿 13 46 1900 明治33 1 15 講演 養無一誠に就て 紀蔦乎 13 「ありなしの中に住むべきなき物をなって」」」」」」」」」」 46 1900 明治33 1 15 史伝 故権大教正河本務君略伝 14 46 1900 明治33 1 15 快神詠 無住宗忠 18 46 1900 明治33 1 15 中徳霊験 [広島県備後国沼隈郡金江村…] 19 46 1900 明治33 1 15 神徳霊験 [広島県備後国沼隈郡金江村…] 19 46 1900 明治33 1 15 神徳霊験 [徳島県下那賀郡坂野村大字和田村…] 20 46 1900 明治33 1 15 小説 仇討霊験に(三) 萩舟 22 46 1900 明治33 1 15 小説 仇討霊験に(三) 萩舟 22 46 1900 明治33 1 15 小説 九計 小説 </td <td></td>	
46 1900 明治33 1 15 道の栞 教語百二十言道しるべの歌(承前) 安藤十郎稿 13 「ありなしの中に住むべきなき物をないです。 14 15 15 15 15 15 15 15	
461900明治33115講演養無一誠に就て紀蔦乎13「ありなしの中に住むべきなき物をなって」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	
10	ナルト田ミかかもふ
46 1900 明治33 1 15 史伝 尊王大義/首唱(承前) 17 46 1900 明治33 1 15 怡神詠 教祖神詠 黒住宗忠 18 時尾宗道「眞木柱」も 46 1900 明治33 1 15 文苑 [和歌 17首] 18 46 1900 明治33 1 15 神徳霊験 [広島県備後国沼隈郡金江村…] 19 46 1900 明治33 1 15 神徳霊験 [徳島県下那賀郡坂野村大字和田村…] 20 46 1900 明治33 1 15 小説 仇討霊験記(三) 萩舟 22 46 1900 明治33 1 15 寄書 (承前)[御小伝の中に凡、天地の…] 安藤十朗 26 道の理解説	:なしと思うななさ心
46 1900 明治33 1 15 怡神詠 教祖神詠 黒住宗忠 18 時尾宗道「眞木柱」も 46 1900 明治33 1 15 文苑 [和歌 17首] 住山宗定ほか 18 46 1900 明治33 1 15 神徳霊験 [広島県備後国沼隈郡金江村…] 19 46 1900 明治33 1 15 神徳霊験 [徳島県下那賀郡坂野村大字和田村…] 20 46 1900 明治33 1 15 小説 仇討霊験記(三) 萩舟 22 46 1900 明治33 1 15 寄書 (承前)[御小伝の中に凡、天地の…] 安藤十朗 26 道の理解説	
46 1900 明治33 1 15 怡神詠 教祖神詠 黒住宗忠 18 時尾宗道「眞木柱」も 46 1900 明治33 1 15 文苑 [和歌 17首] 住山宗定ほか 18 46 1900 明治33 1 15 神徳霊験 [広島県備後国沼隈郡金江村…] 19 46 1900 明治33 1 15 神徳霊験 [徳島県下那賀郡坂野村大字和田村…] 20 46 1900 明治33 1 15 小説 仇討霊験記(三) 萩舟 22 46 1900 明治33 1 15 寄書 (承前)[御小伝の中に凡、天地の…] 安藤十朗 26 道の理解説	
46 1900 明治33 1 15 神徳霊験 [広島県備後国沼隈郡金江村…] 19 46 1900 明治33 1 15 神徳霊験 [徳島県下那賀郡坂野村大字和田村…] 20 46 1900 明治33 1 15 小説 仇討霊験記(三) 萩舟 22 46 1900 明治33 1 15 寄書 (承前)[御小伝の中に凡、天地の…] 安藤十朗 26 道の理解説	
46 1900 明治33 1 15 神徳霊験 [広島県備後国沼隈郡金江村…] 19 46 1900 明治33 1 15 神徳霊験 [徳島県下那賀郡坂野村大字和田村…] 20 46 1900 明治33 1 15 小説 仇討霊験記(三) 萩舟 22 46 1900 明治33 1 15 寄書 (承前)[御小伝の中に凡、天地の…] 安藤十朗 26 道の理解説	
46 1900 明治33 1 15 神徳霊験 [徳島県下那賀郡坂野村大字和田村…] 20 46 1900 明治33 1 15 小説 仇討霊験記(三) 萩舟 22 46 1900 明治33 1 15 寄書 (承前)[御小伝の中に凡、天地の…] 安藤十朗 26 道の理解説	
46 1900 明治33 1 15 小説 仇討霊験記(三) 萩舟 22 46 1900 明治33 1 15 寄書 (承前)[御小伝の中に凡、天地の…] 安藤十朗 26 道の理解説	
】	
46 1900 明治33 1 15 寄書 鶯の声(承前) 岡山 武藤鉄心 27	
18 1808 9/1808 1 18 18 18 18 18 18	
46 1900 明治33 1 15 雑録	

46	1900	明治33	1	15	雑録	健児の伝		31	
46	1900	明治33	1		小言俱楽部	一綴	彷徨生	34	
46	1900	明治33	1		江湖彙報	中教正上田久太郎氏自叙伝	1万1至工	32	
46	1900	明治33	1		江湖彙報	[旧冬二十二日は冬至に当り例年の通り…]		38	冬至大祭の様子
46	1900	明治33	1		江湖彙報	[鳥取県伯耆国東伯郡下中山村大工…]		39	落とした財布を届ける話
46	1900	明治33	1		江湖彙報	[同国東伯郡北谷村大字中野村福井三十郎氏…]		39	福井三十郎が禁厭を施す
46	1900	明治33	1		江湖彙報	[同上松河原小教会所は日々に多きを加ふる…]		40	福升二十郎か宗献を加り 松河原教会所移転新築の様子
		明治33	1		江湖集報 江湖彙報				
46	1900	明治33	1		江湖渠報 江湖彙報	【佐賀県唐津町本教小教会所部内…】 【赤木の神垂跡の霊地なる美作の国にては…】		42 42	信者で教師に対して無償の旅籠
46	1900	明治33	1						垪和教会所の青年研究会について 四小された4.またまで3.500
46	1900		1		江湖彙報	[講究会講師河上市蔵氏は講究会の外尚更ら…]		42	岡山市内にも青年講究会を
46	1900	明治33	1		江湖彙報	[吉備の悖老よりとして左の貴言集…]		44	寄贈された「貴言集」について
46	1900	明治33	1		江湖彙報	〔大教正黒住宗敬君は…〕		44	大教正黒住宗敬君墓誌銘
46	1900	明治33	1		教報	大教会所建築寄附人名		45	
46	1900	明治33	1		講究会記事	講義筆記(承前)	故河上忠晶著·男河上市蔵講義	47	「瑞穂之邦。赫々神聖。」
46	1900	明治33	1		社告	8件		48	
47	1900	明治33	2		神勅			1	
47	1900	明治33	2	25	社告			2	
47	1900	明治33	2		本庁告文			3	黒住教大元奉賽講規則
47	1900	明治33	2		国の教	赤木忠春神御伝記拾遺		4	上島為辰の手記
47	1900	明治33	2	25	伝道新篇	自序(承前)	河上市之丞忠晶著·男河上市蔵 述義	6	忠孝を大義と為す
47	1900	明治33	2	25	社説	善後の注意		8	河本務をはじめ多くの方が逝去
47	1900	明治33	2	25	道の栞	至誠講義		13	
47	1900	明治33	2	25	講演	阿呆に成れ	権少教正鈴木道生所講	14	
47	1900	明治33	2	25	史伝	故権大教正河本務君略伝(承前)		15	
47	1900	明治33	2	25	史伝	尊王大義の首唱(承前)		18	
47	1900	明治33	2	25	史伝	大教正船木甚市君伝履歴(四十五号続)		19	
47	1900	明治33	2	25	怡神詠	真木柱 	時尾宗道	20	
47	1900	明治33	2	25	文苑	[和歌 13首]	但馬 堀敬篤ほか	20	
47	1900	明治33	2		神徳霊験	[各地より寄贈せらるる…]		20	
47	1900	明治33	2		神徳霊験	美作国古町教会所権少教正友広忠光氏寄投		21	
47	1900	明治33			神徳霊験	〔美作国勝北郡中島村…〕		21	
47	1900	明治33	2	25	神徳霊験	[備中国浅口郡里美村大字大原…]		24	
47	1900	明治33	2		小説	仇討霊験記(四)	萩舟	24	
47	1900	明治33	2	25	寄書	(承前)[此に形諸共生通しの…]	安藤十郎	26	
47	1900	明治33	2		寄書	住山教正の糺門に対し生通しの答弁	権少教正友広忠光	30	住山宗定の意見
47	1900	明治33	2	25	雑録		備前野村熊三郎話輯·神隋舎主人	30	
47	1900	明治33	2	25	寸鉄警語	一綴		34	小言倶楽部より改題、短文の寄稿を呼びかける
47	1900	明治33	2		江湖彙報	[兼て御妊娠中なりし…]		40	黒住徳子の生誕につき
47	1900	明治33	2		江湖彙報	[伯耆国倉吉町船木甚兵衛氏は…]		40	本部へ御神筆等を寄贈
47	1900	明治33	2		江湖彙報	[筑前の志士海妻甘蔵氏は…]		40	「始築筑前怡土城奮跡誌」寄贈
47	1900	明治33	2		江湖彙報	貴言集(承前)		41	松河原教会所移転新築の様子
47	1900	明治33	2		江湖彙報	天道初歩いろは語り	大講義澤田宗夫	41	澤田が山口布教の際に作成したものを同地訓導亀岡 大吉が投書
47	1900	明治33	2	25	江湖彙報	[本誌四十五号に付録として…]		42	45号掲載の諸祭具を3月教祖大祭で販売開始予定

47	1900	明治33	2	25	江湖彙報	「客月六日に執行せられし前大教正…」		42	黒住宗敬葬儀の様子
47	1900	明治33	2		江湖彙報	[管長殿の令閨美波子姫は…]		43	4代令閨美波子の逝去
47	1900	明治33	2		江湖彙報	[兼て本教に身を投じ専心布教…]		43	日久教会所少教正濱田信の逝去
47	1900	明治33	2		教報	三十二年十二月分教師辞令		39	と入牧去が少牧正演山信の 処ム
47	1900	明治33			教報	二十二十十二月刀教師時下 大教会所建築寄附人名		40	
47		明治33			社告	9件		46	
47	1900 1900	明治33	2		広告	10件		49	
		明治33	3		神勅	1014			
48 48	1900	明治33	3		仲制 教祖神訓戒			1	
48	1900 1900	明治33	3		社告	2件		2	
48	1900	明治33	3		本庁告文	2 FF 黒住教大元報賽講規則(承前)	黒住教本庁	3	
48	1900	明治33	3		社説	大坂親睦会	<u>未</u> 任教本厅	4	
48	1900	明治33	3		道の栞	入奴税啶云 至誠講義		7	
48	1900	明治33	3		道の栞	王誠்語表 教語百二十言	八十一童安藤十朗	9	
		明治33	3		講演			9	
48	1900		3			誠を取外すな	故贈大教正星島良平講義·権少 教正鈴木道生寄稿	9	
48	1900	明治33	3		史伝	赤木忠春神御伝記拾遺(承前)		11	
48	1900	明治33	3		怡神詠	真木柱	時尾宗道	15	
48	1900	明治33	3		文苑	〔和歌 11首〕	岡山 加藤秀徹ほか	15	
48	1900	明治33	3		文苑	黒住津山小教会所献詠和歌 二月兼題 余寒	広瀬基親ほか	16	和歌5首
48	1900	明治33	3		神徳霊験	[丹後国加佐郡倉梯村大字多門院…]		16	
48	1900	明治33	3		神徳霊験	〔大阪市東区上本町三丁目…〕		17	
48	1900	明治33	3		神徳霊験	[豊後国西国東郡田染村…]		17	
48	1900	明治33	3		神徳霊験	[備前国上道郡浮田村大字草ヶ部…]		18	
48	1900	明治33	3		小説	仇討霊験記(五)	萩舟	19	
48	1900	明治33	3		寄書	天地神人万物組織原理考(第四十二号の続)	中教正住山宗定講述	24	
48	1900	明治33	3		寄書	道の話(第四十五号之続) 六〇孝行 	贈中講義石井忠信述·権少教正 岡本圭吉寄稿	26	
48	1900	明治33	3		寄書	哲学講義録(前々号の続)	駿河 檣林堂千舟	27	
48	1900	明治33	3		雑録	小林倹蔵氏の鎮魂		26	医師であり門人となった小林倹蔵について
48	1900	明治33	3	18	雑録	作文探題二十条	故大教正森下景端大人述·権少 教正岡本圭吉投稿	30	
48	1900	明治33	3	18	雑録	御道軍歌		32	
48	1900	明治33	3		寸鉄警語	[身も我も心を捨て々天地のたつたーツ…]	僻寓の一信者	32	
48	1900	明治33	3		寸鉄警語	〔教育ある国民に文明の学理を…〕	岡山の大野生	32	
48	1900	明治33	3	18	寸鉄警語	[一寸伺ひます近来は学問の世の中でありますれは …]	注意生	32	
48	1900	明治33	3	18	寸鉄警語	[某一日或る先生に御蔭を受けんものと…]	注意生	32	
48	1900	明治33	3		寸鉄警語	〔説教中霊験談の可否に就て…〕	稽古講義生	33	
48	1900	明治33	3		寸鉄警語	[説教をする発端に何やら日の内にて極小音で…]	説教の糟掴生	33	
48	1900	明治33	3		江湖彙報	橘高栄吉氏よりの寄稿	橘高栄吉	33	信者の高橋辰吉の生涯について
48	1900	明治33	3		江湖彙報	安藤十郎氏よりの寄稿	安藤十郎	35	美作国南条郡高野村の木挽職寺坂友平の妻よねが 腎臓病にかかり、長女ちよのによる看病と産土神社 への参拝により回復したことに対し、安藤十郎が感心 し禁厭を授けた
48	1900	明治33	3	18	教報	告示第二号(下御鬮再興につき)		37	
						•			

48	1900	明治33	3	18	教報	明治三十三年一月中教師辞令		38	
48	1900	明治33	3		教報	大教会所建築寄附人名		38	
48	1900	明治33	_	18	正誤	正誤		39	
48	1900	明治33			社告	8件		39	
48	1900	明治33			広告	4件		42	
49	1900	明治33			神勅	111		1	
49	1900	明治33			教祖神訓戒			2	
49	1900	明治33	4		本庁告文	黒住教大元報賽講細則(承前)		3	
49	1900	明治33	4		国の教	赤木忠春神御伝記拾遺(承前)		5	
49	1900	明治33	4		社説	神戸米搗搗会に就て		6	
49	1900	明治33	4		道の栞	至誠講義(承前)		10	
49	1900	明治33	4		道の栞	教語百二十言	八十一童安藤十郎	12	
49	1900	明治33	4		講演	善人の罪を作るな	故贈大教正星島良平講義・権少	12	
"	1000		'			BY(V)	教正鈴木道生寄稿	12	
49	1900	明治33	4		史伝	故権大教正河本務君略伝(承前)		14	
49	1900	明治33	4		史伝	故権中教正星島宮子氏の略伝		16	
49	1900	明治33	4		怡神詠	真木柱(承前)	時尾宗道	18	
49	1900	明治33	4		文苑	宗忠神社献詠和歌佳調四月分兼題	土佐 野島信光ほか	18	和歌33首
49	1900	明治33	4	25	神徳霊験	【神楽岡中教会所より左の二名の霊験報知の儘を記す 京都市上京区仁王門通…】		20	
49	1900	明治33	4		神徳霊験	[神楽岡中教会所より左の二名の霊験報知の儘を記す 京都市下京区本町通…]		20	
49	1900	明治33	4		神徳霊験	[阿波国阿波郡久勝村大字勝命村…]		21	
49	1900	明治33	4		神徳霊験	〔長崎市出来大工町三級信徒若杉政之助…〕		21	
49	1900	明治33	4		小説	仇討霊験記(六)	萩舟	22	
49	1900	明治33	4		寄書	祖神ノ達見	静岡 三浦直正	27	
49	1900	明治33	4		雑録	贈小教正黒田平八郎氏旧話		28	備前国邑久郡山田村の亀蔵が禁厭受け改心
49	1900	明治33	4		寸鉄警語	〔第四拾八号本欄に於て…〕	布教生	30	
49	1900	明治33	4		寸鉄警語	〔余か地方の教職か高坐に御進みなされて…〕	出雲国大草 希望生	30	
49	1900	明治33	4		寸鉄警語	[四十八号本欄内糟掴生の尻馬に跨かり…]	好元生	31	
49	1900	明治33	4		寸鉄警語	〔或る地方に禁厭好きの先生か多く有りますか…〕	実見生	31	
49	1900	明治33	4		寸鉄警語	[或る先生は患者より頼みに来ますと是を予め…]	念道生	31	
49	1900	明治33	4		寸鉄警語	[去月二十四日は例年の通り教祖御大祭…]		31	
49	1900	明治33	4	25	江湖彙報	[大坂に於ける本教々職信徒諸氏は去月八日…]		33	教職・信徒等の親睦会には百余人参加、八木報賽講理事・大坂朝日新聞社員武田弥富久・大坂市製産物品評会員池上八治郎等が演説、中学校長福井彦次郎の演説大意「貧民問題将来の難関は黒住教の一手持切なり」として掲載
49	1900	明治33	4	25	江湖彙報	[大坂地方の本教に於けるや従来篤信の…]		38	少教正寺川宰五郎・小教正河野忠道等が御大祭に際 して結成した大坂万人講について、規約書や講員の 内訳
49	1900	明治33	4	25	江湖彙報	[今般大坂万人講々員は宗忠神社御社殿より…]		41	大坂万人講により宗忠神社社殿から大教会への廊下 を架設する計画
49	1900	明治33	4	25	江湖彙報	〔大分県豊後国西国東郡西都甲村…〕		41	西都甲村の黒住教長岩講社にて、明治32年12月1日 より2日まで教祖五十年祭を執行

49	40	1000	пп://oo		0.5	江州 是 42		10	
49 1900 明治33 4 25 歌報	49	1900	明治33	4			[豊後国西国東郡西都村井ノロ要六氏は…]	42	井ノ口が布教とともに寄付金を募集し、寄贈したことへ の謝意
49	49	1900		4					
49 1900 明治33 4 25 広告 11件	49	1900		4			大教会所建築寄附人名		
50 1900 明治31 5 25 開放 2 2 円 50 1900 明治32 5 25 開放 数名目標 (大学) 数名目	49	1900		4	25	社告		43	
50 1900 明治31 5 25 別談 教袖神訓誡	49	1900		4			11件	44	
50 1900 明治33 5 25 25 国の教	50	1900		5				1	
50 1900 別治33 5 25 国の教 皇太子陛下禍結婚祝辞 6 6 6 6 6 6 6 6 6	50	1900		5		訓誡		2	
50 1900 明治33 5 7 25 国の教	50	1900		5				4	
50 1900 明治33 5 25 过	50	1900						5	
50 1900 別治3 5 25 道の葉 空談議会 保前 11 11 11 11 11 11 11	50	1900							
50 1900 明治33 5 25	50	1900						7	
1900 明治33 5 25 速度 日本経事を取らす事 明山 安分軒 13 14 15 17 17 17 17 18 18 18 18	50	1900		5					
1900 明治33 5 25 支佐 故権大教正河本祭書階低(承前) 14	50	1900		5					
50 1900 明治33 5 25 代神詠 南木柱(茶前) 時尾宗道 17 明上の 明治33 5 25 文苑 宗忠神社献詠本和歌美語 土佐 野島信光ほか 19 和歌「川山吹」32首・「蛙」22首 17 17 17 17 17 17 17 1	50	1900		-					
50 1900 明治33 5 25 文苑	50								
50 1900 明治33 5 25 文苑 宗忠神社献詠和歌楽題 土佐 野島信光ほか 19 和歌「川山吹」32首・「蛙」22首 1900 明治33 5 25 神徳霊験 〔安政年間本数の二世と尊び奉る宗信の…〕 21 1900 明治33 5 25 神徳霊験 〔安政年間本数の二世と尊び奉る宗信の…〕 23 1900 明治33 5 25 京書 雑誌発兌の五拾回を祝して 紀蔦平 28 1900 明治33 5 25 京書 雑誌発兌の五拾回を祝して 紀蔦平 28 1900 明治33 5 25 京書 本教の機関新聞雑誌 京音 京音 京音 京音 京音 京音 京音 京	50								
50 1900 明治33 5 25 神橋霊験 「安政年間本教の二世と尊び奉る宗信の・・・) 1900 明治33 5 25 不教の機関新聞雑誌 京音 京音 京音 京音 京音 京音 京音 京									
50 1900 明治33 5 25 小説 馬場三郎兵衛									和歌「川山吹」32首・「蛙」22首
50 1900 明治33 5 25 寄書 雑誌発兌の五拾回を祝して 紀高平 28 30 『国の教』について、岡山にて機関雑誌として明治18・19年頃に『二七新報』(日韓通商協会理事・吉田文 二)、次に『不二新聞』(岡山・稲垣平衛)が創刊、『不二新聞』(岡山・稲垣平衛)が創刊、『不二新聞』(岡山・稲垣平衛)が創刊、『不二新聞』主筆記者が『国の教』主筆の別止 第194 頃に『二七新報』(日韓通商協会理事・吉田文 二)、次に『不二新聞』(岡山・稲垣平衛)が創刊、『不二新聞』主筆記者が『国の教』主筆の別止 第194 頃に『二七新報』(日韓通商協会理事・吉田文 二)、次に『不二新聞』主筆記者が『国の教』主筆の別止 第194 頃に『二七新報』(日韓通商協会理事・吉田文 二)、次に『不二新聞』主筆記者が『国の教』主筆の別し 第194 頃に『二七新報』(日韓通商協会理事・吉田文 二)、次に『不二新聞』(岡山・稲垣平衛)が創刊、『不二新聞』主筆記者が『国の教』主筆の別し 第194 頃に『二七新報』(日韓通商協会理事・吉田文 二)、次に『不二新聞』主筆記者が『国の教』主筆記書が『国の教』主書記書は『国の教』主書記書による記述書記書による記述書記述書による記述書記述書による記述									
50 1900 明治33 5 25 寄書 本教の機関新聞雑誌 奇骨 30 『国の教』について、岡山にて機関雑誌として明治18~19年頃に『エ七新報』に日味通商協会理事・吉田文 三)、次に『エ七新報』に同址福垣平衡)が創刊、『不二新聞』主筆記者が『国の教』主筆の川上 50 1900 明治33 5 25 雑録 中教正山本貞次郎氏往事談 31 50 1900 明治33 5 25 寸鉄警語 「本欄内に教師の悪口が沢山山で居り舛か…」 注告子 32 50 1900 明治33 5 25 寸鉄警語 「斯道の隆塵を計らんとせば建築に重きを措き…」 陽丹の節倹生 32 50 1900 明治33 5 25 寸鉄警語 「第四拾九号社説に云へるあり…」 校正小僧 33 50 1900 明治33 5 25 寸鉄警語 「近此所々に講究会字洗会又は米搗会と…」 理屈嫌生 33 50 1900 明治33 5 25 ブ鉄警語 「近上所々に講究会字洗会又は米搗会と…」 無臭道人 50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 「管長殿には大坂地方御巡教として…」 無臭道人 50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 「東北崎小の標準会は上未明でおりためきでいまする道程について 50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 「東で経営中のより本教上であするは表月廿二日…」 36 青年会の目的はよ内外の典籍をも満していて 50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 「兼でと教育・大教会所のよりにより、大教会所のよりをはまする。 第2 </td <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>									
19年頃に『二十新観』に母韓通商協会理事・吉田文 三次に『不二新聞』に母韓通商協会理事・吉田文 三次に『不二新聞』主筆記者が『国の教』主筆の川上 19年頃に『二十新観』に母韓通商協会理事・吉田文 三次に『不二新聞』主筆記者が『国の教』主筆の川上 19年頃に『二十新観』主筆記者が『国の教』主筆の川上 19年頃に『二十新観』主筆記者が『国の教』主筆の川上 19年頃に『二十新観』に母韓通商協会理事・吉田文 三次に『不二新聞』主筆記者が『国の教』主筆の川上 19年頃に『一大新観』に母韓通商協会理事・吉田文 三がしている 明治33 5 25 14数書語 19年頃に大阪地方部の悪口が沢山出て居り舛か… 19年頃に「大田、									
50 1900 明治33 5 25 寸鉄警語 〔本欄内に教師の悪口が沢山出て居り舛か…〕 注告子 32 32 32 33 34 35 25 寸鉄警語 〔斯道の隆盛を計らんとせば建築に重きを措き…〕 陽丹の節俟生 32 32 32 33 33 34 35 25 寸鉄警語 〔野四拾九号社説に云へるあり…〕 花正生 32 33 33 33 34 35 25 寸鉄警語 〔教訓の語にして本教の教旨に適合せるもの…〕 校正小僧 33 33 34 35 25 寸鉄警語 〔数計の語にして本教の教旨に適合せるもの…〕 様理が開かる。 「本稿の味噌臭さは上味噌にあらずと…〕 無臭道人 33 管長巡教に少教正寺川宰五郎・訓導渡邊市五郎随行 33 管長巡教に少教正寺川宰五郎・訓導渡邊市五郎随行 34 35 35 35 35 35 35 35	50	1900	明治33	5	25	寄書	本教の機関新聞雑誌	奇肯 30	19年頃に『二七新報』(日韓通商協会理事・吉田文三)、次に『不二新聞』(岡山・稲垣平衛)が創刊、『不
50 1900 明治33 5 25 寸鉄警語	50	1900	明治33	5	25	雑録	中教正山本貞次郎氏往事談	31	
50 1900 明治33 5 25 寸鉄警語	50	1900	明治33	5	25	寸鉄警語	[本欄内に教師の悪口が沢山出て居り舛か…]	注告子 32	
50 1900 明治33 5 25 寸鉄警語 【教訓の語にして本教の教旨に適合せるもの…】 校正小僧 33 50 1900 明治33 5 25 寸鉄警語 〔近比所々に講究会芋洗会又は米搗会と…〕 理屈嫌生 33 50 1900 明治33 5 25 寸鉄警語 〔語に日く味噌の味噌臭さは上味噌にあらずと…〕 無臭道人 33 50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 「管長殿には大坂地方御巡教として…〕 33 管長巡教に少教正寺川宰五郎・訓導渡邊市五郎随行 50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 「兼て経営中なりし本教青年会は去月廿二日…〕 36 青年会の目的は内外の典籍をも講じて見聞を広め宗教界を研究すること、幹事長は長谷川柳太郎・幹事に藤岡元徳 50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 〔御慶事奉祝の為め組織したる大坂黒住教有志…〕 37 会長は岡島千代造、慶事奉祝に際した伊勢参宮有志者を集め参拝する道程について 50 1900 明治33 5 25 教報 教師進退表 38 50 1900 明治33 5 25 教報 教会議社説教所異由 39 50 1900 明治33 5 25 教報 18 39 50	50	1900	明治33	5	25	寸鉄警語	[斯道の隆盛を計らんとせば建築に重きを措き…]	陽丹の節倹生 32	
50 1900 明治33 5 25 寸鉄警語 〔近比所々に講究会芋洗会又は米搗会と…〕 理屈嫌生 33 50 1900 明治33 5 25 寸鉄警語 〔語に曰く味噌の味噌臭さは上味噌にあらずと…〕 無臭道人 33 50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 「管長殿には大坂地方御巡教として…〕 33 管長巡教に少教正寺川宰五郎・訓導渡邊市五郎随行 50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 大坂懇親会概況の続き 34 50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 「兼て経営中なりし本教青年会は去月廿二日…〕 36 青年会の目的は内外の典籍をも講じて見聞を広め宗教界を研究すること、幹事長は長谷川柳太郎・幹事に藤岡元徳 50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 「御慶事奉祝の為め組織したる大坂黒住教有志…〕 37 会長は岡島千代造、慶事奉祝に際した伊勢参宮有志者を集め参拝する道程について 50 1900 明治33 5 25 教報 教師進退表 38 50 1900 明治33 5 25 教報 教の進退表 38 50 1900 明治33 5 25 教報 有徒員数表 39 50 1900 明治33 5 25 教報 「養廷費数表 39 50 1900 明治33 5 25 教報 財治三十三年三月中教師辞令 39	50	1900	明治33	5	25	寸鉄警語	[第四拾九号社説に云へるあり…]	正直生 32	
50 1900 明治33 5 25 寸鉄警語 [語に日く味噌の味噌臭さは上味噌にあらずと…] 無臭道人 33 50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 [管長殿には大坂地方御巡教として…] 33 管長巡教に少教正寺川宰五郎・訓導渡邊市五郎随行 50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 大坂懇親会概況の続き 34 50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 「兼で経営中なりし本教青年会は去月廿二日…] 36 青年会の目的は内外の典籍をも講じて見聞を広め宗教界を研究すること、幹事長は長谷川柳太郎・幹事に藤岡元徳 50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 「御慶事奉祝の為め組織したる大坂黒住教有志…] 37 会長は岡島千代造、慶事奉祝に際した伊勢参宮有志者を集め参拝する道程について 50 1900 明治33 5 25 教報 教師進退表 38 50 1900 明治33 5 25 教報 教師進退表 38 50 1900 明治33 5 25 教報 教会講社説教所異動表 38 50 1900 明治33 5 25 教報 財治 信徒員数表 39 50 1900 明治33 5 25 教報 明治三十三年三月中教師辞令 39	50	1900							
50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 【管長殿には大坂地方御巡教として…】 33 管長巡教に少教正寺川宰五郎・訓導渡邊市五郎随行 50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 大坂懇親会概況の続き 34 36 青年会の目的は内外の典籍をも講じて見聞を広め宗教界を研究すること、幹事長は長谷川柳太郎・幹事に藤岡元徳 37 会長は岡島千代造、慶事奉祝に際した伊勢参宮有志者を集め参拝する道程について 1900 明治33 5 25 江湖彙報 【兼で大教会所岡山出張所部内設立に係れる…】 37 開心講 37 開心講 38 1900 明治33 5 25 数報 数報 数報 数報 数報 数報 数据 数据	50	1900		5					
501900明治33525江湖彙報大坂懇親会概況の続き501900明治33525江湖彙報[兼て経営中なりし本教青年会は去月廿二日…]36青年会の目的は内外の典籍をも講じて見聞を広め宗教界を研究すること、幹事長は長谷川柳太郎・幹事に藤岡元徳501900明治33525江湖彙報[御慶事奉祝の為め組織したる大坂黒住教有志…]37会長は岡島千代造、慶事奉祝に際した伊勢参宮有志者を集め参拝する道程について501900明治33525江湖彙報[兼て大教会所岡山出張所部内設立に係れる…]37開心講501900明治33525教報教師進退表38501900明治33525教報教会講社説教所異動表38501900明治33525教報教報信徒員数表39501900明治33525教報明治三十三年三月中教師辞令39	50	1900							
501900明治33525江湖彙報[兼て経営中なりし本教青年会は去月廿二日…]36青年会の目的は内外の典籍をも講じて見聞を広め宗教界を研究すること、幹事長は長谷川柳太郎・幹事に藤岡元徳501900明治33525江湖彙報[御慶事奉祝の為め組織したる大坂黒住教有志…]37会長は岡島千代造、慶事奉祝に際した伊勢参宮有志者を集め参拝する道程について501900明治33525江湖彙報[兼て大教会所岡山出張所部内設立に係れる…]37開心講501900明治33525教報教師進退表38501900明治33525教報教会講社説教所異動表38501900明治33525教報信徒員数表39501900明治33525教報明治三十三年三月中教師辞令39	50	1900					[管長殿には大坂地方御巡教として…]	33	管長巡教に少教正寺川宰五郎・訓導渡邊市五郎随行
501900明治33525江湖彙報「御慶事奉祝の為め組織したる大坂黒住教有志…」37会長は岡島千代造、慶事奉祝に際した伊勢参宮有志者を集め参拝する道程について501900明治33525江湖彙報「兼て大教会所岡山出張所部内設立に係れる…」37開心講501900明治33525教報教師進退表38501900明治33525教報教会講社説教所異動表38501900明治33525教報教会講社説教所異動表39501900明治33525教報明治三十三年三月中教師辞令39	50	1900		5				34	
50 1900 明治33 5 25 江湖彙報 〔兼て大教会所岡山出張所部内設立に係れる…〕 37 開心講 50 1900 明治33 5 25 教報 教師進退表 38 38 50 1900 明治33 5 25 教報 教会講社説教所異動表 38 50 1900 明治33 5 25 教報 信徒員数表 39 50 1900 明治33 5 25 教報 明治三十三年三月中教師辞令 39	50	1900	明治33	5			[兼て経営中なりし本教青年会は去月廿二日…]	36	教界を研究すること、幹事長は長谷川柳太郎・幹事に
50 1900 明治33 5 25 教報 教師進退表 38 50 1900 明治33 5 25 教報 教会講社説教所異動表 38 50 1900 明治33 5 25 教報 信徒員数表 39 50 1900 明治33 5 25 教報 明治三十三年三月中教師辞令 39	50	1900		5				37	者を集め参拝する道程について
50 1900 明治33 5 25 教報 教会講社説教所異動表 38 50 1900 明治33 5 25 教報 信徒員数表 39 50 1900 明治33 5 25 教報 明治三十三年三月中教師辞令 39	50	1900					〔兼て大教会所岡山出張所部内設立に係れる…〕	37	開心講
50 1900 明治33 5 25 教報 信徒員数表 39 50 1900 明治33 5 25 教報 明治三十三年三月中教師辞令 39	50	1900		5					
50 1900 明治33 5 25 教報 明治三十三年三月中教師辞令 39	50	1900		5					
	50	1900		5			信徒員数表		
50 1900 明治33 5 25 吉備和楽 [明治33年3月分辞令] 40	50	1900						39	
	50	1900	明治33	5	25	吉備和楽	[明治33年3月分辞令]	40	

50	1900	明治33	5	25	正誤			40	
50	1900	明治33	5		大元報賽講録	表題		41	
50	1900	明治33	э	25	人兀牧養語球 事	衣起		41	
50	1900	明治33	5		大元報賽講録 事	〔茲に大元報賽講を創設せしは…〕	黒住教管長黒住宗子	42	
50	1900	明治33	5	25	大元報賽講録 事	大元報賽講の組織		43	
50	1900	明治33	5		大元報賽講録 事	報賽講徴章		43	
50	1900	明治33	5		大元報賽講録 事	報賽講長		43	
50	1900	明治33			大元報賽講録 事	講員募集		43	
50	1900	明治33			大元報賽講録 事	静岡小教会所講員募集		44	
50	1900	明治33	5		大元報賽講録 事	大元報賽講加盟人員		44	
50	1900	明治33	5		大元報賽講録 事	報賽講員徴章		45	
50	1900	明治33	5		大元報賽講録 事	報賽講員徴章の授与		45	
50	1900	明治33	5	25	社告	7件		45	
50	1900	明治33	5		広告	13件		50	内2件社告
51	1900	明治33	6	15	神勅			1	
51	1900	明治33			訓誡	教祖神訓誡		2	
51	1900	明治33			国の教	三神契	河上市之丞忠晶	3	
51	1900	明治33		15	社説	岡山青年会の開設		5	
51	1900	明治33	6		道の栞	至誠講義(承前)		8	
51	1900	明治33			道の栞	黒住教、教の一班(教師の心得)		9	
51	1900	明治33			道の栞	教語百二十言	安藤十朗	11	
51	1900	明治33			講演	心の戦争	岡山 西川漁夫	11	
51	1900	明治33	6	15	史伝	故権大教正河本務君略伝(承前)		13	
51	1900	明治33	6		史伝	贈権中信教星島宮子氏の略伝(承前)		14	第49号の続き
51	1900	明治33	6		怡神詠	真木柱(承前)	時尾宗道	15	
51	1900	明治33	6		文苑	首〕	静岡 不二の舎主人三浦直正	16	
51	1900	明治33		15	文苑	[和歌「国の教五十回を祝ひて」2首]	岡山 石井清雄ほか	17	
51	1900	明治33	6		文苑	宗忠神社献詠和歌兼題	美作 安藤親孝ほか	17	「暁水鶏」109首・「待恋」102首
51	1900	明治33	6		神徳霊験	[松岡清見が大津説教所に在勤中の話し…]		20	
51	1900	明治33	6		神徳霊験	[備前児島郡粒江村岡本霜吉の話し…]		21	
51	1900	明治33	6	15	小説	馬場三郎兵衛	奇骨	22	
51	1900	明治33	6		寄書	道の話(第四拾八号続)	贈中講義石井忠信述·権少教正 岡本圭吉寄稿	26	
51	1900	明治33			寄書	天地神人万物組織之原理考(第四拾八号の続)	中教正住山宗定講述	27	
51	1900	明治33	6	15	雑録	教祖の御家人を扱ひ給ふ		30	
51	1900	明治33	6	15	雑録	小教正斎部幸忠往事談		30	

51	1900	明治33	6	15	雑録	石臼歌	権中教正小野弥太郎寄稿	32	
51	1900	明治33			雑録	作文探題二十条(第四十八号の続)	故大教正森下景端大人述·権少	33	
	1300	60 D/L6				「一八八〇二十六(カローハラの心)	教正岡本圭吉投稿	55	
51	1900	明治33			寸鉄警語	[ヤレハア私は遠国の山家の婆々ておしやり申すか …]	見巧者	34	
51	1900	明治33			寸鉄警語	[私は客月廿三日夜岡山東中山下教会所に拝参して …]	味噌漉耳生	35	
51	1900	明治33			寸鉄警語	[五十号寸鉄警語欄内に(忠告子は)教師方や教内の事の悪口を云ふのは…]	記録小僧	35	
51	1900	明治33			寸鉄警語	[神拝が終ると同時に大口を開ひて陽気を吸ふものが多い…]	古実道人	36	
51	1900	明治33			江湖彙報	[管長殿には大阪府下及び兵庫県下御巡教…]		36	管長は兵庫県巡教へ出発
51	1900	明治33			江湖彙報	〔教務課長河村恕一…〕		36	教務課長河村恕一、教務上の要件で東京教務局へ
51	1900	明治33			江湖彙報	[昨三十二年八月大風雨の際宗忠神社大教会等大破···]		36	明治32年8月28日に宗忠神社大教会大破、神殿屋根 破損
51	1900	明治33			江湖彙報	[明治三十二年三月 教祖神五十年御大祭の節参拝 して…]		37	
51	1900	明治33			江湖彙報	[故河本教正の遺志を継ぎ小教正三木惟一権教正 …]		38	
51	1900	明治33			江湖彙報	「本社員は各月廿一日静岡なる中教正小林■塘氏を 吉田旅館に訪問…」		38	■=こざとへんに禹
51	1900	明治33			江湖彙報	[日向国宮崎郡赤江村村浜砂義明氏の兼て鋭意経営中なりし教旨研究会は…]		39	
51	1900	明治33			江湖彙報	〔本教岡山青年会は去月廿七日第三会を開設…〕		39	
51	1900	明治33			江湖彙報	[本社主筆河上市蔵氏は今回伊予国…]		39	
51	1900	明治33			江湖彙報	岡直廬氏歌集出版		39	
51	1900	明治33			江湖彙報	〔安■寿が未だ亡命の客とならざりし頃…〕		39	■=馬へんに冏。大教会所滞在、京城より帰国後無 慚の死
51	1900	明治33			教報	明治三十三年四月分教師辞令		40	
51	1900	明治33	6		教報	大教会所寄附人名		42	
51	1900	明治33	6	15	大元報賽講録 事	表題		43	
51	1900	明治33	6		大元報賽講録 事	[茲二大元報賽講ヲ創設セシハ…]	黒住教管長黒住宗子	44	
51	1900	明治33	6	15	大元報賽講録 事	大元報賽講募集委員正副長		45	
51	1900	明治33	6		大元報賽講録 事	講員名簿用紙		45	
51	1900	明治33	6		大元報賽講録 事	基本財産寄附賞状		45	
51	1900	明治33	6		大元報賽講録 事	報賽講員女子佩用徴章		45	
51	1900	明治33			大元報賽講録 事	大元報賽講加盟人員		45	
51	1900	明治33			社告	6件		47	
51	1900	明治33	6	15	広告	8件		49	内社告1件

52	1900	明治33	7	25	神勅	T	1	1	
52	1900	明治33	7		教祖神訓誡			•	
52	1900	明治33	7		教祖仲訓戒 国の教	 三神契(承前)	 河上市之丞忠晶	3	
52	1900	明治33			社説	三仲矢(本則) 一世兵(本則) 一世(本則) 一世(本則)	河工币之丕志由		
52		明治33	7		道の栞			4	
	1900	明治33	7			至誠講義(承前)	11.	8	
52	1900		7		道の栞	敬語百二十言 道しるべの歌(承前)	八十一翁安藤十朗	9	
52	1900	明治33	7		講演	本を忘れぬが誠を勤むるの本	岡山 春塘	9	
52	1900	明治33	7		史伝	故権大教正河本務君略伝(承前)		11	
52	1900	明治33	7		怡神詠	真木柱(承前)	時尾宗道	13	7-71.0 M
52	1900	明治33	7		文苑	国の教五十回を祝ひて	日向野田晩翠ほか	13	和歌2首
52	1900	明治33	7		文苑	宗忠神社献詠和歌	伊勢 山崎寿ほか	13	「水辺蛍」34首・「岩」16首
52	1900	明治33	7		神徳霊験	[肥前国佐世保森田慶次郎は明治十八年春…]		16	
52	1900	明治33	7		神徳霊験	[播磨国宮田龍蔵は幼少のころより…]		17	
52	1900	明治33	7		神徳霊験	[伯耆国三本木村御古長太郎…]		17	
52	1900	明治33	7		神徳霊験	〔豊後国帆足小教会所所長両眼視力衰え…〕		18	
52	1900	明治33	7		遺老短話	丁稚の機智騙詐を挫く	わらび菴	19	
52	1900	明治33	7	25	寄書	道の高弟に希ふ	美作 紅山生	23	
52	1900	明治33	7		雑録	中教正山本貞次郎氏往事談		25	
52	1900	明治33	7	25	雑録	茅輪並形代に付きて		26	
52	1900	明治33	7	25	雑録	石臼歌(承前)	小野弥太郎	28	
52	1900	明治33	7		寸鉄警語	〔諸君提灯を看玉うやソレ長い提灯を…〕	長入道	30	
52	1900	明治33	7	25	寸鉄警語	〔教師に人物数多なれば本教を汎く布及し…〕	世話焼道人	30	
52	1900	明治33	7	25	寸鉄警語	[天照す神の御心人心一つになれば…]		31	
52	1900	明治33	7	25	寸鉄警語	〔或る国学先生の話に黒住大教会所は…〕	陽丹の未熟生	31	
52	1900	明治33	7	25	江湖彙報	[本月丗一日は恒例の通り大祓祭なるか…]		31	
52	1900	明治33	7	25	江湖彙報	〔愛媛県青年会の景況同会よりの報導を…〕		31	
52	1900	明治33	7	25	江湖彙報	[二日天気晴快兼て本庁員等の来会…]		32	
52	1900	明治33	7		江湖彙報	[三日午后一時開会青年会員葛山角太郎氏…]		33	
52	1900	明治33	7		江湖彙報	[四日本日は予て計画中なりし…]		33	
52	1900	明治33	7		江湖彙報	[権少教正杉島信城氏は曾て本庁員たりし…]		34	
52	1900	明治33	7		江湖彙報	[伊予国西条小教会所にて教旨研究会の…]		35	
52	1900	明治33	7		江湖彙報	[御時節到来して本教上更に一大光輝を…]		35	
52	1900	明治33	7		教報	本庁記事		36	
52	1900	明治33	7		教報	明治三十三年五月中教師辞令		36	
52	1900	明治33	7		大元報賽講録	表題		39	
"-		7,17,1100	,		事				
52	1900	明治33	7	25	大元報賽講録	 [茲に大元報賽講を創設せしは…]		40	
32	1300	PJ/LI00	,	20	エ			10	
52	1900	明治33	7	25	大元報賽講録	役員出張		41	 前項の伊予国別宮の件
32	1900	りつつ	′	23	事			41	削填の伊了国が古の什
52	1900	明治33	7	25	大元報賽講録			// 1	
32	1900	明治33	<i>'</i>	23	八ル 牧食神球 車	講員募集		41	
F0	1000	пп : <u>Д</u> 200	7	0.5	十二却审进纪	 		41	
52	1900	明治33	7	25	大元報賽講録 事	募集演舌大意		41	
F.	1000	00 2/2 0 C	_	0.5	3.			40	大阪中教会部 キ川について
52	1900	明治33	7	25		講員募集		42	大阪中教会所・寺川について
					事				

52	1900	明治33	7	25	大元報賽講録 事	小林■塘氏の熱心		43	■=くさかんむりに隅
52	1900	明治33	7		大元報賽講録 事	第三回報賽講申込人名		43	
52	1900	明治33	7		社告	5件		44	
52	1900	明治33	7		広告	21件		45	内1件社告
53	1900	明治33	8		神勅			1	
53	1900	明治33	8		教祖神訓誡			2	
53	1900	明治33	8		社告	2件		3	
53	1900	明治33	8	31	本庁告文	告示第八~十三号		5	
53	1900	明治33	8	31	国の教	三神契(承前)	河上忠晶	8	
53	1900	明治33	8		社説	教語の一斑(其一)		10	
53	1900	明治33	8		道の栞	至誠講義(承前)		13	
53	1900	明治33	8		講演	日本軍	西川漁夫	15	
53	1900	明治33	8	31	史伝	故権大教正河本務君略伝(承前)		17	
53	1900	明治33	8		怡神詠	真木柱(承前)	時尾宗道	19	
53	1900	明治33	8		文苑	宗忠神社献詠和歌兼題	備中 原高子ほか	19	「野夕立」31首・「祓」32首
53	1900	明治33	8	31	神徳霊験	〔往年赤木忠春先生京都に布教在らせたる時…〕		22	
53	1900	明治33	8		小説	皐月雨	奇骨	24	
53	1900	明治33	8	31	寄書	天運を養ふへし	備前 信天道人	30	
53	1900	明治33	8	31	雑録	〔和気郡尺所村大森武助といふもの御国中…〕		32	
53	1900	明治33	8	31	寸鉄警語	[四十三号小言倶楽部に於て旧事好生より…]		33	
53	1900	明治33	8	31	寸鉄警語	〔俚諺に成功するものは愚者も賢に似たりと…〕		33	
53	1900	明治33	8		江湖彙報	[去月三十一日は例年の通宗忠神社の禊祭…]		35	
53	1900	明治33	8	31	江湖彙報	〔別項の如く大祓祭賑々しく夜を徹して執行…〕		35	
53	1900	明治33	8	31	江湖彙報	〔去月十日例年の通大教会所岡山出張所に…〕		36	
53	1900	明治33	8	31	江湖彙報	[客月二十八日より本庁取締役会を開会し…]		36	
53	1900	明治33	8		江湖彙報	〔清国の事変益惨状を来し礟煙弾雨は禹域の…〕		36	
53	1900	明治33	8	31	江湖彙報	〔太沽砲台攻撃の際我帝国陸戦隊を率ひて…〕		37	
53	1900	明治33	8		江湖彙報	愛媛青年会式景況の続		39	
53	1900	明治33	8	31	江湖彙報	〔来る十月二日執行の伊勢皇大神宮臨時…〕		41	
53	1900	明治33	8	31	江湖彙報	〔内務省令第三十八号にて明治三十一年…〕		41	
53	1900	明治33	8	31	江湖彙報	〔内務省令第三十九号にて宗教の宣布は…〕		42	
53	1900	明治33	8	31	江湖彙報	明治三十三年六月分教師辞令		42	
53	1900	明治33	8	31	江湖彙報	大教会所建築寄附人名		43	
53	1900	明治33	8		江湖彙報	[従二位勲二等子爵本教総理岩下方平公は…]		47	13日に岩下逝去
53	1900	明治33	8	31	正誤	〔第五十一号雑録欄…〕		48	
53	1900	明治33	8		社告	6件		48	
53	1900	明治33	8	31	広告	14件		51	
54	1900	明治33	9		神勅			1	
54	1900	明治33	9		教祖神訓誡			2	
54	1900	明治33	9		本庁告文	告示第十四号		3	
54	1900	明治33	9		国の教	三神契(承前)	河上忠晶	3	
54	1900	明治33	9		社説	教語の一斑(其二)		5	
54	1900	明治33	9		道の栞	至誠講義(巻之二)		8	
54	1900	明治33	9		道の栞	教語百二十言 道しるべの歌	八十一童安藤十朗	11	

54	1900	明治33	9	28	講演	教祖の御鋭志	西川漁夫	11	
54	1900	明治33	9		史伝	野大教正 星島良平君伝	四川庶人	13	
54	1900	明治33	-	20	怡神詠	周八教正 生局及十石仏	時尾宗道	16	
54	1900	明治33			文苑	国の教五十回を祝ひて	備前 佐藤泰実	16	1*
-		明治33					・	16	1首 「初秋風」38首・「萩」54首
54	1900				文苑	宗忠神社献詠和歌兼題	丹波 坂本示言はか		初秋風]38目 * 秋]54目
54	1900	明治33	9	28	霊験	[和気郡伊部村に木村清右工門といへる…]		19	
54	1900	明治33	9		霊験	[神戸市栄町四丁目一番地権少信教…]	+ B	21	
54	1900	明治33	9		小説	皐月雨(中)	奇骨	22	
54	1900	明治33			寄書	聊か所感を述べて教師諸君に訴ふ	岡山 水野守拙	26	
54	1900	明治33			雑録	[或る年正月十五日御日待祭の節時尾大人…]		28	
54	1900	明治33			雑録	教祖大神御道御講釈の拝聴記	権中教正小野弥太郎寄稿	30	
54	1900	明治33			雑録	伊勢皇大神宮御遷座沿革の話	伊勢 山崎寿講話	31	
54	1900	明治33	9		寸鉄警語	[本教信徒中教職の人々を招待しなから…]		32	待遇が悪いとの話
54	1900	明治33			寸鉄警語	[各地青年会の勃興賀すべく慶すべきの…]		33	
54	1900	明治33			寸鉄警語	〔方今最急務として必要とするは教師養成…〕		34	
54	1900	明治33			寸鉄警語	[岡山なる少講義今田幸治氏は平素入浴の際…]		34	
54	1900	明治33	9		江湖彙報	清国の征戦容易に終局に及はす		34	
54	1900	明治33	9		江湖彙報	[石狩国岩見澤小教会所に於ては本年三月来…]		35	
54	1900	明治33			江湖彙報	愛媛青年会式景況続	松浦正守	36	
54	1900	明治33		28	江湖彙報	[因幡国高草小教会所に於ては教師信徒…]		37	
54	1900	明治33	9		江湖彙報	[従二位勲一等子爵本教総理岩下方平氏の…]		38	
54	1900	明治33	9	28	江湖彙報	三十三年七月中教師辞令		40	
54	1900	明治33	9		江湖彙報	三十三年八月分教師辞令		42	
54	1900	明治33	9		報賽講録事	第四回報賽講員報告		43	
54	1900	明治33		28	社告	2件		46	
54	1900	明治33			広告	6件		47	
55	1900	明治33			神勅			1	
55	1900	明治33	10	29	教祖神訓誡			2	
55	1900	明治33	10	29	本庁告文	告示第十五号・同三十九号・内務省令第六号・管甲 第四五号・達第三号・訓第八七七号		3	
55	1900	明治33	10	29	国の教	三神契(承前)	河上忠晶	6	
55	1900	明治33			社説	教語の一斑(其三)		8	
55	1900	明治33	10		道の栞	至誠講義巻之二(承前)		11	
55	1900	明治33			道の栞	教語百二十言(承前) 道しるべの歌	八十一童安藤十朗	13	
55	1900	明治33			講演	国民の本津柱	西川漁夫	13	
55	1900	明治33			史伝	贈大教正 星島良平君伝(承前)		16	
55	1900	明治33			怡神詠	〔和歌 5首〕	黒住宗篤ほか	18	宗篤3首・片岡正占2首
55	1900	明治33	10		文苑	国の教の雑誌をことほきて	岡山 太田政人	18	
55	1900	明治33	10		文苑	宗忠神社献詠和歌兼題	美作 佐桑玉扇ほか	18	「名所月」36首・「鹿」54首
55	1900	明治33			神徳霊験	[備後国翁佐一之介の…]		22	
55	1900	明治33			神徳霊験	〔大坂市西区江戸堀上通一丁目大坂堂島…〕		23	
55	1900	明治33			小説	皐月雨(下)	奇骨	23	
55	1900	明治33	10	29	寄書	聊か所感を述べて教師諸君に訴ふ(承前)	岡山 水野守拙	27	
55	1900	明治33			雑録	神拝の大事(親炙門人黒田平八郎手記)		28	
55	1900	明治33			雑録	伊勢皇大神宮御遷座沿革の話(承前)	伊勢 山崎寿講話	29	
55	1900	明治33			雑録	教祖大神御道御講釈の拝聴記(承前)	権中教正小野弥太郎寄稿	31	
00	1000	77/1100	10	20	个正型 不	大 ロハコード・ 大	TETが上げている中	UI	

55	1900	明治33	10	29	雑録	桜園叢談	備前 野村熊三郎輯	33	(四)人の魂 百園主人
55	1900	明治33	10		寸鉄警語	[前号皐月雨のさし画中男女の影を画かれ…]	MI 13 21 1 1 1 1	34	(1777)
55	1900	明治33			寸鉄警語	[寸鉄とは何そや短にして肝要…]		35	
55	1900	明治33			寸鉄警語	[国の教の事に就ては我々は道の為…]		35	
55	1900	明治33	10		寸鉄警語	[第五十三号にて人生の勤に付て…]		35	
55	1900	明治33	10		寸鉄警語	[五十三号本欄内の自警道人君に答へん…]		35	
55	1900	明治33			寸鉄警語	[在東予西条小教会所附属の教師…]		36	
55	1900	明治33	10		江湖彙報	[本月二日を以て行はせられたる伊勢大廟の…]		37	
55	1900	明治33			江湖彙報	[去る二日皇大神宮遷御に付ては畏き辺りに…]		38	
55	1900	明治33			江湖彙報	[去る四日畏き辺の思召を以て豊受大神宮へ…]		38	
55	1900	明治33			江湖彙報	[伊勢皇大神宮臨時御造営と同時に神鏡に…]		38	
55	1900	明治33			江湖彙報	[去月二十三日管長殿には播摩国一円御巡教…]		38	
55	1900	明治33	10		江湖彙報	[御宗家の建物は教祖御在世の節に建築され…]		39	
55	1900	明治33	10		江湖彙報	[故子爵岩下方平司家督相続人従五位岩下…]		39	
55	1900	明治33			江湖彙報	愛媛青年会式景況(つづき)	松浦正守	39	
55	1900	明治33			江湖彙報	三十三年八月分教師辞令追加	-	40	
55	1900	明治33			江湖彙報	三十三年九月分教師辞令		40	
55	1900	明治33	10		社告	8件		42	
55	1900	明治33	10		広告	14件		45	内1件社告
56	1900	明治33		20	神勅			1	
56	1900	明治33	11	20	教祖神訓誡			2	
56	1900	明治33	11		教の五事			2	
56	1900	明治33	11		謹告	[毎号巻首に掲くる七ヶ条は教祖の御真筆にて…]		3	
56	1900	明治33	11		国の教	堅鑽 録	河上忠晶著·男河上市蔵述義	3	
56	1900	明治33	11	20	社説	布教上古今の難易		6	
56	1900	明治33	11		道の栞	至誠講義巻之二(承前)		10	
56	1900	明治33	11		道の栞	教語二十言(承前) 道しるべの歌	八十一童安藤十朗	12	
56	1900	明治33	11		講演	燈火の影	西川漁夫	13	
56	1900	明治33	11	20	史伝	贈大教正 星島良平君伝(承前)		14	
56	1900	明治33			怡神詠	〔和歌 5首〕	片岡正占ほか	16	
56	1900	明治33	11		文苑	宗忠神社献詠和歌兼題	備前 沼本亀八郎ほか	16	「里時雨」43首・「忍」15首
56	1900	明治33			神徳霊験	[今を去る三十八九年以前美作国久米北条郡…]		18	
56	1900	明治33	11		神徳霊験	〔京都神楽岡近傍吉田町おんほふ坂…〕		19	
56	1900	明治33	11		神徳霊験	[美作国勝田郡北和気村大字百々…]		19	
56	1900	明治33	11		神徳霊験	[備中国阿哲郡本郷村大字宮河内…]		20	
56	1900	明治33			神徳霊験	[広島市広瀬の内蓮池…]		20	
56	1900	明治33	11		神徳霊験	[徳島県三好郡箸蔵村大字西山村…]		21	
56	1900	明治33	11		小説	日置民部(上)	1771 . 1 + . 1 . 1757 . I	21	
56	1900	明治33	11		寄書	聊カ所感ヲ陳ベテ読者諸君ニ訴フ	岡山 東山隠士	27	
56	1900	明治33			寄書	道の一言	小教正安藤十朗稿	28	
56	1900	明治33			寄書	龍のあぎとの玉	備前 野村熊三郎稿	30	
56	1900	明治33		20	雑録	[左の一節は古門弟下野弥平氏の筆記…]	·····································	31	
56	1900	明治33	11		雑録	石臼歌(五十二号)	小野弥太郎寄稿	32	
56	1900	明治33	11		寸鉄警語	[発憤生の御説学校期成同盟会は至極大賛成…]		34	
56	1900	明治33			寸鉄警語	[伊予は本教の盛大なる霊地なるか…]		34	
56	1900	明治33	11	20	寸鉄警語	[チョン曲頭先生の祭礼料理献立の御尋があり…]		34	

56	1900	明治33	11	20	寸鉄警語	「雑録中桜園叢談を掲けられ吾輩は深く感謝…」		34	
56	1900	明治33			寸鉄警語	[文苑欄内に御国振りの歌は続々掲載に成り…]		34	漢詩が少ない
56	1900	明治33			寸鉄警語	[本月十日の大阪朝日新聞紙上を閲覧したるに…]		34	
56	1900	明治33			江湖彙報	〔本月三日の天長節は天皇陛下第四十九回…〕		34	
56	1900	明治33			江湖彙報	[故内閣顧問木戸孝允氏の初め徴士となりて…]		36	
56	1900	明治33			江湖彙報	[勅令第三百九十八号にて左の如く達せり]		36	
56	1900	明治33			江湖彙報	[夫の世論の沸騰たる宗教法案は…]		36	
56	1900	明治33			江湖彙報	[別項の如く宗教法案第十五議会に提出さる…]		36	
56	1900				江湖彙報	〔大阪市順慶町深田松之介氏は本教の篤信家…〕		37	
56	1900	明治33			江湖彙報	[客月二十二日は独立祭の当日なりしか…]		37	
56	1900	明治33			江湖彙報	〔別項独立祭の節天心下御鬮拝戴者は…〕		38	
56	1900	明治33			江湖彙報	[黒住教大元報賽講理事八木勝三郎氏は…]		38	
56	1900	明治33	11	20	江湖彙報	〔福岡県筑前国鞍手郡宮田村権大講義…〕		38	瓜生卯太郎
56	1900	明治33			江湖彙報	[本教教規書兼て欠乏し居たりしか頃日…]		38	
56	1900	明治33	11		江湖彙報	三十三年十月分教師辞令		39	
56	1900	明治33	11		江湖彙報	御断		39	
56	1900	明治33			社告	5件		40	
56	1900	明治33	11		広告	19件		41	内社告1件
57	1900	明治33			神勅	神勅		1	
57	1900	明治33			教祖神訓誡	教祖神訓誡 教の五事		2	
57	1900	明治33	12	15	国の教	三神契(第五十五号承前)	河上忠晶	3	
57	1900	明治33	12	15	社説	何物か是れ真正の楽		4	
57	1900	明治33	12	15	道の栞	至誠講義巻之二(承前)		8	
57	1900	明治33	12	15	道の栞	教語百二十言 道しるべの歌(承前) 五首	八十一童安藤十朗	9	
57	1900	明治33	12	15	講演	鼻欠け猿の話	西川漁夫	10	心と形について、心の重要性を説く
57	1900	明治33	12	15	史伝	前大教正黒住宗敬君御伝記		12	
57	1900	明治33	12	15	怡神詠	[和歌「年暮」3首・俳句 2句]	黒住宗忠	15	
57	1900	明治33	12	15	文苑	宗忠神社献詠和歌兼題	備中 峰屋恕ほか	15	「暁神楽」30首・「祝」30首
57	1900				神徳霊験	〔往年教職江田造酒之進氏伊勢両宮へ…〕		18	
57	1900				神徳霊験	〔美作国英田郡豊田村大字猪臥…〕		20	
57	1900	明治33	12	15	小説	わかたけ	暗雷子	21	黒住教会所に通っていた女児に感化された継母と泥 棒の話
57	1900	明治33	12	15	寄書	本心と私心の区別(一)	不動生	27	
57	1900	明治33	12	15	寄書	常ノ信心	遠江 細江陳人	28	
57	1900	明治33				豊受大神宮御遷座沿革の話	伊勢 山崎寿講話	30	
57	1900	明治33	12	15	雑録	山本中教正説教の大旨		32	
57	1900	明治33	12	15	雑録	桜園叢談(第五十五号続)	備前 野村熊三郎稿	33	
57	1900	明治33				少教正杉上鎮男氏の旧話		35	
57	1900	明治33			寸鉄警語	〔従来の大本報賽講の録事は月々…〕	疑惑生	38	大本報賽講の録事を雑誌上に掲載するよう求める
57	1900	明治33	12	15	寸鉄警語	〔本教々師に人々各方面に有ては…〕	僻郷の熱心者	38	大教会所もしくは中教会所にて、少なくとも年1回教師 の招集をし、地方巡視員を派遣して、教師を監督する 事を希望する
57	1900	明治33	12	15	寸鉄警語	御道言葉俗解	温古道人	38	
57	1900				寸鉄警語	[教祖の神様はもふすにおよはす…]	古言老	39	昨今の教師による説教の回数の少なさを指摘
57	1900				寸鉄警語	[申すも恐れ多き事乍ら本庁改革に…]	陽丹の未熟生	39	本庁改革について、当局者が長く務めるよう願う

57	1900	明治33	12	15	寸鉄警語	[国の教第五拾五寸鉄警語欄の東予熱心道人よ…]	風柳生	39	
57	1900	明治33	12	15	寸鉄警語	[西条小教会所在勤の教幹…]	東予熱心道人	40	西条小教会所在勤の教幹塩崎·勘査福田が教師養成 中の五名を引率して、別宮中教会所にて受験させた
57	1900	明治33	12	15	寸鉄警語	[本教々師信徒たるものは…]	愛読教師の一人	40	教師・信徒に対し、道の研究のために国の教の購読を求む
57	1900	明治33			寸鉄警語	〔第五十五号雑録欄内に備前野村熊三郎…〕	神風の養無道人	40	55号雑録欄備前野村熊三郎「桜園叢談」に対して感 想
57	1900	明治33	12	15	江湖彙報	[来る三十四年歌御会始御題…]		41	
57	1900	明治33			江湖彙報	[管長殿には播磨国一円御巡教として…]		41	
57	1900	明治33			江湖彙報	[来る廿二、三日は例年通り冬至祭…]		42	
57	1900	明治33			江湖彙報	[岡山市に於ける各所講は本年冬至…]		42	岡山市において本年の冬至祭を繰り上げ執行し盛 況、各所講の執行日と当日の祭主掲載
57	1900	明治33			江湖彙報	〔本教大教会所岡山出張所に於て…〕		42	大教会所岡山出張所における説教の講習により、御 蔭を被る者が多く、参詣者が増加し景況である
57	1900	明治33			江湖彙報	〔岡山市中の本教有志者は本月四日…〕		42	岡山市中の有志者が宗忠神社へ屋台を奉納
57	1900	明治33			江湖彙報	[黒住教岡山講究会に於ては…]		42	黒住教岡山講究会創設満二周年を祝し、大懇親会を 開催する予定
57	1900	明治33			江湖彙報	三十三年十一月分教師辞令		42	
57	1900	明治33			社告	6件		44	新刊寄贈ほか
57	1900	明治33				12件		47	内社告1件
58	1901	明治34	1		神勅	神勅		1	
58	1901	明治34	1		教祖神訓誡	教祖神訓誡 教の五事		2	
58	1901	明治34	1		国の教	新年の辞		3	
58	1901	明治34	1		国の教	堅鑽録(第五十六号続)	河上忠晶著•男河上市蔵述義	4	
58	1901	明治34	1		社説	前途の希望		7	
58	1901	明治34	1		道の栞	至誠講義巻之二(承前)		11	
58	1901	明治34	1		道の栞	教語百二十言 道しるべの歌(承前) 五首	八十三[二]童安藤十朗	12	
58	1901	明治34	1		講演	御神詠に就て	故大講義安藤直道大人講義筆 記	13	
58	1901	明治34	1		史伝	前大教正黒住宗敬君御伝記(承前)		14	
58	1901	明治34	1		神徳霊験	〔備前国児島郡東興除村…〕		16	
58	1901	明治34	1		神徳霊験	〔若狭国遠敷郡遠敷村大字遠敷…〕		17	
58	1901	明治34	1		怡神詠	〔和歌 3首〕	黒住宗忠	18	
58	1901	明治34	1		文苑	〔和歌「雪中竹」4首・俳句「雪中竹」2句〕	伊勢 山崎寿ほか	18	
58	1901	明治34	1		文苑	[和歌「元旦」1首·俳句「元旦」2句]	備後 橘高栄吉ほか	18	
58	1901	明治34	1		文苑	宗忠神社献詠和歌兼題	備中 柳瀬吉直ほか	18	「新年松」32首・「庭鶴」37首
58	1901	明治34	1		小説	瑞穂丸(上)	暗雷子	21	
58	1901	明治34	1		寄書	天地神人万物組織原理考	中教正住山宗定講述	26	
58	1901	明治34	1		寄書	天道は生々なり	備中 長谷川天忠	28	
58	1901	明治34	1		雑録	〔教祖は御在世中度々伊勢へ御参詣…〕		28	
58	1901	明治34	1		雑録	豊受大神宮御遷座沿革の話(承前)	伊勢 山崎寿講話	29	
58	1901	明治34	1		雑録	桜園叢談(承前)	備前 野村熊三郎輯稿	30	
58	1901	明治34	1		寸鉄警語	〔本誌第五十六号社説に…〕	陽丹の未熟生	32	
58	1901	明治34	1		寸鉄警語	[此比霊験集を編纂せられ又…]	簡易なる書籍好	32	
58	1901	明治34	1	15	寸鉄警語	[近来各地中小教会所の新築…]	写真屋親父	32	

58	1901	明治34	1		寸鉄警語	[迂生本誌五十五号欄内へ…]	備前 岡山チヨン曲ヶ頭	32	
58	1901	明治34	1		寸鉄警語	〔真直なる、日本心のしるしそと…〕	松月堂	33	
58	1901	明治34	1		江湖彙報	宮中御賀		33	晴御膳、御祭典
58	1901	明治34	1		江湖彙報	神宮の歳旦大御饌		33	
58	1901	明治34	1		江湖彙報	[客歳極月廿二日は冬至祭なりし…]		34	冬至祭における宗忠神社・大教会所の景況
58	1901	明治34	1	15	江湖彙報	〔此夕御夜食の後本社主筆河上…〕		35	冬至祭夜食後に大教会所において『国の教』主筆河 上市蔵が演説、国の教雑誌拡張について
58	1901	明治34	1	15	江湖彙報	[翌日直会の席上に於ひても河上…]		36	直会にても『国の教』主筆河上市蔵が演説
58	1901	明治34	1	15	江湖彙報	[伊予国今治別宮中教会所に於ひて…]		36	にて12月21日に冬至祭執行、本社と霊舍の教場の堂内外は群参の人で充たされる
58	1901	明治34	1	15	江湖彙報	[別宮教会に附属せる村落は…]		37	別宮教会に附属の村落は80ヶ村
58	1901	明治34	1	15	江湖彙報	〔同教会所の建築は最初の目論見より…〕		37	
58	1901	明治34	1	15	江湖彙報	[同地方は慨するに宗教盛にして…]		37	別宮教会の地域は宗教が盛んであり、黒住教に青年 会、仏教に児童会、耶蘇教に婦会あり、互いに信者を 勧誘
58	1901	明治34	1	15	江湖彙報	[同地方に於ける本教信徒の観念は…]		37	別宮教会の地域における信徒の観念は特別な気力を 有し、1万円以上の寄附を募り、建築事業を起こす
58	1901	明治34	1		江湖彙報	〔伊予国宇摩郡妻鳥小教会所に於ては…〕		37	伊予国宇摩郡妻鳥小教会所で12月25日に冬至祭執 行、訓導高橋岩次・所長篠原基輝の教語
58	1901	明治34	1	15	江湖彙報	〔讃岐国三豊郡豊浜町講社に於ては…〕		38	讃岐国三豊郡豊浜町講社において12月26日冬至祭 挙行
58	1901	明治34	1	15	江湖彙報	〔贈大教正星島良平先生三十年祭は…〕		38	三十年祭は12月23日冬至祭の翌日に祭典を施行
58	1901	明治34	1		江湖彙報	大坂第二懇信会の景況		39	主筆河上市蔵登壇、他に大阪府第五中学校長福井 彦次郎·弁護士森権六·大坂朝日新聞社社員武田弥 富·池上八治郎、本会幹事山田治三郎、兵庫宮前小 教会所長住山中教正、寺川中教正
58	1901	明治34	1		江湖彙報	[客歳十二月十六日黒住教岡山講究会…]		41	黒住教岡山講究会開設二周年の祝賀会開催
58	1901	明治34	1		江湖彙報	[大坂第五中学校長福井彦次郎氏は…]		41	大坂第五中学校長福井彦次郎が自身の中学校において、国体を重んじて言行惟一の主義を実行
58	1901	明治34	1	15	江湖彙報	[同福井氏か家庭の教育上に就きて…]		42	大坂第五中学校長福井彦次郎の美談、長女・鎮13 歳、学校にて仏教・耶蘇教を信仰する者は起立せよと の指示に頑として起立せず、神を信ずると主張
58	1901	明治34	1	15	江湖彙報	[福井氏の長女鎮氏か新年の歌なる…]		43	
58	1901	明治34	1		江湖彙報	[大教会所年中祭典式及び葬祭式の…]		43	
58	1901	明治34	1	15	江湖彙報	〔別項冬至祭の節天心号拝授者…〕		43	権中講義湛増半三郎(美作)・四級信教村尾平次(讃岐)・権少講義中山ショ(因幡)
58	1901	明治34	1		江湖彙報	三十三年十二月分教師辞令		43	
58	1901	明治34	1		社告	4件		44	新刊寄贈ほか
58	1901	明治34	1		本庁告文	告示第一号	黒住教本庁	47	明治34年1月19日付、伊勢日参大々講につき、大教 正山野定泰の逝去後講務が停滞したが、後任の中教 正山本貞次郎講長が着任し講務が進み、講員募集・ 加盟社取次所等を各所講へ依頼
58	1901	明治34	1		広告	28件		47	内社告1件
58	1901	明治34	1	15	附録	黒住教本庁告文 告示第六号	黒住教本庁		北海道布教伝道につき、部下教師中希望者は所長講 頭の証明により出願せよ、詮議により布教費を与え派 遣する旨。冊子に挟み込み

59	1901	明治34	2	20		神勅	1	1	
59	1901	明治34				日々家内心得之事 教の五事	2		
59	1901	明治34			国の教	三神契(第五拾七号承前)	河上忠晶 3		
59	1901	明治34			社説	道は万物を網羅して漏らすことなし	77工心		
59	1901	明治34			道の栞	至誠講義巻之二(承前)	11	-	
59	1901	明治34	2		道の栞	教語百二十言(承前)	八十三[二]童安藤十朗稿 1		和歌5首
59	1901	明治34	2		講演	大魚と大海老の話	西川漁夫 1		11111000
59	1901	明治34			史伝	故大教正山野定泰君略伝			
59	1901	明治34	2	20	霊験	[教祖御在世中岡山藩士…]	1		
59	1901	明治34	2		霊験	[美作国真庭郡県村大字…]	11		
59	1901	明治34	2		怡神詠	[和歌「親灸門人故権少教正中山嘉四郎君詠八十壱			
	1001	91/04	-	20	ILITEN	首の首」5首〕		U	
59	1901	明治34	2	20	文苑	宗忠神社献詠和歌兼題目	岡山 森本与惣ほか 2	1	「山家鶯」36首·「恋春」14首
59	1901	明治34			文苑		岡山 三木惟一ほか 2	2	
59	1901	明治34	2		小説	瑞穂丸(下)	暗雷子 2	3	
59	1901	明治34	2		寄書	日本刀	紀蔦乎 2		
59	1901	明治34	2	20	寄書	本心と私心の区別(二)	不動生 2	9	
59	1901	明治34	2		寄書	二十世紀の始年に於ける希望	備中 長谷川柳太郎 3	1	
59	1901	明治34	2	20	雑録	古事記の一節(俗解)	暗雷子 3		
59	1901	明治34	2		雑録	〔往年美作の国に岩佐薩摩…〕	3.		
59	1901	明治34	2		雑録	福は内鬼は外	伊勢 竹廼舎主人 3		
59	1901	明治34			寸鉄警語	〔世の中に好奇心的物好きなる…〕	大開化生 3		
59	1901	明治34	2		寸鉄警語	[過般大阪の懇信会上に於て…]	感発生 3		
59	1901	明治34			寸鉄警語	[五十八号誌上に載せられたる大阪福井氏…]	感泣生 3		
59	1901	明治34			寸鉄警語	[近来は御誌の小説か改良せられて…]	小説好きの閑生 3		
59	1901	明治34			寸鉄警語	〔曾て高弟方より聞ひて居りまするに…〕	慷慨生 3		
59	1901	明治34			江湖彙報	[予て仰出されし如く客月十八日午前天皇…]	3		
59	1901	明治34	2		江湖彙報	[昨年十月管長殿山陰地方…]	3		
59	1901	明治34			江湖彙報	[十二月廿二日は高草教会所…]	3		
59	1901	明治34			江湖彙報	[一月六日を以て同教会所に…]	3		
59	1901	明治34			江湖彙報	[西京神楽ヶ岡は教祖を奉祀…]	3		
59	1901	明治34			江湖彙報	[伊賀国に於ける本教信徒…]	3		
59	1901	明治34	2		江湖彙報	[黒住教大阪万人講は昨年…]	4		
59	1901	明治34	2		江湖彙報	[伊予国喜多郡八多喜中教会···]	4		
59	1901	明治34	2		江湖彙報	[因幡国気高郡賀露村大工職…]	4.		
59	1901	明治34			江湖彙報	〔敷島の大和心を人間はヾ旭…〕	4		
59	1901	明治34			江湖彙報	[大教正平松且海氏は本年一月下旬の頃より…]	4.		大教正平松且海の訃報
59	1901	明治34	2		江湖彙報	三十四年一月分教師辞令	4		
59	1901	明治34	2		江湖彙報	報賽講員加名〔盟〕人員	4.		[h // = - 1 h // + = + - + - - + - / + - - + - / + - - + - / + - - + - / + - - + - / + - - + - / + - - + - / + - - + - / + - - + - / + - - + - / + - / + - - + - / + -
59	1901	明治34			社告	4件	4	-	「雑誌代滞納諸彦に告く」ほか
59	1901	明治34	_		広告	18件	4		籐筵割籐丸籐問屋ほか、内社告1件
60	1901	明治34	3	15		神勅	1	•	
60	1901	明治34				日々家内心得之事教の五事	2	<u> </u>	
60	1901	明治34	3		# *	(挿画「黒住教総理故従二位子爵岩下方平君肖像」)			
60	1901	明治34			巻首	故従二位勲一等子爵本教総理岩下方平君略伝		<u> </u>	
60	1901	明治34	3	15	本庁告文	告示第二号	3	5	

60	1901	明治34	2	15	国の教	堅鑽録(第五十八号続)	河上忠晶·河上市蔵述義	3	1
60			3				河上芯明"河上巾戲迎我		
	1901	明治34 明治34	3		社説 道の栞	御分心の強弱		7 9	
60	1901		3			至誠講義巻之三	11.1一车内装1.00转	-	To all to
60	1901	明治34	3		道の栞	教語百二十言(承前)	八十二童安藤十朗稿		和歌5首
60	1901	明治34	3	15	講演	心の取究め	西川漁夫	12	
60	1901	明治34	3		史伝	故大教正山野定泰君略伝(承前)	++++	14	
60	1901	明治34	3		怡神詠	[和歌 6首]	赤木忠春ほか	17	4-3/5
60	1901	明治34	3		文苑	宗忠神社献詠和歌兼題(第十二回)	備中 福田郁彦ほか	17	和歌「庭春雨」39首・「菅公」14首
60	1901	明治34	3		霊験	[岡山の藩にて或る高禄の世臣…]		19	
60	1901	明治34	3		霊験	[島根県出雲国大原郡神原村大字…]		20	
60	1901	明治34	3		霊験	[筑前国宗像郡田島村大字田島…]		21	
60	1901	明治34	3		霊験	[若狭国大飯郡加斗村大字飯盛…]	H. (). (3 H	22	
60	1901	明治34	3		寄書	日本刀(承前)	備後 紀蔦乎	23	
60	1901	明治34	3		寄書	本心と私心の区別(三)	不動生	24	
60	1901	明治34	3		寄書	万古一貫の大教	但馬 小喜朗	25	
60	1901	明治34	3		雑録	豊受大神宮御遷座沿革の話(五十八号続)	伊勢 山崎寿講話	26	
60	1901	明治34	3	15	雑録	〔備中長尾の木下幸文といひし人は…〕		28	
60	1901	明治34	3		雑録	故権少講義実金信衛氏の講録		28	
60	1901	明治34	3		小説	破魔弓	暗雷子	29	
60	1901	明治34	3		寸鉄警語	〔大陰暦廃せられて以来已に三十年…〕	活眼道人	34	
60	1901	明治34	3		寸鉄警語	〔歌は神代より創まりて真心より…〕	山家賎女	34	
60	1901	明治34	3	15	寸鉄警語	〔社参りの時に⊕神のます鳥居にいれは…〕	またある	34	
60	1901	明治34	3		寸鉄警語	〔教祖神の御真筆は世に比類なき…〕	御神号を大切にする敬神生	34	
60	1901	明治34	3		寸鉄警語	[耶蘇教にては日曜の日を尊む事…]	二七男	35	
60	1901	明治34	3		寸鉄警語	[寸鉄に於て人の誹謗をしたり又無用の議論を…]	道話好の父親	35	
60	1901	明治34	3		寸鉄警語	〔近来雑誌中の霊験談は往々昔年…〕	熱心生	35	
60	1901	明治34	3		寸鉄警語	[貴社暗雷子君は岡山市の人に候や…]	国の教愛読生	35	
60	1901	明治34	3		寸鉄警語	〔愛読生に答ふ暗雷子は当市に住居致…〕	一記者	35	
60	1901	明治34	3		寸鉄警語	〔本誌第五十八号に前途の希望と…〕	陽丹の未熟生	36	
60	1901	明治34	3		寸鉄警語	[小説画中に文士か小児を波間…]	見巧生	36	
60	1901	明治34	3		江湖彙報	紀元節		36	
60	1901	明治34	3		江湖彙報	祈年祭		36	
60	1901	明治34	3		江湖彙報	皇室の御繁栄		36	
60	1901	明治34	3		江湖彙報	皇族の国法学御研究		37	
60	1901	明治34	3		江湖彙報	〔両大神宮の参拝人員去る二月十八日…〕		38	
60	1901	明治34	3		江湖彙報	菅公紀念碑		38	
60	1901	明治34	3		江湖彙報	本願寺の軍艦布教		38	
60	1901	明治34	3		江湖彙報	宗教法案提出に就て		38	
60	1901	明治34	3		江湖彙報	春季大祭		38	
60	1901	明治34	3		江湖彙報	別宮中教会所の新築落成		38	
60	1901	明治34	3		江湖彙報	第五回内国勧業博覧会と黒住教		39	
60	1901	明治34	3		江湖彙報	相生教会の米搗会		39	
60	1901	明治34	3		江湖彙報	黒住教万人講大会		40	
60	1901	明治34	3		江湖彙報	人は千年の寿を保つ		40	
60	1901	明治34	3		江湖彙報	汽車汽船		40	
60	1901	明治34	3	15	江湖彙報	黒住教徒会合		41	

60	1901	明治34	3	15	江湖彙報	三十四年二月分教師辞令		41	T
		明治34			江湖集報				
60	1901	明治34	3			第七回報賽講員報告 4件		41	 弊社へ寄贈金広告ほか
60	1901				社告			44	
60	1901	明治34	3		広告	21件		47	告示第4~5号、社告1件をふくむ
61	1901	明治34	4		神勅				
61	1901	明治34	4		教祖神訓戒				
61	1901	明治34	4		本庁告文			3	
61	1901	明治34	4		国の教	三神契(第五十九号承前)	河上忠晶	4	
61	1901	明治34	4		社説	本教の真勇		6	
61	1901	明治34	4		道の栞	至誠講義巻之三(承前)		10	
61	1901	明治34	4	29	道の栞	怡神詠	赤木忠春•森下景端	12	
61	1901	明治34	4		道の栞	教語百二十言(承前)	八十二童安藤十朗	12	
61	1901	明治34	4		講演	難行苦業の話	西川漁夫	13	
61	1901	明治34	4		史伝	故大教正山野定泰君略伝(承前)		16	
61	1901	明治34	4		文苑	宗忠神社献詠和歌兼題(第十三回)	備前 西原嘉久治ほか		91首
61	1901	明治34	4		神徳霊験	[弘化初年の頃岡山市野田屋町…]		20	
61	1901	明治34	4		神徳霊験	[伊予国新居郡神拝村大字喜多川三級信教…]		21	
61	1901	明治34	4	29	神徳霊験	[若狭国遠敷郡口名田村大字須縄…]		22	
61	1901	明治34	4		神徳霊験	[長崎市大黒町…]		23	
61	1901	明治34	4	29	寄書	天地神人万物組織原理考(五十八号続)	中教正住山宗定	23	
61	1901	明治34	4	29	寄書	本心と私心の区別(四) ニツの心の源(下承前)	不動生	24	
61	1901	明治34	4	29	雑録	豊受大神宮御遷座沿革の話(承前)	伊勢 山崎寿	26	
61	1901	明治34	4	29	雑録	教祖の三徳	東備 赤坂の処士	28	
61	1901	明治34	4	29	小説	可憐児	暗雷子	29	
61	1901	明治34	4	29	寸鉄警語	[本紙第六十号小説破魔弓中継母の射られた処は	小説好	33	
						···]			
61	1901	明治34	4	29	寸鉄警語	[熱心がすぎると心が焼ける又冷へると枯れる…]	中庸道人	33	
61	1901	明治34	4		寸鉄警語	[本祭の節往々御婦人の教導職を見まするか…]	傍観生	33	
61	1901	明治34	4		寸鉄警語	〔御教語に「天地は日月にて活物と相成る」又…〕	究理道人	34	
61	1901	明治34	4		寸鉄警語	[先般御大祭の時大坂万人講より教祖神の…]	感発生	34	
61	1901	明治34	4	29	寸鉄警語	[烏啼の悪き時®夜か明けてかうとからすの啼声と…]		34	
61	1901	明治34	4		寸鉄警語		淡路島陰君子	34	
61	1901	明治34	4		寸鉄警語	[私は国の教社月次和歌兼題へ数度投詠…]	新派好	35	
61	1901	明治34	4		寸鉄警語	〔諸教師本願員等の勤怠曲直は大に…〕	密告好の男	35	
61	1901	明治34	4		寸鉄警語	[前号寸鉄欄に押画に就ての小言ありしが…]	暗雷子	35	
61	1901	明治34	4		江湖彙報	春季皇霊祭		35	
61	1901	明治34	4		江湖彙報	神武天皇御例祭		35	
61	1901	明治34	4		江湖彙報	東宮妃殿下		35	
61	1901	明治34	4		江湖彙報	[多武峯談山神社にては東宮御所御慶事奉祝の為		36	
						め去る十日臨時祭典…〕			
61	1901	明治34	4	29	江湖彙報	烈士の祭典		36	
61	1901	明治34	4		江湖彙報	厳島神社の修繕		36	
61	1901	明治34	4		江湖彙報	教祖祭		36	
61	1901	明治34	4		江湖彙報	[同上御祭典に付き大坂万人講よりは例年の如く万		38	
	,	7,7,00	•			人参りをなしたる…]		30	
$\overline{}$					1				

61	1901	明治34	4	29	江湖彙報	[同廿五日神幸の際には大坂万人講の人々はいつれも例年の通り…]		38	
61	1901	明治34	4		江湖彙報	[同廿六日には早天より御日待ちの祭典を施行され 右祭典後午後より事務所楼上に…]		38	
61	1901	明治34	4	29	江湖彙報	[同上 讃岐三豊郡豊浜講社に於ては…]		40	
61	1901	明治34	4	29	江湖彙報	[同上 去る十日大教会岡山主張所に於ては館長殿 …]		40	
61	1901	明治34	4	29	江湖彙報	黒住教演説会		40	
61	1901	明治34	4	29	江湖彙報	千人詣		41	
61	1901	明治34	4	29	江湖彙報	〔大坂万人講より御本社へ参拝せし景況は…〕		41	
61	1901	明治34	4	29	江湖彙報	岡山宗忠神社詣(一) 千人参り(上)	大坂 局外生	41	
61	1901	明治34	4	29	江湖彙報	三十四年三月分教師辞令		43	
61	1901	明治34	4	29	江湖彙報	大元報賽講録事		44	
61	1901	明治34	4	29	江湖彙報	大元報賽講員報告		44	
61	1901	明治34	4	29	江湖彙報	吉備和楽会記事		46	
61	1901	明治34	4	29	江湖彙報	大元永代日参大々講記事		47	「大元永代日参大々講規則」「大元永代日参大々講細 則」
61	1901	明治34	4	29	社告	新刊寄贈		48	「雑誌欠本並に旧本買戻し広告」ほか
61	1901	明治34	4	29	広告	15件		53	
62	1901	明治34	5		神勅			1	
62	1901	明治34	5	20	教祖神訓戒			2	
62	1901	明治34	5	20	国の教	恭奉祝 皇孫降誕		5	
62	1901	明治34	5	20	国の教	堅鑽録(第六十号承前)	河上忠晶·男河上市蔵	6	
62	1901	明治34	5		社説	黒住教の三大綱領		9	
62	1901	明治34	5	20	道の栞	至誠講義巻之三((承前))		12	
62	1901	明治34	5	20	道の栞	怡神詠		15	
62	1901	明治34	5	20	道の栞	教祖大神御尊詠		15	
62	1901	明治34	5	20	道の栞	教語百二十言(承前)	八十二童安藤十朗	16	
62	1901	明治34	5	20	講演	心の錦	西川漁夫	16	
62	1901	明治34	5	20	史伝	河上艶子君の伝		19	
62	1901	明治34	5	20	文苑	[和歌「王子の御降誕を祝ひ奉りて」3首・「管長殿の御結婚を祝ひ奉りて」1首]	伊勢 山崎寿ほか2名	21	
62	1901	明治34	5		文苑	宗忠神社献詠和歌兼題(第十四回)	備中 福田郁彦ほか	22	48首
62	1901	明治34	5	20	神徳霊験	[維新前後の頃肥後国猥府郡(某村)に…]		24	
62	1901	明治34	5		神徳霊験	〔安芸国安佐郡田篠村大字柳ケ市…〕		27	
62	1901	明治34	5		神徳霊験	[広島市字新市…]		28	
62	1901	明治34	5		寄書	本心と私心の区別(四) ニツの心の源(下承前)	不動生	28	
62	1901	明治34	5		雑録	赤木先輩の至誠		30	
62	1901	明治34	5		雑録	御神詠に就て感あり	伊勢 山崎寿講話	30	
62	1901	明治34	5		小説	烏鷺倶楽部	喑雷子	32	
62	1901	明治34	5		寸鉄警語	[御教語に「信心の本は忠孝云々」と然るに…]		36	
62	1901	明治34	5	20	寸鉄警語	[第六拾号本欄内に於て道話好の親父大人は…]		38	
62	1901	明治34	5	20	寸鉄警語	[小言二ツ 烏は色の黒いには憎まれませぬが…]		38	
62	1901	明治34	5	20	江湖彙報	皇孫降誕		39	
62	1901	明治34	5		江湖彙報	御命名式		40	
62	1901	明治34	5	20	江湖彙報	初御参内の事		40	

62	1901	明治34	5	20	江湖彙報	奉賀の為め大阪千人団体の伊勢参宮		41	
62	1901	明治34	5		江湖彙報	武徳会高齢者の光栄		41	
62	1901	明治34	5			祝祭式と開講式		42	
62	1901	明治34	5			奈良中教会所新築落成		42	
62	1901	明治34				御祓講		43	
62	1901	明治34	5		江湖彙報	千人詣		43	
62	1901	明治34	5		江湖彙報	同		43	
62	1901	明治34	5			同		43	
62	1901	明治34	5		江湖彙報	一万度祓執行		43	
62	1901	明治34	5			大々神楽奏上		44	
62	1901	明治34	5			教師辞令(三月分続)		44	
62	1901	明治34	5			同上(四月分)		45	
62	1901	明治34	5		江湖彙報	大元報賽講録事		45	第9回講員報告
62	1901	明治34	5			明治三十四年 宗忠神社献詠月次和歌兼題		49	
62	1901	明治34	5		社告	黒住教教書取次販売書目		49	
62	1901	明治34	5	20	社告	〔補助金寄付要請〕		50	「寄付者待遇」「待遇漂」「国の教社へ寄贈金広告」
62	1901	明治34	5			雑誌欠本並に旧本買戻し広告		52	
62	1901	明治34	5	20	広告	8件		52	「星島翁祭典寄附」ほか
63	1901	明治34	6		神勅			1	
63	1901	明治34	6		教祖神訓戒 教			2	
					の五事				
63	1901	明治34	6	20	国の教	三神契(第六十一号承前)	河上忠晶著	3	
63	1901	明治34	6	20	社説	教祖の御諭言		5	
63	1901	明治34	6	20		至誠講義巻之三(承前)		8	
63	1901	明治34	6			怡神詠		10	
63	1901	明治34	6			教語百二十言道しるべの歌(承前)	八十二童安藤十朗	10	
63	1901	明治34	6			御者の祈り	西川漁夫	11	
63	1901	明治34	6			河上艶子君の伝(承前)		13	
63	1901	明治34	6		文苑	宗忠神社献詠和歌兼題(第十五回)	讃岐 杉上鎮男ほか	15	「梅雨久」34首・「楠公」13首
63	1901	明治34	6	20	神徳霊験	〔美作国奥山手村に…〕		17	
63	1901	明治34	6		神徳霊験	[出雲国簸川郡今市町…]		20	
63	1901	明治34	6		寄書	奇夢	大島生	21	
63	1901	明治34	6		寄書	皇学と日本臣民	難波道人	22	
63	1901	明治34	6	20		故黒住宗敬管長の正格		25	
63	1901	明治34	6	20		古老旧話		26	
63	1901	明治34	6			御神詠に就て感あり	伊勢 山崎寿講話	27	
63	1901	明治34	6		小説	勇乎怯乎	喑雷子	29	
63	1901	明治34	6		寸鉄警語	[究理道人君の問の如きは寸鉄に於て…]		33	
63	1901	明治34	6		寸鉄警語	[宗忠の神を拝むは可い。礼拝の意味に於て…]		34	
63	1901	明治34			寸鉄警語	[毛唐人の囈言に曰く人生字を知るは憂虞の始め…]		34	
63	1901	明治34			寸鉄警語	[本誌第六十二号本欄第一に究理道人の教語に…]		35	
63	1901	明治34	6			地久節		36	
63	1901	明治34	6			迪宮初御参内		36	
63	1901	明治34	6			神御衣御祭		37	
63	1901	明治34	6			宗教法案の前途		37	
63	1901	明治34	6	20	江湖彙報	神楽岡四十年祭		37	

63 1901 63 1901	明治34						70	
		6		江湖彙報 江湖彙報	中教会所新築落成式 黒住教演説会		38 39	今治別宮中教会所の落成式 大阪不二会が毎月の演説会を開設
63 1901		- 1		江湖東報	未任教展就去 千人詣		39	人似个二云が母月の演就云を用設
63 1901	明治34				十八部 古器物展覧所		39	
	明治34							
63 1901		6			天心号拝受者		39	
63 1901	明治34	6		江湖彙報	皇孫御降誕祝賀		39	
63 1901	明治34	6			大坂信徒の大運動会		40	
63 1901	明治34	6		江湖彙報	黒住教信徒委員の慰労会		40	
63 1901	明治34	6		江湖彙報	森住権大教正の祭主		41	貴族院議員正五位勲四等三田昇馬の葬儀、斎主の 依頼
63 1901		6		江湖彙報	[大元報賽講特派員少教正大西定一…]		41	大西定一と後藤磯二が高知県より帰国
63 1901	明治34	6	20	江湖彙報	[同大講義山本宗太郎氏は西京地方より帰庁…]		41	山本宗太郎が京都巡回より戻り、次の巡回にむけ出 発
63 1901	明治34	6	20	江湖彙報	[同少教正友廣忠光氏は阿波地方より六月一日帰庁 …]		41	友広忠光が巡回より戻ったあと美作地方へ出発
63 1901	明治34	6	20	江湖彙報	[同大講義野村熊三郎氏は淡路地方より…]		41	野村熊三郎淡路より帰国
63 1901	明治34	6	20	江湖彙報	[同補大講義田鍋床平氏山口県より本月二日帰庁 …]		41	田鍋床平が山口県より戻り、奉賛会加入申し込み
63 1901	明治34	6	20	江湖彙報	[同補大講義平松規矩活氏は備中地方巡回…]		41	平松規矩活が備中に続いて児島郡へ巡回、浅口郡城 利吉は著しい霊験があり本社へ参拝
63 1901	明治34	6	20	江湖彙報	岡山宗忠神社詣(二) 千人参り(中)	大坂 局外生	41	
63 1901	明治34	6	20	江湖彙報	教師辞令(五月分)		44	
63 1901	明治34	6	20	江湖彙報	大元報賽講講員報告		45	
63 1901	明治34	6	20	社告	新刊寄贈		48	
63 1901	明治34	6	20	社告	明治三十四年 宗忠神社献詠月次和歌兼題		48	
63 1901	明治34	6	20	社告	国の教社へ寄贈金品広告		48	
63 1901	明治34	6	20	社告	黒住教教書取次販売書目		50	
63 1901	明治34	6	20	社告	〔補助金寄付要請〕		51	「寄付者待遇」「待遇漂」「国の教社へ寄贈金広告」
63 1901	明治34	6	20	広告	15件		52	「斎垣内集出版予約金増加広告」ほか
64 1901	明治34	7	20	神勅			1	
64 1901	明治34	7	20	教祖神訓戒 教 の五事			2	
64 1901	明治34	7	20	巻首	宗忠神社前の大華表唐獅子の図(石版摺)		3	
64 1901	明治34	7	20	本庁告文	告示第八号 中国鉄道沿道所講		5	
64 1901	明治34	7		国の教	堅鑽録(第六拾二号承前)	河上忠晶著·男河上市蔵述義	5	
64 1901	明治34	7			御禊祭に就きて所感を述ぶ		8	
64 1901	明治34	7			怡神詠		11	
64 1901	明治34	7	20		教語百二十言道しるべの歌(承前)	八十二童安藤十朗	12	
64 1901	明治34	7			貧人の甕	西川漁夫	12	
64 1901	明治34	7			河上艶子君の伝(承前)		14	
64 1901	明治34	7			〔和歌「夏の祓」5首〕	黒住宗篤ほか4名	17	
64 1901	明治34	7			宗忠神社献詠和歌兼題(第十六回)	讃岐 杉上鎮男ほか	17	35首
64 1901	明治34	7	20	神徳霊験	〔美作国二ノ宮に岩右衛門と申人あり…〕		19	
64 1901	明治34	7		神徳霊験	[備中上房郡上有漢村大字金倉に…]		20	
64 1901	明治34	7			本心と私心の区別(五) 信心(上)	不動生	22	
64 1901		7		寄書	至誠講義ヲ読ミ江湖ノ諸君ニ質ス	在東京 赤沢出八	23	

64	1901	明治34	7	20	雑録	教祖の御笑み顔		24	
64	1901	明治34	7		雑録	敬価の両夫が顔 歳の起原	伊勢 山崎寿講話	26	
64	1901	明治34	7	20	雑録		ア労 山崎寿神品	27	
64	1901	明治34	7	20	小説	黒白	暗雷子	28	
	1901				小祝 寸鉄警語		相笛丁	32	
64		明治34	7			[本誌第六十三号寄書欄内に難波道人なる…]			
64	1901	明治34	7		寸鉄警語	[本誌第六十三号本欄に於て無名子の御論旨に…]		33	
64	1901	明治34	7		寸鉄警語	[毛唐先生の語を挙け来り而して智者学者等を…]		33	
64	1901	明治34	7		江湖彙報	皇孫の御守力		34	
64	1901	明治34	7		江湖彙報	迪宮御移転		34	
64	1901	明治34	7		江湖彙報	迪宮御乳奉仕者		34	
64	1901	明治34	7		江湖彙報	禊祭執行		34	
64	1901	明治34	7		江湖彙報	取締会		34	
64	1901	明治34	7		江湖彙報	慰労会追報		34	
64	1901	明治34	7		江湖彙報	紳士紳商の入教		35	
64	1901	明治34	7		江湖彙報	故本部長森下翁の紀念碑		35	
64	1901	明治34	7		江湖彙報	岡山宗忠神社詣(三)千人詣り(下)	大坂 局外生	35	
64	1901	明治34	7		江湖彙報	一字十二戸挙りて改式		36	
64	1901	明治34	7		江湖彙報	中教会所新築落成式(承前)		37	
64	1901	明治34	7	20	江湖彙報	統計表		38	昨33年後期における教師進退表、教会講社説教所異
									動表、信徒員数表の3表と統廃合及び名称変更した 教会講社説教所、その他計11件
64	1901	明治34	7	20	江湖彙報	信徒員数表		40	
64	1901	明治34	7		江湖彙報	倭姫の御祠		41	
64	1901	明治34	7		江湖彙報	天理教の近状		41	
64	1901	明治34	7		江湖彙報	基督教の大挙伝道		41	
64	1901	明治34	7	20	江湖彙報	ニコライ僧正の布教意見		42	
64	1901	明治34	7		江湖彙報	西班牙国の長命者		42	
64	1901	明治34	7	20	江湖彙報	[大元報賽講特派募集員権中教正斎部幸忠は…]		42	円波・丹後地方への巡回
64	1901	明治34	7		江湖彙報	[同補中講義森住芳良氏は備後安芸地方布教を…]		42	安芸地方の布教と呉小教会所について
64	1901	明治34	7	20	江湖彙報	[同特派募集員小教正若宮達は福岡、佐賀…]		42	4県の各教会所への巡回結果報告
64	1901	明治34	7	20	江湖彙報	[同権少教正友広忠光同補後藤磯二の両氏は…]		42	香川県下巡回について
64	1901	明治34	7		江湖彙報	[同中教正波辺博氏は…]		43	神戸・京都・伊賀・伊勢への巡回
64	1901	明治34	7	20	江湖彙報	教師辞令(六月分)		43	
64	1901	明治34	7		江湖彙報	報賽講加盟人員		43	
64	1901	明治34	7		社告	報養講加溫人員 教祖神御真筆御神号		48	
		明治34	7	20	社告	教祖仲卿具軍卿仲亏 [補助金寄付要請]			「実付老法理」「法理海」「国の教社、実際会庁生
64	1901	明治34	-			【補助金奇行安請】 国の教社へ寄贈金品広告		49	「寄付者待遇」「待遇漂」「国の教社へ寄贈金広告」
64	1901		7	20	社告 社告			50	
64	1901	明治34	7	20	任告	新刊寄贈		51	
64	1901	明治34	7		社告	明治三十四年 宗忠神社献詠月次和歌兼題		51	
64	1901	明治34	7	20	社告	黒住教教書取次販売書目		51	
64	1901	明治34	7	20	広告	16件		52	
65	1901	明治34	8	20	巻首 ***	神勅		1	
65	1901	明治34	8		巻首	教祖神訓誡教の五事		2	Mark Co.
65	1901	明治34	8		国の教	三神契(承前)	河上忠晶著	3	第63号承前
65	1901	明治34	8		社説	喇嘛貫主の来朝に就きて感を書す		4	
65	1901	明治34	8	20	道の栞	怡神詠		8	

					134 - TT	THE T			
65	1901	明治34			道の栞	教語百二十言道しるべの歌(承前)	八十二童安藤十朗稿	8	
65	1901	明治34	8		講演	八里半の話	西川漁夫	9	
65	1901	明治34	8		史伝	河上艶子君伝(承前)		11	
65	1901	明治34	8		文苑	宗忠神社献詠和歌(第十七回)	安芸 友澤譲二ほか	13	「初秋露」37首・「顕恋」20首
65	1901	明治34	8	20	霊験	美作国二ノ宮岩右衛門の霊験談つゝき		16	
65	1901	明治34	8		霊験	〔大分県西国東郡西都甲村…〕		17	
65	1901	明治34	8	20	霊験	[備前国上道郡金田村百九十五番邸…]		18	
65	1901	明治34	8	20	寄書	宗教の如何と我経歴	金沢市 仲井武嗣陳述	18	
65	1901	明治34	8	20	雑録	祓の起原(承前)	伊勢 山崎寿講話	19	
65	1901	明治34	8	20	雑録	五七のしらべ	さきのや翁野村熊三郎寄稿	21	
65	1901	明治34	8	20	雑録	富家繁栄の基		23	
65	1901	明治34	8	20	雑録	岡山宗忠神社詣(三)	大阪 局外生	24	千人詣り(下)承前
65	1901	明治34	8	20		(挿画「岡山宗忠神社」)		25	
65	1901	明治34	8	20	小説	従卒	在丸亀 暗雷子	26	
65	1901	明治34	8	20	寸鉄警語	〔諺に言う三ツ子の心が百までとやら…〕		31	家庭における児童教育について
65	1901	明治34	8		寸鉄警語	[本教は各地とも隆盛なるにも拘わらず…]		31	岡山市内の活動が活発でないことへの批判
65	1901	明治34	8	20	寸鉄警語	[古語に曰はく身を以て教える者は国の宝なり…]		31	言葉だけでなく実践で教えることについて
65	1901	明治34	8		寸鉄警語	[教祖は万道の極意を伝え申すべしとの事にて…]		31	教祖が万道の極意を伝えたする逸話の具体例を募集
65	1901	明治34	8		寸鉄警語	〔教祖の神が慢心を戒め玉う御引例に…〕		31	久米の仙人の話
65	1901	明治34	8		寸鉄警語	[本誌第六十号本欄に於て…]		32	御会日の日程についての具体例の引用
65	1901	明治34	8	20	寸鉄警語	〔前号に続きたむしを治する…〕		32	火傷など怪我を治療する時に読む和歌について列挙
65	1901	明治34	8		江湖彙報	神宮雨漏と御動座		33	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	神宮御遷座祭		33	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	御歌と御名		33	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	吉野宮の昇格		33	
65	1901	明治34	8	20	江湖彙報	皇孫の御養育に就て		33	川村純義の談
65	1901	明治34	8		江湖彙報	宗教法案		34	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	金沢の長寿者		35	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	禊祭		35	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	取締会		35	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	委員会		35	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	神楽岡四十年祭の概況		35	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	神楽岡詣		37	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	教会所の新設		38	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	山本権大教正招請せらる		38	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	宗教に関する調査		38	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	国の教の為めに感起す		38	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	黒住教演説会景況		38	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	(特派員動向5件)		39	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	吊祭式執行		39	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	神文奉呈		39	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	大元報賽講加盟人員報告		40	
65	1901	明治34	8	20	江湖彙報	国の教社へ寄贈金員広告		45	
65	1901	明治34	8		江湖彙報	辞令[明治34年7月分]		47	権大教正~試補
65	1901	明治34	8		社告	寄付者待遇		48	THE A STATE HANDIN
65	1901	明治34			社告	国の教社取次販売書目		50	
00	1001	71/1107	U	20	ITH	ロマケストラング		00	

65	1901	明治34	0	20	社告	明治三十四年 宗忠神社献詠月次和歌兼題	国の教社	51	
65	1901	明治34	8		社告	明治三十四年 示心神仏脈が月次和歌兼題 [一大元永代日参大々講ハ講員ヲ代表シ日々宗忠神		51	
65	1901		8			社へ参拝シ…〕	永代日参大々講事務所	91	
65	1901	明治34	8	20	広告	13件		51	本家やまぶ薬舗、関西鉄道、栗原朝陽堂(本屋)、製造本舗鎮西為朝堂(化粧品)など
65	1901	明治34	8	20		社告	国の教社		
66	1901	明治34	9		神勅			1	
66	1901	明治34	9		教祖神訓誡 教 の五事			2	
66	1901	明治34	9		国の教	堅鑽録(承前)	河上忠晶著·男河上市蔵述義	3	第64号承前
66	1901	明治34	9		社説	文明の基礎		5	
66	1901	明治34	9		道の栞	怡神詠		8	
66	1901	明治34	9	20	道の栞	教語百二十言道しるべの歌(承前)	八十二童安藤十朗稿	9	
66	1901	明治34	9	20	講演	旅亭の紳士	西川漁夫	9	
66	1901	明治34	9	20	史伝	平松且海先生の逸事		12	
66	1901	明治34	9	20	文苑	宗忠神社献詠和歌(第十八回)	備後 有馬元凱ほか	14	「月前鹿」28首・「鎌足公」9首
66	1901	明治34	9	20	文苑	黒住教津山小教会所月並献詠和歌		16	「初秋虫」10首
66	1901	明治34	9	20	霊験	〔教祖神御在世中岡山藩士中の招請に応し…〕		16	
66	1901	明治34	9	20	霊験	〔福岡県福岡市博多上魚町弐拾弐番地…〕		17	
66	1901	明治34	9	20	霊験	〔伊予国新居郡西条町大字明屋敷…〕		17	
66	1901	明治34	9	20	寄書	本心と私心の区別(六)(六十四号続)·信心上(六十四号続)	不動生	18	
66	1901	明治34	9		寄書	教語に就て所感を述ふ	伊勢 山崎寿講話	19	
66	1901	明治34	9		雑録	〔教祖神御在世中いつの年にかありけん備前国御津郡万成村の石工某…〕		21	
66	1901	明治34	9		雑録	〔故贈大教正星島良平先生…〕		22	
66	1901	明治34	9		雑録	岡山宗忠神社詣(五)	大阪 局外生	23	千人参り(下)続き、前号の(三)は四の誤
66	1901	明治34			小説	撫子双紙	暗雷子	25	
66	1901	明治34	9		寸鉄警語	[先の日岡山に於てある宗教家が…]		30	黒住教への攻撃に対する反論
66	1901	明治34	9		寸鉄警語	[国の教六十五号に於て…]		30	65号で募集した教祖の極意伝授に対する逸話の具体 例について
66	1901	明治34	9		寸鉄警語	[御説教を御説になる中に本教の信というは…]		30	信について
66	1901	明治34	9		寸鉄警語	[神床に備え奉る所の神水は…]		31	神水の備え方について
66	1901	明治34	9		寸鉄警語	[第六十五号に子供思いの親玉生は…]		31	65号の家庭教育の記載についての意見
66	1901	明治34	9	20	寸鉄警語	〔前号つづき…〕		31	65号の続き、禁厭の和歌
66	1901	明治34	9	20	江湖彙報	神宮御遷座		31	
66	1901	明治34	9	20	江湖彙報	御遥拝		32	
66	1901	明治34	9	20	江湖彙報	聖恩優渥		33	
66	1901	明治34	9	20	江湖彙報	学事御奨励		33	
66	1901	明治34	9	20	江湖彙報	内親王の御仁徳		34	
66	1901	明治34	9	20	江湖彙報	東宮御誕辰		34	
66	1901	明治34	9	20	江湖彙報	御乳人候補		34	
66	1901	明治34	9		江湖彙報	降誕令と喪忌令		34	
66	1901	明治34	9	20	江湖彙報	台湾神社鎮座式		35	
66	1901	明治34	9	20	江湖彙報	嫩草山の松虫		35	
66	1901	明治34	9	20	江湖彙報	神宮御動座に就て		35	

66	1901	明治34	9	20	江湖彙報	菊御紋章の取締励行		35	
66	1901	明治34	9		江湖彙報	台湾神社祭典と郵便切手		35	
66	1901	明治34	9		江湖彙報	宗徒名簿の調製		35	
66	1901	明治34	9		江湖彙報	宗教に関する法人の調査		36	
66	1901	明治34	9		江湖彙報	モルモン宗		36	
66	1901	明治34	9		江湖彙報	ニコライ師四十年記念会		37	
66	1901	明治34	9		江湖彙報	邪教淫祀の取締		38	
66	1901	明治34	9		江湖彙報	監獄教誨に就て		38	
66	1901	明治34	9		江湖彙報	昼夜の長短		38	
66	1901	明治34	9	20	江湖彙報	開講式		38	
66	1901	明治34	9		江湖彙報	故服部中佐の招魂祭		39	
66	1901	明治34	9		江湖彙報	[島根県大厚郡日登村大字東日登細木亀次郎…]		39	
66	1901	明治34	9		江湖彙報	辞令(明治34年7月分)			権中講義~権訓導
66	1901	明治34	9		江湖彙報	辞令(明治34年8月分)			権中教正~試補
66	1901	明治34	9	20	江湖彙報	大元報賽講加盟人員報告		40	
66	1901	明治34	9		江湖彙報	(告示)	黒住教本庁	41	告示第10号、大祓祭について
66	1901	明治34	9		江湖彙報	(「本庁取締役会々則の通達」)	黒住教管長黒住宗子	40	
67	1901	明治34			神勅			1	
67	1901	明治34	10	20	教祖神訓戒 教 の五事			2	
67	1901	明治34	10	20	国の教	三神契(第六十五号承前)	河上忠晶	3	
67	1901	明治34			社説	宗教界の戦国観		4	
67	1901	明治34			道の栞	詠神怡(承前)		7	
67	1901	明治34			道の栞	黒住教試験課程第一科の内作文探題二十条略解	八十二童安藤十朗稿	7	
67	1901				講演	人真似男	西川漁夫	8	
67	1901	明治34	10	20	史伝	平松且海先生の逸事(承前)		11	
67	1901	明治34	10	20	文苑	国のをしへを祝して	八十二童安藤	12	2首
67	1901	明治34	10	20	文苑	宗忠神社献詠和歌(第十九回)	筑後 大坪忠親ほか	13	「閑庭菊」30首・「旅友」31首
67	1901	明治34				黒住教津山小教会所歌会	鳥越重英ほか	15	「行路萩」4首
67	1901	明治34			神徳霊験	[岡山県備前国上道郡御休村大字吉井…]		16	
67	1901	明治34	10	20	神徳霊験	〔淡路国津名郡広石村下組三百二十八番地…〕		18	
67	1901	明治34			神徳霊験	[壱岐国渡良村…]		19	
67	1901	明治34			寄書	今の時	讃岐 椋道人	19	
67	1901	明治34	10	20	寄書	本心と私心の区別(七)	不動生	20	
67	1901	明治34		20	寄書	教語に就て所感を述ぶ(承前)	伊勢 山崎寿講話	21	
67	1901	明治34	10		寄書	天地神人万物組織原理考(六十一号続)	中教正七十九歳ノ翁住山宗定講 述	23	
67	1901	明治34			寄書	教祖の御祈	無為道人	25	
67	1901	明治34			雑録	河上高弟の陰徳	鳥城老人誌	25	
67	1901	明治34			雑録	熨斗の起源		27	
67	1901	明治34			雑録	桜園叢談(九)	備前 野村熊三郎	28	
67	1901	明治34	10	20	小説	女哲学者(上)	暗雷子	30	

67	1901	明治34			寸鉄警語	[本誌第六十六号雑録欄内岡山宗忠神社詣の段…] ほか11件		34	本教に慈善事業を興すことを望む(本教信徒の一人)、黒住教は国家天下を無病健全とするのが大主意というが諸教師の説教では一身の病気平癒ばかり(狐疑生)、霊験の因源は何れより発するやなどの問い(福村金蔵)、など
67	1901	明治34	10		江湖彙報	伊勢の神風		37	
67	1901	明治34	10		江湖彙報	秋季皇霊祭御次第		37	
67	1901	明治34	10		江湖彙報	台湾神社御霊代		38	
67	1901	明治34	10		江湖彙報	岡山宗忠神社(六)千人参(下)つゞき附岡山商業家 の一大欠点	大阪 局外生	38	
67	1901	明治34			江湖彙報	皇室典範の解釈調査		44	
67	1901	明治34			江湖彙報	迪宮御箸初		45	
67	1901	明治34			江湖彙報	皇孫御避寒の地		45	
67	1901	明治34			江湖彙報	帝室の御料		45	
67	1901	明治34	10	20	江湖彙報	信徒名簿備付けに就て		46	
67	1901	明治34			江湖彙報	管長の巡教		46	管長黒住宗子が九州地方巡教に出発
67	1901	明治34	10	20	江湖彙報	独立祭		46	
67	1901	明治34	10	20	江湖彙報	航海宣教		46	東京のキリスト教会が塩飽七島、小豆島に航海宣教 しつつある
67	1901	明治34	10	20	江湖彙報	畝傍山東北陵の参道		46	
67	1901	明治34	10		江湖彙報	黒住教有志者大運動の結果		47	和歌山市では赤木忠春の布教伝道後、未熟の教師しかおらず、また医師の業を妨げるという理由で排斥され黒住教の教勢が絶えていたが、大阪有志家が再興の運動に着手し近く黒住教演説会を開催する由
67	1901	明治34			江湖彙報	霊鳩の瑞		47	
67	1901	明治34			江湖彙報	本誌を読んで道に入る		47	
67	1901	明治34			江湖彙報	黒住教演説会		48	大阪不二会の演説会
67	1901	明治34	10		江湖彙報	〔兼て能登、加賀、若狭、越後地方担任巡回中なりし …〕		48	特派宣教使兼報賽講募集員権中教正小野弥太郎に つき
67	1901	明治34			江湖彙報	〔大元報賽講募集員各は夏季中は避くる為…〕		48	
67	1901	明治34			江湖彙報	〔同講募集員中教正片山秀実氏は…〕		48	
67	1901	明治34	10	20	江湖彙報	[同補権大講義赤沢出八氏は…]		48	
67	1901	明治34	10	20	江湖彙報	[同補大講義後藤磯二氏は…]		48	
67	1901	明治34	10	20	江湖彙報	[八月下旬頃より広島地方巡回中なりし同講募集員 …]		49	権大講義森住芳良につき
67	1901	明治34			江湖彙報	〔同大講義田鍋床平氏は…〕		49	
67	1901	明治34			江湖彙報	[同講募集特派員権小教正友広忠光氏は…]		49	
67	1901	明治34			江湖彙報	〔同補大講義山本宗太郎氏は…〕		49	
67	1901	明治34	10		江湖彙報	〔同大講義平松規矩治氏は…〕		49	
67	1901	明治34	10		江湖彙報	〔神戸地方巡回中なる同講募集特派員中教正渡辺博氏は…〕		49	
67	1901	明治34			江湖彙報	〔同小教正大橋清人氏は…〕		49	
67	1901	明治34			江湖彙報	〔権大教正上田久太郎氏は…〕		49	上田久太郎の訃報
67	1901	明治34			江湖彙報	九月分教師辞令		49	補少講義~試補
67	1901	明治34			江湖彙報	大元報賽講加盟人員		49	
67	1901	明治34	10	20	江湖彙報	正誤		53	

67	1901	明治34	10	20	社告	5件		53	新刊寄贈ほか
67	1901	明治34			広告	19件		55	関西鉄道ほか
68	1901	明治34				191+		1	
68	1901	明治34			教祖神訓戒 教			2	
00	1901	97/034	''	20	教性神訓成 教 の五事			2	
68	1901	明治34	11	20	国の教	 堅鑽録(六拾五号続承前)	河上忠晶著·男河上市蔵述義	3	
68	1901	明治34			社説	四辺の気運	月上心明有"万月上川威处我	4	
68	1901	明治34			道の栞	作文探題二十条略解(承前)	安藤十郎	6	
68	1901	明治34	11	20	道の栞		X fix 1 AD	7	
68	1901	明治34			講演	槍術の名人	西川漁者	8	
68	1901	明治34			史伝	平松且海先生逸事(承前)		10	
68	1901	明治34			文苑	宗忠神社献詠和歌(第二十回)	岡山 岡田諒ほか	11	「暁木枯」29首·「淵亀」21首
68	1901	明治34			文苑	黒住教津山小教会所献詠和歌会	鳥越重英ほか	13	2011 Mars III Williams
68	1901	明治34			神徳霊験	〔広島県佐伯郡草津村…〕	marca personal control of the contro	14	
68	1901	明治34			神徳霊験	[鳴な奇すしきかな鳴な貴きかも拍手の音には…]		14	
68	1901	明治34			神徳霊験	[伯耆国西伯郡庄内村大字富長…]		16	
68	1901	明治34			神徳霊験	[邑久郡大宮村大字上阿知…]		16	
68	1901	明治34			寄書	我国民の気風と宗教	讃岐 椋道人	16	我国民は外国の物の善いところを採って自分のもの
									にするので、耶蘇教・回々教・洩門宗も外教を排斥せ
									ず採り、喰わず嫌いで国が衰退せぬようにすべき、一
									度見聞きするのは本教を広める一助になる
68	1901	明治34	11	20	寄書	本心と私心の区別 信心(上)つゞき	不動生	18	
68	1901	明治34	11	20	雑録	河上高弟の陰徳(承前)(六十七号続)		20	
68	1901	明治34	11	20	雑録	神諭の誤解	故引苫船	23	
68	1901	明治34	11	20	雑録	出雲国神在月の由来		25	
68	1901	明治34			雑録	進物に南天葉笹葉等を添る起源	伊勢 竹廼舎の寿	25	
68	1901	明治34			小説	女哲学者(下)	暗雷子	27	
68	1901	明治34	11	20	寸鉄警語	[前号に本教信徒の一人という御名義にて慈善事業		31	本教の拡張こそ永遠にわたる大慈善だ(本教拡張熱
						を…〕ほか5件			心老人)孤疑生への反論(愛国生)福光金蔵の問いへ
									の応答など
68	1901	明治34				祝天長の佳節		33	
68	1901	明治34			江湖彙報	東宮殿下御昇任		33	
68	1901	明治34			江湖彙報	東宮妃殿下御妊娠		34	
68	1901	明治34			江湖彙報	皇孫御成長		34	
68	1901	明治34 明治34			江湖彙報 江湖彙報	宮中御歌会		34 34	
68	1901					台湾神社(御鎮座式)			
68	1901	明治34			江湖彙報	台湾布教奨励		34 34	
68	1901	明治34				山室神社百年祭(本居翁)			
68	1901	明治34 明治34			江湖彙報	管長の伊勢参拝		35 35	
68 68	1901 1901	明治34			江湖彙報 江湖彙報	独立祭と報賽講 教師巡回		35	 報賽講特派募集員少教正の石井忠蔵は美作地方を
80	1901	明冶34	''	20		教師巡巴		30	牧養講符派券集員少教正の石井志蔵は美作地方を 巡回
60	1001	明治34	11	20	江湖彙報	7		25	徳島県への巡回
68 68	1901 1901	明治34			江湖彙報	又 管長の巡教		35 35	
68	1901	明治34			江湖東報 江湖彙報	官長の巡教 九州なる片山、若宮両教師		35	五月20日、
68	1901				江湖集報 江湖彙報	九州なる万山、石呂尚叙即 巡回教師帰庁		35	
δO	1901	明治34	П	20		巡川教训师厅		აე	

68	1901	田治34	11	20	江湖彙報	又		36	備中地方への巡回
68	1901	明治34			江湖彙報	又		36	山口県下への巡回
68	1901				江湖彙報	文 又		36	東京教務局長が浜松、神戸をめぐり帰庁
68	1901	明治34			江湖彙報	長崎通信		36	管長一行は長崎で教師・信徒らに歓迎され三日間祭 典・説教、その後三菱造船所の見学などをして壱岐国 へ出発
68	1901	明治34			江湖彙報	鎮西新聞転載黒住管長の来崎		37	
68	1901	明治34			江湖彙報	神宮御遷座式の期日		37	
68	1901	明治34			江湖彙報	独立祭執行		37	
68	1901	明治34			江湖彙報	献納一束		38	
68	1901	明治34			江湖彙報	モルモン宣教師入京		38	
68	1901	明治34			江湖彙報	宗教法案に就て		38	
68	1901	明治34			江湖彙報	御題		38	
68	1901	明治34			江湖彙報	三十四年十月中教師辞令		38	補少教正~試補
68	1901	明治34			江湖彙報	大元報賽講加盟人員		38	
68	1901	明治34			社告	6件		45	新刊寄贈ほか
68	1901	明治34			広告	15件		49	関西鉄道ほか
69	1901	明治34						1	
69	1901	明治34			教祖神訓戒 教 の五事			2	黒住宗忠「日々家内心得之事」七ヶ条
69	1901	明治34			社説	歳抄の感		3	
69	1901	明治34			道の栞	怡神詠		4	
69	1901	明治34			道の栞	作文探題二十条略解(承前)	安藤十朗	5	呼気の方法など
69	1901	明治34			講演	鎗術の名人(承前)	西川漁者	5	
69	1901	明治34	12	20	史伝	平松且海先生逸事(承前)		7	「森下景端先生」云々
69	1901	明治34			文苑	宗忠神社献詠和歌(第二十一回)	備中 柳瀬又治郎ほか	9	「雪中友」25首・「庭苔」23首
69	1901	明治34			神徳霊験	[備前国児島郡粒江村大字粒浦…]		11	
69	1901	明治34			神徳霊験	〔備前国児嶋郡塩生村に…〕		11	
69	1901	明治34			神徳霊験	〔長崎市八百屋町橋本龍吉…〕		12	
69	1901	明治34			神徳霊験	〔広嶋市宇品港北通三丁目…〕		13	
69	1901	明治34			寄書	本心と私心の区別(九) 信心(上)つゞき		14	
69	1901	明治34			雑録	御神歌について		18	
69	1901	明治34			雑録	河上高弟の陰徳(承前)(前号つゞき)		18	
69	1901	明治34				岡山宗忠神社詣(七)		20	大阪有志運動会(上)
69	1901	明治34			雑録	蘇民将来		23	
69	1901	明治34			小説	まちがい		26	
69	1901	明治34			寸鉄警語	[本誌有志者の諸君にお謀り申ます…]	子誠道人	30	和衷協同の実を挙げる方策、多年勤労教師の名誉徽章授与、教師養成のため必要な書籍の内容を掲載、 など
69	1901				寸鉄警語	「雑誌好君に答ふ僕は例の文無であるから…」	銭無生	30	従来の月刊で我慢せよ
69	1901	明治34			寸鉄警語	〔僕は本誌第六十七号雑録欄局外生の…〕	苫舟	30	
69	1901	明治34			寸鉄警語	〔本教の教師の任免を従前の如く明瞭に…〕	陽丹の未熟生	31	
69	1901	明治34	12	20	寸鉄警語	[本教教師の内で『針と云ふ字も釘の折れ』と…]	聞気付太	31	
69	1901	明治34	12	20	寸鉄警語	[屡々本欄でも見へた処であるが…]	エヘン生	31	
69	1901	明治34			江湖彙報	神宮御遷座		32	
69	1901	明治34	12	20	江湖彙報	御遥拝御見合		32	

69	1901	明治34	12	20	江湖彙報	東宮、妃両殿下御遥拝		32	
69	1901	明治34			江湖彙報	新嘗祭		32	
69	1901	明治34			江湖彙報	歌御会始めに就て		33	
69	1901	明治34			江湖彙報	壱岐通信	近信者	33	
69	1901	明治34			江湖彙報	黒住教演説会	ALID II	33	大阪不二会、官吏学務委員らも聴講、内務省訓令に よる取調も一度も受けず
69	1901	明治34			江湖彙報	黒住教有志大運動会計画		34	大阪・堺・河内の有志者、岡山での教祖祭(来年3月 24日)参拝の上東京で大運動会開催を計画中
69	1901	明治34			江湖彙報	教師更迭		34	
69	1901	明治34			江湖彙報	教師巡回一束		34	
69	1901	明治34			江湖彙報	講員証牌調製		35	
69	1901	明治34			江湖彙報	鶯教会に入る		35	函館教会所
69	1901	明治34			江湖彙報	七月分教師辞令追加/十一月分教師辞令		36	補権少教正~試補
69	1901	明治34			江湖彙報	大元報賽講加盟人員		36	269人
69	1901	明治34	12	20	江湖彙報	第六十八号正誤		41	
69	1901	明治34			社告	新刊寄贈		41	
69	1901	明治34			社告	本山出張広告	国の教社	41	
69	1901	明治34	12	20	社告	明治三十五年 宗忠神社献詠和歌月並兼題	国の教社	41	
69	1901	明治34			社告	国の教社取次販売書目		42	
69	1901	明治34			社告	[一教祖神御真筆御神札…]	国の教社	42	
69	1901	明治34			社告	〔謹んて愛読の諸彦に白す従来弊社事業保護…〕	国の教社員森督太・杉本善太郎	43	寄付の依頼
69	1901	明治34	12		広告	23件		44	「大阪市著名家案内」(著名な信者の列挙か)含む
70	1902	明治35	1	20	神勅			1	
70	1902	明治35	1		教祖神訓戒 教 の五事			2	黒住宗忠「日々家内心得之事」七ヶ条
70	1902	明治35	1		社説	本教進興飛躍の時機		3	
70	1902	明治35	1		道の栞	怡神詠		6	
70	1902	明治35	1		道の栞	作文探題二十条略解(承前)	安藤十朗	6	生々の真理など
70	1902	明治35	1	20	講演	一束の箭竹	西川漁者	7	
70	1902	明治35	1		史伝	贈権大教正直原伊八郎君略伝		9	
70	1902	明治35	1		文苑	宗忠神社献詠和歌(第二十二回)	備後 児玉喜兵衛ほか	11	「社頭新年」15首・「庭松」19首
70	1902	明治35	1		神徳霊験	[此は数十年前教祖御時代の事実なり…]		12	
70	1902	明治35	1		神徳霊験	[大阪市戎橋南詰新栄堂事…]		12	
70	1902	明治35	1		神徳霊験	〔美作国真庭郡月田村…〕		15	
70	1902	明治35	1	20	神徳霊験	[美作国勝田郡南和気村大字吉留…]		16	
70	1902	明治35	1		寄書	本心と私心の区別(十) 信心(上)つゞき	不動生	17	
70	1902	明治35	1		寄書	呼ァ明教は明鏡に通ず	浪花小喜郎	18	
70	1902	明治35	1		雑録	古代の伝説		18	
70	1902	明治35	1	20	雑録	天を当ての修行		22	
70	1902	明治35	1		雑録	宗忠神社詣(八)	大阪 局外生	23	大阪有志運動会(上)つづき
70	1902	明治35	1		雑録	新年の心得	伊勢 山崎寿講話	26	
70	1902	明治35	1		小説	おまちがい	丸亀 暗雷子	30	
70	1902	明治35	1		寸鉄警語	[本教の教師信徒達両者間の関係に就て聊か観察を …]	布教熱心生	33	
70	1902	明治35	1	20	寸鉄警語	〔我福嶋県福島市は旧板倉候〔侯〕の城下にして…〕	岩代 佐藤茂七	33	福島は大都会で教会新設の資金はあれど良い教師に乏しい、巡教を乞う

70	1902	明治35	1	20	寸鉄警語	[本教の信徒間には必ず懇親会とか何とか云う…]	赤心生	34	懇親会を奨励
70	1902	明治35	1	20	寸鉄警語	[私は来る教祖祭当日に各地より参拝せられたる…]	一青年	34	黒住教青年会の結成提唱
70	1902	明治35	1	20	寸鉄警語	[本誌第六十七号に本庁員の巡回を願ひ各所の…]		34	同盟会・由斯会・教債などの方法あれど一般信徒の 方向を一定させるのが必要
70	1902	明治35	1		江湖彙報	歳且[旦]の宮中		35	
70	1902	明治35	1	20	江湖彙報	新年式及御祭典		35	
70	1902	明治35	1	20	江湖彙報	御政事始式		35	
70	1902	明治35	1		江湖彙報	宮中の新年宴会		35	
70	1902	明治35	1	20	江湖彙報	御製		35	
70	1902	明治35	1	20	江湖彙報	元且(旦)の本庁		36	
70	1902	明治35	1	20		岡山市新年宴会		36	
70	1902	明治35	1	20	江湖彙報	冬至祭		37	
70	1902	明治35	1	20	江湖彙報	寺川氏帰阪す		37	
70	1902	明治35	1	20	江湖彙報	教師帰郷す		37	
70	1902	明治35	1	20	江湖彙報	巡回教師帰庁		37	
70	1902	明治35	1	20		教師来庁		38	
70	1902	明治35	1		江湖彙報	教師巡回		38	
70	1902	明治35	1	20		教師の奮発計画		38	
70	1902	明治35	1			熱心教師一対		38	
70	1902	明治35	1		江湖彙報	三十四年冬至祭の節天心拝受者		38	
70	1902	明治35	1	20	江湖彙報	黒住教演説会		38	大阪不二会
70	1902	明治35	1		江湖彙報	米搗会の実況		39	相生小教会所にて
70	1902	明治35	1	20	江湖彙報	神夢		39	熊本中教会
70	1902	明治35	1		江湖彙報	十二月分教師辞令		39	補権少教正~権少講義
70	1902	明治35	1		江湖彙報	大元報賽講加盟人員		39	314人
70	1902	明治35	1	20	江湖彙報	第六十九号正誤		46	
70	1902	明治35	1		社告	新刊寄贈		46	
70	1902	明治35	1	20	<u></u> 社告	国の教社取次販売書目		47	
70	1902	明治35	1		<u></u> 社告	明治三十五年 宗忠神社献詠和歌月並兼題	国の教社	47	
70	1902	明治35	1	20	<u></u> 広告	31件		48	
70	1902	明治35	1	20	附録	告示第十五号			大元報賽講講員の証牌の更正
71	1902	明治35	2		神勅			1	TO THE SCHOOL STATE OF THE
71	1902	明治35	2	20	教祖神訓誡 教 の五事			2	
71	1902	明治35	2		社説	神鏡と心鏡の関係		3	
71	1902	明治35	2	20	道の栞	怡神詠		6	
71	1902	明治35	2		道の栞	作文探題二十条略解(承前)	安藤十郎稿	6	
71	1902	明治35	2	20	講演	斉藤権訓導講義筆記		7	
71	1902	明治35	2			贈権大教正江田美喜太君略伝		8	
71	1902	明治35	2	20	神徳霊験	[言はずして人を化し語らずして…]		10	
71	1902	明治35	2			[神詠に生死も富も貧苦も何もかも…]		11	
71	1902	明治35	2		寄書	本心と私心の区別 (十一)	不動生	12	信心(上)つづき
71	1902	明治35	2	20	寄書	桜園叢談 道しるべ(二)	野村熊三郎編輯	15	
71	1902	明治35	2		雑録	古代の伝説(承前)		17	
71	1902	明治35	2		雑録	故問人本多応之助の筆記		20	
71	1902	明治35			雑録	注連縄の話	伊勢 竹廼舎寿	21	
$\overline{}$						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			1

71	1902	明治35	2	20	雑録	岡山宗忠神社詣(九)	大阪 局外生	22	大阪有志運動会(上)つづき
71	1902	明治35	2		小説	胡蝶 春の巻	暗雷子	26	八阪行心廷到云(エ)フラと
71	1902	明治35		20	文苑	切珠 年のを 宗忠神社献詠和歌(第廿三回)	「明日丁 筑後 楢尾美治ほか	31	集歌231首のうち佳調78首
71	1902	明治35	2	20	文苑	別宮中教会所旭日吟社月次和歌	田窪勇雄撰	34	未成231日のプラ圧刷70日
71	1902	明治35	2		寸鉄警語			36	
71	1902	明治35	2	20	江湖彙報	歌御会始		38	
71	1902	明治35	2		江湖彙報	歌岬云炉 予選歌詠進者の光栄		38	
71	1902	明治35	2		江湖彙報	ア選歌跡進年の元末		38	
71	1902	明治35	2		江湖彙報	跡進歌 迪宮御近状		39	
71	1902	明治35	2		江湖彙報	本明天皇祭		39	
71	1902	明治35	2		江湖彙報	日神祭		39	
71	1902	明治35	2		江湖彙報	日代宗 紀元節御祭典		39	
	1902	明治35			江湖彙報	教祖祭		39	
71	1902	明治35	2		江湖東報	教祖宗 黒住教懇話会		39	
	1902	明治35				招魂祭			
71	1902	明治35	2		江湖彙報 江湖彙報	竹碗宗 教正の帰幽		41	
		明治35	2		江湖彙報	公正の帰幽 仏国の政教分離			
71	1902 1902	明治35						41	
71			2		江湖彙報	本願寺の訓告			
71	1902	明治35 明治35	2		江湖彙報	宣教師の社団法人組織		42	カキ おたら首 Rist ミキャキ
71	1902 1902	明治35	2	20	江湖彙報 江湖彙報	三十四年十二月分教師辞令(続き)		42	補教導職試補 補大講義~教導職試補
71			2			一月分教師辞令		43	州人 蔣莪~
71	1902	明治35	2	20	江湖彙報	大元報賽講加盟人員 新刊寄贈		43	
71	1902	明治35	2		社告			47	
71	1902	明治35	2		社告	本社出張広告 ほか5件		47	
71	1902	明治35	2		広告	広告17件		51	
72	1902	明治35	3		神勅			1	
72	1902	明治35	3	20	教祖神訓誡 教 の五事			2	
72	1902	明治35	3	20	社説	台湾布教の報を聞きて		3	
72	1902	明治35	3		道の栞	怡神詠		6	
72	1902	明治35	3		講演	大坂土産	烏城散士	7	
72	1902	明治35	3		史伝	藤原銀治兵衛君略伝	**************************************	10	
72	1902	明治35	3		神徳霊験	[教祖御在世中岡山藩士山田弥太郎氏…]		13	
72	1902	明治35	3		神徳霊験	[美作国加茂に湯浅某と云ふ門人ありしか…]		14	
72	1902	明治35	3		神徳霊験	[大坂堂島の教会にて浜田信太先生の…]		15	
72	1902	明治35	3		神徳霊験	[美作国英田郡大原村大字辻堂…]		16	
72	1902	明治35	3		寄書	本心と私心の区別(十二)	不動生	17	信心(下)つづき
72	1902	明治35	3	20	寄書	桜園叢談	1 -73	18	道しるべ(三)
72	1902	明治35	3		雑録	教祖猪狩御見物中途より御帰りの事		20	,—, ,—,
72	1902	明治35	3		雑録	古代の伝説(承前)		21	
72	1902	明治35	3	20	雑録	大工僧侶を説く		23	
72	1902	明治35	3		小説	胡蝶 夏の巻	暗雷子	24	
72	1902	明治35	3	20	文苑	宗忠神社献詠和歌(第廿四回)	筑後 大坪忠親ほか	29	集歌119首のうち佳調30首
72	1902	明治35	3	20	寸鉄警語	[伊予旭の舎の君よりお尋ねに…] ほか6件	STATE AND LONG	31	STREET, STATE OF
72	1902	明治35	3	20	江湖彙報	神宮の避雷針		32	
72	1902	明治35			文苑追加	別宮中教会所旭日吟社月次和歌	田窪勇雄撰	33	
_ , _	1002	21/1100	J	20	/\/\/\			- 00	

70	1000	пп://or	•	00	가 Na 스 크인	丁 丰L 中 하 /n →1 /2		00	
72	1902	明治35			江湖彙報	五穀豊熟御礼祭		33	
72	1902	明治35	3			五穀成就祈念祭		33	
72	1902	明治35				教旗運動		33	
72	1902	明治35	3			伊勢一万人詣		33	
72	1902	明治35	3			教師巡回一東		33	
72	1902	明治35	3			伊予時代団体		34	
72	1902	明治35	3			教祖祭		34	
72	1902	明治35	3		江湖彙報	篤志信徒		35	
72	1902	明治35	3		江湖彙報	「モルモン」宗布教を許さる		35	
72	1902	明治35	3		江湖彙報	黒住教大阪万人講総会		35	
72	1902	明治35	3			仏教徒の禁酒同盟		36	
72	1902	明治35	3		江湖彙報	二月分教師辞令		36	
72	1902	明治35	3		広告	大元報賽講加盟人員		36	途中「岡山宗忠神社詣 挿絵」あり
72	1902	明治35	3			告示第十五号	黒住教本庁	40	大元報賽講加盟の証牌
72	1902	明治35	3			告示第一号	黒住教本庁	41	伊勢日参講につき
72	1902	明治35	3			告示第二号	黒住教本庁	41	県社今村宮からの還輿につき
72	1902	明治35	3	20	本庁告文	達第一号	黒住教管長黒住宗子	41	特別諮詢会決議答申書(本庁経営、取締役会、負債 償却、布教拡張方法など)
72	1902	明治35	3	20	社告	5件		44	
72	1902	明治35	3	20	広告	16件		46	社告「本号に就ての御断」
73	1902	明治35	4	20	神勅			1	
73	1902	明治35	4	20	教祖神訓誡 教 の五事			2	
73	1902	明治35	4	20	社説	上流布教と下層布教		3	
73	1902	明治35	4	20		怡神詠		6	
73	1902	明治35	4	20	講演	大坂土産	烏城散士	7	
73	1902	明治35	4	20	史伝	藤原銀治兵衛君略伝拾遺		9	
73	1902	明治35	4		神徳霊験	[肥前の国長崎市浪の平町十八番地…]		10	
73	1902	明治35	4		神徳霊験	[高弟の道歌に「気も強く心も強く誠をば…]		11	
73	1902	明治35	4			本心と私心の区別(十三)	不動生	14	信心(下)つづき
73	1902	明治35	4	20	寄書	有心の誠無心の誠	前田一日	17	
73	1902	明治35	4		雑録	古代の伝説(承前)		21	
73	1902	明治35	4	20	雑録	一心の働き		21	
73	1902	明治35	4			教の五事附霊夢の神解		22	
73	1902	明治35	4			岡山宗忠神社詣(十)	大阪 局外生	23	大坂有志運動会(中)
73	1902	明治35	4	20	小説	胡蝶	暗雷子	25	7 1 10 1 10 1 100 1 1000 1 170 1 100 1 1 1 1
73	1902	明治35	4		文苑	宗忠神社献詠和歌(第廿五回)	播磨 上瀧藤三郎ほか	31	「月前歌」30首・「晩鐘」18首
73	1902	明治35	4	20		別宮中教会所旭日吟社月次和歌	田窪勇雄撰	33	11 10 0V 3 c c D DOWE 3 L C D
73	1902	明治35	4		寸鉄警語	[河上忠晶大人の御遺書を…]ほか4件		34	
73	1902	明治35	4			九重の春		36	
73	1902	明治35	4		江湖彙報	皇孫御養育の事		36	
73	1902	明治35	4			迪宮御誕辰		36	
73	1902	明治35	4			神職の政党干与に就いて		36	
73	1902	明治35	4			諮詢会		37	
73	1902	明治35	4			教祖祭		37	
73	1902	明治35	4			神幸御見合		37	
73	1302	NJ/1000	4	20	小	17年 47元日		31	

73	1902	明治35	4	20	江湖彙報	日拝直会式	T	38	T
73	1902	明治35	4		江湖彙報 江湖彙報	口拝直云式 共進会に対する大元の宝物展覧会		38	
73	1902	明治35	4		江湖東報 江湖彙報	宍延云に対する人元の五初展見云	泊井 派 7 件	38	
	1902	明治35	4		江湖彙報	第四回岡田宗志仲社語(エ) 福尾小教会所の隆盛	浪花 飛入生		
73	1902	明治35						42	
73		明治35	4		江湖彙報	大坂改正(委員会設置)			
73	1902		4		江湖彙報	奇篤なる教師信徒		43	
73	1902	明治35	4		江湖彙報	大々神楽		44	
73	1902	明治35	4		江湖彙報	大元報賽講加盟者		44	
73	1902	明治35	4		江湖彙報	大元報賽講加盟人員		45	
73	1902	明治35	4		社告	5件		49	
73	1902	明治35	4		広告	16件		51	
74	1902	明治35	5		神勅			1	
74	1902	明治35	5		教祖神訓誡 教 の五事			2	
74	1902	明治35	5		本庁告文	達第三号		3	内務省訓令第11号(教師の政治活動抑制)につき
74	1902	明治35	5		本庁告文	告示第四号		4	高松での関西府県連合共進会への鉄道割引など
74	1902	明治35	5		社説	本教主義女流の教育		5	
74	1902	明治35	5		道の栞	怡神詠		7	
74	1902	明治35	5		道の栞	生死の転化	安藤十朗	7	
74	1902	明治35	5	20	講演	大坂土産(承前)	烏城散士	8	
74	1902	明治35	5		史伝	桜井正家君略伝		10	
74	1902	明治35	5	20	神徳霊験	[神詠『姿なき心を活て使ひなは…]		12	
74	1902	明治35	5	20	神徳霊験	[去月廿五日細川男爵の御子息達…]		15	
74	1902	明治35	5	20	神徳霊験	[備中国浅口郡長尾村大字鉾嶋…]		15	
74	1902	明治35	5	20	文苑	迪宮殿下御参宮の式を	神戸 中島鶴子	16	
74	1902	明治35	5	20	文苑	宗忠神社献詠和歌(第廿六回)	筑後 楢尾美治ほか	16	「更衣」22首・「島」12首
74	1902	明治35	5	20	文苑	別宮中教会所旭日吟社月次和歌	田窪勇雄撰	18	
74	1902	明治35	5	20	寄書	本心と私心の区別 (十四)	不動生	20	信心(下)つづき
74	1902	明治35	5	20	寄書	煙草一喫の御神徳	伊勢 竹廼舎寿	22	
74	1902	明治35	5	20	雑録	教祖御登壇中の逸話		23	
74	1902	明治35	5	20	雑録	散米行事起因		24	
74	1902	明治35	5	20	雑録	古代の伝説(承前)		24	
74	1902	明治35	5	20	雑録	岡山宗忠神社詣 (十一)	大阪 局外生	26	大阪有志運動会(中)
74	1902	明治35	5	20	小説	胡蝶	暗雷子	29	冬の巻
74	1902	明治35	5	20	寸鉄警語	[何病でも病程人間の大敵はないが就中癩病は隠然 伝染する実に畏るべき病…]ほか6件		34	
74	1902	明治35	5	20	江湖彙報	至尊の御励精		35	
74	1902	明治35	5		江湖彙報	東宮御所石敷設式		35	
74	1902	明治35	5		江湖彙報	東宮御洋行の噂		36	
74	1902	明治35	5		江湖彙報	御着帯式		36	
74	1902	明治35	5		江湖彙報	神宮御造営御用材		36	
74	1902	明治35	5		江湖彙報	管長殿の上京		36	
74	1902	明治35	5		江湖彙報	黒住教演説会		37	
74	1902	明治35	5		江湖彙報	大阪信徒の伊勢参宮		37	
74	1902	明治35	5		江湖彙報	天心講		37	
74	1902	明治35			江湖彙報	阿哲郡の本教近況		38	
لننا		7,7,20	_		··////	I ve act 1 100000	l .		1

74	1902	明治35	-	20	江湖彙報	神垣建築	T	38	
			5 5						
74	1902	明治35			江湖彙報	火災を免る		38	
74	1902	明治35	5		江湖彙報	神道各派管長の集会		38	
74	1902	明治35	5		江湖彙報	神道不振の一端		39	
74	1902	明治35	5		江湖彙報	十週年祝		39	
74	1902	明治35	5	20	江湖彙報	和歌募集		39	
74	1902	明治35	5	20	江湖彙報	第四回岡山宗忠神社詣(中)	浪花 飛入生	39	
74	1902	明治35	5		江湖彙報	四月分教師辞令		42	
74	1902	明治35			江湖彙報	大元報賽講加盟人員		42	
74	1902	明治35	5		社告	新刊寄贈 ほか3件		47	
74	1902	明治35	5		広告	15件		49	
75	1902	明治35	6		神勅			1	
75	1902	明治35	6		教祖神訓誡 教 の五事			2	
75	1902	明治35	6	20	社説	本教主義慈善事業		3	
75	1902	明治35	6	20	道の栞	怡神詠		5	
75	1902	明治35	6	20	道の栞	日月の心法	安藤十朗	5	
75	1902	明治35	6	20	講演	大坂土産(承前)	烏城散士(承前)	5	
75	1902	明治35	6	20	史伝	桜井正家君略伝		7	
75	1902	明治35	6	20	神徳霊験	〔教祖御在世の当時讃岐国塩飽嶋江の浦村…〕		9	
75	1902	明治35	6	20	神徳霊験	[備中高梁町柳瀬又治郎氏は明治十七年…]		10	
75	1902	明治35	6		神徳霊験	[備前国上道郡高嶋村大字新屋敷…]		11	
75	1902	明治35	6	20	文苑	宗忠神社献詠和歌(第廿七回)	伊勢 佐藤寿満子ほか	13	「早苗多」20首・「笛」25首
75	1902	明治35	6	20	寄書	本心と私心の区別 (十五)	不動	15	信心(下)つづき
75	1902	明治35	6	20	寄書	養無道人一枚起請文		18	
75	1902	明治35	6	20	雑録	六ヶ条の教訓		19	
75	1902	明治35	6		雑録	古代の伝説(承前)		20	
75	1902	明治35	6	20	雑録	岡山宗忠神社詣 (十二)	大阪 局外生	22	大阪有志運動会(下)
75	1902	明治35	6		小説	韮山城	無名氏	24	
75	1902	明治35	6		寸鉄警語	「去る二十五日の事なりき岡山蓮昌寺に於て日蓮開 宗六百五十年祭執行に…」ほか3件		30	
75	1902	明治35	6	20	江湖彙報	地久説と御近詠		32	
75	1902	明治35	6	20	江湖彙報	大祭会挙行		32	
75	1902	明治35	6	20	江湖彙報	黒住教奈良大運動会		34	
75	1902	明治35	6		江湖彙報	黒住教演説会		34	
75	1902	明治35	6		江湖彙報	大元会の創立		35	
75	1902	明治35	6		江湖彙報	[備中国阿哲郡草間村土橋天心講社部下教師岩本益太郎…]		35	
75	1902	明治35	6	20	江湖彙報	黒住教の篤志家		36	
75	1902	明治35	6		江湖彙報	壱岐の国よりの来信		36	
75	1902	明治35	6		江湖彙報	大元報賽講特派募集員		36	
75	1902	明治35	6		江湖彙報	第四回岡山宗忠神社詣(下)	浪花 飛入生	37	後楽園
75	1902	明治35	6		江湖彙報	日英同盟奉賀参宮 (一)	一記者	43	
75	1902	明治35	6		江湖彙報	五月分教師辞令	6	46	
75	1902	明治35	6		江湖彙報	大元報賽講加盟人員		46	
75	1902	明治35	6		社告	3件		50	社名変更など
1.0		737200	-	v	·- H	1-11			

75	1902	明治35	6	20	広告	23件		51	
76	1902	明治35	7		神勅			1	
76	1902	明治35	7		教祖神訓誡 教			2	
					の五事				
76	1902	明治35	7	20	本庁告文	告示第五号	黒住教本庁	3	大祓祭開催につき鉄道団体割引
76	1902	明治35	7		本庁告文	告示第七号	黒住教本庁	4	大祓祭開催につき割引切符発売、乗客僅少を鉄道会
									社が渋っており本教の信用にも関わるから信徒の参
									拝を奨励せよ
76	1902	明治35	7		皇孫御降誕	皇孫御降誕		5	
76	1902	明治35	7			河上忠晶先生の遺書一節		5	
					書一節				
76	1902	明治35	7		社説	心に年を寄せす		7	
76	1902	明治35	7		道の栞	道の文	um sm t	11	
76	1902	明治35	7		道の栞	御神詠	堺 沢田宗夫	11	
76	1902	明治35	7		道の栞	機丸新詠		11	
76	1902	明治35	7		史伝	池田千代蔵氏略伝	/n *n _ LL 7 T _ A _ +	12	
76	1902	明治35	7		寄書	新聞を読て感あり	伊勢 竹廼舎寿	14	T. O. (10147 /b / 1)
76	1902	明治35	7		寄書	本心と私心の区別(十六)	不動	15	天の御擬作(上)
76	1902	明治35 明治35	7		雑録	本多応之助先生の書翰写		18 20	
76	1902	明治35	7		雑録 雑録	黒田氏雷鳴を嫌ふ話			
76 76	1902	明治35	7		維録 雑録	松原利吉の話 伝染病予防に就て	/	20	
	1902		7		神徳霊験	伝采病で防に就で [教祖御在世中備中国窪屋郡岡谷村に…]	伊勢 山崎寿講話	21	
76 76	1902 1902	明治35 明治35	7		神徳霊験	【教祖御往世中禰中国達崖郁岡谷村に…】 [本教の先輩者本田応之介先生或る時…]		23 25	
76	1902	明治35	7		文苑	(本教の元章有本田心とガ元王或る時…)	####################################	26	 「夏月凉」22首・「樵夫」26首
76	1902	明治35	7	20	文苑 文苑		村上愛子ほか	28	「水辺蛍」11首・「榊」12首
76	1902	明治35	7		小説	加呂中教会別旭日時代月久和歌	一門工変すばか。 夢想子	29	小龙虫」 自 - 柳川 2 自
76	1902	明治35	7		寸鉄警語	121359 【説教を聴聞して批評をする信者が…】ほか3件	多心。	33	
76	1902	明治35	7		江湖彙報	皇孫降誕		35	
76	1902	明治35	7		江湖彙報	皇孫御命名式		35	
76	1902	明治35	7		江湖彙報	公認教制度発布の請願		35	
76	1902	明治35	7		江湖彙報	神武天皇御降誕大祭会		35	
76	1902	明治35	7		江湖彙報	皇次孫降誕奉祝式		36	
76	1902	明治35	7		江湖彙報	賀陽宮大阪御通過		36	
76	1902	明治35	7		江湖彙報	幹事会		36	
76	1902	明治35	7		江湖彙報	協議会		36	
76	1902	明治35	7		江湖彙報	大祓祭執行		36	
76	1902	明治35	7		江湖彙報	黒住教演説会と説教		37	
76	1902	明治35	7		江湖彙報	山口県周防国大嶋郡大嶋小教会所		37	
76	1902	明治35	7	20	江湖彙報	特派員の来往		37	
76	1902	明治35	7		江湖彙報	保持謹次郎		38	
76	1902	明治35	7		江湖彙報	大祓祭に於ける大元会の計画		38	
76	1902	明治35	7		江湖彙報	庄野公平堂衛生温布		38	
76	1902	明治35	7		江湖彙報	日英同盟奉賀参宮 (二)	一記者	38	
76	1902	明治35	7		江湖彙報	岡山宗忠神社詣 (十三)	大阪 局外生	41	大阪有志運動会(下)つづき
76	1902	明治35	7	20	江湖彙報	六月分教師辞令		43	

76	1902	明治35	7	20	江湖彙報	大元報賽員加盟者		43	
76	1902	明治35	7		社告	6件		48	
76	1902	明治35	7	20	広告	21件		50	
77	1902	明治35	9		神勅	2114		1	
77	1902	明治35	9		教祖神訓誡 教			2	
' '	1902	M1/233	9	٥	の五事			2	
77	1902	明治35	9	5	-	 河上忠晶生先の遺書中の一節(摘録)		3	種別・表題ママ
		737200		•	の遺書中の一				
					節				
77	1902	明治35	9	5	道の栞	道の文(承前)		5	
77	1902	明治35	9		道の栞	御神詠 (承前)	堺 沢田宗夫	5	
77	1902	明治35	9		道の栞	機丸神詠 (承前)		6	
77	1902	明治35	9		講演	足る事を知れ	伊勢 竹廼舎寿	6	
77	1902	明治35	9		史伝	池田千代蔵氏略伝 (承前)		8	
77	1902	明治35	9	5	寄書	寡聞多言録 第一回	魂陽学人福井彦次郎	9	
77	1902	明治35	9		寄書	本心と私心の区別(十七)	不動	11	
77	1902	明治35	9			青年ノ自任	神戸 児玉円治郎	12	
77	1902	明治35	9		雑録	時尾大人の詠歌と仏者の発句		13	
77	1902	明治35	9		雑録	伝染病予防に就て	伊勢 山崎寿講話	13	
77	1902	明治35	9		雑録	翁陸奥守の節操		16	
77	1902	明治35	9		神徳霊験	〔教祖御在世中岡山藩志賀淳平と云へる人…〕		16	
77	1902	明治35	9		神徳霊験	[長崎市立神本教々師田川和平氏…]		18	
77	1902	明治35	9		神徳霊験	〔全市立神九百弐番地…〕		18	
77	1902	明治35	9	5	神徳霊験	[島根県隠岐国穏地郡都万村字大津久里…]		18	
77	1902	明治35	9	5	文苑	宗忠神社献詠和歌(第廿九回)	備中 久本託治ほか	19	
77	1902	明治35	9	5	文苑	別宮中教会所月次和歌	田窪勇雄撰	20	
77	1902	明治35	9	5	小説	柞の杜	無垢山人	21	
77	1902	明治35	9		寸鉄警語	[本誌六十八号に台湾布教奨励云々の記事…]・[病		26	
						か治るは本教の特徴…]ほか6件			
77	1902	明治35	9		江湖彙報	英皇戴冠式		28	
77	1902	明治35	9		江湖彙報	初御参内御祝儀		28	
77	1902	明治35	9		江湖彙報	淳宮初御参内		28	
77	1902	明治35	9		江湖彙報	神宮御造営の木材		28	
77	1902	明治35	9		江湖彙報	神刀鍛錬		29	
77	1902	明治35	9	5	江湖彙報	大谷派紛擾と宗教法案		29	
77	1902	明治35	9		江湖彙報	禊祭		29	
77	1902	明治35	9		江湖彙報	臨時会議		29	
77	1902	明治35	9		江湖彙報	黒住教大坂委員会		30	
77	1902	明治35	9		江湖彙報	悪疫消除祈念		30	
77	1902	明治35	9		江湖彙報	岡山市の虎列拉		30	
77	1902	明治35	9		江湖彙報	天候回復の祈念		31	
77	1902	明治35	9		江湖彙報	大祭会		31	
77	1902	明治35	9		江湖彙報	説教所の隆盛		31	
77	1902	明治35	9		江湖彙報	教塾設置に就て		31	
77	1902	明治35	9	5	江湖彙報	御籠所建築		32	
77	1902	明治35	9	5	江湖彙報	衛生温布(一名はらまき)		32	

77	1902	明治35	9	5	江湖彙報	日英同盟奉賀参宮(三)	一記者	32	
77	1902	明治35	9		江湖彙報	岡山宗忠神社詣 (十四)	大坂局外生	34	
77	1902	明治35	9		<u> </u>	大元報賽講加盟人員	八级周介王	36	
77	1902	明治35	9		社告	6件		44	
77	1902	明治35	9		広告	17件		46	
78	1902	明治35	9		神勅			1	
78	1902	明治35	9			御七力条、教の五事		2	
70	1902		9		の五事				
78	1902	明治35	9		本庁告文	告示第十一号	黒住教本庁	3	
78	1902	明治35	9		遺書中の一節	河上忠晶先生遺書中の一節(摘録承前)		3	
78	1902	明治35	9		社説	宗教家の慈愛		5	
78	1902	明治35	9		道の栞	道の文(承前)		8	
78	1902	明治35	9	20	道の栞	御神詠(承前)	大坂 沢田宗夫	8	
78	1902	明治35	9		道の栞	磯丸神詠(承前)		8	
78	1902	明治35	9		講演	足る事を知れ	伊勢 竹廼舎寿	8	
78	1902	明治35	9	20	史伝	池田千代蔵氏略伝(承前)		11	
78	1902	明治35	9	20	寄書	適〔敵〕国の教雑誌ヲ見テ感有	善通寺ノー老夫	13	
78	1902	明治35	9	20	寄書	心法を以て悪疫を除く神伝	長崎中教会所七十八童子	14	
78	1902	明治35	9	20	寄書	本心と私心の区別(十八)	不動	15	天の御擬作(上)つづき
78	1902	明治35	9		雑録	天御中主神を八神殿の第一座に斎奉りたる説	小[少]教正岡本圭吉	18	
78	1902	明治35	9	20	雑録	教祖下駄と草履を穿き玉ふ		20	
78	1902	明治35	9	20	雑録	森住教正と岩下子爵の出会		20	
78	1902	明治35	9	20	神徳霊験	[世に難治の症と云へる肺病と癩病の…]		22	
78	1902	明治35	9	20	神徳霊験	[筑前国遠賀郡八幡町…]		23	
78	1902	明治35	9	20	神徳霊験	[滋賀県滋賀郡大津市柳町六番地…]		24	
78	1902	明治35	9	20	神徳霊験	[備後国芦品郡広谷村大字鵜飼本教々導職…]		24	
78	1902	明治35	9	20	神徳霊験	[備中国川上郡松原村大字大津寄…]		25	
78	1902	明治35	9	20	文苑	岡山宗忠神社献詠和歌	筑前 小方仙太郎ほか	25	「海上月」28首・「夕烟」25首
78	1902	明治35	9	20	文苑	福武桂花堂懸賞俳句第一回募集披露	備前 清煙庵春粋選	27	11句
78	1902	明治35	9	20	小説	島の花	椋道人	28	
78	1902	明治35	9	20	寸鉄警語	〔説教中に禁厭を授けて居らる」を…〕	篤信者の一人	33	
78	1902	明治35	9	20	寸鉄警語	[各所の神社に願掛けの為め…]	新空気呼吸生	33	
78	1902	明治35	9	20	寸鉄警語	[往々無神論を唱道する者あるを…]	敬神家	33	
78	1902	明治35	9		寸鉄警語	〔教祖神廿五日に神去り玉ひしは…〕	故事探求生	34	
78	1902	明治35	9		寸鉄警語	[或宗派の説教中に黒住教は他力門なり…]	自力生	34	
78	1902	明治35	9	20	寸鉄警語	[高弟清水庄太郎翁が御神告の事は…]	教旨研究生	34	
78	1902	明治35	9		江湖彙報	東宮殿下の御近状		34	
78	1902	明治35	9		江湖彙報	宗教法案の将来		35	
78	1902	明治35	9	20	江湖彙報	虎列拉病終熄と御礼祭		35	
78	1902	明治35	9		江湖彙報	福井氏の美挙		36	
78	1902	明治35	9		江湖彙報	控室の落成		36	
78	1902	明治35	9		江湖彙報	長寿の哲学		37	
78	1902	明治35	9		江湖彙報	八十三歳の老婆富士山へ登る		38	
78	1902	明治35	9		江湖彙報	日英同盟奉賀参宮(四)	一記者	39	
78	1902	明治35	9		江湖彙報	会議		41	取締役会及相談役会開催通知
			•						. — — · · · · · · — ·

78	1902	明治35	9	20	江湖彙報	八月分教師辞令		41	補権大講義~試補
78	1902	明治35	9		江湖彙報	大元報賽講加盟員		41	1111住八冊我で 武111
78	1902	明治35	9		江湖彙報	大儿報食講加益貝 正誤		48	
78	1902	明治35	9		社告			48	N 方 訣 他 廖 丘
78	1902	明治35	9		社告	明治二十五千六心神社脈跡和歌月並来題 弊社へ寄贈金品広告		49	
		明治35	9		社告	野社へ奇扇並品広告 国の教雑誌社取次販売書目		50	
78	1902		9						
78	1902	明治35			広告	17件		50	
79	1902	明治35				[吾児視此宝鏡当猶視吾…]		1	
79	1902	明治35	10		の五事	御七カ条、教の五事		2	
79	1902	明治35	10		遺書中の一節	河上忠晶先生遺書中の一節(摘録承前)		3	種別名ママ
79	1902	明治35				道の執行		5	
79	1902	明治35				道の文(承前)		7	
79	1902	明治35	10	20	道の栞	御神詠(承前)	大坂 沢田宗夫	7	
79	1902	明治35	10	20	道の栞	磯丸神詠(承前)		7	
79	1902	明治35	10	20	史伝	池田千代蔵氏略伝(承前)		8	
79	1902	明治35	10	20	講演	兎の蹄	西川漁夫	10	
79	1902	明治35	10	20	寄書	寡聞多言録(第二回)	福井彦次郎	12	
79	1902	明治35	10	20	寄書	我教師諸賢に呈す	伊予 山田光輝	13	
79	1902	明治35	10	20	寄書	本心と私心の区別(十九)	不動	15	天の御擬作(中)
79	1902	明治35	10		雑録	教祖天命を重んし玉ふ		18	
79	1902	明治35	10	20	雑録	心は主人形は家来	伊勢 竹廼舎寿	18	
79	1902	明治35				猟夫の悔悟		20	
79	1902	明治35	10	20		教祖の御威徳に依り疾病平癒す		21	
79	1902	明治35				肺病と癩病の全治並に井水清みし霊験談(承前)		22	
79	1902	明治35			神徳霊験	蔭禁厭にて負傷者全治す		23	
79	1902	明治35	10	20		精神病神庇を蒙る		24	
79	1902	明治35	10		文苑	宗忠神社献詠和歌	備中 中嶋宣行ほか	25	51首
79	1902	明治35		20	文苑	故星島大人室古銭刀自一週年を吊ふ詠歌	岡山 太田政人ほか	27	10首
79	1902	明治35	10	20	小説	島の花	椋道人	27	111
79	1902	明治35			寸鉄警語	[本誌七十七号に岡山人の欠点と…]	安芸の重利	31	
79	1902	明治35				[毎大祭には各地より教師方参集…]	斯道研究生	31	
79	1902	明治35			寸鉄警語	[教師とは万般に渉りて教旨を人の心魂に…]	斯道不背生	31	
79	1902	明治35				[今年は如何なる年柄で有るか東西一般…]	愛媛の松月亭	32	
79	1902	明治35	10	20		[平田の大人は宇宙間の万物は悉く神々の…]	常の信心固守生	33	
79	1902	明治35	10		江湖彙報	九重の月	帯の旧心固り工	34	
79	1902	明治35		20	江湖彙報	皇后陛下の御仁慈		34	
79	1902	明治35	10		江湖彙報	秋季皇霊祭		34	
79	1902	明治35			江湖彙報	大演習行幸に就て		35	
79	1902	明治35	10	20	江湖彙報	下野難波両教正の代拝		36	
79	1902	明治35			江湖彙報	会議		36	取締役会及相談役会延期の告知
79	1902	明治35	10	20	江湖彙報	本職 山本課長の出張		36	水岬以五久市吹汉五座物の日本
79	1902	明治35			江湖彙報	大阪改正大祭会		36	
79	1902	明治35				大阪改正人宗会 教会所の新築に就て		36	
		明治35			江湖 集 報 江湖彙報	教会所の新栄に就て 説教所の隆盛		36	
79	1902	明冶35	10	20		武匁別の隆盛		3/	

70	4000	пп :/. o.г.	40	00	'구 'II '	中土しまたるツM		_	
79	1902	明治35			江湖彙報	害虫と悪疫の消除	3		
79	1902	明治35			江湖彙報	悪疫消除祈念	3		
79	1902		10	20	江湖彙報	田川高尾両氏の善行	3		
79	1902	明治35			江湖彙報	二条家の神楽岡参拝	3		
79	1902	明治35			江湖彙報	日英同盟奉賀参宮(五)	一記者 3		
79	1902	明治35			江湖彙報	九月分教師辞令	4		補中講義~試補
79	1902	明治35			江湖彙報	大元報賽講加盟人員	4		
79	1902	明治35	10	20	社告	国の教雑誌社取次販売書目	4		
79	1902	明治35			社告	〔謹んで愛読の諸彦に白す従来弊社事業保護…〕	4		
79	1902	明治35			社告	明治三十五年宗忠神社献詠和歌月並兼題	4		
79	1902	明治35			社告	〔今回再販相成候霊験集第一編ニ就テハ…〕	4	6	
79	1902	明治35			広告	19件	4	7	
80	1902				神勅	〔吾児視此宝鏡当猶視吾…〕	1	1	
80	1902	明治35	11			御七カ条、教の五事	2	2	
					の五事				
80	1902	明治35	11	20	社説	有為の行動		3	
80	1902	明治35	11	20	道の栞	道の文(承前)		5	
80	1902	明治35	11	20	道の栞	御神詠	(3	
80	1902	明治35	11	20	道の栞	磯丸神詠	(3	
80	1902	明治35	11	20	史伝	池田千代蔵氏略伝(承前)	(3	
80	1902	明治35	11	20	講演	宝の槌	西川漁夫 8	3	
80	1902	明治35	11	20	寄書	寡聞他言録 第三回	魂陽学人福井彦次郎 1	1	
80	1902	明治35	11	20	寄書	本心と私心の区別(二十)	不動 1	3	
80	1902	明治35			雑録	教祖御両親の寿命を祈り玉ふ	1	5	
80	1902	明治35	11	20	雑録	星島先生之逸事	岡山 進藤慎一 1		
80	1902	明治35			雑録	心は主人形は家来(承前)	伊勢 竹廼舎寿 1	8	
80	1902	明治35			神徳霊験	夢中の神感	1	9	
80	1902	明治35			神徳霊験	神庇に依り腎臓病平癒す	2	0	
80	1902	明治35			神徳霊験	一誠を以て病魔を免る	2		
80	1902				神徳霊験	壹度の禁厭にて疾病平癒す	2		
80	1902	明治35				癩病全治の神庇を被る	2		
80	1902	明治35			文苑	宗忠神社献詠和歌	備中 久本九一ほか 2		「暁時雨」31首・「鏡」21首
80	1902	明治35	11	20	文苑	故星島大人室古銭刀自一週年を弔ふ詠歌(前承)	備前 岡本松太ほか 2		5首
80	1902	明治35			小説	葉高大王	洒落太郎 2		- 14
80	1902	明治35			寸鉄警語	〔美作国中山神社宮司美甘政和翁は…〕	故事探求生 3		
80	1902	明治35			寸鉄警語	[国の教雑誌第七十九号の雑録に岡山…]	3		
80	1902	明治35			寸鉄警語	[本誌第七十九号小説島の花の説は…]	神風の養無道人 3		
80	1902	明治35			寸鉄警語	[左の奉読歌は拙きもの〃偏ずるも…]	竹廼舎 3		教の五事奉読歌
80	1902	明治35			江湖彙報	九州行幸	3		17. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17.
80	1902	明治35			江湖彙報	独立祭執行	3		
80	1902	明治35				大元報賽講	3		
80	1902	明治35			江湖彙報	相談役会	3		会議実施報告
80	1902	明治35				杉本斎之介氏	3		伊勢神都霊祭会理事杉本の来庁
80	1902	明治35			江湖彙報	演説会	3		演説会開催報告
80	1902	明治35			江湖彙報	海航云 籠所建築落成式	3		落成式挙行報告
80	1902				<u> </u>	黒住教大坂委員会則	3		イルペナリボロ
00	1902	AQ VE 20	11	20	小	杰Ľ狄八似女貝太則	3	1	

80	1902	明治35	11	20	江湖彙報	故中教正上田久太郎氏の頌徳碑		37	頌徳碑建設告知
80	1902	明治35	11		江湖彙報	日英同盟奉賀参宮(六)	一記者	38	4.100年建設日和
80	1902				江湖集報	口英问监举員参告(ハ) 淫祠廃止の励行	一記名	41	
80		明治35			江湖彙報	注順廃止の励17 悪疫鎮定御礼祭			 祭典開催報告
	1902	明治35							宗央用惟報古 補中講義~試補
80	1902		11		江湖彙報	拾月分教師辞令 		41	
80	1902	明治35			江湖彙報	大元報賽講加盟人員		42	20日本井の芝型ハギにった
80	1902	明治35			江湖彙報	正誤		46	78号文苑の詠歌分類につき
80	1902	明治35	11		社告	新刊寄贈		46	
80	1902				社告	国の教雑誌社取次販売書目		46	
80	1902	明治35			社告	本社へ寄贈金品広告		47	
80	1902	明治35	11	20	社告	宗忠神社献詠和歌月並兼題(明治参拾六年)		47	
80	1902	明治35			広告	16件		48	
81	1902		12		本庁告文	告示第十六号(宗忠神社冬至大祭)・告示第十八号 (人事)・告示第八号(第四回万人参宮について)			万人参り・参拝・お守り等について
81	1902	明治35	12		神勅			1	
81	1902	明治35	12		教祖神訓戒 教 の五事	御七カ条、教の五事		2	
81	1902	明治35	12	20	社説	他山石(其一)		3	
81	1902	明治35			道の栞	道の文(承前)		6	道の文(御文の抜粋)
81	1902				道の栞	御神詠	大阪 沢田宗夫	7	
81	1902	明治35	12	20	道の栞	磯丸神詠		7	
81	1902	明治35	12		講演	年越の笑顔	西川漁夫	7	
81	1902	明治35	12	20	史伝	贈一級信徒星島古銭刀自の伝	大坂 真弓畿南	10	星島良平の妻について
81	1902	明治35	12		寄書	寡聞多言録(第四回)	魂陽学人福井彦次郎寄	12	-
81	1902	明治35	12	20	寄書	宗教と道徳	鳥取県伯耆国東伯郡南谷村 岸本忠泰	14	
81	1902	明治35	12	20	雑録	争闘者に付きて教祖の神諭		16	森住教正説教より(御逸話、乱闘についてのおさとし)
81	1902	明治35	12	20	雑録	松井教正の威徳		17	故権少教正松井惣兵衛(播州)
81	1902	明治35	12		雑録	伊勢御蔭参りの話	伊勢 竹廼舎寿	19	御蔭参りという風習について
81	1902	明治35			神徳霊験	笑ふて病魔を免かる		20	
81	1902				神徳霊験	癲狂病全治す		22	
81	1902				神徳霊験	信心の功に依り一命助かる		22	
81	1902	明治35			神徳霊験	一座の説教にて神庇被る		23	
81	1902	明治35			文苑	宗忠神社献詠和歌	美作 安藤親孝ほか	23	「神楽」27首・「四海清」9首
81	1902	明治35	12	20	文苑	故星島大人室古銭刀自一週年を吊ふ詠歌(承前)	美作 安藤親孝ほか	25	
81	1902	明治35	12		小説	葉高大王	洒落太郎	25	
81	1902	明治35			現海余滴	[世上無神論とか云へる説を唱へて…]	有信論者	30	
81	1902	明治35	12		硯海余滴	[金刀毘羅神社の祭日は九日、十日…]	篤信者の一人	30	
81	1902	明治35	12		硯海余滴	[手紙の取遣りをするに何老台とか或は何翁とか…]		30	
81	1902	明治35	12		硯海余滴	[本教々師諸君に於ひては常に交際し互ひに…]	親密計図生	30	
81	1902	明治35	12		現海余滴	[本教々師の内に往々本教に従事しては金にならぬ…]	高徳生	31	
81	1902	明治35	12	20	硯海余滴	[神風の養無道人と云ふ阿呆に教ふ…]	健康好の童	31	
81	1902	明治35	12		現海余滴	[前号誌上 教の五事奉読歌を掲けしか…]	竹廼舎	32	
81	1902	明治35	12		彙報	新嘗祭		33	
81	1902	明治35				御聖徳		33	陸軍の大演習につき行幸
0.	1002	91/00	12	20	ᄎᅑ	四土心		- 00	在十分八次百につじ日十

81	1902	明治35	12	20	鲁	艱苦御垂問		34	大演習中に兵に下問
81	1902	明治35			彙報	光栄なる老媼一家		34	大演習中、老婆に菓子を賜い、知事が教訓する
81	1902	明治35				神官聯合大会		35	府県郷社の幣帛料を官費となす件を議会に提出する ため上京委員選挙
81	1902	明治35	12	20	彙報	冬至祭執行		35	
81	1902	明治35			彙報	森住教正の上京		35	
81	1902	明治35			彙報	西宗課長の上坂		35	
81	1902	明治35			彙報	大元報賽講		35	
81	1902	明治35			彙報	黒住教演説会		36	大阪府下の信徒が第五回内国勧業博覧会にあわせ て開催
81	1902	明治35	12	20	彙報	霊魂体を現す		36	故権大講義山口重造逝去の際、信者の夢に現れる
81	1902	明治35			彙報	十一月分辞令		37	
81	1902	明治35			彙報	大元報賽講加盟人員		37	
81	1902	明治35			社告	新刊寄贈		43	
81	1902	明治35			社告	〔宗忠神社冬至祭ヲ十二月廿二日ヨリ…〕		43	冬至祭日程誤り(22~23日でなく23~24日)
81	1902	明治35			広告	10件		44	
82	1903	明治36	1	20	神勅			1	
82	1903	明治36	1	20	教祖神訓戒 教 の五事	御七カ条、教の五事		2	
82	1903	明治36	1	20	社説	本庁告文		3	
82	1903	明治36	1	20	社説	新年の辞		3	
82	1903	明治36	1	20	社説	順逆の二境		5	河上忠晶の引用文
82	1903	明治36	1	20	社説	謹て神恩を感謝し奉る	権大教正河上市蔵	8	
82	1903	明治36	1	20	道の栞	道の文(承前)		10	
82	1903	明治36	1	20	道の栞	御神詠	大阪 沢田宗夫寄稿	11	
82	1903	明治36	1	20	道の栞	磯丸神詠		11	
82	1903	明治36	1	20	講演	独逸宰相と馭者	西川漁夫	11	
82	1903	明治36	1	20	史伝	贈一級信徒星島古銭刀自の伝(承前)	大坂 真弓畿南	14	
82	1903	明治36	1		寄書	宗教と道徳(承前)	鳥取県伯耆国東伯郡南谷村 岸 本忠泰	16	
82	1903	明治36	1		寄書	無題録(一)	造化堂主人	17	
82	1903	明治36	1		寄書	本心と私心の区別(二十一)	不動	18	
82	1903	明治36	1		雑録	千人参りの起源		20	
82	1903	明治36	1		雑録	誠に陰陽ありと云う説		22	
82	1903	明治36	1		雑録	稲羽の素兎	西川漁夫	22	
82	1903	明治36	1		神徳霊験	安藤教正の霊験旧話		26	
82	1903	明治36	1		神徳霊験	矢野教正の霊験		28	
82	1903	明治36	1		文苑	宗忠神社献詠和歌	仙台 小川道高ほか	29	「新年見鶴」19首・「富士山」27首
82	1903	明治36	1		小説	臥龍梅	無想子	31	
82	1903	明治36	1	20	彙報	節折大祓幷除夜祭次第		37	宮中行事・本庁行事など、神楽岡中教会所にて御神号などの発見、安藤十郎の辞任、大坂堀江説教所、 松田佐七の表彰ほか
82	1903	明治36	1		彙報	新年式幷御祭典次第		37	
82	1903	明治36	1		彙報	宮中新年宴会		38	
82	1903	明治36	1		彙報	皇后宮御宴		39	
82	1903	明治36	1		彙報	東宮御宴		39	
		_	_	_					

82	1903	明治36	1	20	彙報	宮中御講書始		39	
82	1903	明治36	1		彙報	東宮御講書始		39	
82	1903	明治36	1		彙報	聖上御詠		39	
82	1903	明治36	1		彙報	御歌会御兼題		39	
82	1903	明治36	1	20	彙報	本庁の元旦		40	
82	1903	明治36	1	20	彙報	岡山市黒住教信徒新年宴会		40	
82	1903	明治36	1		彙報	冬至祭執行		40	
82	1903	明治36	1	20	彙報	教会所の冬至祭		41	
82	1903	明治36	1	20	彙報	募集員の消息		41	
82	1903	明治36	1		彙報	御神号其他発見		41	神楽岡中教会所にて御神号その他発見
82	1903	明治36	1	20	彙報	黒住教演説会		42	TINE TIME TIME TO THE TOTAL TO
82	1903	明治36	1	20	彙報	神戸に於ける米搗会		43	
82	1903	明治36	1		彙報	安藤教正の辞任		43	権中教正安藤藤十郎の辞任
82	1903	明治36	1	20	彙報	安藤教正の送別会		44	
82	1903	明治36	1		彙報	教師の美挙		44	権大講義松田佐七が本庁に寄付
82	1903	明治36	1		彙報	壱百円寄附		45	児島郡木見村の片山国吉は病気快癒につき黒住本
"-		7,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			X 1K				庁に寄付
82	1903	明治36	1	20	彙報	小中大三学問聯絡問題管見	福井彦次郎	45	高等教育会議につき意見
82	1903	明治36	1		彙報	大元報賽講加盟人員		47	
82	1903	明治36	1	20	社告	国の教雑誌社取次販売書目		50	
82	1903	明治36	1	20	社告	宗忠神社献詠和歌月並兼題(明治参拾六年)		51	
82	1903	明治36	1	20	社告	本社へ寄贈金広告		51	
82	1903	明治36	1	20	広告	12件		51	
83	1903	明治36	2		神勅			1	
83	1903	明治36	2		教祖神訓戒 教			2	
					の五事				
83	1903	明治36	2	20	本庁告文	告示第一~三号		3	第4回伊勢万人参宮日割など
83	1903	明治36	2	20	社説	大廟万人参りの盛挙に就きて		5	
83	1903	明治36	2	20	道の栞	教の文		8	
83	1903	明治36	2		道の栞	赤木大人詠		9	
83	1903	明治36	2	20	道の栞	磯丸神詠		9	
83	1903	明治36	2	20	講演	琥珀の話	西川漁夫	9	
83	1903	明治36	2	20	史伝	菅原道賢先生逸事	大坂 手塚平右工門	12	
83	1903	明治36		20	寄書	無題録(二)	造化堂主人	15	
83	1903	明治36		20	雑録	0		16	教祖神御在世中の下僕より森住権大教正が聞いた話
83	1903	明治36	2		雑録	五十鈴川と宇治橋	伊勢 竹廼舎寿	18	
83	1903	明治36	2		神徳霊験	神庇に依り安産す		21	
83	1903	明治36	2	20	文苑	宗忠神社献詠和歌	備中 青木太郎ほか	23	「初春鶯」18首・「源頼朝」11首・「新年海」4首・「新年」 1首・「元旦祓」1首、俳句「新年海」1句
83	1903	明治36	2	20	小説	 神の姿	暗雷子	26	
83	1903	明治36	2	20	小品 彙報	1400安 御歌会始	PH 田 J	32	
83	1903	明治36			集 報	単歌云知 孝明天皇祭		33	
83	1903	明治36			集 報	字明人主宗		33	
83	1903	明治36	2		集報 彙報	百中が年宗		34	
83	1903	明治36			集報 彙報	万人参名に祝て 日神祭		38	
გვ	1903	明河30	Z	20	果和	口仲宗		38	

83	1903	明治36	2	20	彙報	懇話会		38	大阪府下の黒住教信者の集まり、関西鉄道会社社員 が挨拶
83	1903	明治36	2	20	彙報	黒住教演説会		42	岡山市での演説会
83	1903	明治36	2		彙報	桑田教正の帰幽		42	伯耆国倉吉町黒住教中教会所長中教正桑田政常の 逝去
83	1903	明治36	2		彙報	桑田教正の葬儀		42	
83	1903	明治36	2		彙報	緑綬褒章下賜		42	岡島千代造の褒賞下賜
83	1903	明治36	2		彙報	衛生温布の好成績		43	
83	1903	明治36	2	20	彙報	小中大三学問聯絡問題管見(承前)	福井彦次郎述	44	
83	1903	明治36	2	20	彙報	大元報賽講加盟人員		45	
83	1903	明治36	2		彙報	辞令(補権中教正~補試補)		46	
83	1903	明治36	2	20	社告	本社へ寄贈金広告		47	
83	1903	明治36	2	20	社告	新刊寄贈		47	
83	1903	明治36	2	20	社告	国の教雑誌社取次販売書目		48	
83	1903	明治36	2	20	社告	宗忠神社献詠和歌月並兼題(明治参拾六年)		48	
83	1903	明治36	2	20	広告	20件		48	
84	1903	明治36	3	15	神勅			1	
84	1903	明治36	3		教祖神訓戒 教 の五事			2	
84	1903	明治36	3	15	社説	他山石(其二)		3	
84	1903	明治36	3		道の栞	教の文		6	
84	1903	明治36	3		道の栞	赤木大人詠		6	
84	1903	明治36	3	15	道の栞	磯丸神詠		6	
84	1903	明治36	3		講演	赤木大人白日の御文章	十方居士	7	
84	1903	明治36	3	15	史伝	菅原道賢先生逸事(承前)	大坂 手塚平右工門	9	
84	1903	明治36	3	15	寄書	教理に就て	伯耆 手島千春	11	
84	1903	明治36	3		寄書	三咲	遠江 細江陳人	14	
84	1903	明治36	3		雑録	古門人の口碑		15	雨の降らない御会日
84	1903	明治36	3	15	雑録	皇大神宮御宮域内案内	伊勢 山崎寿口演	15	
84	1903	明治36	3	15	雑録	小中大三学問聯絡問題管見(承前)	福井彦次郎述	19	
84	1903	明治36	3	15	雑録	旧曆三月三日		20	
84	1903	明治36	3		霊験	神徳を知り疾病癒ゆ		20	
84	1903	明治36	3	15	霊験	蔭禁厭にて大患治す		22	
84	1903	明治36	3		文苑	宗忠神社献詠和歌	伊勢 山崎千代子ほか	23	「水辺若草」30首・「松影映水」9首
84	1903	明治36	3	15	小説	鉢の梅	無想子	25	
84	1903	明治36	3	15	彙報	小松宮殿下薨去	7.11.12.1	29	
84	1903	明治36	3		彙報	小松宮御葬儀		29	
84	1903	明治36	3	15	彙報	行幸啓		31	
84	1903	明治36	3		彙報	紀元節御祭典		31	
84	1903	明治36	3		拿 報	神宮祈年祭		32	
84	1903	明治36	3		彙報	内宮御樋代木奉曳式		32	
84	1903	明治36	3		拿 報	梨本宮御欧行		33	
84	1903	明治36	3		彙報	遥拝式		33	
84	1903	明治36	3		彙報	管長殿の上京		33	小松宮葬儀参列のため上京、幽門狭窄症の池田侯 爵に禁厭をさずけ侯爵は快方にむかう
84	1903	明治36	3	15	彙報	宗忠神社の大祭		34	

84	1903	明治36	3	15	彙報	万人参宮彙報		34	
84	1903	明治36	3		彙報	教会設置と開講式		42	日向国延岡地方
84	1903	明治36			彙報	御祓講に就て		43	
84	1903	明治36	3		彙報	黒住教演説会		43	大阪府下
84	1903	明治36	3		彙報	美挙		44	本庁へ金50円と火鉢24個を寄付
84	1903	明治36	3		彙報	校長の栄転		44	本教を篤信する大阪府天王寺中学校長福井彦次郎が大阪市立高等商業学校長に栄転
84	1903	明治36	3	15	彙報	医会副議長		45	大阪府南区難波新地五番町の医師杉島牧太郎は前 年黒住教大阪府下信徒委員会議長に就任、同市南 区医会副議長にも推される
84	1903	明治36	3		彙報	大元報賽講加盟人員		45	
84	1903	明治36	3	15	辞令	(補大講義~権中講義)		49	
84	1903	明治36	3		社告	新刊寄贈		49	
84	1903	明治36	3	15	社告	本社へ寄贈金品広告		49	
84	1903	明治36	3		社告	国の教雑誌社取次販売書目		49	
84	1903	明治36	3		社告	宗忠神社献詠和歌月並兼題(明治参拾六年)		50	
84	1903	明治36	3		広告	24件		49	
85	1903	明治36	4		神勅			1	
85	1903	明治36	4	25	教祖神訓戒 教 の五事			2	
85	1903	明治36	4	25	社説	楽しみ通し		3	
85	1903	明治36	4	25	社説	大坂博覧会に就て		5	
85	1903	明治36	4		道の栞	教の文		6	
85	1903	明治36	4		道の栞	赤木大人詠		7	
85	1903	明治36	4		講録	故星島良平先生の講録	天遊居士	7	
85	1903	明治36	4	25	史伝	菅原道賢先生逸事(承前)	大坂 手塚平右工門	8	
85	1903	明治36	4	25	寄書	教理二就テ	伯耆 手島千春	10	
85	1903	明治36	4	25	寄書	三咲(承前)	遠江 細江陳人	13	
85	1903	明治36	4	25	雑録	本教と耶教との教旨	吞天居士	14	直原伊八郎大人手記より抜粋
85	1903	明治36	4		雑録	尊重なる古蹟の案内	伊勢 山崎寿演	14	
85	1903	明治36	4	25	霊験	神秘により変死を免れる		19	
85	1903	明治36	4		霊験	起死再生の神庇を蒙る		20	
85	1903	明治36	4	25	文苑	宗忠神社献詠和歌	備中 久本千代子ほか	21	「瀧辺花」18首・「江上舟」23首
85	1903	明治36	4	25	小説	世の罪(前篇)	暗雷子	23	
85	1903	明治36	4		彙報	関西行幸		28	
85	1903	明治36	4	25	彙報	観艦式		29	
85	1903	明治36	4	25	彙報	飢饉御救恤金		30	
85	1903	明治36	4	25	彙報	池田侯に恩賜		30	
85	1903	明治36	4	25	彙報	神武天皇祭		30	
85	1903	明治36	4	25	彙報	池田侯の病気全快と金婚式		31	前号に掲げた池田章政の病気回復について詳細
85	1903	明治36	4	25	彙報	春季大祭(教祖祭)		31	
85	1903	明治36	4		彙報	万人参宮		34	
85	1903	明治36	4		彙報	管長閣下の出発		34	
85	1903	明治36	4	25	彙報	千人詣		38	伊予国の信徒が宗忠神社を集団で参拝

85	1903	明治36	4		彙報	[中教正片山秀実氏より左の霊験談寄贈…]		38	慶応3年の際と同様、この度も高千穂山で多数の提灯が北方に向かう様子が目撃されている、神が日清戦争にお出ましなのだろうとのこと
85	1903	明治36	4		彙報	祝祭執行		39	
85	1903	明治36	4		彙報	衛生温布の名誉		39	
85	1903	明治36	4	25	彙報	大元報賽講加盟人員		40	
85	1903	明治36	4	25	社告	新刊寄贈		42	
85	1903	明治36	4	25	社告	国の教雑誌社取次販売書目		42	
85	1903	明治36	4		社告	本社へ寄贈金広告		43	
85	1903	明治36	4		広告	16件		43	
86	1903	明治36	5		神勅			1	
86	1903	明治36	5		教祖神訓戒 教 の五事			2	
86	1903	明治36	5		社説	活かし通し		3	
86	1903	明治36	5		道の栞	教の文		5	
86	1903	明治36	5		道の栞	赤木大人詠		6	
86	1903	明治36	5	20	講演	貪[貧]之神の宿替へす		6	
86	1903	明治36	5	20	史伝	贈中教正濱田信太君略伝		9	
86	1903	明治36	5	20	寄書	寡聞多言録(第五回)	魂陽学人福井彦次郎	10	
86	1903	明治36	5		寄書	教理二就テ(承前)	伯耆 手島千春	11	
86	1903	明治36	5		寄書	宗教心の有無と研究の必要	未熟生	13	
86	1903	明治36	5		雑録	教祖天命御自得前の御事跡に就て	自適斎主人	14	
86	1903	明治36	5	20	雑録	教語の質問に答ふ	伊勢 竹廼舎寿	15	
86	1903	明治36	5	20	雑録	吸霞術	長崎 片山秀実寄稿	18	
86	1903	明治36	5		霊験	癩病者の躄足回復す		21	
86	1903	明治36	5		霊験	万人参宮旅行中の神庇		22	
86	1903	明治36	5	20	霊験	黴毒症平癒す		22	
86	1903	明治36	5		文苑	宗忠神社献詠和歌	伊予 越智秀穂ほか	23	「首夏」28首・「故郷松」24首
86	1903	明治36	5		小説	世の罪(中篇)	暗雷子	26	
86	1903	明治36	5		彙報	博覧会開会式		31	
86	1903	明治36	5		彙報	産業御奨励		31	
86	1903	明治36	5	20	彙報	両陛下の行幸啓		32	
86	1903	明治36	5		彙報	両陛下の還幸啓		32	
86	1903	明治36	5		彙報	開院式		32	
86	1903	明治36	5		彙報	東宮同妃両殿下行啓		32	
86	1903	明治36	5		彙報	管長閣下の帰庁		33	
86	1903	明治36	5		彙報	万人参宮の掛員		33	
86	1903	明治36	5	20	彙報	開心講員安全祈祷		33	
86	1903	明治36	5	20	彙報	千人参		33	
86	1903	明治36	5	20	彙報	高千穂山の霊異(承前)		35	
86	1903	明治36	5		彙報	精神的殺人法		36	
86	1903	明治36	5		彙報	淫祠廃止の利益		38	
86	1903	明治36	5	20	彙報	大元報賽講加盟人員		38	
86	1903	明治36	5		辞令	(補大講義~試補)		41	
86	1903	明治36	5		社告	新刊寄贈		41	
86	1903	明治36	5	20	社告	国の教雑誌社取次販売書目		42	

86 19	903	明治36	5	20	広告	20件		42	
87 19	903	明治36	6		神勅			1	この号より「神勅」の掲載簡略化
87 19	903	明治36	6		訓戒			1	
87 19		明治36	6	20	社説	神諭解一則		3	
87 19		明治36	6	20	道の栞	教の文		5	
87 19		明治36	6		道の栞	赤木大人詠		5	
87 19	903	明治36	6		講演	生は安し死は難し	旧聞老人	6	
	903	明治36	6	20	講演	生々の機を削く		7	
		明治36		20	史伝	大教正下野誠之君略伝		8	5月29日逝去につき掲載
		明治36	6	20	寄書	寡聞多言録(第六回)	魂陽学人福井彦次郎寄	9	
	903	明治36	6	20	寄書	御陽気と学理	皓月	10	
	903	明治36		20	雑録	教祖の御講釈	旧聞老人	12	
87 19	903	明治36	6		雑録	内宮外宮の名称起源		13	
87 19	903	明治36		20	雑録	内藤学説の節約		13	
87 19		明治36	6		雑録	扇考(一)		15	
87 19	903	明治36			霊験	癩病者の躄足回復す(承前)		19	
87 19		明治36		20	霊験	柔術家の病気癒ゆ		20	
87 19	903	明治36	6	20	霊験	九死を逃れて一生を得		20	
87 19	903	明治36	6	20	文苑	宗忠神社献詠和歌	台湾 上田富三ほか	21	「深夜水鶏」29首・「寄虫恋」11首
87 19	903	明治36	6	20	小説	世の罪(後篇)	暗雷子	23	
87 19		明治36	6		彙報	管長閣下の御結婚		28	
87 19	903	明治36	6	20	彙報	管長閣下の帰庁		28	
87 19	903	明治36	6		彙報	諮詢会開会		28	
87 19	903	明治36	6	20	彙報	山鉄列車時刻表		29	
87 19		明治36	6	20	彙報	中鉄列車時刻表		29	
	903	明治36	6		彙報	岡山汽船出帆		29	
87 19	903	明治36	6	20	彙報	大祓祭		30	
87 19	903	明治36	6		彙報	黒住教大教演説会		30	
87 19	903	明治36	6	20	彙報	特派募集員の消息		32	
87 19		明治36	6		彙報	千人参		32	
		明治36			彙報	慰労金下附		32	
	903	明治36	6	20	彙報	御籠所に就て		32	
		明治36			彙報	摂津国西宮町		32	
	903	明治36	6		彙報	岡山簿記		33	
	903	明治36	6	20	彙報	鹿児島神宮の霊異		33	
		明治36			彙報	第三次神宮御木曳終了		35	
		明治36	6		彙報	神宮奉齎会		35	
	903	明治36	6		彙報	日蓮宗徒大会		35	
	903	明治36	6		彙報	天理教会禁止解散の請願		36	
	903	明治36			彙報	蒙古の喇嘛僧の来朝		36	
		明治36			彙報	河口慧海師の帰着		36	
		明治36		20	彙報	大元報賽講加盟人員報告		36	185名
	903	明治36	6		正誤			41	
	903	明治36	6		社告	本社へ寄贈金品		41	
	903	明治36	6		社告	国の教雑誌社取次販売書目		42	
87 19	903	明治36	6	20	広告	19件		42	

88	1903	明治36	7	20	神勅			1	
88	1903	明治36	7		訓戒			1	
88	1903	明治36	7		本庁告文	告示第七号		3	本庁総務課長兼司教課長大教正中輔教下野誠之の 計報
88	1903	明治36	7	20	本庁告文	告示第八号		3	権大教正少輔教山本貞治郎を本社総務課長に任命する旨
88	1903	明治36	7		本庁告文	告示第九号		3	大社教管長千家尊愛の妹清子が結婚
88	1903	明治36	7		社説	神論解		4	
88	1903	明治36	7		道の栞	教えの文		6	
88	1903	明治36	7	20	道の栞	至誠講義(六十三号続)		6	
88	1903	明治36	7		道の栞	宗篤神詠		7	
88	1903	明治36	7		道の栞	赤木大人詠		7	
88	1903	明治36	7	20	講演	狼に浄瑠璃	西川漁夫	8	
88	1903	明治36	7		史伝	贈中教正濱田信太君略伝(八十六号続)		10	
88	1903	明治36	7		寄書	精神衛生法	長崎 片山秀実	12	
88	1903	明治36	7		寄書	誠という事に就て所感を述ぶ	伊勢 山崎寿	13	
88	1903	明治36	7		雑録	御秡祭に就て		16	
88	1903	明治36	7	20	雑録	[教祖或時備前国児島郡福田村名主役…]		16	「月は入り日の今出る曙に我こそ道の初めなりけれ …」
88	1903	明治36	7	20	雑録	内藤学説の節約(二)		18	
88	1903	明治36	7	20	雑録	宗教団体と公法人		20	
88	1903	明治36	7		雑録	扇考(二)		21	
88	1903	明治36	7	20	霊験	鎮魂の徳に依り安産す		23	
88	1903	明治36	7		霊験	眼疾平癒す		23	
88	1903	明治36	7	20	霊験	神助を蒙る		24	
88	1903	明治36	7	20	文苑	宗忠神社献詠和歌	筑後 松尾久吉ほか	24	「夏草深」29首・「山家雨」27首
88	1903	明治36	7	20	小説	世の罪(後篇)	暗雷子	24	
88	1903	明治36	7	20	彙報	大祓祭		32	
88	1903	明治36	7		彙報	大祓祭執行		32	
88	1903	明治36	7		彙報	山鉄列車時刻表		33	
88	1903	明治36	7	20	彙報	中鉄列車時刻表		33	
88	1903	明治36	7	20	彙報	岡山汽船出帆		33	
88	1903	明治36	7		彙報	善行美談		34	
88	1903	明治36	7	20	彙報	御田植式		34	
88	1903	明治36	7	20	彙報	宗教布教者に対する特待		34	
88	1903	明治36	7	20	彙報	宗教と科学		35	
88	1903	明治36	7	20	彙報	天理教禁止運動		35	
88	1903	明治36	7		彙報	ペンテコスト博士		35	
88	1903	明治36	7		彙報	仏国の宗教問題		36	
88	1903	明治36	7	20	彙報	大元報賽講加盟人員		36	225名
88	1903	明治36	7	20	辞令	(明治36年3月分、補権少教正~試補)		39	
88	1903	明治36	7	20	社告	新刊寄贈		40	
88	1903	明治36	7	20	社告	国の教雑誌社取次販売書目		41	
88	1903	明治36	7		社告	本社へ寄贈金品広告		41	
88	1903	明治36	7		広告	19件		41	
89	1903	明治36	8	20	神勅			1	
							•		

89	1903	明治36	8	20	訓戒	T		1	
89	1903	明治36	8		社説	│ │神論解		•	
89	1903	明治36		20	社説	伊冊 宗教局長の視察に就て		3 5	金光教の隆盛について
89	1903	明治36	8	20	道の栞	教えの文		6	並尤名の性強について
		明治36				教えの文 至誠講義			
89	1903	明治36	8		道の栞			6 7	
89	1903		8		道の栞	宗篤神詠			
89	1903	明治36	8		道の栞	赤木大人詠	TUV 4	7	
89	1903	明治36	8	20	講演		西川漁夫	8	
89	1903	明治36			史伝	贈大教正福島太久良君略伝		9	
89	1903	明治36	8		寄書		魂陽学人福井彦次郎寄	10	
89	1903	明治36	8		寄書	食料の良否と健康の関係	長崎 片山秀実	12	
89	1903	明治36	8		雑録	「桜井氏の後室は教祖の御娘なり或時本城保に御話ありけるは…」		13	ハンセン病患者へのおまじない
89	1903	明治36	8		雑録	本多応之助先生の書翰		14	
89	1903	明治36	8		雑録	鳥の鳴声	伊勢 山崎寿	15	
89	1903	明治36			雑録	内藤学説の節約(三)		16	
89	1903	明治36	8	20	雑録	扇考(三)		16	
89	1903	明治36	8		文苑	宗忠神社献詠和歌	備前 丹下千尋ほか	18	「月前草花」25首・「太刀」20首
89	1903	明治36	8	20	小説	世の罪(終)		20	
89	1903	明治36	8	20	硯滴	[国の教第八十一号硯海余滴欄不老生君の…]		23	
89	1903	明治36	8		硯滴	[某新聞に宗教家は貧民院孤児院其他慈善的…]		24	
89	1903	明治36	8	20	硯滴	〔教旨研究の便法たる他なし本誌は問答…〕		24	
89	1903	明治36	8	20	硯滴	[本誌第八十六号に精神的殺人法なる実歴を…]		24	
89	1903	明治36	8	20	硯滴	〔難あり難有しと教祖の示し玉日しか此御教語…〕		25	
89	1903	明治36	8	20	硯滴	[今回露国キシネツフに於て猶太教徒か…]		26	
89	1903	明治36	8	20	硯滴	[病気に罹りたる時は逸早く医療を乞ふ事は…]		26	
89	1903	明治36	8	20	霊験	紛失物手に入る		27	
89	1903	明治36	8	20	霊験	夫妻一時に神疵を蒙る		28	
89	1903	明治36	8	20	霊験	大熱平復す		28	
89	1903	明治36	8	20	彙報	大祓祭執行		29	
89	1903	明治36	8		彙報	山鉄列車時刻表		30	
89	1903	明治36	8	20	彙報	中鉄列車時刻表		30	
89	1903	明治36	8	20	彙報	岡山汽船出帆		30	
89	1903	明治36	8	20	彙報	二世神五十年大祭		31	
89	1903	明治36	8	20	彙報	斯波宗教局長の来庁		31	
89	1903	明治36		20	彙報	大元報賽講加盟人員		31	150名
89	1903	明治36	8	20	辞令	(補権少教正~試補)		33	原文に年月明記なし
89	1903	明治36	8	20	正誤			34	
89	1903	明治36	8	20	社告	新刊寄贈		34	
89	1903	明治36	8		社告	弊社へ寄贈金品広告		34	
89	1903	明治36		20	社告	国の教雑誌社取次販売書目		35	
89	1903	明治36	8		広告	16件		35	
90	1903	明治36	9	20	神勅			1	
90	1903	明治36	9		訓戒			1	
90	1903	明治36	9		本庁告文	号外		4	伊勢神宮参拝の案内
90	1903	明治36	9		社説	宗教局長の視察に就て(承前)		5	
للتنا		7.7.4.5.5			.—	provident present teneral mark a via that		_	

90	1903	明治36	9	20	道の栞	教えの文	1	8	
90	1903	明治36	9		道の栞	致えの文		8	
90	1903	明治36			道の栞	主誠講義(本前) 宗忠神神代の巻御講釈		9	
90	1903	明治36	9	20	道の栞	宗篤神詠		11	
90	1903	明治36	9		道の栞	示馬仲跡 赤木大人詠		11	
		明治36				旅の失跡	西川漁夫		
90	1903		9	20	講演	豚の矢跡 贈中教正角南作吾君略伝	四川温大	11	
	1903	明治36	9	20	史伝		医蛛 生儿子中	13	
90	1903	明治36	9		寄書 #43	人身における心霊作用 時尾大人記録中より抜粋	長崎 片山秀実	15 16	
90	1903	明治36		20	雑録				
	1903	明治36	9		雑録	養生の仕かた	美作 安藤十朗	17	
	1903	明治36	9	20	雑録	三世神の御神詠に就て	伊勢 山崎寿	18	
	1903	明治36			雑録	道徳の本源		20	
90	1903	明治36	9		雑録	内藤学説の節約(承前)		22	
90	1903	明治36	9		霊験	肌守を戴き回生す		23	
	1903	明治36	9		霊験	四苦を離れて神庇を蒙る		24	
90	1903	明治36	9		霊験	禁厭の徳に依り回復す		25	
	1903	明治36		20	文苑	宗忠神社献詠和歌	出雲 清原只七ほか	26	「聞虫」24首・「豊太閣」13首
90	1903	明治36	9	20	小説	二孤其一	棕道人	28	
90	1903	明治36	9	20	硯滴	[皇らきの、高き神徳に、打乗りて、天照神を…]		33	
	1903	明治36		20	硯滴	[前々号霊験欄に教祖の御講釈中に妊娠の…]		34	
90	1903	明治36	9		硯滴	[研究生にお答へいたします此御教語は自然…]		34	
	1903	明治36	9	20	硯滴	[近来神祭に改式するの多々あり最と賀すべき…]		34	
90	1903	明治36	9		硯滴	[我居所に惚れ我職業に惚れ我妻に惚れる…]		35	
90	1903	明治36	9	20	彙報	神宮御造営の工程		35	
	1903	明治36		20	彙報	大廟の楽器装束		35	
90	1903	明治36	9		彙報	大演習行幸の御内定		36	
90	1903	明治36	9	20	彙報	箱根山の両皇孫		36	
90	1903	明治36	9		彙報	山鉄列車時刻表		37	
90	1903	明治36	9	20	彙報	中鉄列車時刻表		37	
	1903	明治36	9		彙報	岡山汽船出帆		37	
90	1903	明治36			彙報	社寺局の復旧説		38	
90	1903	明治36	9		彙報	宗教法案提出請願		38	
	1903	明治36			彙報	天理教本部の講習会		38	
90	1903	明治36	9		彙報	博覧会中に於ける伝道成績		38	
90	1903	明治36	9	20	彙報	巡回と出張		39	
90	1903	明治36			彙報	造営と新築		39	
90	1903	明治36	9	20	彙報	大元報賽講加盟人員		39	73名
90	1903	明治36	9		辞令	(明治36年6月分、補権少教正~試補)		40	
90	1903	明治36	9		正誤			41	
90	1903	明治36	9	20	社告	国の教雑誌社取次販売書目		42	
90	1903	明治36			広告	15件		42	
91	1903	明治36			社説	神諭解		3	
91	1903	明治36			道の栞	教の文		5	
91	1903	明治36			道の栞	宗忠神神代の巻御講釈	美作 直原清一郎	7	
91	1903	明治36			道の栞	宗篤神詠		8	
91	1903	明治36	10	20	道の栞	赤木大人詠		8	

91	1903	明治36	10	20	道の栞	大工の能見物	西川漁夫	9	虚心坦懐に講釈を聞くことの重要性(大工の規矩を具体例として)
91	1903	明治36	10	20	史伝	贈中教正角南作吾君略伝		10	
91	1903	明治36	10		寄書	寡聞多言録(第八回)	魂陽学人福井彦次郎寄	12	「(二二)正直の専売特許」「(二三)お祭騒ぎ」「(二四) 附属文庫」
91	1903	明治36	10	20	寄書	霊的作用	長崎 片山秀実	14	心の持ち方が病気にもたらす作用につき、医師による 診断がもたらす影響は大きい
91	1903	明治36	10		寄書	独顕独解	但馬 小田喜朗	15	
91	1903	明治36	10	20	雑録	教祖の御逸事		16	教祖の逸話(足の動かない老人を治した、など) 森住権大教正の説教略記
91	1903	明治36	10	20	雑録	養生の仕方	美作 安藤十郎	17	
91	1903	明治36	10	20	雑録	内藤学説の節約		18	
91	1903	明治36	10		雑録	道徳の本源		19	互いが互いを気遣う「共同生存」こそが随神の道であ り万民の福利を進め日本の国体を振興する、キリスト 教は神の徳を力説し同胞博愛を説くが国風にはそぐ わない
91	1903	明治36	10		霊験	霊夢に依りて御蔭を蒙る		20	
91	1903	明治36	10		霊験	一心神明に通す		21	
91	1903	明治36			霊験	教諭を守りて御蔭を戴く		22	
91	1903	明治36			文苑	宗忠神社献詠和歌	台湾 宮尾寛吾ほか	22	「檮衣遥」24首・「社頭水」12首
91	1903	明治36	10		小説	二狐	椋道人	24	
91	1903	明治36	10		硯滴	[本紙購読すべき余暇なきに托辞せらる」教師…]	編輯小僧	29	
91	1903	明治36	10		硯滴	[日露外交は弥切迫したれば…]	愛国生	30	
91	1903	明治36	10	20	硯滴	[黒住教の祭典に係る作業法は…]	改良希望生	30	
91	1903	明治36	10	20	硯滴	[往年北山寿安と云へる老医か…]	別天居士	30	
91	1903	明治36			硯滴	[或人か夜分安眠する事か出来ぬのて困ります…]	教示生	31	
91	1903	明治36	10	20	硯滴	[教祖は恒に早天冷水浴をなし玉ひしと…]	雲外生	31	
91	1903	明治36			彙報	二世神の霊祭		32	
91	1903	明治36			彙報	秋季大祭		32	
91	1903	明治36			彙報	秋季大祭と山鉄割引		32	
91	1903	明治36			彙報	黒住教説教会(第二回)		32	
91	1903	明治36			彙報	山鉄列車時刻表		33	
91	1903	明治36			彙報	中鉄列車時刻表		33	
91	1903	明治36			彙報	岡山汽船出帆		33	
91	1903	明治36			彙報	巡回教師よりの報道		34	
91	1903	明治36			彙報	台湾便り		35	
91	1903	明治36			彙報	海軍共同墓地祭典		36	
91	1903	明治36			彙報	荒木装束店の受賞		37	
91	1903	明治36	10		彙報	神宮神嘗祭		37	
91	1903	明治36			彙報	社寺の現況		37	
91	1903	明治36			彙報	喇嘛僧来朝		38	
91	1903	明治36			彙報	大元報賽講加盟人員		38	89名
91	1903	明治36			辞令	(明治36年7月分、補権少教正~試補)		39	
91	1903	明治36			正誤	Law I de Pil		40	
91	1903	明治36			社告	新刊寄贈		42	
91	1903	明治36	10	20	社告	本社寄贈金品広告		42	

91	1903	明治36	10	20	本庁告文	告示第十二号		43	教師名簿の提出
91	1903	明治36	10		本庁告文	日本第十二号		43	各所講地所建築並び所講所有の田地などの申告
91	1903	明治36	1		広告	18件		45	付別語地別建業並び別語別有の由地などの中日
92	1903	明治36	11		<u>冶日</u> 巻首	神勅		1	
92	1903	明治36	11		<u>仓目</u> 社説	神諭解		3	
92	1903	明治36			道の栞	教の文		5	
92	1903	明治36			道の栞	 敦の文 	美作 直原清四郎	5	
92	1903	明治36	11		道の栞	赤木大人詠	天TF 但你用四印	7	
92	1903	明治36			<u>垣の来</u> 道の栞	ボネヘヘ跡 岩下大人詠		7	
92	1903	明治36	11		道の栞	右下へ入跡 片岡大人		7	
92	1903	明治36			道の栞	万両人へ 本田大人詠		7	
92	1903	明治36			道の栞	中山大人詠		7	
									ロサギはのお話いの枚行不は執針は得られたい。自
92	1903	明治36	11		講演	老婆の念仏	西川漁夫	7	ロ先だけのお祓いの修行では効能は得られない、身 も心も清々しく夢想無念で行うことが肝心
92	1903	明治36	11		講演	何事も活し上手に成れ	伊勢 山崎寿講話	10	「何事も活し上手に成れ」という御教語の意味に関し、 人が悪事を仕向けてきても受け流し善い方向へ捉え なおすのが大事
92	1903	明治36	11		史伝	贈中教正角南作吾君略伝(承前)		11	
92	1903	明治36	11	20	寄書	寡聞多言録(第九回)	魂陽学人福井彦次郎寄	13	「(二五)廿世紀」「(二六)今日相当の時代眼」「(二 七)灯台下暗」
92	1903	明治36	11	20	雑録	教祖の御逸事(承前)		14	
92	1903	明治36	11	20	雑録	和歌の徳		15	黒住教の篤信家水野正之の曽祖父水野義風が、大 風雨を和歌によって収めたという逸話
92	1903	明治36	11	20	雑録	内藤学説の節約(承前)		16	
92	1903	明治36	11	20	雑録	道徳の本源(承前)		17	日本の親愛優美の風俗と、欧米各国の得手勝手に争 う風俗の比較
92	1903	明治36			霊験	腹中の塊物癒ゆ		19	
92	1903	明治36	11	20	霊験	井水湧出す		20	
92	1903	明治36	11	20	文苑	宗忠神社献詠和歌	伊予 清水篤郎ほか	21	「冬月冴」28首・「寄雪恋」16首
92	1903	明治36	11		小説	二狐	椋道人	23	
92	1903	明治36	11	20	硯滴	[宗教局の調査に依ればニコライ司教の下に…]	悲憤道人	28	
92	1903	明治36			硯滴	[ニコライ派の教師は教科書事件を非難して…]	悲憤道人	29	
92	1903	明治36	11	20	硯滴	〔英国のモリソン博士は日露開戦となれば…〕	慷慨生	29	
92	1903	明治36	11	20	硯滴	〔前号の硯滴欄に雲外生とて雲か霞かに…〕	物知生	29	
92	1903	明治36			硯滴	[土州高知市竹林寺住職船岡芳信氏か仏教界…]	御世治太郎	29	
92	1903	明治36	11		硯滴	[国の教第八十八号霊験欄の教語に対し…]	任天老人	30	
92	1903	明治36	11		硯滴	[本教信徒中古老の人は日光を受くる事を歓び…]	日徳生	31	
92	1903	明治36	11	20	彙報	天長節		31	「御祭典」「宮中御祝宴」「観兵式行幸」
92	1903	明治36	11	20	彙報	大元帥陛下行幸		32	「東京御発輦」「舞子御着輦」
92	1903	明治36	11		彙報	大演習御統監		33	
92	1903	明治36	11	20	彙報	観兵式と賜宴		33	
92	1903	明治36	11	20	彙報	大元帥陛下還幸		34	
92	1903	明治36	11		彙報	東宮殿下関西行啓		34	
92	1903	明治36			彙報	山鉄列車時刻表		35	
92	1903	明治36			彙報	中鉄列車時刻表		35	
92	1903	明治36			彙報	岡山汽船出帆		35	
						· ·			•

00	1000	пп://oo	44	20	基 却	本中の日に	T	00	T
92	1903	明治36			彙報	東宮御昇任		36	
92	1903	明治36			彙報	管長の天気伺		37	
92	1903	明治36	11	20	実 報	管長の奉送迎		37	
92	1903	明治36			彙報	管長の御機嫌何		37	
92	1903	明治36			彙報	管長拝謁を賜ふ		37	
92	1903	明治36			彙報	春季大祭執行		37	
92	1903	明治36			彙報	万人議員の参拝		39	
92	1903	明治36	11	20	彙報	管長阿波に向はる		39	
92	1903	明治36			彙報	総務課長の出張		39	
92	1903	明治36			彙報	渡辺教正の代拝		39	
92	1903	明治36			彙報	黒住教秋季運動会		39	
92	1903	明治36			彙報	蓄積金献納		40	
92	1903	明治36			彙報	用達の指令		40	
92	1903	明治36			彙報	大元報賽講加盟人員報告			32名
92	1903	明治36			辞令	(明治36年8月分、補大講義~試補)		41	
92	1903	明治36			社告	新刊寄贈		41	『神社協会雑誌』20号ほか4誌
92	1903	明治36	11	20	広告	16件		42	「大坂北区堂島濱通一丁目九十四番邸 弁護士従六
									位 森権六」ほか
93	1903	明治36	12	15	巻首	神勅		1	
93	1903	明治36	12	15	社説	神諭解(承前)		3	
93	1903	明治36	12	15	社説	歳抄の辞		4	
93	1903	明治36	12	15	道の栞	教の文(承前)		5	
93	1903	明治36	12	15	道の栞	宗忠神々代の巻御講釈(承前)	美作 直原清四郎	5	
93	1903	明治36	12	15	道の栞	赤木大人詠		9	
93	1903	明治36			道の栞	片岡大人詠		9	
93	1903	明治36	12	15	道の栞	中山大人詠		9	
93	1903	明治36	12	15	講演	年忘れ	西川漁夫	9	
93	1903	明治36	12	15	講演	難あり難有し	伊勢 山崎寿講話	11	
93	1903	明治36	12	15	史伝	贈中教正角南作吾君略伝(承前)		14	
93	1903	明治36	12	15	寄書	寡聞多言録(第十回)	魂陽学人福井彦次郎寄	15	
93	1903	明治36			雑録	正五位森下景端先生の逸事		17	
93	1903	明治36			雑録	一心の徳		19	
93	1903	明治36	12	15	雑録	歳暮の心得		21	
93	1903	明治36			雑録	内藤学説の節約(承前)		21	
93	1903	明治36			雑録	道徳の本源(承前)		23	
93	1903	明治36	12	15	霊験	信徒の一言僧侶を感せしむ		24	
93	1903	明治36			霊験	無邪気の少女神徳を蒙る		26	
93	1903	明治36			霊験	霊験談を聴聞し御蔭を受く		26	
93	1903	明治36			文苑	宗忠神社献詠和歌		27	「炭竈」47首・「美人」4首
93	1903	明治36			小説	二狐 その八~その十一		29	237 12 1 H
93	1903	明治36			彙報	神宮新嘗祭		33	
93	1903	明治36			彙報	内宮新嘗祭		33	
93	1903	明治36	12	15	彙報	宮中新嘗祭		33	
93	1903	明治36			彙報	新年御題		34	
93	1903	明治36			彙報	神社寺院境内取締規則	+	34	
93	1903	明治36				冬至祭		34	
00	1000	クリノロロロ	14	10	木が	トール		υT	

00	1000	002200	10	15	 事却	抽扱会議明会	T	0.4	
93	1903	明治36			彙報 2.50	相談会議開会		34	
93	1903	明治36			彙報 	管長出発せらる		34	
93	1903	明治36		15	彙報	千家尊愛男		34	
93	1903	明治36			彙報	山鉄列車時刻表		35	
93	1903	明治36			彙報	中鉄列車時刻表		35	
93	1903	明治36			彙報	岡山汽船出帆		35	
93	1903	明治36	12		彙報	森住教正の帰庁		36	
93	1903	明治36	12	15	彙報	西宗氏と備後船渠		36	
93	1903	明治36			彙報	募集員の巡回		37	特派宣教使の巡廻
93	1903	明治36			彙報	武徳会大会と本教々師の出張		37	津山での岡山県支部大会
93	1903	明治36			彙報	吉備楽々長等の出張		37	
93	1903	明治36			彙報	河田少教正の出張		37	
93	1903	明治36	12	15	彙報	幻燈会組織		38	
93	1903	明治36			彙報	大元報賽講加盟人員報告		38	77名
93	1903	明治36			辞令	(明治36年10月分、補権少教正~試補)		39	
93	1903	明治36			社告	国の教雑誌社取次販売書目		40	
93	1903	明治36	12		広告	14件		40	
94	1904	明治37	1		巻首	神勅		1	
94	1904	明治37	1	20	巻首	訓戒		2	
94	1904	明治37	1	20	本庁告文	[本教歳二月二隆昌教師及教級者増員…]	黒住教管長黒住宗子	4	教規細則第5章第12条(禁厭の前に医薬治療が不可欠である旨告諭し、治療中の者のみ禁厭すべき旨)の趣意を衛生面から奉戴せよ
94	1904	明治37	1		本庁告文	新年の感謝		5	
94	1904	明治37	1		本庁告文	旭日の影	贈大教正河上忠晶詠·権大教正 河上市蔵述	7	
94	1904	明治37	1		社説	巳み難き赤心		8	
94	1904	明治37	1		道の栞	教の文(承前)		10	
94	1904	明治37	1		道の栞	神代の巻講釈(承前)	美作 直原清四郎	10	
94	1904	明治37	1		道の栞	神詠(ほか6首)		11	
94	1904	明治37	1		講演	驪龍頷下の珠	西川漁夫	11	
94	1904	明治37	1	20	史伝	贈大講義山本甲女の略伝		13	
94	1904	明治37	1	20	寄書	寡聞多言録(十一回)	魂陽学人福井彦次郎寄	14	
94	1904	明治37	1		寄書	本心と私心の区別(二十二)	不動	15	
94	1904	明治37	1		寄書	不動明王	遠江 細江陳人述	17	
94	1904	明治37	1	20	雑録	或問答弁		19	
94	1904	明治37	1	20	雑録	宗忠神社(一)	不二行者	20	
94	1904	明治37	1		雑録	内藤学説の節約(承前)		21	
94	1904	明治37	1		霊験	活し上手の婦人		23	
94	1904	明治37	1	20	文苑	勅題巌上松	伊予 三瀬伊豆戈ほか	25	12首
94	1904	明治37	1	20	文苑	宗忠神社献詠和歌	備中 青木槌次ほか	25	「新年鶯」66首・「山巌」27首
94	1904	明治37	1		小説	二狐 十三	椋道人	29	
94	1904	明治37	1	20	硯滴	〔本教には教祖の御遺書又は…〕	蔵書家	33	
94	1904	明治37	1	20	硯滴	〔冬至祭は二十二日よりの事あり又廿三日より…〕	遠隔の一信徒	34	
94	1904	明治37	1		硯滴	[研究会といふものか各地に行はれて居ります···]	研究生	34	
94	1904	明治37	1		硯滴	〔天寿を以て終るといふよふな事か史伝等に…〕	質疑生	34	
94	1904	明治37	1		硯滴	[前号彙報欄に本教拡張の為め幻燈会を組織し…]	東予幹渉生	35	
						1		-	I.

94	1904	明治37	1	20	硯滴	[直原君の御提出なる宗忠神々代の御講釈を…]	美作一老人	35	T
94	1904	明治37	1		_{- 呪凋} - 現滴	[本教の霊験は説教中に顕れ禁厭祈念中に…]	天1F ⁻ 七八	35	
94	1904	明治37	1	20	<u>祝闹</u> 彙報	[本教の霊験は説教中に顕れ宗献析志中に…]		35	
		明治37	1	20	<u>果</u> 報 彙報	宮中の新年御式			
94	1904		1					36	
94	1904	明治37	1		彙報	元始祭		36	
94	1904	明治37	1		彙報	政治始の御式		36	
94	1904	明治37	1		彙報	新年御宴		37	
94	1904	明治37	1		彙報	陸軍観兵式		37	
94	1904	明治37	1		彙報	御詠歌		38	
94	1904	明治37	1		彙報	御講書幷に御歌会始		38	
94	1904	明治37	1		彙報	宮中月次歌御会兼題		38	
94	1904	明治37	1		彙報	元旦の本庁		39	
94	1904	明治37	1		彙報	新年宴会		39	
94	1904	明治37	1		彙報	冬至祭執行		39	
94	1904	明治37	1		彙報	天心号拝戴者		40	
94	1904	明治37	1		彙報	冬至祭		40	
94	1904	明治37	1		彙報	管長閣下の上京		40	
94	1904	明治37	1		彙報	管長閣下の出張		40	山鉄・中鉄・岡山汽船の時刻表・発船時間表あり
94	1904	明治37	1	20	彙報	管長閣下の帰庁		42	
94	1904	明治37	1	20	彙報	管長閣下の親教		42	
94	1904	明治37	1		彙報	遷座式と上棟式		42	
94	1904	明治37	1		彙報	国威宣揚祈念		43	
94	1904	明治37	1	20	彙報	隠岐国布教		43	
94	1904	明治37	1	20	彙報	婦女の亀鑑	備後国 福山中教会所岡本圭吉	43	信者の嫁ぎ先で夫の病気が重篤化したのをうけ岡山 宗忠神社での祈願・岡山中教会所での禁厭で一時回 復したものの数年後病没、それまでの看護の労と家 取款期、スカ教育な事業とよる
									政整理・子女教育を表彰する
94	1904	明治37			彙報	黒住天理二教取締に就て		44	政金理・ナダ教育を表彰する 昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤 報
94	1904	明治37		20	彙報	大元幻燈会		45	昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤報
		明治37	1 1	20	彙報 彙報	大元幻燈会 大元報賽講員加盟人員			昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤
94	1904	明治37 明治37 明治37	1 1	20 20 20	彙報 彙報 辞令	大元幻燈会 大元報賽講員加盟人員 (明治36年9月分、補権中教正~試補)		45 45 46	昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤報
94	1904 1904	明治37 明治37 明治37 明治37	1 1	20 20 20 20	彙報 彙報 辞令 社告	大元幻燈会 大元報賽講員加盟人員 (明治36年9月分、補権中教正~試補) 寄贈金広告		45 45 46 47	昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤報
94 94 94	1904 1904 1904	明治37 明治37 明治37 明治37 明治37	1 1	20 20 20 20 20	彙報 彙報 辞令 社告 社告	大元幻燈会 大元報賽講員加盟人員 (明治36年9月分、補権中教正~試補) 寄贈金広告 国の教雑誌社取次販売書目		45 45 46 47 47	昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤報
94 94 94 94	1904 1904 1904 1904	明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37	1 1	20 20 20 20 20 20	彙報 彙報 辞令 社告 社告 社告	大元幻燈会 大元報賽講員加盟人員 (明治36年9月分、補権中教正~試補) 寄贈金広告 国の教雑誌社取次販売書目 2件	河上市蔵ほか	45 45 46 47	昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤報
94 94 94 94 94	1904 1904 1904 1904 1904	明治37 明治37 明治37 明治37 明治37	1 1	20 20 20 20 20 20 20	彙報 彙報 辞令 社告 社告 社告 社告	大元幻燈会 大元報賽講員加盟人員 (明治36年9月分、補権中教正~試補) 寄贈金広告 国の教雑誌社取次販売書目	河上市蔵ほか国の教雑誌社	45 45 46 47 47	昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤報
94 94 94 94 94	1904 1904 1904 1904 1904 1904	明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37	1 1	20 20 20 20 20 20 20 20	彙報 彙報 辞令 社告 社告 社告 社告	大元幻燈会 大元報賽講員加盟人員 (明治36年9月分、補権中教正~試補) 寄贈金広告 国の教雑誌社取次販売書目 2件 道歌募集広告 土佐二人組に告白す		45 45 46 47 47 48	昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤報
94 94 94 94 94 94	1904 1904 1904 1904 1904 1904 1904	明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37	1 1 1 1 1 1 1	20 20 20 20 20 20 20 20 20	彙報 彙報 辞令 社告 社告 社告 社告	大元幻燈会 大元報賽講員加盟人員 (明治36年9月分、補権中教正~試補) 寄贈金広告 国の教雑誌社取次販売書目 2件 道歌募集広告 土佐二人組に告白す	国の教雑誌社	45 45 46 47 47 48 48	昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤報 67名 年賀挨拶 昨年末原稿・金員送付も住所不明かつ誹謗的内容で
94 94 94 94 94 94 94	1904 1904 1904 1904 1904 1904 1904	明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37	1 1 1 1 1 1 1 1	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	彙報 彙報 辞 社 社 生 告 告 告 告 告 去 告 去 告 去 告 去 告 去 告 去 去 去 去	大元幻燈会 大元報賽講員加盟人員 (明治36年9月分、補権中教正~試補) 寄贈金広告 国の教雑誌社取次販売書目 2件 道歌募集広告 土佐二人組に告白す	国の教雑誌社	45 45 46 47 47 48 48 49	昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤報 67名 年賀挨拶 昨年末原稿・金員送付も住所不明かつ誹謗的内容で
94 94 94 94 94 94 94	1904 1904 1904 1904 1904 1904 1904 1904	明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	彙報 報報令告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告	大元幻燈会 大元報賽講員加盟人員 (明治36年9月分、補権中教正~試補) 寄贈金広告 国の教雑誌社取次販売書目 2件 道歌募集広告 土佐二人組に告白す	国の教雑誌社	45 45 46 47 47 48 48 49	昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤報 67名 年賀挨拶 昨年末原稿・金員送付も住所不明かつ誹謗的内容で
94 94 94 94 94 94 94 94 95	1904 1904 1904 1904 1904 1904 1904 1904	明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	彙報 報報 報報令告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告	大元幻燈会 大元報賽講員加盟人員 (明治36年9月分、補権中教正~試補) 寄贈金広告 国の教雑誌社取次販売書目 2件 道歌募集広告 土佐二人組に告白す	国の教雑誌社	45 45 46 47 47 48 48 49	昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤報 67名 年賀挨拶 昨年末原稿・金員送付も住所不明かつ誹謗的内容で
94 94 94 94 94 94 94 95 95	1904 1904 1904 1904 1904 1904 1904 1904	明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	彙報 報報令告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告	大元幻燈会 大元報賽講員加盟人員 (明治36年9月分、補権中教正~試補) 寄贈金広告 国の教雑誌社取次販売書目 2件 道歌募集広告 土佐二人組に告白す 24件 神勅 訓誡	国の教雑誌社	45 45 46 47 47 48 48 49 1	昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤報 67名 年賀挨拶 昨年末原稿・金員送付も住所不明かつ誹謗的内容で
94 94 94 94 94 94 94 95 95	1904 1904 1904 1904 1904 1904 1904 1904	明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2	彙報 報報 報報令告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告	大元幻燈会 大元報賽講員加盟人員 (明治36年9月分、補権中教正~試補) 寄贈金広告 国の教雑誌社取次販売書目 2件 道歌募集広告 土佐二人組に告白す 24件 神勅 訓誡 岡山宗忠神社春季大祭	国の教雑誌社	45 45 46 47 47 48 48 49 1 1 2	昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤報 67名 年賀挨拶 昨年末原稿・金員送付も住所不明かつ誹謗的内容で
94 94 94 94 94 94 94 95 95 95	1904 1904 1904 1904 1904 1904 1904 1904	明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2	彙彙辞社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社	大元幻燈会 大元報賽講員加盟人員 (明治36年9月分、補権中教正~試補) 寄贈金広告 国の教雑誌社取次販売書目 2件 道歌募集広告 土佐二人組に告白す 24件 神勅 訓誡 岡山宗忠神社春季大祭 正気の声	国の教雑誌社	45 45 46 47 47 48 48 49 1 1 2 3	昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤報 67名 年賀挨拶 昨年末原稿・金員送付も住所不明かつ誹謗的内容で
94 94 94 94 94 94 94 95 95 95	1904 1904 1904 1904 1904 1904 1904 1904	明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37 明治37	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2	彙量辞報 報報令告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告告诉 の 社社道の栞	大元幻燈会 大元報賽講員加盟人員 (明治36年9月分、補権中教正~試補) 寄贈金広告 国の教雑誌社取次販売書目 2件 道歌募集広告 土佐二人組に告白す 24件 神勅 訓誡 岡山宗忠神社春季大祭 正気の声 教の文(承前)	国の教雑誌社国の教雑誌社	45 45 46 47 47 48 48 49 1 1 1 2 3 6	昨年末有力信者を宗教局に召集とは『万朝報』の誤報 67名 年賀挨拶 昨年末原稿・金員送付も住所不明かつ誹謗的内容で

95	1904	明治37	2	20	講演	漆桶	西川漁夫	8	
95	1904	明治37	2		講演	万歳の話	伊勢 山崎寿	9	
95	1904	明治37			史伝	対感の語 贈大講義山本甲女の略伝(承前)	アダー 四町牙	12	
95	1904	明治37	2		寄書	扇八調報山本十久の昭仏(本前)	魂陽学人福井彦次郎寄	13	
95	1904	明治37	2		寄書	本心と私心の区別(二十三)	不動	14	
95	1904	明治37	2		雑録	本心と私心の区別(二十三) 或問答弁(承前)	小到	16	
95	1904	明治37			# 雑録		不二行者	17	 『大阪朝日新聞』掲載の「吉備団子」より抜粋転載
95	1904	明治37			雑録		111111111111111111111111111111111111111	19	八級初口利頃 17
95	1904	明治37	2		霊験	禁酒して天地を呑む		20	
95	1904	明治37	2	20	霊験	眼病平癒す		21	
95	1904	明治37	2		霊験	肺症治す		21	
95	1904	明治37	2	20	文苑	宗忠神社献詠和歌	備前 柴田鳳太ほか	22	 「海上霞」26首・「浦鶴」30首
95	1904	明治37	2		小説	少年団(上)	梓村	24	白虎隊の話
95	1904	明治37	2	20	彙報	歌御会始	1711	28	
95	1904	明治37	2		彙報	紀元節祭典		29	
95	1904	明治37	2		彙報	孝明天皇御例祭		29	
95	1904	明治37	2		彙報	開戦御報告祭		30	
95	1904	明治37	2		彙報	敵国降伏の神符配与		30	筥崎宮
95	1904	明治37	2		彙報	総選挙と神職僧侶		30	一部僧侶・神職が買収され選挙活動に奔走した例あ
		717207	_		X TA	WE TELLINGIA		00	るにつき
95	1904	明治37	2	20	彙報	神宮皇学館入学資格		31	
95	1904	明治37	2		彙報	軍隊布教		31	本派本願寺、第五師団へ
95	1904	明治37			彙報	春季大祭執行		31	
95	1904	明治37			彙報	管長帰庁		31	
95	1904	明治37	2		彙報	管長と知事令息の葬儀		32	
95	1904	明治37	2		彙報	改称と管轄区域		32	姫路中教会所へと改称、高砂・篠山・神戸・西宮・福
									住・生野ほかを管轄
95	1904	明治37	2	20	彙報	戦勝祈念執行		32	
95	1904	明治37	2		彙報	[大坂なる魂陽学人福井彦次郎氏より…]		33	
95	1904	明治37	2		彙報	戦勝祈念と提灯行列		33	
95	1904	明治37	2		彙報	大坂通信		33	
95	1904	明治37	2		彙報	佐世保教会通信		34	陸海軍人の宗忠神守札
95	1904	明治37	2		彙報	片山雄三郎翁		34	長崎中教会所権中教正
95	1904	明治37	2	20	彙報	管長参拝せらる		35	国威発揚戦勝祈念のため伊勢神宮へ参拝、帰路神 楽岡でも祈念
95	1904	明治37	2	20	彙 報	玉除御守送付		35	数十万体の弾除け守札を社務所からその筋へ寄贈す
"	1004	91/10/	_	20	**************************************	上		00	べく活動中、従軍する信徒には住所等記して希望す
									れば社前祈念のうえ授与
95	1904	明治37			彙報	神鳩軍に従ふ		35	筥崎宮と岩木山神社
95	1904	明治37			彙報	大元報賽講員加盟人員(58名)		36	
95	1904	明治37			辞令	(明治36年11月・12月分、補権少教正~試補)		37	
95	1904	明治37			社告	〔今回征露ノ戦争ニ関シテハ稜威ノ発揚スル…〕	国の教雑誌社	39	
95	1904	明治37			社告	国の教雑誌社取次販売書目		39	
95	1904	明治37			社告	道歌募集広告	国の教雑誌社	40	
95	1904	明治37	2	20	広告	17件		40	

1904 明治37 2 20 本庁舎文 注京一号 黒社教育長黒社亲子 51 国際的歌につき複奏列側の部部を参数系統へ出版 中、飲食 株 製造配工 平分保護外及と恒良の養務 104 1918-37 31 10 8百 14 14 14 14 14 14 14 1							\+ bb			
19	95	1904	明冶3/	2	20	本厅告又	 選弟一号	黒任教官長黒任示于	51	
96 1904 明治37 3 18 音音 18 18 18 18 18 18										
56 1904 明治37 3 18 巻音 神物 1 96 1904 明治37 3 18 本庁告文 告示第二号 無住教本庁 3 内務省前分第三号を遵守せよ 1 96 1904 明治37 3 18 木庁告文 告示第二号 無住教本庁 4 級勝利金の利润文列 18 木庁告文 告示第三号 無住教本庁 5 内務省前分第三号を遵守せよ 18 18 18 18 18 18 18 1										
96 1904 明治37 3 18 巻首 部本 1 1 1 1 1 1 1 1 1								黒住教本庁		信徒の軍人名簿作成せよ
96 1904 明治37 3 18 太行告文 告示第二号 黒性教本庁 3 内務省副令第三号を遵守せた 97 1904 明治37 3 18 太行告文 告示第二号 黒性教本庁 4 観射が及の認証分開 98 1904 明治37 3 18 太行告文 告示第四号 黒性教本庁 5 内務名宗教局長よりの副宗(宗第八号)遵守し認敬に 97 1904 明治37 3 18 道面検 3 1 1 2 位置 基化乙酸物子提供 5 内容会宗教局長よりの副宗(宗第八号)遵守し認敬に 98 1904 明治37 3 18 道面検 3 1 1 2 位置 基化乙酸物子提供 5 内容会宗教局長よりの副宗(宗第八号)遵守し認敬に 98 1904 明治37 3 18 道面検 3 1 1 2 位置 基化乙酸油浸料 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									•	
56 1994 明治37 3 18 本庁舎文 告示第四号 黒住教本庁 4 親権が念の形刻文例 78 78 78 78 78 78 78 7										
1964 明治37 3 18 本庁合文 告示質回号 無住教本庁 5 内務省宗被馬長よりの訓示(宗第八号)遵守し怨教に 11 11 11 12 12 13 14 13 13 18 社談 提心に認動を拝続す 8 8 8 14 13 14 14 14 14 14 14										
8 96 1994 明治37 3 18 注記 謹んて設めを拝続す 8 8 20 2 8 20 2 8 2 8 8 8 8 8 8 8				3	18	本庁告文				
66 1994 明治37 3 18 社野 銀んで記載を拝続す 8 11 11 11 11 11 11 11	96	1904	明治37	3	18	本庁告文	告示第四号	黒住教本庁	5	
86 1994 明治37 3 18 道の葉 教の文 11 1 1 1 1 1 1 1 1										尽力せよ
86 1904 明治27 3 18 道の葉 神代の巻講釈(承前) 美作 直原清四郎 11 13 15 13 15 13 15 15										
96 1904 明治27 3 18 諸の葉 赤木大人脉 13 13 15 15 15 15 15 15										
1904 明治37 3 18 講演	96	1904			18	道の栞		美作 直原清四郎		
1904 明治37 3 18 請演 海賊徒朝に接し勝り 伊勢 山崎寿 15 18 18 19 19 18 18 18 18		1904								
96 1904 明治37 3 18 支伝 増大講義山本甲女の略伝(承前) 18 18 19 19 19 19 19 19					18	講演				
98 1904 明治37 3 18 寄書					18	講演		伊勢 山崎寿		
96 1904 明治37 3 18 書書 本心と私心の区別(二十四) 不動 21 23 23 23 3 3 3 3 3 3	96	1904								
96 1904 明治37 3 18 建緑 成問答弁(条前) 23 24 24 24 25 25 25 25 25	96	1904			18	寄書		魂陽学人福井彦次郎寄		
96 1904 明治37 3 18 雑録 七箇条線草 24 25 25 25 26 26 26 26 26	1	1904						不動		
96 1904 明治37 3 18 雑録 宗忠神社(承前)	96	1904			18	雑録				
96 1904 明治37 3 18 謹録 内藤学説の節約(承前) 26 27 29 30 1904 明治37 3 18 霊験 霊夢により難病平癒す 29 29 30 1904 明治37 3 18 二酸 腰痛治す 29 30 1904 明治37 3 18 文苑 宗忠神社献詠和歌 岡山 森本与惣ほか 30 「庭春雨」34首・「逢恋」29首、投稿は235首 37 31 32 33 32 33 33 34 34 34	96	1904								
96 1904 明治37 3 18 霊験 霊夢により難病平癒す 29 29 29 29 29 29 29 2	96	1904						不二行者	25	
96 1904 明治37 3 18 霊験 腰痛治す 29	96	1904								
96 1904 明治37 3 18 文苑 宗忠神社献詠和歌 岡山 森本与惣ほか 30 「庭春雨」34首・「逢恋」29首、投稿は235首 30 1904 明治37 3 18 文苑 (和歌・時事の感」3首 河上市蔵 32 32 33 33 38 38 38 38	96	1904					霊夢により難病平癒す			
96 1904 明治37 3 18 文苑 【和歌「時事の感」3首】 河上市蔵 32 96 1904 明治37 3 18 東報 李子祭に就て 37 96 1904 明治37 3 18 乗報 春季大祭に放て 37 96 1904 明治37 3 18 乗報 二十年紀念祭 38 岡山宗忠神社 96 1904 明治37 3 18 乗報 五日成師団・近衛師団・延衛師団・延衛師団・延衛師団・近衛師団・延衛師団・近衛師団・延藤隊に 96 1904 明治37 3 18 乗報 平資金献納 38 神戸小教会所の杉島信城 96 1904 明治37 3 18 乗報 万倉本献 40 57名 96 1904 明治37 3 18 乗報 万倉本献 40 57名 96	96	1904		3	18	霊験	腰痛治す			
96 1904 明治37 3 18 小説 少年団(中) 33 96 1904 明治37 3 18 彙報 春季大祭に就て 37 96 1904 明治37 3 18 彙報 春季大祭に方人参 37 96 1904 明治37 3 18 彙報 二十年紀念祭 37 96 1904 明治37 3 18 彙報 管長の帰庁 37 96 1904 明治37 3 18 彙報 国成宣揚析念 38 岡山宗忠神社 96 1904 明治37 3 18 彙報 国成宣揚析念 38 岡山宗忠神社 96 1904 明治37 3 18 彙報 本軍隊監督 本面の御守を携え1~12師団・近衛師団・4鎮守府・松山・福知山旅団・鳥取・土佐聯隊に 96 1904 明治37 3 18 彙報 移馬教正の飛機 38 神戸小教会所の杉島信城 96 1904 明治37 3 18 彙報 村田の本の飛機 40 40 96 1904 明治37 3 18 彙報 大元報養講加別人員 40 57名 96 1904 明治37 3 18 征露風雲銀 大元報養講加別人員 40 57名	96	1904	明治37				宗忠神社献詠和歌	岡山 森本与惣ほか	30	「庭春雨」34首・「逢恋」29首、投稿は235首
96 1904 明治37 3 18 彙報 春季大祭に就て 37 96 1904 明治37 3 18 彙報 春季大祭と万人参 37 96 1904 明治37 3 18 彙報 二十年紀念祭 37 96 1904 明治37 3 18 彙報 三十年紀念祭 37 96 1904 明治37 3 18 彙報 国成宣揚祈念 38 岡山宗忠神社 96 1904 明治37 3 18 彙報 国成宣揚祈念 38 岡山宗忠神社 96 1904 明治37 3 18 彙報 国家宣揚祈念 38 岡山宗忠神社 96 1904 明治37 3 18 彙報 軍資金献納 38 脚子小教会所の御守を携え1~12師団・近衛師団・4鎮守府・松山・福知山旅団・鳥取・土佐聯隊に 96 1904 明治37 3 18 彙報 杉島教正の飛機 40 96 1904 明治37 3 18 彙報 内衛日・大三報書 40 96 1904 明治37 3 18 業報 大三報書 有 40 57名 <	96	1904		3	18	文苑	〔和歌「時事の感」3首〕	河上市蔵	32	
96 1904 明治37 3 18 彙報 春季大祭と万人参 37 96 1904 明治37 3 18 彙報 二十年紀念祭 37 96 1904 明治37 3 18 彙報 三十年紀念祭 37 96 1904 明治37 3 18 彙報 宮長の帰庁 38 岡山宗忠神社 96 1904 明治37 3 18 彙報 各軍隊慰問 38 数万体の御守を携え1~12師団・近衛師団・4鎮守府・松山・福知山旅団・鳥取・土佐聯隊に 96 1904 明治37 3 18 彙報 杉島教正の飛檄 39 神戸小教会所の杉島信城 96 1904 明治37 3 18 彙報 杉島教正の飛檄 39 神戸小教会所の杉島信城 96 1904 明治37 3 18 彙報 斉特の信徒 40 96 1904 明治37 3 18 彙報 大元報賽講加盟人員 40 57名 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 伊本長廃止の令旨 41 41 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 世界上の令旨	96	1904		3	18	小説				
96 1904 明治37 3 18 彙報 二十年紀念祭 37 96 1904 明治37 3 18 彙報 管長の帰庁 37 96 1904 明治37 3 18 彙報 国威宣揚祈念 38 岡山宗忠神社 96 1904 明治37 3 18 彙報 本事務財 名軍隊財団・4鎮守府・松山・福知山旅団・鳥取・土佐聯隊に 96 1904 明治37 3 18 彙報 本移政・土佐聯隊に 96 1904 明治37 3 18 彙報 本務・大元報養講加盟人員 本の	96	1904								
96 1904 明治37 3 18 彙報 管長の帰庁 37 96 1904 明治37 3 18 彙報 国威宣揚祈念 38 勘口宗忠神社 96 1904 明治37 3 18 彙報 各軍隊慰問 38 数万体の御守を携え1~12師団・近衛師団・4鎮守府・松山・福知山旅団・鳥取・土佐聯隊に 96 1904 明治37 3 18 彙報 杉島教正の飛檄 39 神戸小教会所の杉島信城 96 1904 明治37 3 18 彙報 列国勇士の葬儀 40 96 1904 明治37 3 18 彙報 方特の信徒 40 96 1904 明治37 3 18 彙報 大元報賽請加盟人員 40 57名 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 御聖徳 41 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 供奉長廃止の令旨 41 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 生本子殿下の御蔵武 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 生本子殿下の御蔵武 96 1904	96	1904	明治37	3	18	彙報				
96 1904 明治37 3 18 彙報 国威宣揚祈念 38 数万体の御守を携え1~12師団・近衛師団・4鎮守府・松山・福知山旅団・鳥取・土佐聯隊に 96 1904 明治37 3 18 彙報 軍資金献納 38 96 1904 明治37 3 18 彙報 杉島教正の飛檄 39 神戸小教会所の杉島信城 96 1904 明治37 3 18 彙報 村田小教会所の杉島信城 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 57名 40 40 57名 40 57名 41 40 57名 41 41 41 42 <	96	1904								
96 1904 明治37 3 18 彙報 各軍隊慰問 38 数万体の御守を携え1~12師団・近衛師団・4鎮守府・松山・福知山旅団・鳥取・土佐聯隊に 96 1904 明治37 3 18 彙報 軍資金献納 38 96 1904 明治37 3 18 彙報 杉島教正の飛檄 39 神戸小教会所の杉島信城 96 1904 明治37 3 18 彙報 列国勇士の葬儀 40 96 1904 明治37 3 18 彙報 大元報賽講加盟人員 40 57名 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 御聖徳 41 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇太子殿下御勤務 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇族の御威武 42 96	96	1904		3	18	彙報				
Yunion Yunion	96	1904					国威宣揚祈念		38	
96 1904 明治37 3 18 彙報 軍資金献納 38 96 1904 明治37 3 18 彙報 杉島教正の飛檄 39 神戸小教会所の杉島信城 96 1904 明治37 3 18 彙報 角国勇士の葬儀 40 96 1904 明治37 3 18 彙報 方行名 96 1904 明治37 3 18 延露風雲録 御聖徳 41 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 供奉長廃止の令旨 41 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇太子殿下御勤務 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇族の御威武 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇族の御威武 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇族の御蔵武 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇族の御蔵武 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録	96	1904	明治37	3	18	彙報	各軍隊慰問		38	数万体の御守を携え1~12師団・近衛師団・4鎮守府・
96 1904 明治37 3 18 彙報 杉島教正の飛檄 39 神戸小教会所の杉島信城 96 1904 明治37 3 18 彙報 有特の信徒 40 96 1904 明治37 3 18 彙報 大元報賽講加盟人員 40 57名 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 御聖徳 41 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 供奉長廃止の令旨 41 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇太子殿下御勤務 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇族の御威武 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇族の御蔵武 42 96 1904 明治37 3										松山・福知山旅団・鳥取・土佐聯隊に
96 1904 明治37 3 18 彙報 杉島教正の飛檄 39 神戸小教会所の杉島信城 96 1904 明治37 3 18 彙報 有特の信徒 40 96 1904 明治37 3 18 彙報 大元報賽講加盟人員 40 57名 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 御聖徳 41 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 供奉長廃止の令旨 41 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇太子殿下御勤務 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇族の御威武 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 雪子女王殿下の御成 42	96	1904			18	彙報			38	
96 1904 明治37 3 18 彙報 奇特の信徒 40 96 1904 明治37 3 18 彙報 大元報賽講加盟人員 40 57名 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 御聖徳 41 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇太子殿下御勤務 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇族の御威武 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇族の御威武 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 雪子女王殿下の御仁恤 42	96	1904		3	18	彙報	杉島教正の飛檄		39	神戸小教会所の杉島信城
96 1904 明治37 3 18 彙報 奇特の信徒 40 96 1904 明治37 3 18 彙報 大元報賽講加盟人員 40 57名 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 御聖徳 41 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇太子殿下御勤務 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇族の御威武 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇族の御威武 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 雪子女王殿下の御仁恤 42	96	1904		3	18	彙報			40	
96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 御聖徳 41 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 供奉長廃止の令旨 41 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇太子殿下御勤務 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇族の御威武 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 雪子女王殿下の御仁恤 42	96	1904		3	18	彙報			40	
96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 供奉長廃止の令旨 41 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇太子殿下御勤務 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇族の御威武 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 雪子女王殿下の御仁恤 42	96	1904							40	57名
96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇太子殿下御勤務 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇族の御威武 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 雪子女王殿下の御仁恤 42	96	1904		3					41	
96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 皇族の御威武 42 96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 雪子女王殿下の御仁恤 42	96	1904								
96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 雪子女王殿下の御仁恤 42	96	1904								
	96	1904					皇族の御威武		42	
96 1904 明治37 3 18 征露風雲録 宣戦奉告祭 42 42	96	1904					雪子女王殿下の御仁恤		42	
	96	1904	明治37	3	18	征露風雲録	宣戦奉告祭		42	

00	1004	пр: <u>До</u> л	2	10	红鹿鼠毒组	官国幣社へ奉告		40	T 1
96	1904	明治37			征露風雲録			43	
96	1904	明治37	3		征露風雲録	内務省訓令		43	
96	1904	明治37			征露風雲録	決死隊員の血書		44	
96	1904	明治37			征露風雲録	死を以て甥を励ます		44	
96	1904	明治37			征露風雲録	按摩の篤志		44	
96	1904	明治37			征露風雲録	娘に従軍を勧む		44	
96	1904	明治37			征露風雲録	力士の従軍願		45	
96	1904	明治37			征露風雲録	米国婦人応援願		45	
96	1904	明治37			征露風雲録	戦使の奇瑞		46	
96	1904	明治37			社告	[今回征露ノ戦争ニ関シテハ稜威ノ発揚スル…]	国の教雑誌社	47	
96	1904	明治37	3		社告	国の教雑誌社取次販売書目		47	
96	1904	明治37	3	18	社告	道歌募集広告	国の教雑誌社	48	
96	1904	明治37	3		広告	14件		49	
97	1904	明治37	4		巻首	神勅		1	
97	1904	明治37	4		巻首	訓誡		1	
97	1904	明治37	4		本庁告文	達第二号	黒住教本庁	3	布教費の賦課決定につき
97	1904	明治37	4		本庁告文	告示第七号	黒住教本庁	3	布教拡張費賦科規程·醵金納付規定
97	1904	明治37	4	18	本庁告文	告示第八号	黒住教本庁	4	説教所は5年・講社は3年以内に上級組織に昇格でき
									なければ閉鎖する
97	1904	明治37	4	18	本庁告文	告示第九号	黒住教本庁	5	醵金増額につき
97	1904	明治37	4		本庁告文	告示第十号	黒住教本庁	5	特派募集委員廃止につき
97	1904	明治37	4		社説	謹んて詔勅を拝読す(承前)		6	
97	1904	明治37	4		道の栞	教の文		8	
97	1904	明治37	4	18	道の栞	神代の巻講釈(承前)	美作 直原清四郎	8	
97	1904	明治37		18	道の栞	赤木大人詠		10	
97	1904	明治37	4		道の栞	大国大人詠		10	
97	1904	明治37	4	18	講演	実を結ばぬ樹	西川漁夫	10	
97	1904	明治37	4		講演	外国と交戦したる話	伊勢 山崎寿	11	
97	1904	明治37	4	18	史伝	贈大講義山本甲女の略伝(承前)		12	
97	1904	明治37	4	18	寄書	寡聞多言録(第十四回)	魂陽学人福井彦次郎寄	14	
97	1904	明治37	4		寄書	本心と私心の区別(二十五)	不動	16	
97	1904	明治37	4	18	雑録	或問答弁(承前)		19	
97	1904	明治37	4	18	雑録	七箇条鏡草(承前)		19	
97	1904	明治37	4	18	雑録	宗忠神社(承前)	不二行者	21	『大阪朝日新聞』掲載の「吉備団子」より抜粋転載
97	1904	明治37	4	18	雑録	内藤学説の節約(承前)		22	
97	1904	明治37			霊験	迷夢を披いて御蔭を受く		23	
97	1904	明治37	4	18	霊験	自活して難病癒ゆ		24	
97	1904	明治37	4	18	文苑	宗忠神社献詠和歌	伊予 清水篤郎ほか	26	「月前花」30首・「庭松」25首、投稿は209首
97	1904	明治37	4		小説	少年団(下)		29	挿絵に色鉛筆で彩色書き込みあり
97	1904	明治37	4		彙報	聖上御精励		32	
97	1904	明治37	4		彙報	東宮下賜金		33	
97	1904	明治37	4	18	彙報	春季皇霊祭		33	
97	1904	明治37	4	18	彙報	神武天皇祭		33	
97	1904	明治37	4	18	彙報	教祖祭		33	
97	1904	明治37	4		彙報	神輿の渡御		34	
97	1904	明治37	4		彙報	日拝直会式		34	
-					1				L

97	1904	明治37			彙報	敵国降伏祈年祭		34	宗忠神社にて、来賓は県書記官・中学校長・御津郡 長・黒住県会議員ら
97	1904	明治37	4	18	彙報	万人参		35	
97	1904	明治37	4	18	彙報	二十年紀念祭		35	
97	1904	明治37	4	18	彙報	出張所の向運		35	
97	1904	明治37	4	18	彙報	黒住教説教会(第二回)		35	伊予国黒住教説教会、西条にて
97	1904	明治37	4	18	彙報	天心号拝戴者		36	
97	1904	明治37	4	18	彙報	軍隊布教志願者		36	
97	1904	明治37	4	18	彙報	軍隊慰問		36	
97	1904	明治37	4	18	彙報	大遥灯献納		37	
97	1904	明治37	4	18	彙報	西薇山翁の葬儀		37	
97	1904	明治37	4	18	彙報	信教の自由と文明国民		38	
97	1904	明治37	4	18	彙報	管長の出張		40	
97	1904	明治37	4		彙報	三木教正の布教		40	
97	1904	明治37	4	18	彙報	大元報賽講加盟人員		40	70名
97	1904	明治37	4	18	辞令	(明治37年2月・3月分、補権大教正~試補)		41	
97	1904	明治37	4	18	征露風雲録	御下賜金		42	
97	1904	明治37	4		征露風雲録	義眼義手足の下賜		42	
97	1904	明治37	4		征露風雲録	山階少佐宮		43	
97	1904	明治37	4	18	征露風雲録	高千穂山の霊異		43	
97	1904	明治37	4		征露風雲録	天佑なるか		43	
97	1904	明治37	4	18	征露風雲録	清人日本の勝利を神に祈る		44	
97	1904	明治37	4		征露風雲録	睾丸無異状		44	
97	1904	明治37	4	18	征露風雲録	敵艦跳入の勇士		44	
97	1904	明治37	4		征露風雲録	面白や二十四年の腕ためし		45	
97	1904	明治37	4	18	社告	寄贈金広告	国の教雑誌社	46	
97	1904	明治37	4	18	社告	国の教雑誌社取次販売書目		46	
97	1904	明治37	4	18	社告	道のいろは	国の教雑誌社	47	
97	1904	明治37	4	18	広告	12件		47	
98	1904	明治37	5	18	巻首	神勅		1	
98	1904	明治37	5		巻首	訓誡		2	
98	1904	明治37	5	18	本庁告文	達第三号	黒住教管長黒住宗子	3	舞鶴中教会所附属の小教会所・説教所設定
98	1904	明治37	5		本庁告文	達第四号	黒住教管長黒住宗子	3	長崎中教会所附属の小教会所・説教所設定
98	1904	明治37	5		本庁告文	達第五号	黒住教管長黒住宗子	4	神楽岡中教会所附属の小教会所・説教所設定
98	1904	明治37	5		本庁告文	達第六号	黒住教管長黒住宗子	4	高草中教会所附属の小教会所・説教所設定
98	1904	明治37			本庁告文	告示第十一号	黒住教本庁	5	神文の捧呈につき
98	1904	明治37	5		本庁告文	〔人事につき3件〕	黒住教本庁	5	
98	1904	明治37	5		本庁告文	号外	黒住教本庁	5	中教正森下昇を名乗る偽教師が愛媛大洲を徘徊・誑惑につき注意
98	1904	明治37	5		社説	謹て詔勅を拝読す(承前)		6	
98	1904	明治37	5		道の栞	教の文		9	
98	1904	明治37	5	18	道の栞	神代の巻講釈	美作 直原清四郎	10	
98	1904	明治37	5	18	道の栞	赤木大人詠		11	
98	1904	明治37	5		道の栞	大国大人詠		11	
98	1904	明治37	5	18	講演	老翁の感化	西川漁夫	12	
98	1904	明治37	5		講演	我国尚武の起因	伊勢 山崎寿講話	15	

- 00	1001	UU 1/2 0.7	_	40	- I-			47	
98	1904	明治37			史伝	贈大講義山本甲女の伝(承前)	-0.00 24 1 15 11 25 15 20 20	17	
98	1904	明治37	5		寄書	寡聞多言録(第十五回)	魂陽学人福井彦次郎寄	19	
98	1904	明治37			寄書	本心と私心の区別(二十六)	不動	21	
98	1904	明治37	5		雑録	或問答弁(承前)		23	
98	1904	明治37	5		雑録	七ヶ条鏡草(承前)		24	
98	1904	明治37	5		雑録	内藤学説の節約(承前)		26	『大阪朝日新聞』掲載の「吉備団子」より抜粋転載
98	1904	明治37	5		雑録	宗忠神社(承前)		27	
98	1904	明治37			霊験	鎮魂の態度病に屈せず		28	
98	1904	明治37	5		霊験	誠心刃も徹らす		30	
98	1904	明治37	5	18	文苑	宗忠神社献詠和歌	備中 久本九一ほか	32	「首夏川」27首・「楠正行」10首、投稿は216首
98	1904	明治37	5		小説	· 唯普良	椋道人	34	
98	1904	明治37	5		彙報	管長慰問せらる		38	
98	1904	明治37			彙報	中教会所と其部属		38	
98	1904	明治37	5		彙報	御神楽奉奏		38	
98	1904	明治37			彙報	国威宣揚祈念		38	
98	1904	明治37	5		彙報	新築落成の祝祭		39	舞鶴中教会所
98	1904	明治37			彙報	大元報賽講加盟者		39	58名
98	1904	明治37			辞令	(明治37年4月分、補権中教正~試補)		40	
98	1904	明治37			征露風雲録	陛下の大御心(出征軍人の飲食物を検し給ふ)		42	
98	1904	明治37			征露風雲録	救護事業御奨励		42	
98	1904	明治37			征露風雲録	東宮の御励精		43	
98	1904	明治37	5		征露風雲録	内親王殿下の御高徳		43	
98	1904	明治37	5		征露風雲録	寔に天佑なる哉		44	
98	1904	明治37			征露風雲録	壮烈沈勇の態度		45	
98	1904	明治37			征露風雲録	広瀬中佐紀念銅像		45	
98	1904	明治37			征露風雲録	林兵曹の血書		45	
98	1904	明治37	5		征露風雲録	青年の志士		46	
98	1904	明治37	5		征露風雲録	日本宗教家大会		47	
98	1904	明治37	5		征露風雲録	忠勇顕彰会		47	
98	1904	明治37	5		社告	新刊寄贈		47	
98	1904	明治37			社告	国の教雑誌社取次販売書目		48	
98	1904	明治37	5		社告	道のいろは	国の教雑誌社	48	
98	1904	明治37			広告	10件		48	
99	1904	明治37	6		巻首	神勅		1	
99	1904	明治37	6		巻首	訓誡		2	
99	1904	明治37	6	18	本庁告文	告示第一二号	黒住教本庁	3	特派宣教使・禁厭術相伝許可中教会長の願書に神酒 料納付義務化
99	1904	明治37	6	18	本庁告文	告示第一三号	黒住教本庁	3	禁厭伝授希望への許可に際し手続き厳格化
99	1904	明治37	6	18	本庁告文	告示第一四号	黒住教本庁	4	教師・教導職試補の管轄外転居届け出につき
99	1904	明治37			本庁告文	告示第一五号	黒住教本庁	4	報賽料納入の手続きにつき
99	1904	明治37			本庁告文	告示第一六号	黒住教本庁	5	特派募集委員廃止につき
99	1904	明治37	6		本庁告文	告示第一七号	黒住教本庁	5	宇治山田地方で神宮の事業を騙る・戦勝祈願を名目とする勧財事例につき管長へ内務省宗教局長注意
99	1904	明治37	6	18	本庁告文	告示第一七号	黒住教本庁	5	諸願伺書への肩書付記を義務化
99	1904	明治37	6		本庁告文	告示第一八号	黒住教本庁	6	従軍中の教師は醵金免除
99	1904	明治37	6		本庁告文	告示第一九号	黒住教本庁	6	教師検定試験出願時に試験料添付のこと
<u> </u>									

	1904	明治37			本庁告文	達第七号	黒住教本庁	6	奈良中教会所長の府下整理委員任命、府下各所講 は同所長の奥書得たうえで願・何を出すこと
99	1904	明治37		18	社説	謹んて詔勅を拝読す(承前)		7	
99	1904	明治37	6		道の栞	教の文		9	
99	1904	明治37	6		講演	神代の巻講釈(承前)	直原清四郎	10	
99	1904	明治37	6		講演	金の華表	西川漁夫	11	
99	1904	明治37	6		史伝	贈大教正清水正太郎翁小伝	権中教正片山雄三著述·中教正 片山秀実校正	12	
99	1904	明治37			寄書	寡聞多言録 第十六回	魂陽学人福井彦次郎寄	15	
99	1904	明治37	6		雑録	或問答弁(承前)		17	
99	1904	明治37	6		雑録	七ヶ条鏡草(承前)		18	
99	1904	明治37			雑録	内藤学説の節約(承前)		20	
99	1904	明治37	6		雑録	宗忠神社(承前)	不二行者	21	
99	1904	明治37			霊験	鎮魂の態度病に屈せす(承前)		22	
99	1904	明治37	6	18	霊験	一度の禁厭に重病治す		24	
99	1904	明治37	6		文苑	宗忠神社献詠和歌	灘の浦 勇武夫ほか	25	「五月雨」30首・「夕雲」11首ほか、投稿は167首
99	1904	明治37	6	18	小説	唵普良	椋道人	28	
99	1904	明治37	6		彙報	戦勝祈念		31	
99	1904	明治37	6	18	彙報	全上		32	
99	1904	明治37	6	18	彙報	戦死者葬儀		32	
99	1904	明治37	6		辞令	(明治37年5月分・補権少教正~試補)		32	
99	1904	明治37	6		征露風雲録	皇后陛下の御高徳		33	
99	1904	明治37	6	18	征露風雲録	両殿下及観戦武官		33	
99	1904	明治37	6		征露風雲録	日本宗教家大会		34	日露戦争を帝国安全・東洋永遠平和・文明正義人道 のものと認めつつ「交戦の神葬を宇内に表明し以て速 に光栄ある平和の克復を見んことを望む」
99	1904	明治37	6	18	征露風雲録	目出度き勇士		34	
99	1904	明治37	6	18	征露風雲録	雪中河中に入りて働く		35	
99	1904	明治37	6	18	征露風雲録	裸体徒渉の勇士		35	
99	1904	明治37			征露風雲録	病兵の勇奮		36	
99	1904	明治37			征露風雲録	危機一髪		36	
99	1904	明治37	6	18	征露風雲録	戦友を救ふ		36	
99	1904	明治37			征露風雲録	全村婦人の断髪		37	
99	1904	明治37			征露風雲録	露人我閉塞勇士を激称す		37	
99	1904	明治37			征露風雲録	掃海の出願		38	
99	1904	明治37			征露風雲録	頸飾と腕環		38	
99	1904	明治37		18	社告	新刊寄贈		38	
99	1904	明治37	6	18	社告	国の教雑誌社取次販売書目		39	
99	1904	明治37	6	18	社告	〔来ル宗忠神社禊祭ノ節ハ…〕		40	
99	1904	明治37	6	18	広告	11件		40	
100	1904	明治37	7	18	神勅			1	
100	1904	明治37	7	18	訓誡			2	
100	1904	明治37	7		国の教	権自紫府 沢迨海浜		3	河上忠晶作の賛辞の解釈
100	1904	明治37	7		本庁告文	告示第二三号		5	教典取調委員選出につき
100	1904	明治37	7		本庁告文	告示第二四号		6	日露戦争大招魂祭開催につき信徒は遺族・縁故者と 参拝すべし、敵国戦死者の霊もあわせて招魂吊慰

100	1904	明治37	7	18	本庁告文	告示第二五号		6	大祓祭における中国鉄道割引につき
100	1904	明治37	7		本庁告文	司第壱号		7	本教功労者の氏名原簿の洪水等による損傷で再作成、ついては当該氏名等取調べ至急提出願う
100	1904	明治37	7		社説	第百号の発刊に就いて		7	
100	1904	明治37	7		道の栞	教の文		10	
100	1904	明治37	7		道の栞	神詠歳旦		10	
100	1904	明治37	7		道の栞	赤木大人詠		10	
100	1904	明治37	7		講演	河上忠晶先生の講辞(遺書摘出)		10	
100	1904	明治37	7		講演	神代の巻講釈	美作 直原清四郎	12	
100	1904	明治37	7	18	史伝	贈大教正清水正太郎翁小伝(承前)	権中教正片山雄三著述·中教正 片山秀実校正	12	
100	1904	明治37	7	18	寄書	国の教第百号発刊を祝いて	伊勢 竹廼舎主人	14	
100	1904	明治37	7	18	寄書	寡聞多言録 第十七回	魂陽学人福井彦次郎寄	15	
100	1904	明治37	7		寄書	涙を拭いて本教信徒諸君に白す	岡山 大村藤次郎	16	
100	1904	明治37	7	18	寄書	私淑漫語	和魂学人	18	
100	1904	明治37	7		寄書	吉凶往変る事に就いて	伊予 三瀬伊豆戈	19	
100	1904	明治37	7	18	雑録	内藤学説の節約 (承前)		21	
100	1904	明治37	7	18	雑録	或問答弁 (承前)		22	
100	1904	明治37	7		雑録	七ヶ条鏡草 (承前)		23	
100	1904	明治37	7	18	霊験	蘇生の神徳を蒙る		25	
100	1904	明治37	7	18	霊験	強固の信仰一眼を得る		27	
100	1904	明治37	7		文苑	国の教第百号発刊を祝ひて	岡山 加藤秀徹ほか	28	和歌22首
100	1904	明治37	7	18	文苑	宗忠神社献詠和歌	備後 金原俊子ほか	29	「松下宗」25首・「名所」16首
100	1904	明治37	7		小説	唵普良	椋道人	31	
100	1904	明治37	7	18	彙報	節折大祓		35	
100	1904	明治37	7		彙報	東宮妃殿下御誕辰		35	
100	1904	明治37	7		彙報	宗忠神社大祭		37	
100	1904	明治37	7	18	彙報	大祓祭と中国鉄道		37	
100	1904	明治37	7		彙報	大招魂祭		37	
100	1904	明治37	7		彙報	壱岐国巡回の始末		37	巡回教師井ノロ要六の報告
100	1904	明治37	7		征露風雲録	繃帯恩賜		38	
100	1904	明治37	7	18	征露風雲録	御避暑廃止		38	
100	1904	明治37	7		征露風雲録	山村中佐の雅懐		38	
100	1904	明治37	7		征露風雲録	一寸行つて来る		39	
100	1904	明治37	7	18	征露風雲録	僕の決心は是た		39	
100	1904	明治37	7	18	征露風雲録	豪胆なる野村少尉		39	
100	1904	明治37	7	18	征露風雲録	荒尾機関長の壮烈		40	
100	1904	明治37	7		征露風雲録	血染の日章旗		40	
100	1904	明治37	7		征露風雲録	南山の大達磨		41	
100	1904	明治37	7	18	社告	5件		42	
100	1904	明治37	7	18	広告	11件		44	
101	1904	明治37	8		巻首	神勅		1	
101	1904	明治37	8	18	巻首	訓誡		2	
101	1904	明治37	8		本庁告文	達第八号	黒住教本庁	3	天一講社仮説教場閉鎖につき
101	1904	明治37	8		本庁告文	達第九号	黒住教本庁	3	金沢小教会所の改称につき
101	1904	明治37	8		本庁告文	告示第二〇号	黒住教本庁	3	諸願伺届書などの提出につき

101	1904	明治37			本庁告文	告示第二一号	黒住教本庁	4	高松小教会所長大講義森田喜次郎を黒住教東讃事 務取締委員長に任命
101	1904	明治37			本庁告文	告示第二二号	黒住教本庁	4	丸亀小教会所長権中教正沼野歌太を黒住教西讃事 務取締委員長に任命
101	1904	明治37	8	18	本庁告文	告示第二七号	黒住教本庁	5	日露戦争で神徳を被る者の実談の収集につき
101	1904	明治37	8		社説	黒住教々師養成の発表		6	
101	1904	明治37	8	18	道の栞	教の文		8	
101	1904	明治37	8	18	道の栞	神詠		8	
101	1904	明治37	8	18	道の栞	赤木大人の発句		8	
101	1904	明治37	8		講演	布袋和尚の話	西川漁夫	8	
101	1904	明治37	8		講演	神代の巻講釈	美作 直原清四郎	9	
101	1904	明治37			史伝	贈大教正清水正太郎翁小伝(承前)	権中教正片山雄三著述·中教正 片山秀実校正	10	
101	1904	明治37			寄書	寡聞多言録 第十八回	魂陽学人福井彦次郎寄	12	
101	1904	明治37	8	18	寄書	修養座談 其一	かくれをのこ	15	
101	1904	明治37	8		寄書	一心の妙用	伊予 三瀬伊豆戈	17	
101	1904	明治37	8	18	雑録	道の栞略解		19	
101	1904	明治37	8	18	雑録	誠を取外すな		20	
101	1904	明治37	8	18	雑録	七ヶ条鏡草(承前)		21	
101	1904	明治37		18	霊験	一信剣難を脱す		22	
101	1904	明治37	8		霊験	濃霧晴れて神徳を被る		23	
101	1904	明治37	8	18	文苑	宗忠神社献詠和歌	備中 小野松蔭ほか	25	「水辺萩」29首・「聞恋」15首
101	1904	明治37	8		小説	高山正之	椋道人	27	
101	1904	明治37	8	18	彙報	禊祭		30	
101	1904	明治37	8		彙報	教師養成所設立		32	
101	1904	明治37	8		彙報	遷座式と開講式		33	
101	1904	明治37			辞令	(明治37年8月分·教師養成所講授~補少教正)		34	
101	1904	明治37			砲声余響	聖旨優渥		36	
101	1904	明治37	8		砲声余響	大将宮遺族を犒はせ給ふ		36	
101	1904	明治37	8	18	砲声余響	旅順港外の海戦		37	
101	1904	明治37	8	18	砲声余響	紀念の守札		37	
101	1904	明治37			砲声余響	一隊挙で氏神に告別す		37	
101	1904	明治37			砲声余響	怪鳥群鳥に攻撃さる		38	
101	1904	明治37			砲声余響	満州の雨季と支那人の談話		38	
101	1904	明治37	8	18	砲声余響	軍刀を貸して呉れ		39	
101	1904	明治37			砲声余響	敵を生擒せる勇敢伍長		39	
101	1904	明治37			砲声余響	死体を負うて還る		39	
101	1904	明治37	8		砲声余響	郵便夫激戦地に飛込む		39	
101	1904	明治37	8		砲声余響	名誉の両夫人		40	
101	1904	明治37	8	18	砲声余響	我軍隊の健康		40	
101	1904	明治37			砲声余響	従軍武官の感嘆		40	
101	1904	明治37		18	砲声余響	黒髪の草鞋		41	
101	1904	明治37	8		砲声余響	三井家の美挙		41	
101	1904	明治37			本庁告文追加	達第一〇号	黒住教本庁黒住宗子	41	諮詢会廃止の件につき
101	1904	明治37			社告	新刊寄贈		42	
101	1904	明治37	8	18	社告	本社への寄贈金広告		42	

101	1904	明治37	8	18	社告	国の教雑誌社取次販売書目		43	
101	1904	明治37	8		広告	8件		44	
102	1904	明治37	9	18	巻首	神勅		77	
102	1904	明治37	9		巻首	訓誡			
102	1904	明治37	9	10	社告	本誌改良予告	国の教雑誌社		
102	1904	明治37	9	10	社告	移転広告	国の教雑誌社		
102	1904	明治37	9		社説	分心の活動力	四の教権 心仁	3	
		明治37	9		道の栞	教の文			
102	1904					神詠		6	
102	1904	明治37 明治37	9	18	道の栞 道の栞	────────────────────────────────────		6	
102	1904	明治37	9 9	10	道の栞	宗篤神詠			
102	1904							6	
102	1904	明治37	9	18	道の栞	森下大人詠	亚山发土	6	
102	1904	明治37	9		講演	布袋和尚の話(承前)	西川漁夫	6	
102	1904	明治37	9		講演	神代の巻講釈	美作 直原清四郎	8	
102	1904	明治37	9	18	史伝	贈大教正清水正太郎翁小伝(承前)	権中教正片山雄三著述·中教正 片山秀実校正	9	
102	1904	明治37	9	18	寄書	寡聞多言録(第十九回)	魂陽学人福井彦次郎寄	11	
102	1904	明治37	9	18	寄書	自殺者を救へ	東京陸軍予備病院入院中岸本 忠泰	13	
102	1904	明治37	9	18	寄書	国民の声	岡山 大村藤次郎	15	
102	1904	明治37	9	18	寄書	断雲録	森思誠道人	17	
102	1904	明治37	9		寄書	修養座談(其二)	かくれをのこ	18	
102	1904	明治37	9	18	雑録	誠の心伝略解	贈大教正星島良平先生述	22	
102	1904	明治37	9		雑録	七ヶ条鏡草(承前)	故矢野玄道稿	23	
102	1904	明治37	9	18	雑録	一身の分限	美作 安藤十朗稿	25	
102	1904	明治37	9		霊験	六年の痼疾		25	
102	1904	明治37	9		文苑	宗忠神社献詠和歌	備中 久本卓一ほか	28	「月下興」9首・「山家」15首
102	1904	明治37	9	18	文苑	〔和歌「竹間月」1首〕	従六位宮地巌夫	29	
102	1904	明治37	9		小説	高山正之	椋道人	29	
102	1904	明治37	9	18	雑纂	祝捷祭執行	1000	33	
102	1904	明治37	9	18	雑纂	高草中教会所の景況		33	
102	1904	明治37	9		雑纂	負担金納付と謝状		34	
102	1904	明治37	9		雑纂	戦捷祈念		34	
102	1904	明治37	9		雑纂	戦地鳩信	藤原武太	34	上道郡沖田村藤原武太から同郡三蟠村操南小教会 教師松田玉次郎へ宛てた書簡
102	1904	明治37	9	18	雑纂	戦地鳩信	佐藤芳太	35	岡山市橋本町佐藤徳三郎の息子・佐藤芳太による両 親・弟宛書簡
102	1904	明治37	9	18	雑纂	伏見宮博恭王殿下		36	
102	1904	明治37	9		雑纂	上村艦隊激戦零報		37	
102	1904	明治37	9		雑纂	敵艦捕獲実況		38	
102	1904	明治37	9		雑纂	東郷大将軍の弾痕		38	
102	1904	明治37	9		雑纂	稲作と出征軍人		39	
102	1904	明治37	9	18	雑纂	工女の献金		39	
102	1904	明治37	9		雑纂	八百の囚人軍資を献ぜんとず		40	
102	1904	明治37	9		雑纂	独帝の令達		40	
102	1904	明治37	9		雑纂	露国文士の感賞		40	
		,,,,	•	. •	11	120-7-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-			

102	1904	明治37	9	10	雑纂	金券を伊侯に託す		40	
102	1904	明治37	9		杜素 雑纂			41	
102	1904	明治37		10	推秦 雑纂	戦時における地方の経営 一地方公共植林及砂防事業と戦時の紀念		41	
	1904	明治37			推秦 雑纂	日欧人の布教			
102		明治37						43 44	 静岡小教会所への授賞
102	1904				雑纂	授賞			前両小教会所への投真
102	1904	明治37			社告	新刊寄贈		44	
102	1904	明治37			社告	(雑誌の延滞代金の催促)		44	
102	1904	明治37			社告	国の教雑誌社取次販売書目		45	
102	1904	明治37			社告	(真筆懐中神号の分与につき)		46	(A=# (A) (A + 4c A + 1)
102	1904	明治37			広告	9件		46	弁護士従六位森権六など
103	1904	明治37			巻首	神勅			
103	1904	明治37			巻首	訓誡			
103	1904	明治37			社告	(受領証雛形の公告)	国の教雑誌社		
103	1904	明治37			社告	本号の御断り			
103	1904	明治37			社告	移転広告			
103	1904	明治37			道の栞	河上忠晶先生遺書の摘節		3	
103	1904	明治37	10	25	社説	謹んて神訓を誦す	出づる気	6	
103	1904	明治37			寄書	大阪事件に就て	日下布衣男	9	
103	1904	明治37	10	25	寄書	真正の学問	小田垣彦三郎	12	
103	1904	明治37	10	25	寄書	国民の声の反響	洛陽神楽岡 井上生投	16	
103	1904	明治37			講演	神詠	西川漁夫	20	
103	1904	明治37	10	25	史伝	新太郎少将光政		22	
103	1904	明治37			霊験	〔長崎市西上町五十九番戸居住…〕		25	
103	1904	明治37	10	25	雑纂	寡聞多言録(第二十回)	魂陽学人福井彦次郎寄	26	
103	1904	明治37			雑纂	戦時に於ける日本	ジョージケンナン	28	
103	1904	明治37			文苑	宗忠神社献詠和歌	備中 磯部次郎ほか	31	「山家菊」32首・「契沖」11首
103	1904	明治37	10	25	文苑	古今和歌集の中に	細石舎則孝	33	
103	1904	明治37			彙報	教師養成所の開業式		34	
103	1904	明治37	10	25	彙報	授業開始		35	
103	1904	明治37			彙報	黒住教大説教会(第四回)		36	
103	1904	明治37			彙報	大勝報告祭		37	鳥取県西伯郡境町黒住教境教社において
103	1904	明治37			彙報	京都神楽岡		37	大唐獅の建設の発起につき
103	1904	明治37			時報	勅語下賜		38	
103	1904	明治37			時報	戦捷御報告		38	
103	1904	明治37			時報	看護に謝す		42	
103	1904	明治37			時報	神聖なる献金		43	
103	1904	明治37	10	25	時報	米人皇軍を稿ふ		44	
103	1904	明治37			時報	波蘭社会党の檄文		44	
103	1904	明治37			時報	陣中のサノサ節		45	
103	1904	明治37			時報	米国婦人の篤志		45	
103	1904	明治37	10	25	時報	誠友会設立の趣意		46	
103	1904	明治37	10	25	社告	新刊寄贈		47	
103	1904	明治37	10	25	社告	[真筆懐中神号の分与につき]	国の教雑誌社	47	
103	1904	明治37			社告	寄稿を望む	国の教雑誌社	47	
103	1904	明治37			社告	国の教雑誌社取次販売書目		48	
103	1904	明治37	10			5件		49	旅館小林本店など
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			·- · -	1 **			The same of the sa

104	1904	明治37	11	20	巻首	御製		1	
104	1904	明治37			挿絵			2	
104	1904	明治37						3	
104	1904	明治37			道の栞	神詠		5	
		明治37				11 6.1			
104	1904				社説	治病は我徒の天職なり	*************************************	6	
104	1904	明治37			論説	日本人	故黒住教総理従二位子爵岩下 方平	8	
104	1904	明治37			講演	形は家来なり	向陽道人	10	
104	1904	明治37			講演	神代の巻講釈	美作 直原清四郎寄稿	11	
104	1904	明治37	11		史伝	五瀬命	小伝管岱	13	
104	1904	明治37	11		寄稿	宗教家と修養	伯耆 岸本忠泰	15	
104	1904	明治37	11		寄稿	霊験の説	伊勢 竹廼舎寿寄稿	16	
104	1904	明治37			寄稿	肉体諸共生通しの真理	岡山 一信徒	17	
104	1904	明治37	11	30	雑録	繁り栄ふ金枝玉葉		19	
104	1904	明治37	11	30	雑録	天長節と神嘗祭の起源	管の家	22	
104	1904	明治37	11	30	雑録	〔左記御書簡は堺市甲斐町鉛屋儀兵衛氏の…〕	森思陽	24	教祖の書簡と野山忠成の書面
104	1904	明治37	11	30	雑録	斯道の起源	美作 安藤十郎稿	26	
104	1904	明治37	11		雑録	譚海	森思陽	27	
104	1904	明治37	11	30	霊験	兵士影井馬太郎の天佑		28	
104	1904	明治37	11		霊験	〔丹後国加佐郡丸八江村字丸田…〕		29	
104	1904	明治37	11		文苑	宗忠神社献詠和歌	則孝ほか	30	「庭落葉」59首・「閑居」51首
104	1904	明治37	11		小説	雪の花	らんまる	34	
104	1904	明治37	11	30	教報	本庁告文(達第十二号)	黒住教管長黒住宗子		内務大臣よりの訓示につき
104	1904	明治37			教報	本庁告文(司第五号)	黒住教本庁司教課		教典編纂につき
104	1904	明治37			教報	本庁告文(教第一四三号)	黒住教本庁教務課		御籠者につき
104	1904	明治37	11		教報	本庁告文(教第一四四号)	黒住教本庁教務課	41	本庁より発する諸達告示等につき
104	1904	明治37			教報	本庁告文(告示第三十二号)	黒住教本庁	41	遠来の信徒を教会所構内へ宿泊させてきた「御籠」に
							WITT JATE TO		つき
104	1904	明治37			教報	冬至大祭		41	
104	1904	明治37			教報	教理講究部設置		41	
104	1904	明治37			教報	大坂事件に就て		42	
104	1904	明治37			辞令	(明治37年7月分·補大講義~試補)		42	
104	1904	明治37	11		彙報	新年御題		43	
104	1904	明治37			彙報	歌御会始奉行		43	
104	1904	明治37			彙報	天長節御祭典		44	
104	1904	明治37			彙報	恩賜繃帯分配		44	
104	1904	明治37	11		彙報	繃帯恩賜		44	
104	1904	明治37	11	30	彙報	常宮、周宮両内親王御高徳		44	
104	1904	明治37	11	30	彙報	各宮妃殿下御歌		45	
104	1904	明治37	11	30	彙報	湊川神社と参拝者		46	
104	1904	明治37	11	30	彙報	勅語は大丈夫です		46	
104	1904	明治37			彙報	名刀天照大神		47	
104	1904	明治37		30	社告	〔真筆懐中神号(同盟会ノ分)…〕		48	真筆懐中御神号の販売
104	1904	明治37	11		社告	国の教雑誌社取次販売書目		49	
104	1904	明治37	11		社告	[本年九月二十八日以降十一月二十日頃迄に…]		50	雑誌・書籍・印刷物等の照会につき
104	1904	明治37			社告	御断り		50	
		,,,H.,,			·	1 * * * * *	1		1

104	1904	明治37	11	30	社告	[本社ハ読者諸彦ノ高顧ニ酬ヒシ為メ…]		50	明治38年1月号に年賀欄開設の広告
104	1904	明治37	11		広告	13件		51	旅館小林本店ほか
105	1904	明治37	12		巻首	御製		1	神楽岡宗忠神社
105	1904	明治37	12		道の栞	河上忠晶先生遺書中の摘節		3	11不同小心111
105	1904	明治37	12		道の栞	神詠	赤木忠春ほか	5	
105	1904	明治37	12		社説	歳抄の感	が不心をはが.	6	
105	1904	明治37	12		講演	故星島良平先生の講録		9	
105	1904	明治37	12		史伝			10	
105	1904	明治37	12		寄書		 向陽道人	12	
105	1904	明治37	12		寄書	活た誠	→ 円	13	
105	1904	明治37	12		寄書			16	
105	1904	明治37	12		雑録	大ヶ条鏡草	□林無大 □故矢野玄道稿	18	
105	1904	明治37	12		雑録	教祖神の御講釈天言といふ事に就て	出雲福島正賢	20	
105	1904	明治37	12		雑録	有無の明判	美作 安藤十郎稿	21	
105	1904	明治37	12		雑録	譚海	森思誠	21	
105	1904	明治37	12		霊験	[八月廿六、七、八日鞍山站の激戦に参加…]		24	
105	1904	明治37			霊験	[前文略私儀托木城之戦争の際…]		24	
105	1904	明治37	12		霊験	〔拙者義去る八月廿六日より九月四日迄…〕		25	
105	1904	明治37	12		霊験	〔備前国和気郡本荘村大中山に陸軍歩兵伍長…〕		25	
105	1904	明治37	12	18	霊験	[過る十月十二日沙河戦の節午後二時頃…]		26	
105	1904	明治37	12		文苑	宗忠神社献詠和歌	備中 奥嶋真澄ほか	26	「夜水鳥」25首・「淵亀」29首
105	1904	明治37	12	18	小説	御礼詣	すゞのや	29	
105	1904	明治37	12		教報	冬至大祭		34	
105	1904	明治37	12		教報	隠岐国教報		34	
105	1904	明治37		18	辞令	(明治37年8月分・補少教正~試補)		36	
105	1904	明治37	12		辞令	(明治37年9月分・補権少教正~試補)		37	
105	1904	明治37	12	18	彙報	坤徳深厚		37	
105	1904	明治37	12		彙報	和歌御会始諸役		38	
105	1904	明治37	12	18	彙報	老士官の出征請願		38	
105	1904	明治37	12		彙報	車夫の献金		38	
105	1904	明治37	12		彙報	英国の武士道倶楽部		39	
105	1904	明治37	12	18	彙報	台湾土民我得政に悦服す		39	
105	1904	明治37	12		社告	新刊寄贈		40	
105	1904	明治37	12		社告	国の教雑誌社取次販売書目		41	
105	1904	明治37	12	18	社告	〔本社は愛読者諸彦の高額に酬ゆる為誌面の…〕		42	雑誌代金支払いのお願い
105	1904	明治37	12	18	社告	〔本社ハ読者諸彦ノ高顧ニ酬ヒシ為メ年賀温交…〕		42	明治38年1月号に年賀欄開設の広告
105	1904	明治37	12	18	広告	12件		43	旅館小林本店ほか
106	1905	明治38	1		巻首	御製		1	
106	1905	明治38	1		国の教	新年の辞		2	
106	1905	明治38	1		道の栞	天保九年の暦の裏面に		4	
106	1905	明治38	1		道の栞	河上忠晶先生遺書中の摘節(承前)		5	
106	1905	明治38	1		社説	今日は則ち神代也		7	
106	1905	明治38	1	10	講演	神代の巻講釈(承前)	美作 直原清四郡[郎]寄稿	11	
106	1905	明治38	1		史伝	武内宿禰熱湯を探る	A 2	12	
106	1905	明治38	1		寄書	寡聞多言録 第二十一回	魂陽学人福井彦次郎寄	15	「博愛と朝鮮」、「京都と宗教界」、「爾霊山」
106	1905	明治38	1		寄書	新年の辞	備後 紀蔦平	17	ロックーカルロン・スクローン・スクリコン・My 300 円コ
100	1000	PD/000	1	10	미티	かけています		17	

106	100E	ш: <u>Д</u> 20	1	10	寄書	家庭 本 ()	城北隠士	10	
106	1905	明治38	1			家庭よしあし(一)		18	
106	1905	明治38	1	10	時論	天佑に就いて	文学士磯部武者五郎	20	
106	1905	明治38	1		時論	旅順陥落	思誠道人森督太	22	
106	1905	明治38	1		霊験	出征軍人天祐	上等兵明石栄蔵	24	
106	1905	明治38	1		霊験	時長先生の霊験談		25	
106	1905	明治38	1	10	文苑	新年山	東久世通禧ほか	26	和歌11首
106	1905	明治38	1	10	文苑	新年所感	八十六童 安藤愛親	27	和歌1首
106	1905	明治38	1		文苑	宗忠神社献詠和歌	伊勢 山崎寿ほか	27	「新年竹」37首・「国旗」30首
106	1905	明治38	1	10	小説	出世角力	しせい	30	
106	1905	明治38	1		雑纂	皇孫御降誕		35	
106	1905	明治38	1		雑纂	皇徳光被の一端		35	
106	1905	明治38	1		雑纂	元始祭		36	
106	1905	明治38	1		雑纂	政始式		36	
106	1905	明治38	1		雑纂	宮中新年の御宴		36	
106	1905	明治38	1		雑纂	御講書始		37	
106	1905	明治38	1		雑纂	宮中月並御歌会兼題		37	
106	1905	明治38	1		雑纂	新造軍艦進水式		37	
106	1905	明治38	1	10	雑纂	〔世人か能く言ふことてありまして…〕		37	
106	1905	明治38	1	10	雑纂	皇道会と森田氏		39	
106	1905	明治38	1	10	雑纂	森本教正の修養		40	
106	1905	明治38	1		教報	本庁告文(達第十三号)	黒住教管長黒住宗子	40	伊賀国上野中教会所
106	1905	明治38	1	10	教報	本庁告文(達第十四号)	黒住教管長黒住宗子	41	広島中教会所
106	1905	明治38	1		教報	本庁告文(告示第三十三号)	黒住教本庁	41	帝国義勇艦隊建設義金につき
106	1905	明治38	1	10	教報	本庁の新年		41	
106	1905	明治38	1		教報	冬至祭執行		41	
106	1905	明治38	1	10	教報	天心号拝載者		41	
106	1905	明治38	1	10	教報	太元神園会		42	
106	1905	明治38	1		辞令	(明治37年10月分・補大講義~試補)		43	
106	1905	明治38	1	10	辞令	(明治37年11月分·補権少教正~試補)		43	
106	1905	明治38	1	10	社告	新刊寄贈		43	
106	1905	明治38	1	10	社告	篤志家芳名報告		44	
106	1905	明治38	1	10	広告	15件		44	「年賀欄」あり、旅館小林本店ほか
107	1905	明治38	2	25	巻首	御製		1	
107	1905	明治38	2	25	道の栞	河上忠晶先生遺書の摘節(承前)		3	
107	1905	明治38	2	25	社説	吉事禍事の循環		5	
107	1905	明治38			講演	七ヶ条鏡草	故矢野玄道稿	9	
107	1905	明治38	2	25	史伝	捕鳥部万		11	
107	1905	明治38	2		寄書	千古の大典を喚起す	備後 紀蔦乎	13	戦死英霊の国祭と功臣の国葬の挙行は国家の礼(その国固有の典式=神道の聖典古式)で行われるべき
107	1905	明治38	2	25	寄書	我か認むる安立地	備前 時長六三郎	16	
107	1905	明治38	2		寄書	霊験に就て	備前 棚田一誠	18	
107	1905	明治38	2		時論	天佑に就いて(承前)	文学士磯部武者五郎	21	
107	1905	明治38	2		時論	寡聞多言録(第二十二回)	魂陽学人福井彦次郎寄	24	「二字の使分け」、「神職及僧侶と当世の青年」、「有 難難有の一新例」
107	1905	明治38	2	25	雑録	自然の名称	美作 安藤十郎	26	
107	1905	明治38			雑録	家庭よしあし草(二)	城北隠士	26	
,		· >1/H 00	_		コエンハ	12.720.000-1-7	7,4410 (AC) —	20	

107	1905	明治38	2	25	霊験	出征軍人の天佑	歩兵上等兵井村熊吉	28	
107	1905	明治38	2		霊験	至誠神明に通ず	タスエサスバイ派ロ	28	
107	1905	明治38	2		文苑	軍国の文苑	山県有朋ほか	30	
107	1905	明治38	2		文苑	宗忠神社献詠和歌	備中 久本九一ほか	31	「初春鶯」33首・「軍人」8首
107	1905	明治38	2		小説	親ことろ	開中 八本儿 はが	32	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
107	1905	明治38	2		教報	春季大祭		37	 来る3月24·25日に挙行
107	1905	明治38	2		教報			37	前年12月31日から1月2日まで豊後国西国東郡西都
107	1903							37	甲村黒住教長岩教会所で開催
107	1905	明治38	2		教報	千人参		39	備後国沼隈郡松永村黒住教教会所での執行
107	1905	明治38	2		雑纂	歌御会始		40	
107	1905	明治38	2		雑纂	紀元節御祭典		41	
107	1905	明治38	2		雑纂	官国幣社参拝内規		41	
107	1905	明治38	2		雑纂	諏訪神符の霊験		42	
107	1905	明治38	2	25	雑纂	日軍と太陽		43	本年の気候は日清戦争時と同じ暖かな状態であるため、日本軍の順調を信ずる
107	1905	明治38	2		雑纂	外人の美挙		43	ドイツ人カール・イルスによる愛国婦人会へ、神戸駐 在ベルギー領事ホフマンとイタリア人パーレンがそれ ぞれ赤十字社へ寄付
107	1905	明治38	2	25	辞令	(補権中教正~試補)		43	
107	1905	明治38	2		正誤			44	
107	1905	明治38	2		社告	新刊寄贈		45	
107	1905	明治38	2	25	社告	焦志家芳名報告	国の教雑誌社	45	
107	1905	明治38	2	25	広告	17件		45	旅館小林本店ほか
108	1905	明治38	3	20	巻首	(教祖御真筆の写し)			
108	1905	明治38	3	20	道の栞	河上忠晶先生遺書中の摘節(承前)		1	
108	1905	明治38	3	20	社説	須らく神の存在を知るべし		3	
108	1905	明治38	3	20	講演	物の報ひ		6	
108	1905	明治38	3	20	史伝	吉士伊企儺		7	
108	1905	明治38	3	20	寄書	霊験に就て(承前)	備前 棚田一誠	9	
108	1905	明治38	3	20	寄書	誡奢	台北放浪生	10	
108	1905	明治38	3	20	寄書	神詠を拝読して所感を述ぶ	備前 淵波喜美造	12	
108	1905	明治38	3	20	時論	我歴史より見たる旅順の開城(一)	三上参次	13	時局学術講談会での文学博士三上参次の講演
108	1905	明治38	3	20	時論	寡聞多言録(第二十三回)	死火山人福井彦次郎寄	16	「自問自答の着眼」、「人生六十たらざるべからざるの一理由」、「阿呆に為れ」、「三月五日満洲軍大活動の 号外の夕」
108	1905	明治38	3	20	雑録	七箇条鏡草(承前)	故矢野玄道稿	18	
108	1905	明治38	3		雑録	森住教正の旧話		20	
108	1905	明治38	3		雑録	陽気の隠顕	美作 安藤十朗	22	
108	1905	明治38	3		雑録	家庭よしあし草(三)	城池隠士	22	
108	1905	明治38	3	20	雑録	片山教正対州布教 実験談(上)	片山教正	24	
108	1905	明治38	3	20	霊験	出征軍人の天佑	第五師団第二十一聯隊第二中 隊歩兵壱等卒田村保次郎	27	
108	1905	明治38	3	20	霊験	老婦神徳に感涙す		28	
108	1905	明治38	3		文苑	宗忠神社献詠和歌	備中 中島静子ほか	29	「首夏雨」22首・「筆」19首
108	1905	明治38	3		文苑	教の七ヶ条を拝読して	周防 花田滋輔	31	
108	1905	明治38			文苑	祝皇軍長歌	美作 藤の舎親孝	31	
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				Parison	2 5 1 1 100 1 H 120 1	•	

108	1905	明治38	3	20	小説	神の国	前田曙山	31	
108	1905	明治38	3		<u>小</u> 彙報	本庁告文	黒住教本庁	36	明治38年3月8日に告示
108	1905	明治38			_ 果取 彙報		<u> </u>	37	切/130年3月6日に日水
	1905	明治38	3		<u>果</u> 報 彙報			37	
108								37	
108	1905	明治38	3		彙報	戦時の麦作			
108	1905	明治38	3		彙報	特別賜金取扱方の進捗	****	37	
108	1905	明治38	3		彙報	敵を悩ます赤帽赤服の一隊	美作国久米郡出征軍人小田善 市	38	
108	1905	明治38	3	20	彙報	戦地よりの鳩信	四級信徒松本信寿郎	39	明治38年2月26日付、後備歩兵第四十聯隊第六中隊 など
108	1905	明治38	3	20	彙報	基督教天幕部の前進		41	東京神田基督教青年会の天幕部が兵士に生活用品 の提供や見舞いを行う
108	1905	明治38	3		彙報	多福の一家		41	高知県長岡郡西豊永村権少講義白石伊勢吾は喫煙 と飲酒をやめその酒料を同村兵事会に寄付
108	1905	明治38	3	20	社告	近刊寄贈		42	
108	1905	明治38	3		広告	14件		43	
109	1905	明治38	4		巻首	御製		1	
109	1905	明治38	4		道の栞	河上忠晶先生遺書中の摘節(承前)		3	
109	1905	明治38	4	20	社説	天錫の楽		5	
109	1905	明治38	4	20	社説	無名献金者に就ひて		8	
109	1905	明治38	4	20	修養	七箇条鏡草(承前)	故矢野玄道稿	11	
109	1905	明治38	4	20	修養	日拝の心得	美作 安藤十朗稿	12	
109	1905	明治38	4		修養	体拝と拍手	宮地厳夫	13	
109	1905	明治38	4		時論	我歴史より見たる旅順の開城(二)	文学博士三上参次	15	
109	1905	明治38	4		時論	寡聞多言録 第二十三回	魂陽学人福井彦次郎寄	18	「敬愛使ひ分けの実習」、「牛疫余感」、「便利の向ふ 所天下敵なし」
109	1905	明治38	4	20	史伝	雄略天皇		20	
109	1905	明治38	4		寄書	入宗之辞	讃岐 玉井信厚	22	
109	1905	明治38	4		霊験	出征軍人の天佑	-71II.	26	
109	1905	明治38	4		霊験	[却説御問合の私析木城激戦の際神の御蔭を…]	景山忠吉	27	
109	1905	明治38	4		霊験	神詠の御徳により難船を助かる	ж-го-п	28	
109	1905	明治38	4		文苑	宗忠神社献詠和歌	筑後 大坪忠親ほか	30	「庭前花」36首・「初恋」18首
109	1905	明治38	4		小説	生死不明(上)	STILL STEP INSTITUTE	32)
109	1905	明治38	4		彙纂	本庁告文(教第十七号)	黒住教本庁教務課	38	明治38年3月20日付、寄留地からの教師の新補・昇進 の出願に関する手続き
109	1905	明治38	4	20	彙纂	辞令(明治37年12月分·補権少教正~補権訓導)		38	
109	1905	明治38	4		彙纂	辞令(明治38年1月分•補権訓導~試補)		39	
109	1905	明治38	4		東 纂	辞令(明治38年2月分·補権大講義~試補)		39	
109	1905	明治38	4		彙纂	教報(宗忠神社御大祭光景)		40	
109	1905	明治38	4		彙繁	教報(管長御巡教)		41	管長が山本権大教正・小方講義を従えて出雲・伯耆 地方へ11日に巡教のため出立
109	1905	明治38	4	20	彙纂	教報(教会所の美挙)		41	佐賀県小城郡黒住教小城教会所は所長福嶋摂三郎 らを発起人にして、戦勝祈念のため宗忠神社大祭に おいて神楽奉納
109	1905	明治38	4	20	彙纂	教報(東京大教会所の類焼)		42	

				-	彙纂	教報(千人詣)		42	伊予国喜多郡黒住教八多喜中教会所の管下より本 月13日宗忠神社へ千人詣として350余人を矢野・三 瀬・石田教正が引率、神殿で大々神楽の奉奏
109 1	1905	明治38	4	20	彙纂	教報(農作物品評会)		42	本庁において時局事業の一環として信徒の農作物品 評会を開催する計画あり
109 1	1905	明治38	4		彙纂	教報(御教語入の煎餅)		43	長崎中教会所所長片山秀実は御教語を書き入れた 煎餅を参拝者に配り信仰の回復に努めた
109 1	1905	明治38	4	20	皇 皇秦	教報(岡崎富三郎氏の赤誠)		43	備前邑久郡幸嶋村朝幸小教会所教監の岡崎冨三郎、皇軍全勝を祈念、姫路兵営および出征中の軍人 へ肌守りを寄贈
109 1	1905	明治38	4	20	彙纂	誌友倶楽部		43	
109 1	1905	明治38	4	20	彙纂	近刊寄書		44	
109 1	1905	明治38	4	20	社告	神言。天津祝詞(五版)		44	
109 1	1905	明治38	4	20	広告	3件			「雑誌残本大減価」ほか
109 1	1905	明治38	4		講義録	教祖宗忠神御小伝講義	贈大教正星嶋良平	1	
109 1	1905	明治38	4		講義録	古道解義	黒住教教師養成所講授岡直盧	5	
109 1	1905	明治38	4		講義録	哲言本教観	河上市蔵述	7	荀子「不登高山不知天之高也」を教義に沿って解釈
109 1	1905	明治38	4	20	社告	焦志家芳名報告			
109 1	1905	明治38	4	20	広告	10件			旅館小林本店ほか
110 1	1905	明治38	5		巻首	中大兄皇子の尊像		1	
110 1	1905	明治38	5	20	道の栞	河上忠晶先生遺書中の摘節(承前)		3	
110 1	1905	明治38	5		道の栞	春川叢書	河上忠晶述·河上市蔵述義	3	
110 1	1905	明治38	5		社説	我に如意宝珠あり		6	
110 1	1905	明治38	5	20	修養	七箇条鏡草	故矢野玄道稿	9	
110 1	1905	明治38	5		修養	活物の道理	美作 安藤十朗	11	
110 1	1905	明治38	5		修養	神道大要	宮地厳夫	12	神道の大要五つ(礼拝・祈祷・勤務・修祓・鎮魂)の大 意を説明
110 1	1905	明治38	5		修養	逸聞		16	黒住左京にかけられた嫌疑が星嶋宮子・池田出雲ら によって解かれ、むしろ布教に便宜が与えられた
110 1	1905	明治38	5		時論	我歴史より見たる旅順の開城(三)	文学博士三上参次	17	
110 1	1905	明治38	5	20	時論	寡聞多言録 第二十四回	死火山人福井彦次郎寄	19	「自然任せとは何ぞ」、「人と函と孰れが重き乎」、「黒 住教童話集」
110 1	1905	明治38	5		時論	布教は土地の産業に伴ふべし	文学士磯部武者五郎	21	土地の産業を奨励し、産業技術の教育を行うことに 伴って布教をするべき
110 1		明治38	5		寄書	信心に就て	中山巨知	22	
110 1		明治38	5		寄書	立志	上海客寓 菅原松蔭	24	立志には根拠が必要
		明治38			史伝	中大兄皇子誅入鹿		26	
		明治38	5		霊験	森住教正霊験談		29	
	1905	明治38			霊験	長崎中教会長片山秀実氏通信		30	
		明治38			霊験	因幡国岡本安次郎氏通信		31	
		明治38			霊験	[三月二日より沙河大戦争を初め夫れより…]	伊藤竹松	31	
		明治38			文苑	宗忠神社献詠和歌	備前 森保忠ほか	32	「山家卯花」24首・「運動会」15首
	1905	明治38	5		小説	生死不明(中)	竹村	33	
110 1	1905	明治38	5		彙纂	本庁告文(告示第三号)	黒住教本庁	39	明治38年5月11日付、類焼した東京仮教会所の再建 に向けた寄付募集
110 1	1905	明治38	5	20	彙纂	辞令(明治38年3月分·補権少講義~試補)		39	

110	1905	明治38	5	20	彙纂	辞令(明治38年4月分・補権大教正~試補)		40	
110	1905	明治38	5		彙纂	教報(開心講員安全祈祷)		40	宗忠神社にて開心講員の安全祈祷と神楽の奉納
110	1905	明治38	5		彙纂	教報(千人参り)		40	4月7日に備前邑久郡各教会所が連合で宗忠神社へ 千人参りを行い神楽を奉納
110	1905	明治38	5	20	彙纂	教報(讃岐国石川信正氏の通信)		40	香川県三豊郡柞田村の大西和三太は毎日6時間にわたって陽気を吸って病気を治した
110	1905	明治38	5		彙纂	教報[石狩国樺戸郡月形村尾崎忠吾氏…]		40	教書の研究に余念ない尾崎忠吾は和気藹々とした家 庭を作り、布教にも努めている
110	1905	明治38	5	20	彙纂	片山教正対州布教実験談(下)		41	
110	1905	明治38	5		彙纂	戦地鳩信	松本信寿郎	43	陸軍軍曹松本信寿郎は神徳により銃弾にあたらな かったため、敬神の念を深くし、献金を行った
110	1905	明治38			彙纂	誌友倶楽部		44	
110	1905	明治38	5		社告	近刊寄書		45	
110	1905	明治38	5		社告	篤志家芳名報告		46	
110	1905	明治38	5		広告	5件		46	『増補神言天津祝詞』の発行ほか
110	1905	明治38	5		講義録	教祖宗忠神御小伝講義	贈大教正星嶋良平	49	
110	1905	明治38	5		講義録	哲言本教観	河上市蔵述	51	荀子の勧学を教義に沿って解釈
110	1905	明治38	5	20	広告	12件		54	一富士旅館ほか
111	1905	明治38	6	20		[挿絵]		1	靖国神社臨時大祭の光景
111	1905	明治38	6	20		御製 皇后宮御歌		2	
111	1905	明治38	6		道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶•河上市蔵述義	3	
111	1905	明治38	6	20	社説	教祖の言は則ち行也		6	
111	1905	明治38	6	20	社説	祝海軍全捷	森思誠	9	
111	1905	明治38	6	20	修養	七箇条鏡草(承前)	故矢野玄道	12	
111	1905	明治38	6	20	修養	迷慮の反省	美作 安藤十朗	13	
111	1905	明治38	6	20	修養	天命の説	宮地厳夫	13	
111	1905	明治38	6		時論	国体論	男爵松平正直	15	
111	1905	明治38	6		時論	寡聞多言録 第二十六回	死火山人福井彦次郎	18	「神話と海岸線」、「無為無能とは何の謂ぞ」、「背合せとならざる用心」
111	1905	明治38	6		寄書	再び入教の辞	在東京 小野温	20	
111	1905	明治38	6		寄書	有志諸士に議る	備前 高畠粂次	22	
111	1905	明治38	6		史伝	藤原光頼信頼を挫く		24	
111	1905	明治38	6		霊験	出征軍人の天佑	伍長日下繁造•小林鉎次	27	
111	1905	明治38	6		霊験	森住教正の霊験(承前)		28	
111	1905	明治38	6	20	文苑	宗忠神社献詠和歌	在満州 木山阿曽彦	30	「蛍狩」22首・「義貞」17首
111	1905	明治38	6	20	文苑	敬神	宮地厳夫	32	
111	1905	明治38	6	20	小説	乙女心(上)		32	訳文
111	1905	明治38	6		彙纂	本庁告文(告示第四号)	黒住教本庁	36	権大教正曽根恒久逝去について
111	1905	明治38	6		彙纂	教報(赤木神大祭と管長)		36	
111	1905	明治38	6		彙纂	教報(赤木神四拾年祭)		36	
111	1905	明治38	6		彙纂	教報(副総理曽根恒久氏の帰幽)		37	
111	1905	明治38	6	20	彙纂	教報(戦勝祈念所の盛運)		37	1904年7月勝田郡豊国村に創設、秋に津山・倉敷・奥村各小教会所長ら教師10数名で皇軍戦勝大祈念を執行、義勇艦隊建設義捐金を他の大字に率先して拠出する模範部落に

111	1905	明治38	6		彙纂	教報(謝状)	京都府乙訓郡久世村 加藤米吉	39	菅沼市太郎・木村常太郎より勧化、木村からは『国の 教』贈与され熱心に読み返す
111	1905	明治38	6	20	彙纂	辞令(明治38年5月分)		40	
111	1905	明治38	6		彙纂	時報(不思議の予言(日本海大戦の日時を予言す))		40	
111	1905	明治38	6	20	彙纂	誌友倶楽部 12件		41	
111	1905	明治38	6		広告	3件			
111	1905	明治38	6		講義録	教祖宗忠神御小伝講義	権大教正星島良平	43	
111	1905	明治38	6		講義録	古道解義	黒住教教師養成所講授岡直盧	45	
111	1905	明治38	6		講義録	哲言本教観	河上市蔵述	47	
111	1905	明治38	6		社告	2件		50	近刊寄書ほか
111	1905	明治38	6		広告	15件		50	黒住教御定宿一富士旅館ほか
112	1905	明治38	7	20		神詠		1	
112	1905	明治38	7		道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶•河上市蔵述義	3	
112	1905	明治38	7		社説	東天の朝暾		6	
112	1905	明治38	7		修養	神蹟紀聞		9	角南作吾の手記
112	1905	明治38	7		修養	七箇条鏡草	故矢野玄道	10	
112	1905	明治38	7		修養	天と人	故片岡正占	12	
112	1905	明治38	7		時論	皇国の基礎	伯爵東久世通禧	13	
112	1905	明治38	7		時論	寡聞多言録 第二十七回	魂陽学人福井彦次郎寄	15	好三幅対、不良少年、堕落生
112	1905	明治38	7		時論	外教に対する質問答弁	大社教岡山分院長権大教正松 尾郡平稿	17	
112	1905	明治38	7	20	寄書	慶応二年冬至祭之節天心高弟名簿	伯耆 持田貫一	19	
112	1905	明治38	7		寄書	将来の婦人	出征満州軍総司令部付岸本忠 泰	20	
112	1905	明治38	7		史伝	袈裟御前の苦節		22	
112	1905	明治38	7		霊験	霊夢に因りて始て本教を知る		24	
112	1905	明治38	7		霊験	日本橋説教所霊験記	東京日本橋説教所長小野温	26	
112	1905	明治38	7		文苑	宗忠神社献詠和歌	出征第十師団衛生備員松本藤一郎ほか	29	「市夕立」20首・「山」19首
112	1905	明治38	7	20	小説	乙女心(下)	やく	30	訳文
112	1905	明治38	7		彙纂	本庁告文(告示第四号)	黒住教本庁	36	日露戦役戦死者祈念碑に「征露」の文字用いるな
112	1905	明治38	7		彙纂	辞令(明治38年6月分辞令未完)		36	
112	1905	明治38	7		彙纂	教報(篤信家)		38	尾道市藤田芳松の他宗教研究
112	1905	明治38	7		彙纂	教報(解釈の辞)	富士の舎義憲	38	
112	1905	明治38	7		彙纂	時報(節折並に大祓)		39	
112	1905	明治38	7		彙纂	時報(夏期御慰問)		40	
112	1905	明治38	7		彙纂	時報(信徒数)		40	キリスト教信者数(15日付官報)
112	1905	明治38	7	20	彙纂	誌友倶楽部 13件		41	111号同様「戦死者を仏葬するは無礼なり」(東京小野生)、東京大阪高松ペスト禍(大坂梅本生)、断塩断食は迷信(記者)など
112	1905	明治38	7		彙纂	篤信家芳名報告		44	
112	1905	明治38	7		彙纂	近刊寄書		44	
112	1905	明治38	7	20	講義録	教祖宗忠神御小伝講義	贈大教正星嶋良平	45	
112	1905	明治38	7		講義録	哲言本教観	河上市蔵述	46	
112	1905	明治38	7	20	社告	増補神言天津祝詞(六版)	国の教雑誌社	49	
112	1905	明治38	7	20	広告	14件		50	

113	1905	明治38	8	20		(和歌)		1	
L::	1905	明治38	8		道の栞		河上忠晶•河上市蔵述義	3	
	1905	明治38	8		<u>埋め来</u> 社説	神の御心を推恕せよ	州工心田 州工川成处我	6	
	1905	明治38	8	20	修養	神蹟紀聞		9	 御野郡大供村万倍忠兵衛、邑久郡出射常八
	1905	明治38	8		<u> </u>	-		10	脚野都入民門刀后心共開、已入都山豹市八
	1905	明治38	8		<u> </u>	一一日初後一旦の一日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	片岡正占	11	
	1905	明治38	8		<u>廖袞</u> 時論		文学博士井上哲次郎	13	
	1905	明治38	8		時論		大社教岡山分院長権大教正松	15	 明治21年海江田信義らのシュタインから聞いた話など
113	1903	1977E 30	0	20	中寸高冊	が教に対する負向合介(本前)	尾郡平	13	明治21年海江田信義ののフェダインがの頃が元前なと
113	1905	明治38	8	20	寄書	慶応二年冬至祭之節天心高弟名簿(続)	伯耆 持田貫一	17	
113	1905	明治38	8		寄書	日漢強弱の本源を論して我黒住教に及ふ	黒住教々師養成所生徒伯耆後	18	
							藤治郎		
113	1905	明治38	8		史伝	王政維新の淵源		19	
113	1905	明治38	8	20	霊験	出征軍人の天佑	黒住教禁厭免許拝戴者友田子	23	
							之吉		
113	1905	明治38	8		霊験	[長崎市古町四十四番地住…]		23	
113	1905	明治38	8		霊験	[伊予温泉郡余土村字余戸三拾弐番…]		24	
	1905	明治38	8		霊験	日本橋説教所霊験記(東京)	所長権少教正小野温	26	
113	1905	明治38	8	20	文苑	宗忠神社献詠和歌	土佐 武田光ほか	27	「行路萩」62首・「汽車」55首
113	1905	明治38	8		小説	ゐるへるむ		32	
113	1905	明治38	8		雑纂	時報(聖上御精励)		38	
113	1905	明治38	8	20	雑纂	時報(大膳職の御献立)		39	
113	1905	明治38	8		雑纂	時報(神后[功]皇后の祠宇建立)		39	
113	1905	明治38	8	20	雑纂	時報(東郷大将の称呼)		39	
113	1905	明治38	8		雑纂	時報(日英同盟の拡張)		40	
113	1905	明治38	8		雑纂	時報(樺太の占領)		40	
113	1905	明治38	8		雑纂	教報(禊祭)		40	
	1905	明治38	8		雑纂	教報(合祀)		41	
113	1905	明治38	8		雑纂	教報(神道各教聯合会)		41	神戸市内の各派(神理教・金光教・永守教会・天理教会・黒住教)、相生町黒住教小教会所内に本部置き戦病死者の町村葬や遺族援護
	1905	明治38			雑纂	教報(梅園子爵の献詠)		42	
	1905	明治38	8		雑纂	辞令		42	
113	1905	明治38	8		雑纂	誌友倶楽部 10件		44	釈迦批判(東京小野生)、説教と坐談(備後藤田生)、 神道とは何ぞ(同人)
	1905	明治38			講義録	哲言本教観	河上市蔵述	47	
	1905	明治38	8	20		篤志家芳名報告		50	
	1905	明治38	8	20		近刊寄書		50	
	1905	明治38	8		広告	14件		51	
	1905	明治38	9	20		(和歌)		1	
	1905	明治38	9		道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶·河上市蔵述義	3	
	1905	明治38	9		社説	教祖は天職を重んし玉ふ		5	
	1905	明治38	9		修養	信言(承前)	片岡正占	9	
114	1905	明治38	9		修養	神蹟紀聞		11	教祖神の長女桜井照が、嫁ぎ先で酒乱・乱暴者の夫 を改心させ神務の手伝い・布教に尽力させた
114	1905	明治38	9	20	時論	葦原中国は全世界の古名なり	宮地厳夫	13	

114	1905	明治38	9	20	時論	文禄役講和談判の教訓	文学博士三上参次	16	日露講和談判で文禄(そして日清)の轍を踏まぬよう 覚悟せよ(8月20日倉敷日曜講演会での講演摘録)
114	1905	明治38	9	20	時論	寡聞多言録 第二十八回	魂陽学人福井彦次郎寄	18	新婚と旅行ほか
114	1905	明治38	9		寄書	乞ふ先つ仕格を造れ	東京 小野温演述	20	日本の仏教の現状を批判(日本橋区浜町での演説)
114	1905	明治38	9		寄書	日漢強弱の本源を論して我黒住教に及ふ(承前)	黒住教々師養成所生徒伯耆後 藤治郎	22	THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH
114	1905	明治38	9	20	寄書	憤慨	備前 高畠生	23	黒住教の教書を一部利用して協議を補強・伝道する 狡猾な「或る一派の宗教」あり
114	1905	明治38	9	20	史伝	王政維新の淵源(承前)		24	
114	1905	明治38	9		霊験	出征軍人の天佑	黒住教佐世保教会所内佐藤泰 實	27	
114	1905	明治38	9		霊験	再生の神庇を蒙る	高橋喜太郎(通知)	28	
114	1905	明治38	9		文苑	宗忠神社献詠和歌	岡山 森本与惣ほか	29	「月前水」34首・「教師」11首
114	1905	明治38	9		小説	人の噂		31	継母追われ娘が生気を取り戻し「嗚呼社会の制裁 カ?」と結ぶ
114	1905	明治38	9		彙纂	教報(管長の巡教)		37	先月18日から因伯巡教
114	1905	明治38	9	20	彙纂	教報(井口氏の篤志)		37	大分県国東郡都甲村長岩屋教会所長井ノ口要六が3 月から宮崎県信徒の懇請で県内巡教(日平銅山で2 週間・土々呂港で国威宣揚敵国降伏祈祷・4月20日時 局への国民心得方講演)、福岡県京都郡での戦捷 祭、帰村後出征軍人家族慰問、一万度の大祓・玉串 に慰問状を添え送付
114	1905	明治38	9	20	彙纂	辞令(明治38年7月分)		38	
114	1905	明治38	9	20	彙纂	誌有倶楽部 10件		39	他の「神道」との連合提携は世界の宗教界でも卓絶した黒住教にとって恥(小野温)、戸主制度・祖先崇拝を迷信とする法学者批判(岡山松井)、黒住教婦人会創設提案(長門点庵)など
114	1905	明治38	9	20	社告			42	
114	1905	明治38	9	20	講義録	教祖宗忠神御小伝講義	贈大教正星島良平	43	
114	1905	明治38	9	20	講義録	哲言本教観	河上市蔵述	44	
114	1905	明治38	9	20	講義録	天津詔詞大詔詞講義	藤井高尚・大国隆正	47	
114	1905	明治38	9	20		焦志家芳名報告		50	
114	1905	明治38	9	20		近刊寄書		50	
114	1905	明治38	9	20	広告	12件		51	岡山市桂花堂(洋品店)、尾道市中嶋生花堂(和菓子)、出雲国赤名学友雑誌社(『学の友』)、参宮鉄道など
115	1905	明治38	10	20		(和歌 新嘗祭)		1	
115	1905	明治38	10		道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶•河上市蔵述義	3	
115	1905	明治38	10		社説	有り難き新運命		6	
115	1905	明治38	10	20	修養	神蹟余光		9	備前国御津郡鹿田村山本清介の母(本誌71号参照)、90歳にして病気全快、同上道郡吉井村難波要吉 ほかの日照り続きに雨を呼ぶ
115	1905	明治38	10	20	修養	道のふみ出し	星嶋良平講義・野崎在善筆記	11	
115	1905	明治38	10		修養	神道みちしるべ	大国隆正	14	
115	1905	明治38	10		講論	葦原中国は全世界の古名なり(承前)	宮地厳夫	15	
115	1905	明治38			講論	寡聞多言録 第二十九回	魂陽学人福井彦次郎寄	19	
110	1000	D1/1100	٠	20	HIT CIM	からプロ外 カー・1 / 10日	っこっし アンション	10	

115	1905	明治38	10	20	講論	外教に対する質問答弁(承前)	大社教岡山分院長権大教正松 尾郡平	20	文明国の宣教師・学校・貧院を通じ民心を傾け戦端開いて国を奪う方法は周知のとおり、国体が違うのだから外教信じるべからず
115	1905	明治38	10		寄書	乞ふ先づ仕格を造れ(承前)	東京 小野温演述	22	仏教批判、神国民
115	1905	明治38	10	20	寄書	宗教撰択の理由	日向 木脇貞男	24	他宗教批判
115	1905	明治38	10	20	史伝	王政維新の淵源(承前)		26	
115	1905	明治38	10	20	霊験	出征軍人の天佑	第〇師団第〇糧食縦列第〇隊 第四分隊円城寺竹一	28	
115	1905	明治38	10	20	霊験	銃丸守札に止まる		29	
115	1905	明治38	10	20	霊験	日高年新		30	
115	1905	明治38	10	20	文苑	宗忠神社献詠和歌	備中 奥島真澄ほか	31	「菊」45首・「阿部仲麿」8首
115	1905	明治38	10	20	小説	こほれ水(教訓談)		34	
115	1905	明治38	10	20	雑纂	教報(三笠艦殉難者遺骨分配式)		42	佐世保海兵団にて佐藤泰實担当
115	1905	明治38	10	20	雑纂	教報(聖上神宮行幸)		43	
115	1905	明治38	10	20	雑纂	教報(全国各社寺平和克復報告祭)		43	
115	1905	明治38	10		雑纂	教報(東郷将軍伊勢参拝)		43	
115	1905	明治38	10	20	雑纂	教報(恥辱に非ざるなきか)		43	伊予松山の不敬事件
115	1905	明治38	10	20	雑纂	辞令[明治38年8月分]		44	
115	1905	明治38	10	20	雑纂	誌友倶楽部 5件		44	前号高畠説の黒住=世界宗教論は教祖神の意向でないのだから仏教でも天理教でも天照大神の御心を布けばそれで慶すべきではないか(伯耆船木松翠)、黒住教信者の御陽気呼吸は伝染病患者のいるところで行っても問題ないか(丹後物不識)など
115	1905	明治38	10	20	社告			46	
115	1905	明治38	10	20	講義録	哲言本教観	河上市蔵述	47	
115	1905	明治38	10	20	講義録	天津詔詞大詔詞講義	藤井高尚•大国隆正	49	
115	1905	明治38	10	20		近刊寄書		52	
115	1905	明治38	10	20	広告	18件		53	関西鉄道ほか
116	1905	明治38	11	20		(挿画「神鳩凱旋 威稜満宇」)		1	宗忠神社冬至大祭(12月22~23日、徹夜説教)との案内
116	1905	明治38	11		道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶述•河上市蔵述義	3	
116	1905	明治38	11		道の栞	〔和歌 5首〕	岩下方平ほか	6	
116	1905	明治38	11		社説	悲観と楽観		7	
116	1905	明治38	11		修養	神蹟余光		11	
116	1905	明治38	11		修養	道のふみ出し	星島良平講義・野崎在善筆記	12	
116	1905	明治38	11		修養	神道みちしるべ(承前)	大国隆正	13	
116	1905	明治38	11		講論	信念と宗教	篠田時化雄	15	篠田は在京社友
116	1905	明治38	11	20	講論	寡聞多言録 第三拾回	魂陽学人福井彦次郎寄	18	英国艦隊の歓迎、「人格」「品性」なる語の流行、神社 仏閣はキリスト教教会のように説教の終了時間に配 慮せよ

11	16 1	1905	明治38	11	20	寄書	『国の教』を読むて感あり	東京 小野温拝稿	20	1894年秋備中笠岡で大会開催の折岩下総理提起の新聞発刊につき尚早派・急設派・折衷派あり、小野が当分月刊誌・漸次週刊に改めるべき旨熱弁し藤井東京教務局長が着手して1895年2月『国の教』創刊、という経緯。社主の森が私財投じて経営中と知り感謝しつつ、投稿・購読広げるべきと説く。また政府は教導職を管長に委任しながら中卒以上との資格を設定して干渉、不当だと絶叫したいが従来の経験から止む無しと慨嘆
11	16 1	1905	明治38				故管長宗篤殿の訓誡	備前 高畠久米治	23	1877年春、偕楽園のペティ氏宅を借りて管長・森下と布教につき打ち合わせ、宗篤はお道中心の方針堅持を指示。先入主により仏教流や漢学流の黒住となる弊(星嶋良平はいいが矢野玄道の鏡艸では文字だけで精神を欠く)、近来教師養成所の新設もあったので故管長の精神を尊びご留意を
11	16 1	1905	明治38			史伝	土倉正彦君の伝		25	
11	16 1	1905	明治38			霊験	軍人天佑	似嶋臨時陸軍検疫所影山麻四郎	28	
11	16 1	1905	明治38	11		霊験	日高新年		29	
11	16 1	1905	明治38	11		文苑	宗忠神社献詠和歌	出雲 清原只七ほか	31	「夕時雨」29首・「待恋」18首
11	16 1	1905	明治38			文苑	(挿画)二重橋御発輦		33	
11	16 1	1905	明治38			彙纂	伊勢行幸	森思誠	34	
11	16 1	1905	明治38	11	20	彙纂	皇太神宮御参拝		35	
11	16 1	1905	明治38	11	20	彙纂	天恩如海		37	以下9件の天覧・下賜などの事項
11	16 1	1905	明治38	11	20	彙纂	聖徳無辺		38	
11	16 1	1905	明治38	11	20	彙纂	聖慮深遠		38	
11	16 1	1905	明治38	11	20	彙纂	神宮修祓所		39	
11	16 1	1905	明治38	11	20	彙纂	響の井		39	
11	16 1	1905	明治38	11	20	彙纂	御告文御保存		39	
11	16 1	1905	明治38	11	20	雑報	御製		39	
11	16 1	1905	明治38	11	20	雑報	新嘗祭由来		40	
11	16 1	1905	明治38		20	雑報	新年御歌題		41	
11	16 1	1905	明治38	11	20	雑報	万神社		41	清国安東県在留庄野益世が日露戦争紀念の神社創 立
11	16 1	1905	明治38			雑報	天心会		41	黒住教順慶町教会
11	16 1	1905	明治38			雑報	教師養成所第二期の召募		42	1年目の入学者は少数
11	16 1	1905	明治38			雑報	令達 4件		43	日露戦争終結平和克復、善隣友邦として交際し、信教の自由を脅かすようなことのないよう留意せよ(内務省訓令23号)
11		1905	明治38				誌友倶楽部 9件		45	前号物不識の疑問に対して、星嶋『道のいろは』や 『道の栞』などでも吸ってよいとあり学理とは違う一心 の誠で呼吸せよ(加古郡北村生)など
11	16 1	1905	明治38	11	20	社告	年賀欄広告募集		48	
11	16 1	1905	明治38	11			近刊寄書		48	
11	16 1	1905	明治38			講義録	教祖宗忠神御小伝講義	贈大教正星島良平	49	
11	16 1	1905	明治38	11	20	社告			50	

116	1905	明治38	11	20	広告	17件		51	国の教雑誌社(『霊験集』第二編)など
117	1905	明治38	12			(挿画と宗忠の和歌「君か行とふきあつまも…」)		1	
117	1905	明治38			道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶述•河上市蔵述義	3	
117	1905	明治38	12		社説	歳抄の感	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	6	
117	1905	明治38			修養	神蹟余光		9	
117	1905	明治38	12		修養	桜井正家先生説教		9	
117	1905	明治38			修養	神道みちしるべ(承前)	大国隆正	11	
117	1905	明治38	12		講論	寡聞多言録 第卅一回	魂陽学人福井彦次郎寄	14	
117	1905	明治38	12	18	講論	世に善悪吉凶禍福ある由縁	角田忠行	15	
117	1905	明治38	12	18	寄書	神の国と其民	京都 湖舟生	17	
117	1905	明治38			寄書	女子と宗教	岸本忠泰	20	女学生の風紀頽廃に対して、男子より「感情的」「品行に於て…一層慎まなくてはならぬ」「感化を受け易い」 女子に宗教を提供すべし
117	1905	明治38			史伝	土倉正彦君の伝(承前)		22	
117	1905	明治38			霊験	軍人天佑	山根菊造	25	
117	1905	明治38			霊験	日新年高	教導職試補野田慶一	26	
117	1905	明治38	12	18	文苑	宗忠神社献詠和歌	出雲 清原只七ほか	27	「雪中花」27首・「新聞紙」30首
117	1905	明治38	12	18	小説	労山の仙人		29	
117	1905	明治38	12	18	雑録	出雲八雲の神像稲田姫		34	出雲・八雲の両戦艦における神の助け
117	1905	明治38			雑録	万歳の起		35	憲法発布式での学生の発声、奉賀、バンザイ
117	1905	明治38	12		雑録	教報 冬至大祭と大招魂祭		36	
117	1905	明治38			雑録	令達 3件		36	
117	1905	明治38	12	18	雑録	辞令		37	明治38年9月~11月分
117	1905	明治38			雑録	少教正森本与惣氏の帰幽		37	河上市蔵の弔辞あり
117	1905	明治38			雑録	誌友倶楽部 2件		38	
117	1905	明治38	12		雑録	社告			
117	1905	明治38	12		雑録	広告			島根一中教諭池山正隆編『改定祭式作法教本』景山 岳陽堂
117	1905	明治38			講義録	天津詔詞大詔詞講義	藤井高尚•大国隆正	39	
117	1905	明治38			講義録	哲言教観	河上市蔵述	43	
117	1905	明治38		18		焦志家芳名報告		46	
117	1905	明治38		18		近刊寄書		46	
117	1905	明治38	12		広告	18件			兵庫永澤教会所の補助教師募集も
118	1906	明治39	1	19		(挿画と和歌「新玉の年の始の…」)			
118	1906	明治39	1		新年の辞	新年の辞		1	
118	1906	明治39	1		道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶述•河上市蔵述義	4	
118	1906	明治39	1		社説	教典編纂の急務		7	
118	1906	明治39	1		修養	神跡余光		11	
118	1906	明治39	1		修養	桜井正家先生説教(承前)		12	
118	1906	明治39	1		修養	神道みちしるべ(承前)	大国隆正	14	
118	1906	明治39	1		講論	鎮魂	宮地厳夫	16	
118	1906	明治39	1		講論	寡聞多言録 第卅二回	魂陽学人福井彦次郎寄	18	
118	1906	明治39	1	19	寄書	新年所感	東京 小野温	20	

118	1906	明治39	1		寄書	教化宣揚の時期	聴雨荘主人	21	学校での教育勅語や家庭教育だけでなく社会的教化にて「補修」すべき、中流以上は武士道・儒道で下流は宗教で行ってきたが明治以降は前者が学校教育に担われ下流が衰微、日露戦争で社会の激変により失意・失敗者増え社会秩序を害する者多数、ゆえに黒住教の出番
118	1906	明治39	1		史伝	土倉正彦君の伝(承前)		23	
118	1906	明治39	1		文苑	宗忠神社献詠和歌	出雲 袖本由太郎ほか	25	「新年松」79首
118	1906	明治39	1		小説	労山の仙人(承前)		29	
118	1906	明治39	1		雑録	正月の古儀	井上頼圀	32	
118	1906	明治39	1		雑録	神代と新年	小我	35	
118	1906	明治39	1		雑録	馬に就て	忠誠	36	
118	1906	明治39	1		教報	冬至祭執行		38	
118	1906	明治39	1		教報	本庁の元旦		38	
118	1906	明治39	1		教報	岡山市黒住教信徒教師新年宴会		39	
118	1906	明治39	1		教報	倉吉中教会所冬至祭		39	
118	1906	明治39	1		教報	平和克復奉告祭		39	京都神楽岡にて11月26日執行、宗忠神社で斎主佐々 貴社掌が奉告祭、中教会所で斎主渡辺所長が招魂 奉告祭、鳥居氏の演奏は広瀬中佐の曲を琵琶で、遺 族代表演説は池田平八氏行った
118	1906	明治39	1		教報	戦捷報告祭		40	徳島中教会所にて
118	1906	明治39	1		教報	賞状授与		41	徳島県美馬郡三島村小教会所
118	1906	明治39	1		教報	招魂祭		41	兵庫県佐用郡長尾小教会所
118	1906	明治39	1		教報	海外布教		41	ハワイで昨年11月3日に岩国の人・川島助次郎が説 教所新築
118	1906	明治39	1		教報	台湾布教		41	長崎市小島の林忠次郎が説教所を昨年12月設置
118	1906	明治39	1		教報	管長伊予国東部御巡教光景		42	
118	1906	明治39	1		教報	道を兵站病院に説く		43	鳥取県西伯郡法勝寺村の松本藤一郎が軍の病院を 巡回
118	1906	明治39	1		広告	4件			唐津郵便局の貯金勧奨の新体詩懸賞など
118	1906	明治39	1		講義録	教祖宗忠神御小伝講義	星島良平	45	
118	1906	明治39	1	19	講義録	天津詔詞大詔詞講義	藤井高尚·大国隆正	47	
118	1906	明治39	1	19		国の教雑誌社寄附芳名		50	
118	1906	明治39	1	19		新年挨拶 51件		51	
118	1906	明治39	1	19		新刊寄書		53	大教新報、神社協会雑誌ほか
118	1906	明治39	1	19		新年挨拶 2件		54	
118	1906	明治39	1		広告	20件			
119	1906	明治39	2	19		(挿画「名馬順風」と解説)			
119	1906	明治39	2		道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶述·河上市蔵述義	1	
119	1906	明治39	2		社説	管中私言(第一)		5	
119	1906	明治39	2		修養	神蹟余光		8	
119	1906	明治39			修養	桜井正家先生説教(承前)		8	
119	1906	明治39	2		修養	神道みちしるべ(承前)	大国隆正	10	
119	1906	明治39	2		講論	鎮魂の起原	宮地厳夫	12	
119	1906	明治39			講論	寡聞多言録 第卅三回	魂陽学人福井彦次郎寄	14	
119	1906	明治39	2	19	史伝	海軍少佐野村勉君伝		15	

119 1906 明治39 2 19 茶書 人の目的 日向 木脳貞男 20 178 17	119	1906	明治39	2	10	寄書	戦後における宗教者の責任	出雲 袖本由太郎	18	
1996 明治39 2 19 文苑 宗忠神社献妹和歌										
1906 明治39 2 19 2 19 2 2 2 2 2 2 2 2 2					10	可 <u>有</u>				「勿奏柳」22巻。「滲」22巻
1906 明治39 2 9 雑録 大助行幸と英紙 29 ロンドンタイムス1905年11月20日付社説 1919 1906 明治39 2 19 雑録 数報 辞令 (補権少教正~試補) 31 33 33 33 33 34 34 34					10	人 9년 5# 4号				
1906 明治39 2 19 対線線							10000	伯熊复倒迎		
119 1906 明治39 2 19 軽線 数数 辞令(補権少数正~試補)										ロントンダイムス1905年11月20日刊在説
119 1906 明治39 2 19 柱線	_				19	推球				
119 1906 明治39 2 19 社告 増補神言天津が詞(八版) 国の教雑誌社 35 119 1906 明治39 2 19 社告 (宗忠神社御大祭広告) 36 37 37 37 37 37 37 37					19	維球				
119 1906 明治39 2 19 社告	_									
119 1906 明治39 2 19 広告 2件								国の教雑誌社		
119 1906 明治39 2 19 議義録 教祖宗忠神御小伝議義 星島良平 39 第 39 第 39 119 1906 明治39 2 19 第 36 35 3 43 3 3 3 3 3 3 3										
119 1906 明治39 2 19 講義録 天津翻詞、詔詞講義					19	広告				
119 1906 明治39 2 19 議義録 哲言本教観 河上市蔵述義 43 119 1906 明治39 2 19 広告 19作 1906 明治39 3 16 19作 1906 明治39 3 16 19作 1906 明治39 3 16 16 10分乗					19	講義録				
190 1906 明治39 1 19位 19位										
120 1906 明治39 3 16 (挿画 来ル本月二十五日御神幸」) 河上忠晶述・河上市蔵述義 1 1 1 1 1 1 1 1 1								河上市蔵述義		
120 1906 明治39 3 16 道の栞 春川農書(承前) 河上忠晶述・河上市蔵述義 1 120 1906 明治39 3 16 社説 養成所卒業諸氏を送る 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1				_		広告			47	
120 1906 明治39 3 16 社談 養成所卒業諸氏を送る 4 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9	120	1906					(挿画「来ル本月二十五日御神幸」)			
120 1906 明治39 3 16 修養 神蹟余光 大国隆正 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1	120	1906			16	道の栞		河上忠晶述•河上市蔵述義	1	
120 1906 明治39 3 16 修養 神道大意の二 大国隆正 9 11 11 11 11 11 11 11	120	1906		3						
120 1906 明治39 3 16 修養 御分心を痛めなど云る教語に就て 白浪 11 11 12 1906 明治39 3 16 講論 神代の巻御講釈(第百六号続) 美作 直原清四郎寄稿 13 14 14 15 15 15 15 15 15	120	1906		3					8	
120 1906 明治39 3 16 講論 神代の巻御講釈(第百六号続) 美作 直原清四郎寄稿 13 16 講論 過去の刑法(於岡山講演会) 法学博士岡田朝太郎 14 17 17 17 17 17 17 17	120	1906		3			神道大意の二		9	
120 1906 明治39 3 16 講論 過去の刑法(於岡山講演会) 法学博士岡田朝太郎 14 17 17 17 17 17 17 17	120	1906		3			御分心を痛めなど云る教語に就て	白浪	11	
120 1906 明治39 3 16 講論 寡聞多言録 第卅四回 魂陽学人福井彦次郎寄 17 17 18 18 1906 明治39 3 16 史伝 海軍少佐野村勉君伝(承前) 18 18 1906 明治39 3 16 客書 本教を海外に拡張せよ 袖本由太郎 21 1906 明治39 3 16 雑録 トルストイ伯日本戦勝論 25 1906 明治39 3 16 雑録 日報録 日報報 日報録 日報報 日報報	120	1906	明治39	3	16	講論	神代の巻御講釈(第百六号続)	美作 直原清四郎寄稿	13	
120 1906 明治39 3 16 史伝 海軍少佐野村勉君伝(承前) 18 18 1906 明治39 3 16 寄書 本教を海外に拡張せよ 袖本由太郎 21 1906 明治39 3 16 文苑 宗忠神社献詠和歌 大坂 中嶋常野 23 「月前梅」30首・「窓」24首 120 1906 明治39 3 16 雑録 ドルストイ伯日本戦勝論 27 120 1906 明治39 3 16 雑録 ドセンバーレンの日本賞讃演説 28 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 店輪御殿戦死者霊牌 28 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 大助祭 29 来る5月靖国神社勅祭で特赦実行との噂について 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 罪囚特赦の議 29 来る5月靖国神社勅祭で特赦実行との噂について 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 罪囚特赦の議 29 来る5月靖国神社勅祭で特赦実行との噂について 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 東国・中政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政	120	1906	明治39	3	16	講論	過去の刑法(於岡山講演会)	法学博士岡田朝太郎	14	
120 1906 明治39 3 16 史伝 海軍少佐野村勉君伝(承前) 18 18 1906 明治39 3 16 寄書 本教を海外に拡張せよ 袖本由太郎 21 1906 明治39 3 16 文苑 宗忠神社献詠和歌 大坂 中嶋常野 23 「月前梅」30首・「窓」24首 120 1906 明治39 3 16 雑録 ドルストイ伯日本戦勝論 27 120 1906 明治39 3 16 雑録 ドセンバーレンの日本賞讃演説 28 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 店輪御殿戦死者霊牌 28 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 大助祭 29 来る5月靖国神社勅祭で特赦実行との噂について 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 罪囚特赦の議 29 来る5月靖国神社勅祭で特赦実行との噂について 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 罪囚特赦の議 29 来る5月靖国神社勅祭で特赦実行との噂について 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 東国・中政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政	120	1906	明治39	3	16	講論	寡聞多言録 第卅四回	魂陽学人福井彦次郎寄	17	
120 1906 明治39 3 16 寄書 本教を海外に拡張せよ 袖本由太郎 21 120 1906 明治39 3 16 文苑 宗忠神社献詠和歌 大坂 中嶋常野 23 「月前梅」30首・「窓」24首 120 1906 明治39 3 16 雑録 解祭の由来 も・と 25 120 1906 明治39 3 16 雑録 ドルストイ伯日本戦勝論 27 120 1906 明治39 3 16 雑録 ドルストイ伯日本戦勝論 28 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 万輪の職職を不審事件 28 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 大勅祭 29 来る5月靖国神社勅祭で特赦実行との噂について 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 市報 市報 市報 市報 市報 市報 市報	120	1906	明治39	3	16	史伝	海軍少佐野村勉君伝(承前)		18	
120 1906 明治39 3 16 文苑 宗忠神社献詠和歌 大坂 中嶋常野 23 「月前梅」30首・「窓」24首 120 1906 明治39 3 16 雑録 銀祭の由来 も・と 25 120 1906 明治39 3 16 雑録 トルストイ伯日本戦勝論 27 120 1906 明治39 3 16 雑録 Fヤンバーレンの日本賞讃演説 28 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 高輪御殿戦死者霊牌 28 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 大勅祭 29 来る5月靖国神社勅祭で特赦実行との噂について 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 南昌事件真相 30 清国南昌暴動による宣教使殺害事件はカトリックの信者迫害によるもの、恐ろしいのは「爪牙ある宗教」 120 1906 明治39 3 16 雑録 教報 送別会 31 倉吉中教会所から大分中教会へ転勤の野島講義 120 1906 明治39 3 16 雑録 教報 区別会 31 春季大祭は戦勝報賽で参拝者多数と予想	120	1906	明治39	3	16	寄書	本教を海外に拡張せよ	袖本由太郎	21	
120 1906 明治39 3 16 雑録 難祭の由来 も・と 25 120 1906 明治39 3 16 雑録 トルストイ伯日本戦勝論 27 120 1906 明治39 3 16 雑録 チヤンバーレンの日本賞讃演説 28 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 高輪御殿戦死者霊牌 28 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 大劫祭 29 来る5月靖国神社勅祭で特赦実行との噂について 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 罪囚特赦の議 29 来る5月靖国神社勅祭で特赦実行との噂について 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 南昌事件真相 30 清国南昌暴動による宣教使殺害事件はカトリックの信者迫害によるもの、恐ろしいのは「爪牙ある宗教」 120 1906 明治39 3 16 雑録 教報 送別会 31 倉吉中教会所から大分中教会へ転勤の野島講義 120 1906 明治39 3 16 雑録 教報 資料を付け、 131 日本教会所がら大分中教会へ転勤の野島講義 131 日本教会の記述の記述の記述の記述の記述の記述の記述の記述の記述の記述の記述の記述の記述の	120	1906	明治39	3			宗忠神社献詠和歌	大坂 中嶋常野	23	「月前梅」30首・「窓」24首
120 1906 明治39 3 16 雑録 トルストイ伯日本戦勝論 27 120 1906 明治39 3 16 雑録 チヤンパーレンの日本賞讃演説 28 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 高輪御殿戦死者霊牌 28 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 大勅祭 29 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 東口特赦の議 29 来る5月靖国神社勅祭で特赦実行との噂について 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 南昌事件真相 30 清国南昌暴動による宣教使殺害事件はカトリックの信者迫害によるもの、恐ろしいのは「爪牙ある宗教」 120 1906 明治39 3 16 雑録 教報 送別会 31 倉吉中教会所から大分中教会へ転勤の野島講義 120 1906 明治39 3 16 雑録 教報 [例年の通り来る廿四五日両日は…] 31 春季大祭は戦勝報賽で参拝者多数と予想	120	1906		3	16	雑録	雛祭の由来	も・と	25	
120 1906 明治39 3 16 雑録 チヤンバーレンの日本賞讃演説 28 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 高輪御殿戦死者霊牌 28 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 大勅祭 29 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 罪囚特赦の議 29 来る5月靖国神社勅祭で特赦実行との噂について信者迫害による宣教使殺害事件はカトリックの信者迫害による宣教使殺害事件はカトリックの信者迫害によるもの、恐ろしいのは「爪牙ある宗教」 120 1906 明治39 3 16 雑録 教報 送別会 31 倉吉中教会所から大分中教会へ転勤の野島講義 120 1906 明治39 3 16 雑録 教報 「例年の通り来る廿四五日両日は…」 31 春季大祭は戦勝報賽で参拝者多数と予想	120	1906	明治39	3			トルストイ伯日本戦勝論		27	
120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 店輪御殿戦死者霊牌 28 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 大勅祭 29 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 罪囚特赦の議 29 来る5月靖国神社勅祭で特赦実行との噂について 120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 南昌事件真相 30 清国南昌暴動による宣教使殺害事件はカトリックの信者迫害によるもの、恐ろしいのは「爪牙ある宗教」 120 1906 明治39 3 16 雑録 教報 送別会 31 倉吉中教会所から大分中教会へ転勤の野島講義 120 1906 明治39 3 16 雑録 教報 [例年の通り来る廿四五日両日は…] 31 春季大祭は戦勝報賽で参拝者多数と予想	120	1906	明治39	3			チヤンバーレンの日本賞讃演説		28	
1201906明治39316雑録時報 大劫祭291201906明治39316雑録時報 罪囚特赦の議29来る5月靖国神社勅祭で特赦実行との噂について1201906明治39316雑録時報 南昌事件真相30清国南昌暴動による宣教使殺害事件はカトリックの信者迫害によるもの、恐ろしいのは「爪牙ある宗教」1201906明治39316雑録教報 送別会31倉吉中教会所から大分中教会へ転勤の野島講義1201906明治39316雑録教報 [例年の通り来る廿四五日両日は…]31春季大祭は戦勝報賽で参拝者多数と予想	120	1906								
1201906明治39316雑録時報 罪囚特赦の議29来る5月靖国神社勅祭で特赦実行との噂について1201906明治39316雑録時報 南昌事件真相30清国南昌暴動による宣教使殺害事件はカトリックの信者迫害によるもの、恐ろしいのは「爪牙ある宗教」1201906明治39316雑録教報 送別会31倉吉中教会所から大分中教会へ転勤の野島講義1201906明治39316雑録教報〔例年の通り来る廿四五日両日は…〕31春季大祭は戦勝報賽で参拝者多数と予想	120									
120 1906 明治39 3 16 雑録 時報 南昌事件真相 30 清国南昌暴動による宣教使殺害事件はカトリックの信者迫害によるもの、恐ろしいのは「爪牙ある宗教」 120 1906 明治39 3 16 雑録 教報 送別会 31 倉吉中教会所から大分中教会へ転勤の野島講義 120 1906 明治39 3 16 雑録 教報 [例年の通り来る廿四五日両日は…] 31 春季大祭は戦勝報賽で参拝者多数と予想	120									来る5月靖国神社勅祭で特赦実行との噂について
120 1906 明治39 3 16 雑録 教報 送別会 31 倉吉中教会所から大分中教会へ転勤の野島講義 120 1906 明治39 3 16 雑録 教報 〔例年の通り来る廿四五日両日は…〕 31 春季大祭は戦勝報賽で参拝者多数と予想										清国南昌暴動による宣教使殺害事件はカトリックの非
120 1906 明治39 3 16 雑録 教報 〔例年の通り来る廿四五日両日は…〕 31 春季大祭は戦勝報賽で参拝者多数と予想										
┃120┃ 1906 ┃ 明治39 ┃ 3 ┃ 16 ┃雑録 ┃教報 辞令〔補大講義~試補〕										春季大祭は戦勝報賽で参拝者多数と予想
	120	1906								
120 1906 明治39 3 16 雑録 本教実語教 32										
120 1906 明治39 3 16 雑録 誌友倶楽部 3件 34	120	1906								
120 1906 明治39 3 16 広告 3件 34	120	1906		3						
120 1906 明治39 3 16 講義録 教祖宗忠神御小伝講義 星島良平 35	120	1906		3						
120 1906 明治39 3 16 講義録 天津詔詞大詔詞講義 藤井高尚·大国隆正 36 36	120	1906			16	講義録			36	
120 1906 明治39 3 16 講義録 哲言本教観 河上市蔵述義 39	120	1906	明治39	3			哲言本教観	河上市蔵述義		
120 1906 明治39 3 16 広告 20件 40	120	1906	明治39	3					40	
121 1906 明治39 4 20 (挿画=桃の木、「三千歳になるてふ…」)	121	1906		4			(挿画=桃の木、「三千歳になるてふ…」)			

121	1906	明治39	4	20	道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶述•河上市蔵述義	1	T
121	1906	明治39	4		社説		州工心明处:州工川敞处我	4	
121	1906	明治39	4	20	修養	首中仏声(第二) 神蹟余光		7	
		明治39		20	修養	仲頃ホエ 神道大意の二	大国隆正		
121	1906		4					8	
121	1906	明治39	4	20	修養	邪教に泥むな	も・と	10	
121	1906	明治39	4		修養	本教実語教(承前)	TWIP 10 T W 10	12	
121	1906	明治39	4		講論	長寿の根本は気力	文学博士根本通明	14	
121	1906	明治39	4		講論	寡聞多言録(第卅五回)	魂陽学人福井彦次郎寄	16	
121	1906	明治39	4		寄書	生通しの説を聞て感ずる所あり	美甘政和門人竹内要助	18	
121	1906	明治39	4		史伝	海軍少佐野村勉君伝(承前)		22	
121	1906	明治39	4		文苑	宗忠神社献詠和歌	播州 太田粂子ほか	24	「花下興」26首・「舟」48首
121	1906	明治39	4		雑録	易学泰斗たる高島嘉右衛門氏のものせられたる霊魂 不滅引証の一節		27	
121	1906	明治39	4		雑録	時報 神武天皇祭		28	
121	1906	明治39	4	20	雑録	時報 モグリ神仏の取締。		28	
121	1906	明治39	4	20	雑録	教報 春季大祭(教祖祭)		29	
121	1906	明治39	4	20	雑録	教報 大勅祭		29	
121	1906	明治39	4		雑録	教報 神輿の渡御		30	
121	1906	明治39	4		雑録	教報 教師養成所第二期の募集((看よ看よ))		30	
121	1906	明治39	4	20	雑録	教報 〔本教は日露開戦以来本庁所員を…〕		31	昨年11月10日付・今年2月28日付で岡山停車場司令 官森野秀次郎から管長黒住宗子へ所員の兵士歓送 迎につき感謝状
121	1906	明治39	4	20	雑録	教報 御巡教		31	
121	1906	明治39	4		雑録	教報 戦利銃剣奉納		32	宗忠神社へ2月5日に
121	1906	明治39	4		雑録	教報(達第一~九号·告示第二号)		32	笠岡・高松・相生・津山・津の中教会昇格とその附属 小教会区域規定など
121	1906	明治39	4	20	雑録	誌友倶楽部 5件		34	
121	1906	明治39	4		雑録	[国之教第百二十号附録黒住教本庁并…]		37	正誤表
121	1906	明治39	4	20	雑録	新刊寄書		37	10件
121	1906	明治39	4		広告	2件		37	
121	1906	明治39	4	20	講義録	誠の心伝講義	贈大教正星島良平	39	
121	1906	明治39	4	20	講義録	天津詔詞大詔詞講義	藤井高尚・大国隆正	40	
121	1906	明治39	4	20	講義録	哲言本教観	河上市蔵述義	44	
121	1906	明治39	4	20	広告	24件		47	
122	1906	明治39	5	19		(写真「大観兵式盛観ノー」「同二」)			
122	1906	明治39	5	19	道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶述•河上市蔵述義	1	
122	1906	明治39	5	19	社説	伝道者は時勢の推移を察するを要す		5	各宗派宗教学校が進展するなかで教職養成への消極性を批判
122	1906	明治39	5	19	修養	神蹟余光		8	
122	1906	明治39	5		修養	神道大意の二	大国隆正	9	
122	1906	明治39	5		修養	心の角を取れ	t &	12	
122	1906	明治39	5		修養	本教実語教(承前)		13	
122	1906	明治39	5	19	講論	寡聞多言録(第卅六回)	魂陽学人福井彦次郎	15	
122	1906	明治39	5		講論	本居豊穎氏信神説		17	
122	1906	明治39	5		史伝	森下景端先生の逸事		20	
122	1906	明治39			寄書	生通しの説を聞て感ずる所あり(承前)	美甘政和門人竹内要助	23	
		,,, ,, , , , , , , , , , , , , , , , ,	,	. •	-				1

122	1906	明治39	5	19	文苑	宗忠神社献詠和歌	京都 浜田芳子ほか	26	「新樹露」30首・「鳥」28首
122	1906	明治39	5		雑録	西洋開祖は比留子神なり	熱田宮司角田氏説	29	「利岡路」00日「周」20日
122	1906	明治39			雑録	非基督教の故に強	然田台可丹田氏机	29	トルストイの言説(『東京日日新聞』より転載)
122	1906	明治39	5		雑録	日本の伝道		30	「アストーン日記(『米水口口が周辺のり私戦)
122	1906	明治39	5		雑録	大観兵式		30	 昨年10月23日の東京湾上での海軍、今年4月の青山
122	1300	PD / D 0 0	٦	13	不住业状	八酰共工		30	での陸軍
122	1906	明治39	5	10	雑録	教報 春季大会		30	伊予国東部聯合春季大説教会
122	1906	明治39	5		雑録	教報(達第十~二十一号)		31	
122	1906	明治39			雑録	教報 辞令[補大教正~試補]		33	
122	1906	明治39	5		雑録	誌友倶楽部 2件		34	
122	1906	明治39	5	19	不正业不	(写真「大観兵式盛観ノ三」「同四」)		35	
122	1906	明治39			講義録	誠の心伝講義(承前)	贈大教正星島良平	37	
122	1906	明治39	5		講義録	天津詔詞大詔詞講義	藤井高尚・大国隆正	40	
122	1906	明治39			講義録	大洋品門人品門研表 哲言本教観	河上市蔵講述	44	
122	1906	明治39	5		広告	21件	月工印成研处	47	新刊寄書15件
123	1906	明治39	6		巻首			47	체기기하급TVIT
123	1906	明治39	6		巻首	[宗忠神社大祭但大祓祭告知]			
123	1906	明治39	6		道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶著·河上市蔵述義	1	
123	1906	明治39	6		社説	管中私書(第三)	月工心明有 月工印成处我	4	
123	1906	明治39	6	20	修養			7	
123	1906	明治39	6		修養	まらず御陽気を吸へよ	もと	8	
123	1906	明治39	6		修養	本教実語教(承前)	02	9	
123	1906	明治39	6	20	講論	神道大意の二	大国隆正	11	
123	1906	明治39	6		講論	忠孝は皇国人の本分	熱田宮司角田忠行	13	
123	1906	明治39		20	講論		魂陽学人福井彦次郎寄	15	
123	1906	明治39	6		寄書	生通の説を聞て感ずる所あり(承前)	美作美甘門人竹内要助	17	
123	1906	明治39	6		文苑	宗忠神社献詠和歌	備前 森保定ほか	20	「夕早苗」33首・「笛」40首
123	1906	明治39	6		小説	元禄模様	し・ほか	22	
123	1906	明治39	6		雑録	端午の古儀	C-1873.	26	
123	1906	明治39	- 1	20	教報	選座式		29	
123	1906	明治39	6	20	教報	上棟式執行		29	
123	1906	明治39	6	20	教報	中教会所発会式		29	
123	1906	明治39	6		教報	大阪府下の懇話会		30	
123	1906	明治39	6		教報	黒住教演説会		31	大阪府下
123	1906	明治39	6		教報	司第一号	黒住教本庁司教課	31	黒住教々師養成所庁費生規則
123	1906	明治39			教報		黒住教本庁	31	所講閉鎖の際の添え書き雛型
123	1906	明治39	6		教報		黒住教本庁	32	教師進退等届け出の際所講附属の肩書明記のこと
123	1906	明治39	6		教報	号外	黒住教本庁	32	教師名簿至急提出のこと
123	1906	明治39	6		教報	達第二十四号	黒住教管長黒住宗子	32	内務省宗教局長よりの訓示(宗甲第15号)に関して規
123	1300		١			连为一(白·7	<u>無</u>	32	約に外れた主神奉斎などに注意せよ
123	1906	明治39	6	20	教報	達第二十五号	黒住教管長黒住宗子	33	内務省訓令第385号に関して教派教師検定試験の実施と地方庁との連携を心がけるべきこと
123	1906	明治39	6	20	教報		黒住教管長黒住宗子	33	小教会所の所属中教会の変更(中津、長崎)
123	1906	明治39	6		教報		黒住教管長黒住宗子	33	柳河中教会の小教会所への改称
123	1906	明治39	6		教報	」達第二十 <u>つち</u> 達第二十八号	黒住教管長黒住宗子	33	物河中教会の小教会別への改称 教師検定委員長等免職
		明治39			教報		未比软目文未让亦丁	33	
123	1906	明冶39	6	20	叙	Ltf 市J		34	

123	1906	明治39	6		広告	4件		35	本社販売教書類目、遥堪屋事、弁護士森権六、神本 博愛館
123	1906	明治39	6		講義録	誠の心伝講義(承前)	贈大教正星島良平	37	
123	1906	明治39	6		講義録	天津祝詞太詔詞講義	藤井高尚・大国隆正	40	
123	1906	明治39	6		講義録	哲言本教観	河上市蔵講述	42	
123	1906	明治39	6		講義録	新刊寄書 国の教雑誌社寄附金芳名		44	
123	1906	明治39	6		広告	10件		45	丁子木屋ほか
124	1906	明治39	7		巻首	[挿絵]			
124	1906	明治39	7		巻首	〔宗忠神社大祭但大祓祭告知〕			
124	1906	明治39	7		道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶著•河上市蔵述義	1	
124	1906	明治39	7		社説	謹んで内務大臣の訓令を読む		4	
124	1906	明治39	7		修養	瓊の光	時尾氏 記録	9	
124	1906	明治39	7		修養	本教実語教(承前)		10	
124	1906	明治39	7		修養	下腹で息をせよ	も・と	13	
124	1906	明治39	7		講論	修祓に就て	掌典宮地厳夫	14	
124	1906	明治39	7		講論	寡聞多言録(第卅八回)	魂陽学人福井彦次郎	17	
124	1906	明治39	7		寄書	全国教導職に告ぐ	不動	19	
124	1906	明治39	7	20	史伝	森下景端先生の逸事		22	
124	1906	明治39	7	20	文苑	宗忠神社献詠和歌	美作 景山玉泉ほか	25	「川納涼」30首・「亀」24首
124	1906	明治39	7	20	文苑	宗忠神社献詠俳句	霽月庵松務宗匠選・神遊ほか27 名	27	「春季雑、折クニノヲシエ」16首・「十内」8首・「軸」1首・ 「秀逸」1首・「追加」1首
124	1906	明治39	7	20	小説	元禄模様	し・せ・い	28	
124	1906	明治39	7	20	雑録	神宮月次祭		34	
124	1906	明治39	7	20	雑録	節折及大祓		34	
124	1906	明治39	7	20	雑録	頌徳表捧呈		34	
124	1906	明治39	7	20	雑録	神道教職の試験に就て		35	神社協会雑誌
124	1906	明治39	7	20	雑録	日本を耶蘇教国とせん		36	
124	1906	明治39	7		雑録	参宮客の鉄道賃金割引		36	
124	1906	明治39	7	20	教報	管長御巡教		36	
124	1906	明治39	7		教報	朝鮮国学生に布教(大阪)		36	概要及び「国の教日課」(日課は次号以降も連載)
124	1906	明治39	7		教報	神楽岡宗忠神社改築計画		38	
124	1906	明治39	7	20	教報	大阪説教会		39	
124	1906	明治39	7		教報	黒住教説教会		40	
124	1906	明治39	7	20	教報	示達(告示第五号)		41	第5回万人参宮心得等諸規定の告示
124	1906	明治39	7	20	教報	辞令[明治39年4月分]		43	
124	1906	明治39	7	20	教報	誌友倶楽部	大坂 中島生	44	
124	1906	明治39	7		広告	2件		45	参宮鉄道、関西鉄道
124	1906	明治39	7		講義録	誠の心伝講義(承前)	贈大教正星島良平	47	
124	1906	明治39	7		講義録	哲言本教観	河上市蔵講述	50	
124	1906	明治39	7	20	講義録	新刊寄書 国の教雑誌社寄附金芳名		52	余白に四角囲いで掲載
124	1906	明治39	7		広告	15件		53	旅館小林本店ほか
125	1906	明治39	8	25	巻首	[挿絵]			
125	1906	明治39	8	25	巻首	〔二世宗信神逸話〕			
125	1906	明治39	8	25	道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶著•河上市蔵述義	1	
125	1906	明治39	8		社説	管中私言(第四)		4	
125	1906	明治39	8	25	社説	教育の進運将に動かんとす		6	

125	1906	明治39	8		修養	瓊の光	親灸門人黒田平八郎氏筆記·角 南氏筆記	9	角南筆記分は表題あり(「河上忠晶先生或時教祖神 へ」)
125	1906	明治39	8		修養	本教実語録(承前)		10	
125	1906	明治39	8		修養	信心	中教正小野弥太郎寄稿	12	
125	1906	明治39	8		修養	不足が起ったら裸で生れた昔を思へよ	も・と	14	
125	1906	明治39	8		講論	修祓に就て	掌典宮地厳夫	16	
125	1906	明治39	8		講論	寡聞多言録(第卅九回)	魂陽学人福井彦次郎寄	18	
125	1906	明治39	8		寄書	所謂凡人主義	伯耆 岸本忠泰	20	
125	1906	明治39	8		史伝	森下景端先生の逸事(承前)		23	
125	1906	明治39	8		文苑	宗忠神社献詠和歌	筑後 角省吾ほか	26	「女郎花」31首・「琴」38首
125	1906	明治39	8		文苑	俳諧奉納神祇の巻	松霧ほか	29	俳句9首
125	1906	明治39	8		雑録	御沙汰書復写		30	
125	1906	明治39	8		雑録	神宮満洲遥拝処		30	
125	1906	明治39	8		雑録	太陽を拝す		30	
125	1906	明治39	8		教報	[客月三十一日は例年の通り宗忠神社の…]		31	宗忠神社禊祭の様子
125	1906	明治39	8		教報	二世神五十年祭		31	
125	1906	明治39	8	25	教報	宗忠神社献詠俳句〆切延期		32	
125	1906	明治39	8	25	教報	教会所講の整理		32	
125	1906	明治39	8	25	教報	誤解する勿れ		33	
125	1906	明治39	8	25	教報	大阪説教会第二回通信		33	
125	1906	明治39	8	25	教報	京都通信		33	小項目(紀念碑建設計画、神楽岡近況、大村直七の 美挙)
125	1906	明治39	8	25	教報	戦死者祭典と教会		35	
125	1906	明治39	8		教報	黒住教講習会		35	
125	1906	明治39	8		教報	朝鮮国学生布教 国の教日課(つどき)		36	
125	1906	明治39	8		教報	達第三十~三十一号・告示第六号		38	
125	1906	明治39	8		教報	[辞令]		39	
125	1906	明治39	8	25	教報	新刊寄書 国の教雑誌社に寄附金芳名		40	
125	1906	明治39	8		広告	2件		41	二世宗信神五十年大祭、本社販売教書類目
125	1906	明治39	8		講義録	大元真理研究問答	美作 美甘政和答弁·門人竹内 要助質問並筆記	43	
125	1906	明治39	8	25	講義録	天津祝詞大詔詞講義	藤井高尚•大国隆正	47	
125	1906	明治39	8		広告	15件		49	星嶋大次郎転居ほか
126	1906	明治39	9		巻首	[挿絵:第二世宗信神御肖像]			
126	1906	明治39	9		巻首	〔二世宗信神五十年大祭広告〕			
126	1906	明治39	9		道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶著•河上市蔵述義	1	
126	1906	明治39	9		社説	管中私言(第五)		3	
126	1906	明治39	9		修養	宗信神御事跡の一斑		6	
126	1906	明治39	9		修養	本教実語教(承前)		8	「学如七宝宇。信似室中主。」
126	1906	明治39	9		修養	毎朝々々生れ変った心地で日拝をせよ	も・と	10	
126	1906	明治39	9		修養	信心(承前)	中教正小野弥太郎寄稿	11	
126	1906	明治39	9		講論	修祓に就て	掌典宮地厳夫	13	
126	1906	明治39	9	25	講論	寡聞多言録(第四十回)	魂陽学人福井彦次郎寄	16	
126	1906	明治39	9		講論	祝詞にあらはれたる罪の観念	文学士佐伯常麿	18	
126	1906	明治39	9		寄書	生通の説に就て再び所感を述ぶ	美作 美甘門人竹内要助	21	
	1906	明治39	9		寄書	説教の誤謬(附世人の曲解)	不動	22	

126	1906	明治39	9	25	史伝	森下景端先生の逸事(承前)		25	
126	1906	明治39	9		文苑	宗忠神社献詠和歌	角省吾ほか51名	28	 「故郷の月」26首・「玉」25首
126	1906	明治39	9	25	発	思き大御心	月1日はかり1日	30	0 0 0 7 1 20 1 - 1 玉 1 23 1
126	1906	明治39	9		雑録	御救恤		30	
								30	
126	1906	明治39	9		雑録	陛下のガーター旗			
126	1906	明治39	9		雑録	神国会		30	+ 35 /b A 25 00 D
126	1906	明治39	9		雑録	神仏勧化の取締		31	内務省令第22号
126	1906	明治39	9		雑録	文科大学卒業論文と古典		31	論文題目、黒住宗武「黒住宗忠と其信仰」、佐伯常麿 「自太古至室町神道史」、補永茂助「記紀神代巻の研究(太陽神としての天照太御神と日本民族思想の中心)」、佐藤金造「天照太御神信仰史」
126	1906	明治39	9		雑録	陰暦廃止の建議		31	
126	1906	明治39	9		雑録	万国倫理同盟会		32	
126	1906	明治39	9		雑録	人体組織の不思議		32	
126	1906	明治39	9		雑録	全国の新聞紙と雑誌		32	
126	1906	明治39	9	25	教報	大阪説教会		32	
126	1906	明治39	9	25	教報	朝鮮国学生布教 国の教日課(つゞき)		33	
126	1906	明治39	9		教報	紙友倶楽部	大和国 岡本一郎投稿·思誠回 答	36	
126	1906	明治39	9		教報	新刊寄書 国の教雑誌社寄附金芳名		38	
126	1906	明治39	9		広告	6件		38	旅館小林本店ほか
126	1906	明治39	9		講義録	大元真理研究問答前号続	美作 美甘政和答弁·門人竹内 要助質問並筆記	41	
126	1906	明治39	9		講義録	誠の心伝講義(承前)	贈大教正星島良平	45	
126	1906	明治39	9		講義録	哲言本教観	河上市蔵講述	47	
126	1906	明治39	9		講義録	霊験集 森住大教正説教		49	「スンバク」にかかった病婦への禁厭
126	1906	明治39	9	25	広告	12件		49	頁数ママ(本来は51頁目)、丁子木屋ほか
127	1906	明治39	10		巻首	[挿絵:黒住教大教会写真]			
127	1906	明治39			巻首	教祖神へ上りたる時尾先生書簡			
127	1906	明治39	10	25	道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶著·河上市蔵述義	1	
127	1906	明治39	10	25	社説	実行談		4	
127	1906	明治39			修養	臆病と疑ひが去らねば御蔭は顕はれぬぞ	も・と	8	
127	1906	明治39			修養	宗信霊神御事跡の一斑	森下聞書手帳·山本聞書	9	森下聞書では安政の伊勢千人参の帰路、宇治での霊 験
127	1906	明治39	10		講論	礼拝に就て	掌典宮地厳夫	11	
127	1906	明治39			講論	寡聞多言録(第四十一回)	魂陽学人福井彦次郎寄	13	
127	1906	明治39	10	25	講論	祝詞にあらはれたる罪の観念(承前)	文学士佐伯常麿	15	
127	1906	明治39			寄書	生通しの説に就て再び所感を述ぶ	美作 美甘門人竹内要助	17	
127	1906	明治39	10	25	寄書	天道は生々になり	泉州 高畑久米二	19	
127	1906	明治39			史伝	忠僕の水塔		20	岡山・庭瀬口、陰凉寺の古塔の物語
127	1906	明治39	10	25	文苑	宗忠神社献詠和歌	中島宣行ほか56名	22	「夕紅葉」34首・「弓」22首
127	1906	明治39	10	25	文苑	宗忠神社献詠俳句	月の本太無宗匠選・如柳ほか29 名	25	「月菊」29首
127	1906	明治39			雑録	呼吸の学理		26	
127	1906	明治39	10		雑録	陛下の御仁徳		29	
127	1906	明治39	10	25	雑録	老媼の至誠九重の奥に達す		29	

407	1000		40	0.5	±# ₽∃	+ L 1994 - 0 / 1994 - 1		00	
127	1906	明治39			雑録	志士贈位の御沙汰		30	
127	1906	明治39	10		雑録	天理教公認運動		30	
127	1906	明治39		25	雑録	基督教徒と回教々徒		30	
127	1906	明治39	10		雑録	モルモン宗の本山制度		30	
127	1906	明治39	10		雑録	米国婦人対モルモン教運動		31	
127	1906	明治39	10		教報	宗信霊神五十年大祭		31	
127	1906	明治39	10	25	教報	倉吉中教会所講習会		31	
127	1906	明治39			教報	第四回大阪説教会		32	
127	1906	明治39	10	25	教報	神楽岡招魂祭		32	管長、若宮所長、山本教正ほか着席
127	1906	明治39	10	25	教報	管長訪問		33	
127	1906	明治39	10	25	教報	[辞令]		33	
127	1906	明治39			教報	朝鮮国学生布教 国の教日課(つざき)		34	
127	1906	明治39			教報	国の教雑誌社寄附金芳名・新刊寄書		36	
127	1906	明治39	10		広告	4件		37	竹下商店、国の教雑誌の旧号を求む、弁護士松本 豊、西尾組商店
127	1906	明治39	10	25	講義録	誠の心伝講義(承前)	贈大教正星島良平	39	
127	1906	明治39	10		講義録	大元真理研究問答	美作 美甘政和答弁·門人竹内 要助質問並筆記	41	承前
127	1906	明治39	10	25	講義録	天津祝詞太詔詞講義	藤井高尚•大国隆正	45	
127	1906	明治39	10		講義録	霊験集 森住大教正説教(承前)		47	子供の耳に入った豆がお蔭でとれた話
127	1906	明治39			広告	13件		49	関西鉄道ほか
128	1906	明治39	11	25	巻首	[挿絵:県社今村宮写真]			
128	1906	明治39	11	25	巻首	今村神社概要			
128	1906	明治39	11		道の栞	春川叢書(承前)	河上忠晶著•河上市蔵述義	1	
128	1906	明治39	11		社説	管中私言(第六)		3	
128	1906	明治39	11	25	修養	宗信霊神御事跡の一斑		6	
128	1906	明治39	11		修養	[活物は息する物といふ事で人間はもちろん…]	も・と	7	
128	1906	明治39	11	25	修養	本教実語教		9	「存則万里明。放則百咎生。」
128	1906	明治39	11		講論	寡聞多言録(第四十二回)	魂陽学人福井彦次郎寄	10	
128	1906	明治39	11		講論	皇国を武文国と称する事	角田忠行	12	
128	1906	明治39	11		寄書	生通しの説に就て再び所感を述ぶ(承前)	美作 美甘門人竹内要助	14	
128	1906	明治39	11		寄書	大阪より一筆	浪華道人	16	整理委員八木勝三郎の活動、大阪では35年間に四 分五裂、伊勢万人参、大元万人参の提案
128	1906	明治39	11		史伝	忠僕の水塔(承前)		20	
128	1906	明治39	11		文苑	宗忠神社献詠和歌	児玉円次郎ほか57名	22	「初冬霜」41首・「虎」16首
128	1906	明治39	11		雑報	新嘗祭	-	24	「新嘗祭の御祭殿」など小項目9件
128	1906	明治39	11		雑報	神道革新期成会		26	
128	1906	明治39	11	25	雑報	新領土の宗教概数		27	
128	1906	明治39	11		雑報	孔子学顕彰の計画		27	
128	1906	明治39	11		雑報	新年御歌会御題		28	「新年松」
128	1906	明治39	11		雑報	社寺合併問題		28	
128	1906	明治39	11		雑報	神職講習会		28	
128	1906	明治39	11		雑報	黒住教演説会		28	
128	1906	明治39	11		雑報	朝鮮国学生布教 国の教日課(つゞき)		29	
128	1906	明治39			雑報	黒住教大挙伝道会		30	
128	1906		11		雑報	大阪説教会		30	
120	1000	21/1100		20	ጥ ተ	ハバハルハリスム		- 50	

400	1000	TE 1/100			+4.+0	//±_14; _15 =115			
128	1906	明治39			雑報	結婚式改良		31	石投水祝等の蛮行をやめ、太神宮での改良結婚式
128	1906	明治39	11		雑報	千人参宮		31	大阪黒住日教会
128	1906	明治39	11		雑報	達第三十六号		32	
128	1906	明治39	11		雑報	辞令(七月分ヨリ十月分マデ)		32	
128	1906	明治39	11		雑報	急告		33	御道にかかわる古文書所持者は連絡すべし
128	1906	明治39	11		雑報	国の教雑誌社御寄附者芳名		34	
128	1906	明治39	11		広告	3件		35	七碗堂、神本博愛館、鳳笙奉納寄附募集
128	1906	明治39	11		講義録	誠の心伝講義(承前)	贈大教正星島良平述	37	
128	1906	明治39	11		講義録	大元真理研究問答	美作 美甘政和答弁·門人竹内 要助質問並筆記	39	承前
128	1906	明治39	11		講義録	天津祝詞太詔詞講義	藤井高尚•大国隆正	43	
128	1906	明治39	11	25	講義録	霊験集 森住大教正説教(承前)		45	香川重吉の梅毒による失明についての霊験
128	1906	明治39	11		広告	18件		47	広告募集ほか
129	1906	明治39	12	20	巻首	[神詠]			
129	1906	明治39			巻首	[宗忠神社冬至大祭告知]			
129	1906	明治39			道の栞	春川叢書(第二)	河上忠晶著·河上市蔵述義	1	
129	1906	明治39			社説	歳抄の感		4	
129	1906	明治39	12	20	修養	神蹟余光	石尾氏講録	6	
129	1906	明治39	12	20	修養	迷へは魔寄ると申て人の心が迷ふ時は其の虚へつけこみて悪魔が寄り集まりて種々の因果祟りを致す油断はならぬぞ	も・と	7	
129	1906	明治39	12	20	修養	神器畏言	宮地厳夫	8	八咫鏡
129	1906	明治39			講論	寡聞多言録(第四十三回)	魂陽学人福井彦次郎寄	10	
129	1906	明治39	12	20	寄書	教典出版に付て	邇史気生	13	
129	1906	明治39	12	20	寄書	謹んで教典編纂委員に乞ふ	愛媛北浦 二級信徒	14	投稿をふまえた「教典編纂に就いて」(一記者)という 短文つき
129	1906	明治39	12	20	寄書	生通しの説に就て再び所感を述ぶ	美作 美甘門人竹内要助	15	
129	1906	明治39	12		史伝	黄薇余芳(第一)		19	
129	1906	明治39	12	20	文苑	宗忠神社献詠和歌	結城実彦ほか73名	21	「歳暮祝」37首・「劔」36首
129	1906	明治39	12		雑録	印度の習俗		24	
129	1906	明治39	12	20	時報	本年議会の注意すべき法案		26	
129	1906	明治39			時報	神宮奉斎会解散説		27	
129	1906	明治39	12	20	時報	西本願寺韓国開教式		27	
129	1906	明治39			時報	神道各教派		27	
129	1906	明治39			時報	天理教と内務省		28	天理教独立をめぐって
129	1906	明治39	12		時報	韓国と宗教布教		28	
129	1906	明治39			時報	欧州における宗教上の形勢		29	
129	1906	明治39	12		時報	順礼報謝の禁止		29	
129	1906	明治39			時報	歌道奨励会大会		30	
129	1906	明治39			教報	大坂演舌会		31	岩崎犬子「あけぼの」ほか
129	1906	明治39	12		教報	黒住教第二回講習会		33	
129	1906	明治39			教報	岡地の発展		33	
129	1906	明治39	12		教報	朝鮮国学生布教 国の教日課(つどき)		33	小項目(「当事者と朝鮮国」)あり
129	1906	明治39	12		教報	美作通信		35	
129	1906	明治39	12		広告	新刊寄書 国の教雑誌社寄附者芳名		36	
129	1906	明治39			広告	3件		36	竹下商店、参宮鉄道、西尾組商店
					, · · · —	1			

129 1906 129 1906 129 1906 129 1906 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907	6 明治39 6 明治39 7 明治40 7 明治40	12 12 12 1 1 1 1 1 1 1 1	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2	講講 霊広 道社修修講 講講 寄寄 史文 義義 集 栞	天津祝詞太詔詞講義 大元真理研究問答 霊験集 森住大教正説教(承前) 16件 神徳頌 新年の辞 神蹟余光 本教実語教(承前) 神徳霊験に就て 宣命にあらはれたる儒仏思想 日本家庭百科事彙の大誤謬(黒住教の記事に就て) 生通しの説に就て再び所感を述ぶ(承前) 本教の当局者に望む	大国隆正·藤井高尚 美作 美甘政和答弁·門人竹内 要助質問並筆記 河上市蔵 黒住教々師養成所講授桑田常 蔵 文学士森治蔵 一記者 美作 美甘門人竹内要助 袖本由太郎	41 43 47 1 1 4 6 8 9 19 22 25 27	承前
129	63 明治39 63 明治39 77 明治40 77 明治40 77 明治40 77 明治40 77 明治40 77 明治40 77 明治40 77 明治40 77 明治40 77 明治40	12 12 11 1 1 1 1 1 1 1	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2	霊広 道社修修講 講講 寄寄 史伝	霊験集 森住大教正説教(承前) 16件 神徳頌 新年の辞 神蹟余光 本教実語教(承前) 神徳霊験に就て 宣命にあらはれたる儒仏思想 日本家庭百科事彙の大誤謬(黒住教の記事に就て) 生通しの説に就て再び所感を述ぶ(承前) 本教の当局者に望む 黄薇余芳(第二)	要助質問並筆記 河上市蔵 黒住教々師養成所講授桑田常蔵 文学士森治蔵 一記者 美作 美甘門人竹内要助	1 1 4 6 8 9 19 22 25 27	真数ママ(49頁目)、月刊誌『御国』(護国会)、国の教社の社告ほか 信心祈祷禁厭と神仏霊験の結びつきにつき 黒住教の教えを広く伝え国家を発展させるために行うべき事柄につき、「講習会の解説と試験用書」「禁厭者
129	7 明治40 7 明治40	12 1 1 1 1 1 1 1 1	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	広 道社修修 (を) 道社修修 (を) 講 講 論 書 書 と 伝	16件 神徳頌 新年の辞 神蹟余光 本教実語教(承前) 神徳霊験に就て 宣命にあらはれたる儒仏思想 日本家庭百科事彙の大誤謬(黒住教の記事に就て) 生通しの説に就て再び所感を述ぶ(承前) 本教の当局者に望む 黄薇余芳(第二)	黒住教々師養成所講授桑田常蔵 文学士森治蔵 一記者 美作 美甘門人竹内要助	1 4 6 8 9 19 22 25 27	社の社告ほか 信心祈祷禁厭と神仏霊験の結びつきにつき 信心祈祷禁厭と神仏霊験の結びつきにつき 黒住教の教えを広く伝え国家を発展させるために行う べき事柄につき、「講習会の解説と試験用書」「禁厭者
130 1907 130 1907	7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40	1 1 1 1 1 1 1 1	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	道社修修 (で で で で で で で で で で で で で で	神徳頌 新年の辞 神蹟余光 本教実語教(承前) 神徳霊験に就て 宣命にあらはれたる儒仏思想 日本家庭百科事彙の大誤謬(黒住教の記事に就て) 生通しの説に就て再び所感を述ぶ(承前) 本教の当局者に望む	黒住教々師養成所講授桑田常蔵 文学士森治蔵 一記者 美作 美甘門人竹内要助	1 4 6 8 9 19 22 25 27	社の社告ほか 信心祈祷禁厭と神仏霊験の結びつきにつき 信心祈祷禁厭と神仏霊験の結びつきにつき 黒住教の教えを広く伝え国家を発展させるために行う べき事柄につき、「講習会の解説と試験用書」「禁厭者
130 1907 130 1907	7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40	1 1 1 1 1 1 1	20 20 20 20 20 20 20 20	社修修講 講講 寄寄	新年の辞 神蹟余光 本教実語教(承前) 神徳霊験に就て 宣命にあらはれたる儒仏思想 日本家庭百科事彙の大誤謬(黒住教の記事に就て) 生通しの説に就て再び所感を述ぶ(承前) 本教の当局者に望む 黄薇余芳(第二)	黒住教々師養成所講授桑田常蔵 文学士森治蔵 一記者 美作 美甘門人竹内要助	4 6 8 9 19 22 25 27	黒住教の教えを広く伝え国家を発展させるために行う べき事柄につき、「講習会の解説と試験用書」「禁厭者
130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907	7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40	1 1 1 1 1 1 1	20 20 20 20 20 20 20 20	修養	神蹟余光 本教実語教(承前) 神徳霊験に就て 宣命にあらはれたる儒仏思想 日本家庭百科事彙の大誤謬(黒住教の記事に就て) 生通しの説に就て再び所感を述ぶ(承前) 本教の当局者に望む 黄薇余芳(第二)	蔵 文学士森治蔵 一記者 美作 美甘門人竹内要助	6 8 9 19 22 25 27	黒住教の教えを広く伝え国家を発展させるために行う べき事柄につき、「講習会の解説と試験用書」「禁厭者
130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907	7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40	1 1 1 1 1	20 20 20 20 20 20 20	修養講講講書書	本教実語教(承前) 神徳霊験に就て 宣命にあらはれたる儒仏思想 日本家庭百科事彙の大誤謬(黒住教の記事に就て) 生通しの説に就て再び所感を述ぶ(承前) 本教の当局者に望む 黄薇余芳(第二)	蔵 文学士森治蔵 一記者 美作 美甘門人竹内要助	8 9 19 22 25 27	黒住教の教えを広く伝え国家を発展させるために行う べき事柄につき、「講習会の解説と試験用書」「禁厭者
130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907	7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40	1 1 1 1 1	20 20 20 20 20 20	講論講論寄書	神徳霊験に就て 宣命にあらはれたる儒仏思想 日本家庭百科事彙の大誤謬(黒住教の記事に就て) 生通しの説に就て再び所感を述ぶ(承前) 本教の当局者に望む 黄薇余芳(第二)	蔵 文学士森治蔵 一記者 美作 美甘門人竹内要助	9 19 22 25 27	黒住教の教えを広く伝え国家を発展させるために行うべき事柄につき、「講習会の解説と試験用書」「禁厭者
130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907	7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40	1 1 1 1	20 20 20 20 20	講論	宣命にあらはれたる儒仏思想 日本家庭百科事彙の大誤謬(黒住教の記事に就て) 生通しの説に就て再び所感を述ぶ(承前) 本教の当局者に望む 黄薇余芳(第二)	蔵 文学士森治蔵 一記者 美作 美甘門人竹内要助	19 22 25 27	黒住教の教えを広く伝え国家を発展させるために行うべき事柄につき、「講習会の解説と試験用書」「禁厭者
130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907	7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40	1 1 1	20 20 20 20	寄書	日本家庭百科事彙の大誤謬(黒住教の記事に就て) 生通しの説に就て再び所感を述ぶ(承前) 本教の当局者に望む 黄薇余芳(第二)	一記者 美作 美甘門人竹内要助	22 25 27	べき事柄につき、「講習会の解説と試験用書」「禁厭者
130 1907 130 1907 130 1907 130 1907 130 1907	7 明治40 7 明治40 7 明治40 7 明治40	1 1	20 20 20	寄書寄書	生通しの説に就て再び所感を述ぶ(承前) 本教の当局者に望む 黄薇余芳(第二)	美作 美甘門人竹内要助	25 27	べき事柄につき、「講習会の解説と試験用書」「禁厭者
130 1907 130 1907 130 1907 130 1907	7 明治40 明治40 明治40 明治40	1	20	寄書 史伝	本教の当局者に望む 黄薇余芳(第二)		27	べき事柄につき、「講習会の解説と試験用書」「禁厭者
130 1907 130 1907 130 1907 130 1907	7 明治40	1	20	史伝	黄薇余芳(第二)	袖本由太郎		べき事柄につき、「講習会の解説と試験用書」「禁厭者
130 1907 130 1907 130 1907	7 明治40						29	
130 1907 130 1907		1	20	文 茄	C T = T = T + C + C + C + C + C + C + C + C + C +		20	
130 1907	7 明治40			△ 76	[和歌「新年松」16首・「元日試筆」2首・漢詩「新年松」 1編]	若狭 小野弥太郎ほか	32	
				文苑	宗忠神社献詠和歌	美作 和田かめ子ほか	32	「新年興」25首・「神社」32首
130 1907	7 明治40	1	20	文苑	明治三十九年九月二十四日 神楽岡献詠会 神楽岡宗忠神社故門人慰霊招魂祭献詠歌	岡山 森保定ほか	35	和歌37首·和歌「点者水茎盤樟大人追加」3首
	7 明治40	1		雑録	禁苑の松		37	「宮城の樹木と松」「御賢所の松」「吹上御苑中島の松」「望嶽台麓の老松」「観瀑亭前の松」「宮城内の最古松」「赤坂離宮の松」「浜離宮の名松」「御用邸其他の松」
130 1907	7 明治40	1	20	雑録	若水	伊勢 松木時彦	39	
130 1907	7 明治40	1		雑録	明治四十年ヲ迎ヘテ感アリ	遠江 細江陳人	41	
130 1907				雑録	新年	思誠	43	
130 1907				雑録	石尾天丁先生元旦の狂歌		44	
130 1907				雑録	神道観のいろいろ		45	
130 1907				彙報	宮中神楽祭		49	明治39年12月16日に宮中にて神楽祭を催す
130 1907				彙報	祓の御式		49	明治39年12月31日に天皇が祓の御式を執り行う
130 1907				彙報	四方拝		49	明治40年1月1日に天皇が四方拝の御親祭を執り行う
130 1907				彙報	宮中の元旦		49	W B & B & W Z = B
130 1907				彙報	各国元旦		50	世界各国における元旦
130 1907				彙報	天皇陛下御帯有の外国勲章		50	外国の君主や首長から明治天皇に贈られた勲章一覧
130 1907				彙報	神仏以外宗教信者数		51 52	
130 1907 130 1907				<u>彙</u> 報 彙報	天理教排斥の事由 教報		52	 「演舌会」「宗忠神社冬至大祭」「岡山中教会所改築 計画」「伊勢通信」
130 1907		1	20	霊験集	森住大正説教(承前)		54	

130	1907	明治40	1	20	広告	新刊寄書		56	新刊一覧
130	1907	明治40	1		広告			57	
		明治40	1			黒住教本庁員 本社維持費寄付者芳名		57 59	本庁員氏名一覧 寄付金額及び氏名一覧
130	1907		1	20	広告			59	奇り並組及び氏名一見
130	1907	明治40	1		広告	22件			
131	1907	明治40	2	23	社説	管中私言		1	宇宙に遍く広がる神徳を知ることで日々を闊達に過ごせる
101	1007	DD 2/240	•	00	⊬ 辛	支川米事/ケー \	海上中日茶 河上士莽学	•	୯୬
131	1907	明治40	2		修養	春川叢書(第三)	河上忠晶著•河上市蔵述	3	
131	1907	明治40	2	23	修養	神蹟余光	**	5	
131	1907	明治40	2		修養	与都能美米具実	美作 八十八童安藤愛親	7	「緒言」「足る事を知れ」
131	1907	明治40	2		講論	国体に関する少年訓	福井彦次郎	9	日本の国体の万国無比につき
131	1907	明治40	2		講論	大西博士の宗教思想と黒住教祖の信仰	黒住教教師養成所講授桑田常 三	12	大西博士の宗教的意識信仰につき
131	1907	明治40	2		講論	宣命にあらはれたる儒仏思想	文学士森洽蔵	22	
131	1907	明治40	2	23	講論	教祖の墳墓に詣づる記	黒住教教師養成所講授平野乍	25	
131	1907	明治40	2	23	講論	黄薇余芳(第三)		31	
131	1907	明治40	2	23	文苑	平野学士の感興	平野流香	33	平野学士が行った香川県の物見遊山につき(平野学士が桑田教授に現地から送った絵葉書5通)
131	1907	明治40	2	23	文苑	宗忠神社献詠和歌	丹波 堀りへ子ほか	35	「雪中若菜」44首・「庭松」58首
131	1907	明治40	2		雑録	反応一括	牧放浪	40	黒住宗忠の伝記を『朝日新聞』紙上に載せた際に来 た手紙につき
131	1907	明治40	2	23	雑録	熱腸冷語	聴雨荘主人	45	明治維新以来精神世界よりも物質世界を優先してい ることに対する警鐘
131	1907	明治40	2	23	雑録	生通しの説に就て再び所感を述ぶ(続)	美作 美甘門人竹内要助	47	
131	1907	明治40	2		雑録	大阪より一筆	浪花道人元旦稿	48	明治40年をきっかけに修養に励むことを説く
131	1907	明治40		23	雑録	黒住教新年会宴会	大阪府下黒住教々師信徒	51	明治40年1月6日に南地明月楼にて開催
131	1907	明治40	2		雑録	大挙伝道会		52	大阪青年会が開催する伝道会の告知
131	1907	明治40	2		雑録	第八回大阪説教会		52	明治40年2月8日に黒住教堂島小教会所で行われた 第8回説教会及び研究会につき
101	1907	明治40	2	00	雑録	│ │故権中教正川野祭典		53	権中教正川野忠道の葬儀
131			2		推球 雑録			54	
131	1907	明治40				社告			次号よりの質疑応答欄開始につき
131	1907	明治40	2		雑録	令達(達第一~二号)		54	
131	1907	明治40	2		彙報	盲人教育会創立		54	築地本願寺別院による盲人職業学校設立につき
131	1907	明治40	2		彙報	日蓮宗の教学財団		55	法華宗妙満寺による教学財団設立につき
131	1907	明治40	2		彙報	模範寄宿舍		55	万国青年大会準備に際しての日本基督教青年会の 模範的寄宿舎建設
131	1907	明治40			彙報	ブース大将の拝謁		55	救世軍ブース大将の来日予定とその旅程
131	1907	明治40	2	23	広告	本社維持費寄付者芳名		56	寄付金額及び氏名一覧
131	1907	明治40	2		広告	新刊寄書		56	新刊一覧
131	1907	明治40	2	23	大元真理研究 問答	[然るも尚地球其他各星は無終の御造化で…]		57	
132	1907	明治40	3	20	社説	我教祖の決心		1	河上忠晶が教祖から聞くところを摘録
132	1907	明治40	3		修養	神蹟余光		4	教祖の御講釈
132	1907	明治40	3		修養	本教実語教		6	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
132	1907	明治40	3		修養	与都能美米具実	美作 安藤愛親	7	神の御恵によって生きていることへ感謝
132	1907	明治40	3		講論	国体に関する少年訓(承前)	福井彦次郎	10	皇室の天壌無窮、その皇室のもと国民が一致団結することの重要性を説く

132	1907	明治40	3		講論	大西博士の宗教思想と黒住教祖の信仰	黒住教教師養成所講授桑田常 三	12	大西博士の宗教思想と黒住教祖の信仰を対照させる
132	1907	明治40	3		講論	黄薇余芳(承前)		25	
132	1907	明治40	3		文苑	宗忠神社献詠和歌	備中 久本九一ほか	27	「湖春月」50首・「山家」15首
132	1907	明治40	3	20	文苑	鶯、友	岡山 丘咲平四郎ほか	29	「鶯」24首・「友」14首
132	1907	明治40	3		文苑	讃州行	平野流香	31	管長の讃州出張に随行した際の記録
132	1907	明治40	3		雑録	反応一括(承前)	牧放浪	38	黒住教と他の宗教との比較
132	1907	明治40	3	20	雑録	聴雨荘夜話(一)	聴雨	44	
132	1907	明治40	3	20	雑録	本教々義問答		47	「(一)善人の罪を作るな」ほか8つの問い
132	1907	明治40	3		雑録	令達(達第三~四号)		48	本教教規改正とその内務省認可につき
132	1907	明治40	3		雑録	管長殿御巡教		49	管長の香川県巡教
132	1907	明治40	3	20	雑録	管長殿御出張		51	管長の津山中教会への出張
132	1907	明治40	3		雑録	教祖御大祭		52	
132	1907	明治40	3	20	雑録	黒住教万人参宮		52	
132	1907	明治40	3	20	霊験集	[本教の霊験が病気災難にあらたかなる…]		53	
132	1907	明治40	3	20	大元真理研究 問答	〔も立至るのみならず幽世にありては神量の上に於て 大に交代の必要あること窺はる…〕		55	
133	1907	明治40	4	24	社説	本教布教者の決心		1	海外にも広く布教する決心につき
133	1907	明治40	4		修養	神蹟余光		4	教祖の逸話など
133	1907	明治40	4		修養	本教実語教		5	
133	1907	明治40	4		修養	与都能美米具実	美作 安藤愛親	7	
133	1907	明治40	4	24	修養	大西博士の宗教思想と黒住教祖の信仰	黒住教教師養成所講授桑田常 三	8	大西博士の宗教思想と黒住教の共通性
133	1907	明治40	4		修養	理と情と詩と	黒住教教師養成所講授文学士 吉田貞一	19	理性を万能とする思想への反対
133	1907	明治40	4		修養	黄薇余芳(承前)		22	
133	1907	明治40	4		文苑	宗忠神社献詠和歌	美作 早瀬利徳ほか	24	「故郷花」48首・「鶏」41首
133	1907	明治40	4		文苑	桜、音楽	備中 久本九一ほか	27	「桜」22首・「音楽」10首
133	1907	明治40	4		雑録	街角と看板	魂陽学人福井彦次郎	29	利己と利他の加減について、街角にある看板を引き 合いに出す
133	1907	明治40	4		雑録	聴雨荘夜話(二)	聴雨	31	知育と徳育に加え体育にも力を入れることの必要性、 無宗教者の不安につき
133	1907	明治40	4		雑録	本教々義問答		33	「問の部」は「(十)生々て無きを養ふ」ほか5問(但馬 国城崎郡国府村ノ内上郷村赤本実蔵による)、「答の 部」は、第132号に掲載された問への回答
133	1907	明治40	4		雑録	万国学生基督教青年大会		35	大会の景況とその後の行程
133	1907	明治40	4		雑録	宗教大学の新設		35	浄土宗の黒田真洞師による大学新設の計画
133	1907	明治40	4		雑録	大連市の宗教		35	大連市における宗教の未発達と人心の不安につき
133	1907	明治40	4		雑録	無言無宗妻		36	北海道渡島国上磯郡当別村のトラビスト教会につき
133	1907	明治40	4		雑録	漢字統一総会		36	
133	1907	明治40	4		雑録	学童問題と宗教家		37	アメリカの学校教育とそれに対する宗教家の態度
133	1907	明治40	4		雑録	大日本仏徒大会		38	4月6日に東京浅草本願寺別院にて開催
133	1907	明治40	4		雑録	ブース大将来		38	救世軍ブース大将の来日と、その旅程につき
133	1907	明治40	4		雑録	大社教岡山分院新築計画		38	
133	1907	明治40	4		雑録	教祖祭		38	教祖祭の景況
133	1907	明治40	4	24	雑録	宗忠神社千人詣		39	大分県の地方信者による千人詣につき

122	1007	明治40	4	0.4	雑録	用		20	
133			4			黒住教第五回万人参宮		39	
133	1907	明治40	4		雑録	管長殿御帰庁		39	中は人かまれずれる。所
133	1907	明治40	4		雑録	本社維持費寄付者芳名		40	寄付金額及び氏名一覧
133	1907	明治40	4		雑録	新刊寄書		40	新刊一覧
133	1907	明治40	4		霊験集	[備前国上道郡御休村大字寺山字本城に…]		41	
133	1907	明治40	4		霊験集	韓国釜山岩垂賢より来信の一節		42	
133	1907	明治40	4		大元真理研究 問答	[主にもせよヨシヤ自然にもせよ斯く幾微の…]	美作 美甘政和答弁·門人竹内 要助質問並筆記	43	
134	1907	明治40	5		巻首	教祖神へ石尾氏より奉りたる祓	石尾乾介		
134	1907	明治40	5		社説	全国一致を望む		1	布教にあたり教師の人物陶冶をする必要性
134	1907	明治40	5		修養	神蹟余光		3	
134	1907	明治40	5		修養	本教実語教		5	
134	1907	明治40	5		修養	人事と天命	黒住教々師養成所講授桑田常 三	6	
134	1907	明治40	5		修養	理と情と詩と	黒住教々師養成所講授文学士 吉田貞一	9	
134	1907	明治40	5		史伝	古信徒の逸事		12	
134	1907	明治40	5	24	文修	宗忠神社献詠和歌	神戸 児玉円次郎ほか	14	「暁時鳥」45首・「寄島恋」11首
134	1907	明治40	5		文修	小天地	平野流香	16	「ゆく春」「豌豆の花」「独居」「歌がたり」「野の色」
134	1907	明治40	5		雑録	他山之石(ブース大将)	魂陽学人福井彦次郎	22	救世軍のあり様と見習うべき点
134	1907	明治40	5	24	雑録	武田五峯	思誠	23	
134	1907	明治40	5	24	雑録	皇国固有の人種はみな神孫なり	角田忠行	24	日本人の皇室への忠誠心につき
134	1907	明治40	5	24	雑録	本教々義問答		28	「問の部」と「答の部」、前者は岡山青年会員森正作による
134	1907	明治40	5	24	雑録	還暦祝賀会及和歌大会		30	本教養成所講師岡直盧の還暦祝賀会および岡山和歌大会
134	1907	明治40	5	24	雑録	全国神職大会		30	全国神職大会の景況
134	1907	明治40	5	24	雑録	神道者大会		31	全国神道者大会の景況
134	1907	明治40	5	24	雑録	韓国樺太と神社		31	全国神職大会における、韓国と樺太に神社を建立する議案につき
134	1907	明治40	5		雑録	沖縄の宗教		31	沖縄の人々の信仰およびキリスト教の布教につき
134	1907	明治40	5	24	雑録	寺院倶楽部		32	アメリカニューヨークにおける寺院の事業につき
134	1907	明治40	5	24	雑録	大日本世界教の創設		32	川面凡児による新宗教の創設
134	1907	明治40	5	24	雑録	ブース大将歓迎旗		32	救世軍ブース大将を歓迎する旗の標記について、雑誌神風の記者宮井鐘次郎が内務省警保局長・宗教局・警視庁に伺書を提出
134	1907	明治40	5	24	雑録	教師養成所寄附金		34	伊予国八多喜中教会所下より参拝した千人団体による養成所への寄付
134	1907	明治40	5	24	雑録	上田大教正頌徳碑除幕式		34	贈大教正上田久太郎を偲ぶ碑の完成
134	1907	明治40	5		雑録	黒住教岡山青年会		35	
134	1907	明治40	5		雑録	教報(達第八号)		36	
134	1907	明治40	5		雑録	新刊寄書		36	新刊一覧
134	1907	明治40	5		大元真理研究 問答	[悉く其始めがあつて其終りは必ず無きやうに…]	美甘政和	37	前号の続き
134	1907	明治40	5	24	霊験集	神の稜威に難病なし	武内善之治氏談	43	
134	1907	明治40			広告	17件		45	
						·	·		

134	1907	明治40	5	24	社告	[本誌は黒住教々旨の宣揚を以て任する…]		57	
135	1907	明治40	6		巻首	石尾先生書	石尾天丁		
135	1907	明治40	6		社説	読史観	口尼八丁	1	
135	1907	明治40	6	24	修養	神蹟余光		4	
135	1907	明治40	6		講論	村上専精氏の自信録を読む(其一)	桑田常蔵	5	
135	1907	明治40	6		修養	本教実語教(承前)	未山市政	6	 目次では「修養」に含まれているが、本文では「講論」
135								_	中に配置
135	1907	明治40	6		講論	歓喜の説	文学士吉田東薇	11	
135	1907	明治40	6		講論	我国の神道とペルシヤのザラストラ教	早稲田大学文学士吉岡梢風	15	ザラストラ教=ゾロアスター教
135	1907	明治40	6		史伝	我教祖の泉脈		17	
135	1907	明治40	6		文苑	宗忠神社献詠和歌	因幡 大呂万寿太ほか	19	「池菖蒲」31首・「平将門」9首
135	1907	明治40	6		文苑	新派和歌	丹波 堀敬篤ほか	20	「新派和歌」28首
135	1907	明治40	6	24	文苑	飛雲	文学士平野流香	22	「飛雲」15首
135	1907	明治40	6	24	文苑	白光	文学士吉田東薇	23	「白光」15首
135	1907	明治40	6	24	文苑	逍遥記	文学士平野流香	25	
135	1907	明治40	6		文苑	評林	杞憂道人	31	漢詩「和大円」
135	1907	明治40	6		雑録	方針を誤る勿れ	摂津 高畠生	31	
135	1907	明治40	6		雑録	本教々義問答		33	「答」のみ、回答者の一人に桑田生
135	1907	明治40	6		彙報	呼吸法実験長寿者談	並河公徳翁八十三歳	35	『報知新聞』より転載、以降42頁まで欄外表記は「雑
	1007	717110			ATM		11.7 12 16.737 V 11.75		録」のまま
135	1907	明治40	6	24	彙報	社会主義に宗教なきか		36	『万朝報』より転載
135	1907	明治40	6		彙報	大日本帝国頌徳碑		36	日露戦勝を祝した頌徳碑の計画
135	1907	明治40	6	24	彙報	基督教と日清両国		36	日路投票を見るために乗る日日
135	1907	明治40	6		彙報	仏教青年会と其発展		36	
135	1907	明治40	6		彙報	海外伝道会組織計画		37	
135	1907	明治40	6		彙報	神社へ戦利兵器の献納		37	「戦利兵器奉納の記」つき
135	1907	明治40	6		彙報	大社教岡山分院長の光栄		38	・
135	1907	明治40	6		彙報	西部伊予通信		38	
135	1907	明治40	6		彙報	多福なる教正の一門		38	
135	1907	明治40	6		彙報	寄附者賞与		39	
135	1907	明治40	6		集報 彙報	新四有員子 本庁令達		39	 任免の通牒
135	1907	明治40	6		集報 彙報	本月 7 達 [和歌 4首]		41	住光の連株
		明治40						41	
135	1907		6		彙報	本社維持費寄附者芳名			
135	1907	明治40	6		彙報 季幹 <i>集</i>	新刊寄贈		42	
135	1907	明治40	6		霊験集	[奉天日本町三拾弐号地料理店…]		43	
135	1907	明治40	6		霊験集	[韓国新義鴨緑江に停泊せし漁船…]	* " * 11 =1 *-	43	14 D a /d-1
135	1907	明治40	6		大元真理研究 問答	[設けたのであらふと思ふ、丁度難船…]	美作 美甘政和 	45	前号の続き
135	1907	明治40	6		広告	15件		51	
135	1907	明治40	6		社告	〔本誌は黒住教々旨の宣揚を以て…〕		61	
136	1907	明治40	7	24	巻首	教祖神御宸筆写真版	左京宗忠		
136	1907	明治40	7		社説	管中私言		1	
136	1907	明治40	7		修養	神蹟余光		3	
136	1907	明治40	7		修養	本教実語教(承前)		4	
136	1907	明治40	7		講論	村上専精氏の自信録を読む(其二)	桑田常蔵	6	
136	1907	明治40	7		講論	歓喜の説	文学士吉田東薇	12	
لتنا		_ ,,,,,	,		C. FRIII	1 ma	— — — — — — — — — — — — — — — — —		

136	1907	明治40	7	24	史伝	教祖御門下の一人		15	
136	1907	明治40	7		文苑	宗忠神社献詠和歌	備前 森保定ほか	16	 「遠村蚊遣」ほか47首
136	1907	明治40	7		詩文	示芯神社	故森下景端	18	「迷竹取追」はか4/目
	1907	明治40	7	24	詩文	□ 世ス □ 浮舟於児島湾追憶往昔有感	河上市蔵	18	
136				24	詩义 註文		川上印風 伯爵大隈重信	18	
	1907	明治40	7		詩文	大教正上田君紀徳碑			
	1907	明治40	7		大野	[和歌 8首]	文学士吉田東薇	20	
136	1907	明治40	7		大野	伊予日記の一節	森思誠	20	
136	1907	明治40	7		雑録	石尾天丁先生筐底の遺書		24	
136	1907	明治40	7		雑録	大阪市少年訓の一例	魂陽学人福井彦次郎	26	
136	1907	明治40	7		雑録	聴雨荘夜話	聴雨	27	救世軍ブース来岡の話など
136	1907	明治40	7		雑録	送森田君喜次郎之赴任文	讃岐 玉井信厚	29	高松中教会所開設
136	1907	明治40	7		思潮	日本と欧羅巴の愛国心	大隈重信	33	
136	1907	明治40	7		思潮	煩悶を以て進歩向上の段階に利用せよ	文学博士高瀬武次郎君	35	『修養界』より転載
136	1907	明治40	7		思潮	宗教を信ぜる婦人は何処にかしつかりとした所があり ます	日野西伯夫人	35	『女学世界』より転載
136	1907	明治40	7		思潮	杜翁の日本観		37	トルストイ
136	1907	明治40	7		思潮	人事の変態		37	『時事新報』より転載
136	1907	明治40	7		彙報	世界的宗教の理想		38	
136	1907	明治40	7	24	彙報	全国仏教徒聨合会		39	
136	1907	明治40	7	24	彙報	救世軍新司令官		39	
136	1907	明治40	7	24	彙報	仏教史上の大発見		39	ビルマ人類学会
136	1907	明治40	7	24	彙報	宗教制度調査		40	清国
136	1907	明治40	7		彙報	教権回復の建言		40	
136	1907	明治40	7	24	彙報	宗教家の活動		40	
136	1907	明治40	7		彙報	松江中教会所の禊祭		41	
136	1907	明治40	7	24	彙報	説教心の種		42	河上権大教正の近著
136	1907	明治40	7		霊験集	清国奉天よりの来信(前号の続き)		43	
136	1907	明治40	7		霊験集	[伊予国伊予郡廣田村大字総津…]		44	
136	1907	明治40	7		広告	20件		45	
137	1907	明治40	8		巻首	赤木忠春先生御真筆木版			
137	1907	明治40	8		社説	黒住教の罪悪感		1	
137	1907	明治40	8	20	修養	神蹟余光		7	直原伊八郎の覚書、岡本教左衛門の講席
137	1907	明治40	8		講論	養無説	黒住教教師養成所講授桑田常 三	9	
137	1907	明治40			講論	近世思潮より観たる神道の特質	早稲田大学文学士吉岡梢風	11	
137	1907	明治40	8		講論	神道の崇拝	文学士補永茂助	14	アストン氏神道の一章梗概
137	1907	明治40	8	20	史伝	教祖御門下の一人(承前)		17	
137	1907	明治40	8	20	文苑	宗忠神社献詠和歌	備中 久本九一ほか	20	「初秋虫」41首・「竹」31首
137	1907	明治40	8	20	文苑	新派和歌	文学士平野流香選評	23	和歌28首
137	1907	明治40	8		雑録	石尾天丁先生筺底の遺書(承前)		24	
137	1907	明治40	8	20	雑録	南米における太陽崇拝の風	伊勢 倉田太治郎	26	米国学者ウィリアム・プリスコットのペルーにおける太陽崇拝
137	1907	明治40	8		思潮	漢字の事	熱田神宮々司角田忠行	29	
137	1907	明治40	8		思潮	家庭と宗教	加茂地子	31	『女子道』より転載
137	1907	明治40	8		思潮	長寿者の二種類	松山病院長松山棟庵君	32	『実業の日本』より転載
137	1907				思潮	宣教師不成功の四源因	ムカルデー	33	『新公論』より転載

137	1907	明治40	8	20	彙報	勅語奉賛歌		34	大阪市高等商業学校長福井彦次郎について
	1907	明治40	8		彙報	韓国事件と基督教		35	NAME OF THE PROPERTY OF THE PR
	1907	明治40	8		集 報	対ロチリン型目が 菊地男爵の講演に対するスタンダードの批評		36	『東京日々』より転載
	1907	明治40	8		彙報	社寺合併の経過		39	社寺合併の勅令について
	1907	明治40	8		集報	天理教の勢力		39	天理教の信徒数について、北海道・台湾・廈門・釜山
'0'	1007	91/0	٠	20	**************************************	人在我の另外		00	まで伝わる
137	1907	明治40	8	20	彙報			39	0.012.17.0
	1907	明治40	8		彙報	救世軍の活動		39	救世軍が施療院を日本に建設することについて
	1907	明治40	8		集和 彙報	美以教会の三派合同の新監督		40	新監督に青山学院総理本多庸一が当選
	1907	明治40	8		彙報	モルモン宗の本山制度		40	オニョに有出子の心は本夕角 が ヨ医
	1907	明治40	8		集和 彙報	洗礼の返却		40	徳富蘇峰について
	1907	明治40	8		集 報	禊祭		40	宗忠神社禊祭(大祓大祭)
	1907	明治40	8		集報 彙報			41	8月2日夏期講習会について、詳細は次号
	1907	明治40	8		集報 彙報			41	多月2日夏朔講百云に ろいて、評価は次号 美作国英田郡西粟倉村地方信徒による黒住教大会
137	1907		_					41	について(古町教会所等)
	1907	明治40	8		霊験集	〔私の長男起次…〕	淡路国 中内又次郎	43	
137	1907	明治40	8		広告	12件		45	
138	1907	明治40	9	26	巻首	高弟時尾宗道先生筆蹟			
138	1907	明治40	9	26	社説	管中私言		1	
138	1907	明治40	9	26	修養	神蹟余光	山脇教正	4	古松の老婆と教祖、森金為蔵の話
138	1907	明治40	9	26	修養	哲言対照録	河上市蔵	6	
138	1907	明治40	9	26	講論	風紀問題否な整理問題	魂陽学人福井彦次郎	8	
138	1907	明治40	9		講論	歓喜の説(承前)	文学士吉田東薇	11	
138	1907	明治40	9	26	講論	神道の崇拝(承前)	文学士補永茂助	13	アストン氏神道の壱章梗概
138	1907	明治40	9	26	史伝	教祖御門下の一人(承前)		18	河上忠晶から道義の教養を受け門下の志士と称され た牧野権六郎、伊藤佐兵衛、海間十郎右衛門につい て
138	1907	明治40	9	26	文苑	宗忠神社献詠和歌	長崎 片山雄三ほか	21	「月前遠望」26首・「名所里」25首
138	1907	明治40	9		文苑	新派和歌	文学士平野流香選	23	
138	1907	明治40	9		文苑	[俳句「朝寒」8首・「落鮎」7首・「友の渡韓を送りて」1 首・「散柳」8首]	白雲社句稿	26	
138	1907	明治40	9	26	文苑	[漢詩 2編]	魂陽福井彦次郎ほか	27	
	1907	明治40	9		雑録	石尾天丁先生筐底の遺書(承前)		28	
138	1907	明治40	9		雑録	勅語奉読会開会余感	魂陽学人福井彦次郎	31	
138	1907	明治40	9		雑録	黒住宗忠伝を読みて	播故恪	32	
138	1907	明治40	9		雑録	聴雨荘夜話	聴雨	33	
138	1907	明治40	9		雑録	如是感	思誠	35	
138	1907	明治40	9		彙報	満韓地方神社建設の件	10.00	38	全国神職会幹事加茂水穂(靖国神社宮司)が満韓を 視察し在留者の意向を調査、伊藤博文統監と面会
138	1907	明治40	9	26	彙報	韓国に於ける米国宣教師		39	宣教師ホイッテモアが布教、信者多数
138	1907	明治40	9		彙報	日本基督教会の独立		39	
	1907	明治40	9		彙報	樺太の宗教		40	樺太は仏教の独舞台で神道の教会なし、北海道健児 諸氏の奮起を祈る
		明治40			彙報	統監大廟参拝		40	

138	1907	明治40	9		教内時事	災害救援		40	神戸中教会所長の小川源勝、前月中旬から本月の暴 風で被害を受けた中部東北地方へ同地の黒住教青 年会員を督励して救援物資を輸送
138	1907	明治40	9	26	教内時事	奇特なる信徒		41	神戸市の吉田喜三郎は丁稚奉公のころから篤く信仰、独立後胃腸の重病で入院したが、小川教正の禁 駅のお蔭で全快
138	1907	明治40	9		教内時事	渡辺教正新任の概況		42	姫路中教会所長の中教正渡辺博が大阪堂島小教会 所長に招聘され、去月15日赴任
138	1907	明治40	9		教内時事	倉吉中教会所講習会		42	本庁から宣教師森住大教正が出張、桑田講授も出席 講演
138	1907	明治40	9	26	教内時事	邑久郡婦人会		42	邑久郡山田庄小教会所部下の婦人の組織
138	1907	明治40	9		教内時事	平野平兵衛氏		42	平野は大阪堂島小教会の柱石で本月3日病没、阿倍 野墓地に神葬
138	1907	明治40	9		霊験集	御神縁		43	
138	1907	明治40	9	26	霊験集	余の霊験談	山城国乙訓郡久世村 木村与三郎	44	
138	1907	明治40	9	26		本社維持費寄付者芳名		45	
138	1907	明治40	9	26		新刊寄書		45	
138	1907	明治40	9	26	広告	13件		46	
139	1907	明治40	10		巻首	赤木忠春先生御真筆木版			
139	1907	明治40	10		社説	管中私言		1	「我姿尋ねぬるにまた及ぶましたる天地に照りわたる もの」
139	1907	明治40	10	25	修養	神蹟余光		4	直原伊八郎の記録
139	1907	明治40	10	25	修養	哲言対照録	河上市蔵	5	「説苑」の解説
139	1907	明治40	10	25	講論	風紀問題否な整理問題(承前)	魂陽学人福井彦次郎	6	
139	1907	明治40	10	25	講論	快楽ご道徳	黒住教々師養成所講授桑田無 堂	10	
139	1907	明治40	10	25	講論	文学的に観たる大祓詞	文学士平野流香	12	
139	1907	明治40	10	25	史伝	教祖御門下の一人(承前)		16	
139	1907	明治40	10	25	文苑	宗忠神社献詠和歌	東京 南里雅芳ほか	18	「檮衣遥」27首・「牛」23首
139	1907	明治40	10	25	雑録	石尾天丁先生筺底の遺書(承前)		20	
139	1907	明治40	10		雑録	一等国とは抑も何ぞ	魂陽学人福井彦次郎	21	
139	1907	明治40	10		雑録	道の話	黒住教々師養成所講授桑田常 三	23	「第一章 道」
139	1907	明治40	10	25	雑録	本立て道生ず	美作 美甘政和稿	25	
139	1907	明治40			雑録	無題録(一)	活元子	26	
139	1907	明治40			雑録	随感断片録	泉州堺市 高畠久米治	28	
139	1907	明治40			思潮	煩悶を慰藉する丈けが宗教と思うべからず	海老名弾正君	29	『学世タイムス』より転載
139	1907	明治40			思潮	楽天的生活の第一障害は不正直	小野金六君	31	『実業の日本』より転載
139	1907	明治40	10	25	思潮	虚往実帰	文学博士南条文雄講演	32	『神戸評論』より転載
139	1907	明治40	10	25	思潮	空気浴に就て	シユナイデル	33	『報知新聞』より転載
139	1907	明治40			彙報	仏教信者の英国婦人		34	
139	1907	明治40			彙報	神道研究会の設立		34	
139	1907	明治40			彙報	宗教談話会		35	
139	1907	明治40			彙報	軍隊の精神教育		35	
139	1907	明治40	10	25	彙報	大坂府下宗教取締		36	

139	1907	明治40	10	25	教内時報	難波教正の名誉		36	権中教正難波今治の表彰
139	1907	明治40			教内時報	時永教正送別会		36	時永教正の富岡中教会所への異動の送別会
139	1907	明治40			教内時報 教内時報	水災救助		37	永沢、神戸教会所について
139	1907	明治40			本庁伝達			37	教務課長と財務課長の依願免職
139	1907	明治40			本庁伝達	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		38	教務課長と財務課長の依願先職
\perp		明治40				新刊奇書			以単へ同じに登珪安員任叩
139	1907		10	25	雑録			40	
139	1907	明治40	10		雑録	本社維持費寄附者芳名		40	
139	1907	明治40	10		霊験	余の霊験談(承前)	山城国 勲八等功七級木村与三郎	41	
139	1907	明治40	10		広告	14件		44	
140	1907	明治40	11		社説	治に居て乱を忘れず		1	
140	1907	明治40	11		修養	神蹟余光		4	
140	1907	明治40	11		修養	誓言対照録	河上市蔵	5	
140	1907	明治40	11	25	講論	風紀問題否な整理問題(承前)	魂陽学人福井彦次郎	10	快楽と正義の観念
140	1907	明治40	11	25	史伝	教祖の御門下の一人(承前)		11	海間十郎右衛門、新庄厚信の事蹟
140	1907	明治40	11	25	文苑	宗忠神社献詠和歌	片山重孝ほか	13	「夕落葉」28首・「暁恋」13首
140	1907	明治40			文苑	嵐山もみち見の記	少教正森与惣	15	
140	1907	明治40	11	25	雑録	教育家対各自健康保護法	魂陽学人福井彦次郎	18	「満八時間睡眠前後入神式漕法」ほか
140	1907	明治40	11		雑録	道の話	黒住教々師養成所講授桑田常三	20	「第二章 天と人」
140	1907	明治40	11	25	雑録	自照録 (一)	思誠	23	「修養」「病の直る道の入口」
140	1907	明治40	11	25	思潮	人間になりたいか豚になりたいか	島田蕃根談	26	『新公論』より転載
140	1907	明治40	11	25	思潮	日本の国民教としての忠孝宗	文学博士井上円了	29	『六合雑誌』より転載
140	1907	明治40	11	25	思潮	作法の功徳	ハートウィック翁述	30	『実業之日本』より転載
140	1907	明治40	11	25	思潮	空気の流通	トライン	31	『天真の生涯』より転載
140	1907	明治40	11	25	彙報	靖国神社大祭		32	太神楽、素人相撲能狂言、煙火など
140	1907	明治40	11	25	彙報	神社を中心とせる地方自治		33	愛知県北設楽郡稲橋村
140	1907	明治40	11	25	彙報	宗教法案に対する意向		33	仏教界の仏教法制定への動き
140	1907	明治40	11		彙報	東郷大将の恭敬		33	東宮殿下について各学校参観
140	1907	明治40	11	25	彙報	新年御題		34	宮中歌御会始「社頭松」
140	1907	明治40			教報	廿五年紀念祭		34	岡山中教会所
140	1907	明治40			教報	岡山青年会発展		34	河上権大教正の指導により盛会
140	1907	明治40	11		教報	黒住教々師信徒召集		35	300人以上の盛会
140	1907	明治40	11		教報	広島中教会所長送迎会		35	田鍋床平から保持謹治郎へ
140	1907	明治40	11		教報	広田氏祝歌募集		35	Control of A Maria HECHOL
140	1907	明治40		25	雑録	本庁令達(告示第八~十号・達第十号)		36	
140	1907	明治40			雑録	新刊寄書		37	
140	1907	明治40	11	25	広告	- 利用可言 年賀欄広告募集	国の教雑誌社	38	
140	1907	明治40	11		広告	和歌懇請 原田周碩古稀賀 兼題 寄松祝 短冊認	広田謙吉	38	
140	1907	明治40			<u>広日</u> 霊験集	型	ム山林口	38	
140	1907	明治40			<u> </u>			41	
140		明治40			四百			41	 裏に参列者人名あり
141	1907	明治40	12		社説			1	表に変別有人有のツ
	1907		12			御親の心		1	
141	1907	明治40	12		修養	神蹟余光	海上市日本 田河上十歩寺羊	4	
141	1907	明治40			修養	春川叢書	河上忠晶著·男河上市蔵講義	5	
141	1907	明治40	12	25	講 誦	天照大御神の御出現地	文学士安原清輔	7	

141	1907	明治40	12	25	講論	日本主義とは何ぞや	文学博士井上哲次郎	12	
141	1907	明治40	12		文苑	宗忠神社献詠和歌	備中 小野松蔭ほか	16	「雪中早梅」35首・「徳川家康」11首・漢詩「寄題耶馬 渓画巻」(河上市蔵)ほか3編
141	1907	明治40	12	25	雑録	糸一本の呼吸	魂陽学人福井彦次郎	20	
141	1907	明治40	12	25	雑録	「日本古代史と神道の関係」を評す	非水生	21	久米邦武批判
141	1907	明治40	12	25	雑録	無題録	活元子	28	
141	1907	明治40	12	25	雑録	自照録(二) 楽天主義	思誠	29	
141	1907	明治40	12		思潮	認められてから働かずに働ひてから認められよ	衆議院議員大岡育造君	31	
141	1907	明治40			思潮	日本人禍 黄白二人種の将来		31	
141	1907	明治40			思潮	東西洋相互の人類問題を消滅せざる可らず	法学博士添田寿一君	33	
141	1907	明治40	12		思潮	道徳山哲学寺	井上円了君	33	
141	1907	明治40		25	思潮	婦人の三大魔心	松崎雙葉君	34	
141	1907	明治40			思潮	不良少年の数と其種類	留岡幸助君	35	
141	1907	明治40			思潮	座はり様で見る人の性質	糸左近君	36	
141	1907	明治40	12		彙報	最近の御製		36	
141	1907	明治40			彙報	法王日本に大学を起さんとす		37	
141	1907	明治40			彙報	樺太の宗教		37	
141	1907	明治40	12		彙報	寺院合併と墓		37	
141	1907	明治40	12		彙報	井上博士の朝鮮宗教観		38	
141	1907	明治40			彙報	米国大学総長の菅公崇拝		39	
141	1907	明治40	12	25	彙報	護国塔建設起工式		40	
141	1907	明治40	12		彙報	日本基督教会の独立		40	
141	1907	明治40	12	25	教報	黒住教大会議記事		41	
141	1907	明治40	12		新刊寄書	WIT IVA THE HEAD I		44	
141	1907	明治40			霊験集	[隠岐国周吉郡西郷町字中町…]		45	
142	1907	明治41	1		巻首	宗忠神社社頭松			口絵
142	1907	明治41	1		巻首	御神詠			T (PA
142	1907	明治41	1		道の栞	天地も人も獣も草も木も すへて生かせる日の太御神		1	
142	1907	明治41	1	29	道の栞	新年詠懐		2	
142	1907	明治41	1	29	社説	新年の希望		4	
142	1907	明治41	1	29	修養	神蹟余光		7	東方朔、1月に熟する桃
142	1907	明治41	1	29	修養	春川叢書	河上忠晶著・男河上市蔵講義	9	
142	1907	明治41	1	29	講論	喜楽の道		10	
142	1907	明治41	1	29	講論	松王、梅王、桜丸	吉田東薇	11	
142	1907	明治41	1		史伝	伊木三猿斎の伝		14	
142	1907	明治41	1		詞藻	宗忠神社献詠和歌	備中 横畑薗子ほか	17	「新年山」33首・「鶴」45首・「社頭松」47首
142	1907	明治41	1		詞藻	「身も我も心も捨て>天地のたつた一つの誠はかり に」を拝詠して感を記す	因幡 大呂寿峰	23	
142	1907	明治41	1	29	講談	木村重成堪忍袋	東京 逸隆斎文山口演·仝浪上 速記所速記	24	
142	1907	明治41	1	29	雑録	負うた児	魂陽学人福井彦次郎	28	
142	1907	明治41	1	29	雑録	道の話	桑田無堂	31	「第三章 道の入口」
142	1907	明治41	1		雑録	自照録(三) 楽天主義	思誠	32	
142	1907	明治41	1		雑録	年頭の感	無堂	35	
142	1907	明治41	1		雑録	太陽暦と黒住教	白雲郎	36	

142	1907	明治41	1	20	雑録	真ノ快楽	遠江 細江陳人述	37	
142	1907	明治41	1		彙報	和歌御会始	高畠千畝ほか	39	 御製・皇后宮御歌ほか、「社頭松」4首・「撰歌」6首
142	1907	明治41	1	29	葉 報 雑録	ー 和歌脚矢炉 印度の宗教別	同田一畝は20.	40	
142	1907	明治41	1	20	雑録	学行く大和民族		40	
142	1907	明治41	1		雑録	学生と宗教別		40	
142	1907	明治41	1		雑録	東京青年伝道会堂		41	
142	1907	明治41	1	29	雑録	軍事以外日本の進歩		41	
142	1907	明治41	1	29	雑録	中国法に拠る僧侶の伝道		41	
142	1907	明治41	1		雑録	韓国に於ける米国宣教師		42	
142	1907	明治41	1	29	教報	宗忠神社冬至大祭		42	
142	1907	明治41	1		教報	高知中教会所冬至祭		42	説教所の詳しい「当日概況」
142	1907	明治41	1		教報	本教岡山青年会の新年宴会		44	
142	1907	明治41	1		雑録	本社維持費寄附者芳名		45	
142	1907	明治41	1		雑録	新刊寄書		45	
142	1907	明治41	1		霊験集	[播磨国佐用郡長尾小教会所長阿山…]		46	
142	1907	明治41	1	29	霊験集	北海道藤田馬治郎氏より来信の一節		47	
142	1907	明治41	1	29	広告	28件		48	年賀挨拶ほか
143	1907	明治41	2	29		宗忠神社大祭	国の教雑誌社		開催の広告
143	1907	明治41	2	29	社説	奉教の大勇		1	
143	1907	明治41	2		修養	神蹟余光		4	「六十幅の七ケ条」など
143	1907	明治41	2		修養	春川叢書	河上忠晶著·河上市蔵述義	6	
143	1907	明治41	2		講論	松王、梅王、桜丸(承前)	文学士吉田東薇	7	
143	1907	明治41	2		講論	大阪市へ一大貢献	魂陽学人福井彦次郎	11	漢詩「浪華従事教育十二周年」
143	1907	明治41	2	29	特別寄書	神道と個人主義	東京 阿部雉城	13	宣長、シラー、ニーチェなどを引照しつつ神道家の個人主義排斥を批判
143	1907	明治41			史伝	伊木三猿斎の伝(承前)		16	
143	1907	明治41	2	29	詞藻	宗忠神社献詠和歌	備前 淵浪喜美造ほか	19	「山家梅」53首・「浦」28首
143	1907	明治41	2		詞藻	我か詩(朝夕)	因幡 大呂寿峰	22	
143	1907	明治41	2	29	雑録	自照録 (四)	思誠	23	信心(二)
143	1907	明治41			雑録	神道家の服制定まりしを祝して一言	不動生	26	
143	1907	明治41			雑録	謹桑田無堂先生に呈す	伊予 石川信正	28	
143	1907	明治41		29	思潮	青年の宗教信仰に就いて	文学博士三宅雄次郎氏談	29	『東亜の光』より転載
143	1907	明治41	2		思潮	宗教と国家に就いて	文学博士高楠順次郎氏談	30	『東亜の光』より転載
143	1907	明治41	2		思潮	考へ込まずに研究せよ	池辺吉太郎君	32	『成功』より転載
143	1907	明治41	2	29	思潮	生理上から見たる笑の利益	狩野病院長狩野謙吾君	33	『衛生新報』より転載
143	1907	明治41			思潮	当になる人、ならぬ人	徳富猪一郎君	33	『商業界』より転載
143	1907	明治41		29	思潮	青年に教ゆる記憶術十則	糸左近君	34	『中学世界』より転載
143	1907	明治41	2		思潮	幸福の両面	文学士加地歌三郎君	34	『新人』より転載
143	1907	明治41	2		彙報	奇なる予言法		36	『通仏教』の著者井上政共について
143	1907	明治41	2		彙報	夢に説教を作る		36	近刊の『福音新報』掲載の説経家スポルジョンについて
143	1907	明治41			彙報	壱千円の無名寄附		36	
143	1907	明治41	2		彙報	満韓伝道会社		37	
143	1907	明治41	2		彙報	学生の求道動機別		37	
143	1907	明治41	2		彙報	日本将来の宗教		38	
143	1907	明治41	2	29	彙報	仏教信者の英国婦人		38	京都東福寺管長の晋山式に関して

143	1907	明治41	2	29	彙報	清国伝道百年祭		39	イギリス宣教師のキリスト教中国伝道
143	1907	明治41	2		教報	管長殿御帰庁		39	
143	1907	明治41	2		教報	千人参詣			伊予国北宇和郡吉田町
143	1907	明治41	2		教報	千人詣の計画		39	津山中教会より宗忠神社大祭
143	1907	明治41	2	29	教報	教師の美挙		40	相生教会岡部伊介
143	1907	明治41	2		雑録	「権大教正小林■塘師は客月廿二日突然…」		40	■=くさかんむり+隅
143	1907	明治41	2		雑録	[和歌 3首]	思誠	40	- CONTOUNT MA
143	1907	明治41	2		霊験集	[但馬国城崎郡中竹野村ノ内大谷村…]	75.0%	41	
143	1907	明治41	2		広告	新刊寄書	国の教雑誌社	43	
143	1907	明治41	2	29	広告	20件		44	
144	1908	明治41	3		広告	2件		- ''	黒住教教師養成所学生募集など
144	1908	明治41	3		社説	管中私言		1	
144	1908	明治41	3	20	修養	神蹟余光	直原高弟聞書	3	
144	1908	明治41	3		修養	春川叢書(承前)	河上忠晶著•河上市蔵述義	5	
144	1908	明治41	3		修養	御道のほと里(一)	故高弟時尾宗道	7	
144	1908	明治41	3	20	講論	青年と宗教	双向	8	
144	1908	明治41	3		講論	神道と個人主義(承前)	東京阿部雉城	11	
144	1908	明治41	3	20	詞藻	守退と個人主義(承前)	出雲 清原只七ほか	15	 「夕霞」41首・「人」19首
144	1908	明治41	3		詞藻	示心神社脈跡や歌 見新設第十七師団司令部開庁盛典作歌幷短歌	関直盧	17	7 段] 4 目 ・ 八] 19 目
144	1908	明治41	3		神 雑録	克利政第十七帥四月节部第八盗英作歌并及歌 自照録(五)	思誠	17	信心(三)
144	1908	明治41	3	29	# 郵 雑録	自思疎(五) 教師養成所に就て	講授桑田常蔵	21	16心(二)
		明治41	3		思潮			22	
144	1908		3	29	思潮		伯爵大隈重信君	22	『実業之日本』より転載 『教育』より転載
144	1908	明治41		29	心期	子弟を無神主義に導く勿れ	文学博士子爵末松謙澄君		
144	1908	明治41	3	29	思潮	笑	華山居士	23	『人間新誌』より転載
144	1908	明治41	3		思潮	禅宗の教育	文学博士谷本富	24	『禅宗』より転載
144	1908	明治41	3		思潮	如何なる人が肥えるか	鈴木胃腸病院長鈴木主計君	25	『実業之日本』より転載
144	1908	明治41	3	29	思潮	自然主義と神	木下尚江	26	『太陽』より転載
144	1908	明治41	3	29	思潮	我が宗教	服部正夫	27	『新人』より転載
144	1908	明治41	3	29	思潮	実行的宗教	上田周太郎君	28	『人間新誌』より転載
144	1908	明治41	3	29	思潮	弘法大師の弘法	文学博士三宅雄次郎君	29	『全国神職会々報』より転載
144	1908	明治41	3		彙報	神道同志会		31	
144	1908	明治41	3		彙報	梁川氏の法号		32	
144	1908	明治41	3		彙報	宗教法と西本願寺		32	
144	1908	明治41	3	29	彙報	日本教会の創設		32	
144	1908	明治41	3	29	彙報	万国組合教会大会		32	
144	1908	明治41	3		彙報	天理教調査		33	
144	1908	明治41	3	29	彙報	内務省とモルモン教		33	
144	1908	明治41	3		教報	春期大祭		33	
144	1908	明治41	3		教報	千人詣		33	
144	1908	明治41	3		教報	樺太通信		33	
144	1908	明治41	3		教報	神宮遥拝式		34	
144	1908	明治41	3	29	教報	教会堂建設用地の貸下		34	
144	1908	明治41	3		教報	神社		34	
144	1908	明治41	3		教報	表忠碑		34	樺太ウラジミロフカ大通り黒住教仮事務所
144	1908	明治41	3		教報	神楽岡宗忠神社改築の計画		35	
144	1908	明治41	3	29	教報	交渉委員の登庁		35	

144	1908	明治41	3	29	教報	新刊寄贈		35	
144	1908	明治41	3		教報	霊験集		36	備前国御津郡円城村森下百次の妻・せいに対する病 気治し
144	1908	明治41	3	29	広告	黒住教祖の宗教	国の教雑誌社	38	
144	1908	明治41	3		附録	黒住教本庁録事 第一号		附録1	全8頁、黒住教教規、教則御認可願(管長黒住宗子より内相原敬へ)ほか
144	1908	明治41	3	29	広告	23件		広告1	全14頁
145	1908	明治41	5	29	広告	1件			
145	1908	明治41	5	29	社告	四月号休刊に就て			
145	1908	明治41	5	29	社説	統一的宗教	無堂	1	
145	1908	明治41	5	29	講論	宗教家と常識	魂陽学人福井彦次郎	3	
145	1908	明治41	5	29	講論	高尚なる自愛	桑田無堂	5	
145	1908	明治41	5	29	修養	神蹟余光	直原高弟聞書(続)	9	
145	1908	明治41	5		修養	春川叢書(承前)	河上忠晶著・河上市蔵述義	9	
145	1908	明治41	5		修養	御道のほとり(二)	故高弟時尾宗道	11	
145	1908	明治41	5		修養	日々家内心得の事		13	
145	1908	明治41	5		雑録	道歌問答		13	
145	1908	明治41	5		雑録	石尾天丁先生(一)		15	
145	1908	明治41	5		雑録	自照録(六)	森思誠	17	信心(四)
145	1908	明治41	5	29	寄書	一点の心燈	THINGS AND	20	
145	1908	明治41	5	29	詞藻	宗忠神社献詠和歌	出雲 清原只七ほか	21	「庭花」43首・「風」19首
145	1908	明治41	5		詞藻	怡神詠	河上忠晶ほか	24	和歌9首
145	1908	明治41	5	29	思潮	禅の三大要と禅味の誤解	円覚寺管長宮地宗海師	24	『成功』より転載
145	1908	明治41	5		思潮	人生は遊戯でない	近角常観君	26	『求道』より転載
145	1908	明治41	5	29	思潮	宗教外の安心立命	文学博士加藤弘之君	27	『仏国ラレビユ誌』より転載
145	1908	明治41	5	29	思潮	娯楽の要件十個条	雨のや主人君	29	『衛生新報』より転載
145	1908	明治41	5	29	思潮	進化論と有神の信仰	シンシル君	29	『六合雑誌』より転載
145	1908	明治41	5	29	彙報	布教使の人撰		31	Ex AM (EMAGO) MANA
145	1908	明治41	5		彙報	一村悉〈基督教となる		31	
145	1908	明治41	5	29	彙報	場倫仏教と醜業婦		32	
145	1908	明治41	5		彙報	宗演師の家憲		32	
145	1908	明治41	5		彙報	モルモン宗教長と五妻四十三子		33	
145	1908	明治41	5		教報	教祖祭		33	
145	1908	明治41	5		教報	千人参詣		34	
145	1908	明治41	5		教報			34	
145	1908	明治41	5		教報	津山の千人詣		35	
145	1908	明治41	5		教報	桑田無堂氏の出張		35	
145	1908	明治41	5	29	3×1×	本社維持費寄附者芳名		36	新刊雑誌一覧も
145	1908	明治41	5		霊験集	[豊後国大分町字塩九升町…]		37	THE THEORY SEC
145	1908	明治41	5		附録	黒住教本庁録事 第弐号		附録1	全8頁、前号続き
145	1908	明治41	5		広告	18件		F11 24 1	T-0267 Bit -2 420C
146	1908	明治41	6	6	МП		国の教雑誌社		組合組織し株主募集中、雑誌延滞金送金願う
146	1908	明治41	6	-	社説	信心の種類	ロマンカイに印む「土	1	1111 111 11 11 11 11 11
146	1908	明治41	6	6	講論			4	
146	1908	明治41	6	6	修養	神蹟余光	本田先生記録	7	大森武助茂樹なる富者につき
146	1908	明治41	6	-	修養			9	八条を多えで、日日につ
140	1900	1/17/12/41	U	Ü	沙食	111 11 11 11 11 11 11 11 11	四工心田有 四工川 似 型 我	y	

166 1908 99241 6 6 6 6 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1	146	1908	明治41	6	6	攸恙	御道のほとり(三)	故高弟時尾宗道	11	1
146 1968 明光4 6 6 情報 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日										
146 1908 明治41 6 6 6 開發 自翻係 一										
146 1908 明治4 6 6 日瀬 宗忠神社政教和牧 長作 演奏者 天郎神社政教和牧 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日										
146 1908 明治41 6 6 前漢					6	維球				[***
146 1908 明治41 6 6 開張 神楽岡大祭記 神楽岡大祭記 神楽岡大祭記 神楽団大祭記 神経団大祭記 神経団大祭2 神経学大祭2 神経学大学大祭2 神経学大学大祭2 神経学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大										
146 1908 明治4 6 6 思潮 技が租外の独国的精神を一口に云くば 黒木皮油素 29 養養止り転類 大変を								石尾有則ほか		和歌10百
146 1968 明治4 6 6 思潮 受けた恩養を多れぬやうける一法 新漢中稿益者 29 実業之日本上り転載 146 1968 明治4 6 6 思潮 何事でも一度死なは駄目なり 釈元彦君 31 「時代宗政上り転載 146 1968 明治4 6 6 思潮 何事でも一度死なは駄目なり 釈元彦君 33 「所代宗政上り転載 146 1968 明治4 6 6 思潮 哲理保法 松室以忠君 33 「介合雑誌」より転載 146 1968 明治4 6 6 金報 日清の仏教問題 39 日清の仏教の民意会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会										
146 1908 明治4 6 6 思潮										
146 1908 明治41 6 6 6 思潮 何事でも一度死なれば駄目なり 駅元恭書 31 「時代宗教上り転載 146 1908 明治41 6 6 8 周 哲理教法 松盆以忠君 32 「新代教別上り転載 「不合種誌川より転載 「不合種は川より転載 「不合種は川より転載 「不合種は川より転載 「不合種は川より転載 「不合種は川より転載 「不合種は川より転載 「不合種は川より転載 「不会達」 「不会を表した。」 「不会表した。」 「不会を表した。」 「不会表した。」 「不会表した。」										
146 1908 明治41 6 6 思潮 宗教の真観 融道者 32 新仏教』より転載 「不合雑誌』より転載 「不会雑誌」より転載 「不会述は 「不会述は										
146 1908 別治41 6 6 景報 哲理療法 松室以忠君 33 「六合雑誌』より転載 八合雑誌』より転載 八合雑誌 八名称 八	146	1908								
146 1908 明治41 6 6 金軽 伊勢神宮の御弓 37 146 1908 明治41 6 6 金軽 月度の報子 月度のまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	146	1908							32	
146 1908 明治41 6 6 金報 日清の仏教問題 38 38 38 146 1908 明治41 6 6 金報 京教子学の設立 38 38 38 38 38 38 38 3	146	1908		6				松室以忠君		『六合雑誌』より転載
146 1908 明治41 6 6 全報 垣間相談所 38 146 146 1508 明治41 6 6 全報 軍隊精神修養会 39 本願寺派加藤徹玄、祇園甲乙両部に続き上七軒等に 七万 146 1508 明治41 6 6 全報 軍隊精神修養会 39 本願寺派加藤徹玄、祇園甲乙両部に続き上七軒等に 七万 146 1508 明治41 6 6 全報 要称 一次 25 25 25 25 25 25 25 2	146	1908	明治41	6			伊勢神宮の御弓		37	
146 1908 明治41 6 6 全報 宗教大学の設立 39 本願寺派加藤徹玄、祇園甲乙両部に続き上七軒等に 146 1908 明治41 6 6 全報 連隊精神修養会 39 本願寺派加藤徹玄、祇園甲乙両部に続き上七軒等に 146 1908 明治41 6 6 全報 港と人と小供となる 39 第十 146 1908 明治41 6 6 全報 第市と仏像 39 第市と仏像 39 146 1908 明治41 6 6 全報 第市と仏像 39 146 1908 明治41 6 6 全報 146 1908 明治41 6 6 交報 146 1908 明治41 6 6 数報 管長脚布教 40 146 1908 明治41 6 6 数報 管長脚布教 41 146 1908 明治41 6 6 数報 大手教会所随時祭 41 146 1908 明治41 6 6 数報 数表所の結婚式 41 146 1908 明治41 6 6 数報 数表所の結婚式 42 146 1908 明治41 6 6 数報 数金所の結婚式 42 146 1908 19治41 7 11 議議 本社維持責务所者方名 44 44 44 44 44 44 44	146	1908	明治41	6	6	彙報	日清の仏教問題		38	
146 1908 明治41 6 6 集報 軍隊精神修養会 39 本願寺派加藤徹玄、祇園甲乙両部に続き上七軒等に 七点道の開始を交渉 近馬伝道 39 本願寺派加藤徹玄、祇園甲乙両部に続き上七軒等に 七点道の開始を交渉 46 6 集報 老人と小供となる 39 46 1908 明治41 6 6 集報 野本し仏像 39 40 40 40 40 40 40 40 4	146	1908	明治41	6	6	彙報	煩悶相談所		38	
146 1908 明治41 6 6 集報 軍隊精神修養会 39 本願寺派加藤徹玄、祇園甲乙両部に続き上七軒等に 七点道の開始を交渉 近馬伝道 39 本願寺派加藤徹玄、祇園甲乙両部に続き上七軒等に 七点道の開始を交渉 46 6 集報 老人と小供となる 39 46 1908 明治41 6 6 集報 野本し仏像 39 40 40 40 40 40 40 40 4	146	1908	明治41	6	6	彙報	宗教大学の設立		38	
146	146	1908		6					39	
146 1908 明治41 6 6 彙報 老人と小供となる 39 146 1908 明治41 6 6 彙報										本願寺派加藤徹玄、祇園甲乙両部に続き上七軒等に
146 1908 明治41 6 6 乗報 老人と小供となる 39 39 39 39 39 39 39 3			73.72		_	21212				
146 1908 明治41 6 6 金穀報 露帝と仏像 39 40 40 40 40 40 40 40 4	146	1908	明治41	6	6	彙報	老人と小供となる		39	
146 1908 明治41 6 6 最報 朝鮮の天道教会 40 40 40 40 40 40 40 4	146								39	
146										
146										
146					6	数報				
146										
146										
146 1908 明治41 6 6 教報 教会所の結婚式 42 43 43 44 45 44 45 45 45					6	为和				
146 1908 明治41 6 6 彙報 河上忠晶先生長歌 43 44 44 44 44 44 44 4										
146 1908 明治41 6 6 彙報 本社維持費寄附者芳名 44										
146 1908 明治41 6 6 所録 黒住教本庁録事 第参号 所録1 全2頁、前号の続き 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日										
146 1908 明治41 6 6 広告 19件										今0百 前星の結束
147 1908 明治41 7 11									1 米亚 [10]	王2貝、刑方の祝さ
147 1908 明治41 7 11 社説 我信徒道連れの決心 1 147 1908 明治41 7 11 講論 偉人黒住宗忠を読む(承前) 桑田無堂 4 147 1908 明治41 7 11 講論 桑田無堂君の『黒住教祖の宗教』を読む 安原清輔 6 147 1908 明治41 7 11 修養 神蹟余光 本田先生記録 11 147 1908 明治41 7 11 修養 春川叢書(承前) 河上忠晶著・河上市蔵述義 14 147 1908 明治41 7 11 修養 御道のほとり(四) 故高弟時尾宗道 15 147 1908 明治41 7 11 修養 御道問答(答の続き) 高陽道人 17 147 1908 明治41 7 11 修養 神と人(一) 無堂 18 147 1908 明治41 7 11 雑録 神と人(一) 無堂 18 147 1908 明治41 7 11 雑録 有尾天丁先生(三) 思誠 21 遺書(続) 15 15 15 16 16 17 1908 明治41 7 11 21 21 32 33 34 34 34 34 34 34						ムロ				
147 1908 明治41 7 11 社説 我信徒道連れの決心 1 1908 明治41 7 11 講論 偉人黒住宗忠を読む(承前) 桑田無堂 4 147 1908 明治41 7 11 講論 桑田無堂君の『黒住教祖の宗教』を読む 安原清輔 6 147 1908 明治41 7 11 修養 神蹟余光 本田先生記録 11 147 1908 明治41 7 11 修養 春川叢書(承前) 河上忠晶著・河上市蔵述義 14 1908 明治41 7 11 修養 御道のほとり(四) 故高弟時尾宗道 15 147 1908 明治41 7 11 修養 御道問答(答の続き) 高陽道人 17 147 1908 明治41 7 11 雑録 神と人(一) 無堂 18 147 1908 明治41 7 11 雑録 神と人(一) 無堂 18 18 1908 明治41 7 11 雑録 石尾天丁先生(三) 思誠 21 遺書(続) 147 1908 明治41 7 11 訓藻 宗忠神社詠歌和歌 伊予 越智房吉ほか 25 「五月雨晴」25首・「馬」18首	147	1908	957641	,	11		系 芯位古			
147 1908 明治41 7 11 講論 偉人黒住宗忠を読む(承前) 桑田無堂 4 147 1908 明治41 7 11 講論 桑田無堂君の『黒住教祖の宗教』を読む 安原清輔 6 6 6 6 6 6 6 6 6	1.47	1000	DD 2/2 4.4	_	44	7T =⊼	ひ 一分 学 本本 の 油 と			
147 1908 明治41 7 11 講論 桑田無堂君の『黒住教祖の宗教』を読む 安原清輔 6 147 1908 明治41 7 11 修養 神蹟余光 本田先生記録 11 147 1908 明治41 7 11 修養 神遺のほとり(四) 故高弟時尾宗道 15 147 1908 明治41 7 11 修養 御道のほとり(四) 故高弟時尾宗道 15 147 1908 明治41 7 11 修養 御道問答(答の続き) 高陽道人 17 147 1908 明治41 7 11 雑録 神と人(一) 無堂 18 147 1908 明治41 7 11 雑録 石尾天丁先生(三) 忠誠 21 遺書(続) 125首・「馬」18首								多口無些		
147 1908 明治41 7 11 修養 神蹟余光 本田先生記録 11 147 1908 明治41 7 11 修養 春川叢書(承前) 河上忠晶著・河上市蔵述義 14 147 1908 明治41 7 11 修養 御道のほとり(四) 故高弟時尾宗道 15 147 1908 明治41 7 11 修養 御道問答(答の続き) 高陽道人 17 147 1908 明治41 7 11 雑録 神と人(一) 無堂 18 147 1908 明治41 7 11 雑録 石尾天丁先生(三) 思誠 21 遺書(続) 147 1908 明治41 7 11 詞藻 宗忠神社詠歌和歌 伊予 越智房吉ほか 25 「五月雨晴」25首・「馬」18首										
147 1908 明治41 7 11 修養 春川叢書(承前) 河上忠晶著・河上市蔵述義 14 1908 明治41 7 11 修養 御道のほとり(四) 故高弟時尾宗道 15 147 1908 明治41 7 11 修養 御道問答(答の続き) 高陽道人 17 1908 明治41 7 11 雑録 神と人(一) 無堂 18 147 1908 明治41 7 11 雑録 石尾天丁先生(三) 思誠 21 遺書(続) 147 1908 明治41 7 11 討藻 宗忠神社詠歌和歌 伊予 越智房吉ほか 25 「五月雨晴」25首・「馬」18首										
147 1908 明治41 7 11 修養 御道のほとり(四) 故高弟時尾宗道 15 147 1908 明治41 7 11 修養 御道問答(答の続き) 高陽道人 17 147 1908 明治41 7 11 雑録 神と人(一) 無堂 18 147 1908 明治41 7 11 雑録 石尾天丁先生(三) 思誠 21 遺書(続) 147 1908 明治41 7 11 詞藻 宗忠神社詠歌和歌 伊予 越智房吉ほか 25 「五月雨晴」25首・「馬」18首										
147 1908 明治41 7 11 修養 御道問答(答の続き) 高陽道人 17 147 1908 明治41 7 11 雑録 神と人(一) 無堂 18 147 1908 明治41 7 11 雑録 石尾天丁先生(三) 思誠 21 遺書(続) 147 1908 明治41 7 11 詞藻 宗忠神社詠歌和歌 伊予 越智房吉ほか 25 「五月雨晴」25首・「馬」18首										
147 1908 明治41 7 11 雑録 神と人(一) 無堂 18 147 1908 明治41 7 11 雑録 石尾天丁先生(三) 思誠 21 遺書(続) 147 1908 明治41 7 11 詞藻 宗忠神社詠歌和歌 伊予 越智房吉ほか 25 「五月雨晴」25首・「馬」18首										
147 1908 明治41 7 11 雑録 石尾天丁先生(三) 思誠 21 遺書(続) 147 1908 明治41 7 11 詞藻 宗忠神社詠歌和歌 伊予 越智房吉ほか 25 「五月雨晴」25首・「馬」18首					11	修養				
147 1908 明治41 7 11 詞藻 宗忠神社詠歌和歌 伊予 越智房吉ほか 25 「五月雨晴」25首・「馬」18首										
	147	1908		7					21	
147 1908 明治41 7 11 思潮 感しの生活 文学博士福来友吉 27 『新人』より転載	147	1908					宗忠神社詠歌和歌		25	
	147	1908	明治41	7	11	思潮	感しの生活	文学博士福来友吉	27	『新人』より転載

147	1908	明治41	7	11	思潮	不為則不食	小野禿山	28	『時代宗教』より転載
147	1908	明治41	7	11	思潮	宗教心の養生法	愛教生	30	『時代宗教』より転載
147	1908	明治41	7	11	思潮	霊の力	松村介石	30	『成民[功力]』より転載
		明治41	7	11	思潮	霊・中国・東京の大学・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー	横井辰太郎	31	『六合雑誌』より転載
147	1908	明治41	7	11	思潮	交霊術	高橋五郎		八百稚誌』より転載
147	1908			11	忠潮			32	
147	1908	明治41	7	11	思潮	宗教と大望心	文学博士元良勇次郎	35	『新人』より転載
147	1908	明治41	7		彙報	宗教の専門学校		36	
147	1908	明治41	7		彙報	万国仏教大会		36	
147	1908	明治41	7		彙報	万国道徳会議		37	
147	1908	明治41	7		彙報	モルモン寺院のオルガン		37	
147	1908	明治41	7		彙報	結婚後百年の祝		37	
147	1908	明治41	7		彙報	回々教と新月形		37	
147	1908	明治41	7		彙報	米国基督教伝道費増額		38	
147	1908	明治41	7		彙報	新渡戸博士のお百姓人形		38	
147	1908	明治41	7		教報	黒住教夏期講習会		39	
147	1908	明治41	7		教報	神楽岡宗忠神社御改築状況		39	
147	1908	明治41	7		社告	本社維持費寄附者芳名		40	
147	1908	明治41	7		社告	新刊紹介			新刊の雑誌書目20点
147	1908	明治41	7		霊験集	森住代講補説教		41	
147	1908	明治41	7	11	広告	18件			
148	1908	明治41	8		社説	管中私言		1	
148	1908	明治41	8	13	講論	偉人黒住宗忠を読む(承前)	桑田無堂	4	
148	1908	明治41	8		講論	由々しき大事	安政愚老	6	
148	1908	明治41	8	13	講論	敢て安原君に答ふ	桑田無堂	14	
148	1908	明治41	8		修養	神蹟余光	本田先生記録	17	
148	1908	明治41	8	13	雑録	神と人(二)	桑田無堂	20	
148	1908	明治41	8	13	雑録	知言と信行	文学士雪皐生	25	
148	1908	明治41	8	13	雑録	福井氏の通信		28	
148	1908	明治41	8	13	詞藻	宗忠神社献詠和歌	備前 渋江亀人ほか	29	岡直廬撰、「松下泉」37首・「剣」18首
148	1908	明治41	8	13	思潮	人間生きて居る間に逆境無し	鈴木藤三郎	31	『商業界』より転載
148	1908	明治41	8	13	思潮	病は気からと云ふ言葉の実験	医学博士木村徳衛	32	『心の友』より転載
148	1908	明治41	8	13	思潮	病を廃めることに極めました	平井金三	34	『道』より転載
148	1908	明治41	8	13	思潮	人間界には人流と云ふものあり	川西(面)凡児	36	『実業世界』より転載
148	1908	明治41	8	13	思潮	宗教は橋の欄干	暁烏敏	37	『精神界』より転載
148	1908	明治41	8		思潮	宗教を信ぜる実業家と信ぜざる実業家の相違	河瀬秀治	38	『蚕業新報』より転載
148	1908	明治41	8	13	彙報	聖上の御励精		39	
148	1908	明治41	8		彙報	荵は主に還与し給ふ		40	
148	1908	明治41	8		彙報	郵便局員の精神修養		40	
148	1908	明治41	8		彙報	万国道徳会議内容		41	
148	1908	明治41	8		彙報	万国宗教歴史会議		41	
148	1908	明治41	8		彙報	政教一致の美国		41	
148	1908	明治41	8		彙報	全国宗教家大会		42	
148	1908	明治41	8	13	彙報	モルモン宗の特色		42	
148	1908	明治41	8		教報	管長殿御巡教		43	
148	1908	明治41	8		教報	宗忠神社禊祭		43	
148	1908	明治41	8		教報	教会所内結婚式		44	
140	1000	70/041	U	10	オ人 十以	TA ムハバ 1 中口 7日 4人		7-7	

148	1908	明治41	8	13	教報	教祖御歌文集発行		44	
148	1908	明治41	8		霊験	森住代講補説教(承前)		45	
148	1908	明治41	8	13	社告	本社維持費寄附者芳名			および新刊寄書16点
148	1908	明治41	8		広告	13件			00010 WHITH ELOW
149	1908	明治41	9		社説	教祖御歌文集の発行に就て		1	
149	1908	明治41	9		講論	由々しき大事(其二)祓と祈	安政愚老	6	
149	1908	明治41	9		講論	誤解する莫れ予の態度と主張		10	
149	1908	明治41	9		修養	神蹟余光		18	
149	1908	明治41	9		修養	神国(一)		20	 「是は或る高弟の著書なりとて教友の所蔵せられたる
143	1300	ידטונפ		20	沙良			20	を乞をて本欄に掲くることになしぬ」
149	1908	明治41	9	25	雑録	石尾天丁先生(四)	思誠	23	22 C-1-1M1-19 (0-21-0000)
149	1908	明治41	9	25	雑録	安政愚老子に告ぐ		28	
149	1908	明治41	9	25	広告	3件			28~29頁の間に挿入、神道家常用服など
149	1908	明治41	9		雑録	「偉人黒住宗忠」を読みて木山文学士に呈す	文学士安原清輔	30	
149	1908	明治41	9	25	寄書	伊藤左千夫先生の歌		32	
149	1908	明治41	9		寄書	天照大神論の解決 請ふ隗より始めん		33	
149	1908	明治41	9		詞藻	宗忠神社献詠和歌		35	「朝顔」32首・「車」14首
149	1908	明治41	9	25	詞藻	福井君の通信を読て(国の教第百四十八号掲載)		37	- 初成 102日 - 十 114日
149	1908	明治41	9		思潮	宗教の人		38	『道』7月号社説欄より転載
149	1908	明治41	9	25	思潮	何ぞ進みて自ら取らざる		38	『倫理講演集』より転載
149	1908	明治41	9	25	思潮	精神の働きで電流をも感ぜぬように出来る		39	『東西南北』より転載
149	1908	明治41	9	25	思潮	宗教的生命		40	『基督教世界』より転載
149	1908	明治41	9	25	彙報	基徒化学派の大会堂	-	41	世を目状にが近めり和戦
149	1908	明治41	9		彙報	英国の宗教博覧会		41	
149	1908	明治41	9		彙報	韓国樺太と神社		42	
149	1908	明治41	9		彙報	米教会の親日決議		42	
149	1908	明治41	9		彙報	人間の霊魂研究		42	
149	1908	明治41	9		彙報	教界時評		43	
149	1908	明治41	9		霊験集	森住代講補説教(承前)		45	
149	1908	明治41	9	25	並然木	本社維持費寄付者芳名	国の教雑誌社	40	
149	1908	明治41	9	25		新刊寄書	三二・フラス不住の心でエ		18点
149	1908	明治41	9		広告				七碗堂(宇治茶製造)、本社販売教書類目、拡産社
143	1300	9370 71		20	/A D				(蚕種業)など
150	1908	明治41	11	23	広告	1件			
150	1908	明治41	11	23		謝告	森文吾·森督太		本誌10月号は一家での「大難の御修業」により休刊、
		7374				K27 E1	AND THE PART OF TH		ご容赦乞う
150	1908	明治41	11	23	社説	管中私言		1	
150	1908	明治41	11		講論	ニと一との説	文学士吉田東薇	3	
150	1908	明治41			修養	神蹟余光		10	
150	1908	明治41			修養	神国(二)		13	
150	1908	明治41	11		詞藻	宗忠神社献詠和歌(九月分)		16	「月前雁」19首・「硯」12首・「紅葉浅」34首・「家」31首・ 「国の教百五拾号を祝ひて」1首
150	1908	明治41	11	23	詞藻		非水生	20	
150	1908	明治41			詞藻	尾道行		25	
150	1908	明治41			雑録	心の神		28	
150	1908	明治41			雑録	石尾天丁先生(五)		34	
.00	1000	クルロゴー		20	イエング		(C) HIM	J 1	

150	1908	明治41	11	23	寄書	黒住教は俗人教なるか	伯耆 松翠	37	9月1日より黒住教倉吉教会所で開催した第5回講習 会で講演した内容、俗人教と評する者は黒住教の半 面しかわかっていないと論難
150	1908	明治41	11	23	寄書	道歌の意義について	備前 淵浪喜美造	42	
150	1908	明治41	11	23	時事	詔勅下る		43	
150	1908	明治41	11	23	時事	迷信排除法		44	鳥取県八東郡で郡教育会が狐憑病の迷信を排除する方法を定めた、迷信打破は宗教の力を借りると功が 多いだろう
150	1908	明治41	11	23	時事	岩崎家の引張凧		44	
150	1908	明治41	11	23	時事	日本教会の創設		44	松村介石の日本教会、「神と養徳と愛隣と永生」の四 信仰は誠に結構
150	1908	明治41			時事	尼僧学林の設立		45	愛知県の金城村に尼僧学林開設
150	1908	明治41	11		時事	神職養成機関新設		45	
150	1908	明治41	11		時事	宗教法案提出されん		45	
150	1908	明治41	11		時事	国立感化院の設立		46	
150	1908	明治41	11		時事	英国養老金法案の通過		46	
150	1908	明治41	11	23	時事	米国人の屯田伝道		46	小野清秀が韓国での屯田伝道を企画
150	1908	明治41	11	23		編輯局より	誠	47	これまで教内では二七新報(明治10年創設、10号も数えず廃刊)、大阪の二七絵入新報(15年10月~16年5月)、不二新聞(16年3月から3か月で廃刊)を刊行。裁理者は下野誠之、平松旦海、稲垣平衛(二七)、手塚平兵衛、吉田文三(絵入)、山脇貴久、柴岡正喬、藤原良貞(不二)。本誌も東京で発行後、5号で休刊状態になったのを私たち父子が引き継ぎ今日まで継続。10月号休刊は弟・森光太の逝去のためである。今回本社は宗忠伝を発行した能勢健治と大阪の河田豊の協力を得て、大阪で詔勅の主旨にもとづく黒住教教化幻燈会を企画中
150	1908	明治41	11	23		本社維持費寄附者芳名		49	
150	1908	明治41	11	23		新刊寄書		49	17点
150	1908	明治41	11	23	広告	11件		50	